



ユーザーズガイド パソコン 活用&ネットワーク

MFC-L8610CDW

MFC-L9570CDW

目次

本ガイドの使い方	1
注意事項の定義	2
商標	3
重要事項	4
印刷	5
パソコンから印刷する(Windows®)	6
文書を印刷する (Windows®)	7
印刷設定 (Windows®)	8
認証印刷を行う (Windows®)	12
初期値の印刷設定を変更する(Windows®).....	13
BR-Script3 プリンタードライバー (PostScript® 3™言語エミュレーション) を使用して文書を印刷する (Windows®)	15
お使いのパソコンからの本製品の状態を監視する (Windows®)	17
パソコンから印刷する(Mac).....	18
文書を印刷する (Mac)	19
印刷オプション (Mac)	20
セキュリティ印刷 (Mac)	26
BR-Script3 プリンタードライバー(PostScript® 3™言語エミュレーション) を使用して文書を印刷する(Mac)	27
パソコンから本製品の状態を監視する (Mac)	28
印刷ジョブをキャンセルする	29
テスト印刷	30
スキャン	31
本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする	32
写真やグラフィックをスキャンする	33
スキャンしたデータを PDF ファイルとしてパソコンに保存する	35
スキャンしたデータを USB フラッシュドライブに保存する	37
編集可能テキストファイルとしてスキャンする (OCR)	39
スキャン to E メール添付	41
スキャンしたデータを E メールサーバーに送信する	43
スキャンしたデータを FTP サーバーに保存する	45
スキャン to SSH FTP (SFTP)	50
スキャンしたデータをネットワーク上のサーバーに保存する(Windows®)	58
スキャン to SharePoint®	64
Web サービスを使ってスキャンする (Windows® 7、Windows® 8 または Windows® 10)	69
ControlCenter4 からスキャンボタン設定を変更する (Windows®)	73
ControlCenter2 からスキャンボタン設定を変更する (Mac)	77
署名入り PDF の証明書を設定する	81
お使いのパソコンからスキャンを無効にする	82
お使いのパソコンからスキャンする (Windows®)	83
ControlCenter4 Home モードを使ってスキャンする (Windows®)	84
ControlCenter4 Advanced モードを使ってスキャンする (Windows®)	101
Nuance™ PaperPort™ 14SE または Other Windows®アプリケーションを使用してスキャンする	118
Windows® フォトギャラリー、Windows® FAX とスキャンを使ってスキャンする	123

▲ ホーム > 目次

お使いのパソコンからスキャンする (Mac)	127
ControlCenter2 を使ってスキャンする(Mac).....	128
TWAIN 準拠のアプリケーションを使ってスキャンする (Mac)	143
TWAIN ドライバーの設定 (Mac).....	144
ウェブブラウザを使用してスキャン設定を行う	146
ウェブブラウザを使用してスキャンファイル名称を設定する.....	147
ウェブブラウザを使用してスキャンジョブの E メールレポートを設定する	148
PC-FAX.....	149
Windows®用 PC-FAX (MFC モデル)	150
PC-FAX の概要(Windows®) (MFC モデル)	151
PC-FAX を使ってファクスを送信する(Windows®).....	165
パソコンでファクスを受信する(Windows®) (MFC モデル)	166
Mac 用 PC-FAX (MFC モデル)	174
アプリケーションからファクスを送信する(Mac).....	175
ネットワーク.....	177
対応している基本ネットワーク機能について	178
ネットワーク管理ソフトウェアおよびユーティリティ	179
ネットワーク管理ソフトウェアとユーティリティについて	180
他の無線ネットワーク設定方法について	181
本製品を無線ネットワーク用に設定する前に	182
無線ネットワーク用に本製品を設定する.....	183
Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) のワンプッシュ方式を使用して本製品に無線ネットワークを設定する.....	184
Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) の PIN 方式を使用して本製品に無線ネットワークを設定する ..	185
本製品の操作パネルセットアップウィザードを使用して、本製品に無線 LAN を設定する	188
SSID が同報送信以外の場合の無線 LAN を本製品に設定する	190
エンタープライズ無線 LAN 用に本製品を設定する.....	192
Wi-Fi Direct®を使用する.....	195
高度なネットワーク機能について	204
ネットワーク設定レポートを印刷する	205
ウェブブラウザを使用してメールサーバーを設定する	206
E メールまたはインターネットファクス (I-Fax) 用に本製品を設定する.....	209
インターネットファクス (I-FAX)オプション	224
無線 LAN レポートを印刷する	229
LDAP 検索の設定と操作について	232
ウェブブラウザ設定を使用した、SNTP サーバーとの時間の同期について	235
上級ユーザーのための技術的な情報について	239
ギガビットイーサネット (有線 LAN のみ)	240
ネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットする	242
トラブルシューティング.....	243
クラウド接続機能のエラーメッセージ.....	244
ネットワークの問題.....	246
エラーメッセージ.....	247
ネットワーク診断修復ツールを使用する (Windows®)	249
本製品のネットワーク設定はどこを確認すればいいですか?	250
無線ネットワーク設定を完了できません.....	251

本製品で、ネットワーク経由の印刷、スキャン、または PC-FAX の受信ができません	253
使用しているネットワーク機器が正しく動作していることを確認したい	255
Google クラウド プリントの問題	256
AirPrint の問題	257
セキュリティ	258
本製品の設定をロックする	259
設定ロックの概要	260
ネットワークセキュリティ機能	265
ネットワークセキュリティ機能を使用する前に	266
セキュリティ機能ロック 3.0	267
Active Directory® 認証を使用する	274
LDAP 認証方式を使用する	279
SSL/TLS を使用したネットワーク製品の安全な管理について	283
IPsec を使用したネットワーク製品の安全な管理について	316
安全な E-mail の送受信について	336
有線または無線 LAN への IEEE 802.1x 認証の使用について	342
印刷ログ機能	347
モバイル/ウェブ接続	353
クラウド接続機能	354
クラウド接続の概要	355
クラウド接続機能を使用してアクセスできるオンラインサービス	356
クラウド接続機能の使用条件について	358
クラウド接続機能の設定	362
写真や原稿をスキャンしてアップロードする	370
写真や文書をダウンロードして印刷する	371
ファクスクラウド/Eメール転送	373
クラウド接続機能を使って、囲んだ部分をスキャン、コピー、削除する	376
折りメモ印刷、折りメモスキャン	381
Google クラウド プリント	386
Google クラウド プリントの概要	387
Google クラウド プリントを使用する前に	388
Google Chrome™、または Chrome OS™ から印刷する	392
モバイル向けの Google Drive™ から印刷する	393
モバイル向けの Gmail™ ウェブメールサービスから印刷する	394
AirPrint	395
AirPrint の概要	396
はじめに	397
AirPrint を使用して印刷する	400
AirPrint を使ってスキャンする	404
AirPrint を使ってファクスを送信する (MFC モデルのみ)	407
Windows® 用モバイルプリント	410
Mopria® Print Service	411
Brother iPrint&Scan	412
近距離無線通信 (NFC)	413
外付け IC カードリーダーに登録する	414
ControlCenter	415








ControlCenter4 (Windows®).....	416
ControlCenter4 の操作モードを変更する(Windows®)	417
ControlCenter4 Home モードを使ってスキャンする (Windows®)	419
ControlCenter4 Advanced モードを使ってスキャンする (Windows®)	420
ControlCenter4 を使って本製品のセットアップを行う (Windows®)	421
ControlCenter4 Advanced モードを使用してカスタムタブを作成する (Windows®)	423
ControlCenter2 (Mac).....	425
ControlCenter2 を使ってスキャンする(Mac).....	426
ControlCenter2 を使って本製品のセットアップを行う (Mac)	427
パソコンを使用して製品の設定を変更する	429
ウェブブラウザを使用して製品の設定を変更する	430
ウェブブラウザによる設定とは	431
ウェブブラウザによる設定画面にアクセスする	432
ウェブブラウザによる設定画面のログインパスワードを設定する	433
リモートセットアップ	434
リモートセットアップ(Windows®)	435
リモートセットアップ(Mac)	441

本ガイドの使い方

- ・ [注意事項の定義](#)
- ・ [商標](#)
- ・ [重要事項](#)

注意事項の定義

本ガイドでは、以下の記号が使用されます。

 警告	警告は、この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
 注意	注意は、この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容を示しています。
重要	重要は、この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の可能性がある内容を示しています。
お願い	お願いは、ご使用していただく上での注意事項、制限事項などの内容を示しています。
	ヒントアイコンは、有益なヒントや補足情報を示しています。
	「感電の危険があること」を示しています。
	「火災の危険があること」を示しています。
	「やけどの危険があること」を示しています。
	「してはいけないこと」を示しています。
太字	本製品の操作パネルやパソコンの画面に表示されるボタンを示しています。
斜体	斜体は重要な項目の強調や、関連するトピックを示しています。
[XXXXX]	括弧で囲まれたテキストは、本製品の画面に表示されるメッセージを示しています。

✓ 関連情報

- [本ガイドの使い方](#)

商標

BROTHER は、ブラザー工業株式会社の商標または登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、SharePoint、Internet Explorer、Outlook、PowerPoint、Excel、Active Directory、OneNote および OneDrive は、米国および／またはその他の国におけるマイクロソフト社の登録商標または商標です。

Apple、Mac、Mac、Safari、iPad、iPhone および iPod touch は、米国およびその他の国で登録されている、Apple 社の商標です。

AirPrint および macOS は、Apple 社の商標です。

Nuance、PaperPort は、米国およびその他の国における Nuance Communications, Inc. およびその子会社の商標または登録商標です。

PostScript および PostScript 3 は、米国および／またはその他の国における Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標または商標です。

Wi-Fi、Wi-Fi Alliance および Wi-Fi Direct は、Wi-Fi Alliance®の登録商標です。

WPA2、Wi-Fi Protected Setup および Wi-Fi Protected Setup のロゴは、Wi-Fi Alliance®の商標です。

Flickr®は、Yahoo! Inc.の登録商標です。

Android、Gmail、Google クラウドプリント、Google Drive、Google Chrome、Chrome OS および Google Play は、グーグル社の商標です。これらの商標の使用には、グーグル社の許可が必要です。

Mopria® は、米国およびその他の国における Mopria Alliance 社の商標および登録商標です。無断使用は固く禁止されています。

Mozilla および Firefox は、Mozilla Foundation の登録商標です。

Evernote は、Evernote 社の商標であり、ライセンスの元で使用されています。

Bluetooth ワードマークは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ブラザーは、これら商標を使用する許可を受けています。

WordPerfect は Corel 社および／またはカナダ、米国、および／またはその他の国におけるその関連会社の登録商標です。

PictBridge は商標です。

本ガイドに製品名が記載されている各ソフトウェアの開発会社は、著作プログラムに特定したソフトウェアライセンス契約を有します。

ブラザー製品および関連資料等に記載されている社名及び商品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

✓ 関連情報

- [本ガイドの使い方](#)

重要事項

- 購入された国以外で本製品を使用しないでください。海外各国における無線通信および電力規制に反する場合や、海外で使用されている電源が本製品で適切に使用できない恐れがあります。
- 本文中の Windows® 10 は、Windows® 10 Home、Windows® 10 Pro、Windows® 10 Education、および Windows® 10 Enterprise を指します。
- 本文中の Windows Server® 2008 は、Windows Server® 2008 および Windows Server® 2008 R2 を指します。
- 本ユーザーズガイド内の画面はイメージであるため実際の画面とは異なる場合があります。
- 特に指定のない限り、本書は Windows® 7 および macOS v10.10.5 の画面を使用していますが、実際のパソコンの画面はお使いの OS によって異なる可能性があります。
- 本ガイドならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。

✓ 関連情報

- [本ガイドの使い方](#)

印刷

- パソコンから印刷する(Windows®)
- パソコンから印刷する(Mac)
- 印刷ジョブをキャンセルする
- テスト印刷

パソコンから印刷する(Windows®)

- 文書を印刷する (Windows®)
- 印刷設定 (Windows®)
- 認証印刷を行う (Windows®)
- 初期値の印刷設定を変更する(Windows®)
- BR-Script3 プリンタードライバー (PostScript® 3™ 言語エミュレーション) を使用して文書を印刷する (Windows®)
- お使いのパソコンからの本製品の状態を監視する (Windows®)

文書を印刷する (Windows®)

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Brother XXX-XXXX** (XXXX はお使いのモデル名) を選択して、印刷プロパティまたは設定ボタンをクリックします。
プリンタードライバーの設定画面が表示されます。



3. 用紙トレイに正しいサイズの用紙がセットされているかを確認します。
4. **用紙サイズ**のリストから用紙サイズを選択します。
5. **印刷の向き**欄で縦または横オプションを選択し、印刷物の向きを設定します。



お使いのアプリケーションに同様の設定が備わっている場合は、アプリケーションを使用して印刷物の向きを設定することを推奨します。

6. **部数**に、印刷したいコピー部数 (1~999 部) を入力します。
7. **用紙種類**のリストからお使いになる用紙の種類を選択します。
8. 複数ページの内容を 1 枚に印刷したいとき、または 1 ページの内容を複数枚にわたって印刷したいときは、**レイアウト**のリストからお好みの設定を選択します。
9. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
10. **OK** をクリックします。
11. 印刷操作を完了します。

✓ 関連情報

- [パソコンから印刷する\(Windows®\)](#)
- [印刷設定 \(Windows®\)](#)

印刷設定 (Windows®)

基本設定タブ



1. 用紙サイズ

使用する用紙のサイズを選択します。一般的な用紙サイズから選択するか、カスタム用紙サイズを作成するか選択します。

2. 印刷の向き

印刷の向き（縦または横）を選択します。

お使いのアプリケーションに同様の設定が備わっている場合は、アプリケーションを使用して印刷の向きを設定することをお勧めします。

3. 部数

印刷する部数（1～999部）を入力します。

部単位

複数ページの文書を元のページの順序に合わせて印刷する場合に、選択します。選択した場合は、文書一式を一部印刷し、設定した部数に応じて残りの部数分だけ同様に印刷が繰り返されます。選択しない場合は、各ページが設定された部数だけ印刷されてから、次のページが印刷されます。

4. 用紙種類

使用する用紙の種類を選択します。印刷品質保持のため、選択された用紙の種類に合った印刷設定を本製品が自動的に設定します。

5. 印刷品質

使用したい印刷の品質を選択します。印刷品質と印刷速度には相互関係があるため、品質が高いほど印刷速度は遅くなります。

6. カラー/モノクロ

使用するカラー/モノクロ設定を選択します。

お願い

- 本製品のカラーセンサーは非常に感度が高いため、薄い黒色のテキストやオフホワイトの背景をカラーとして認識する可能性があります。印刷する文書が白黒で、カラートナーを節約したい場合は、**モノクロ**モードを選択してください。
- カラー文書の印刷中に、シアン、マゼンタ、またはイエローのいずれかのトナーが切れると、印刷ジョブは完了できません。ブラックトナーが使用できる場合は、印刷ジョブをキャンセルし、もう一度**モノクロ**モードで印刷ジョブを選択して再開してください。

7. 文書種類

使いたい文書のタイプを選択します。

設定ボタン

カラーモードや他の詳細設定を指定します。

カラー設定

お好みに合わせてカラーモードを選択します。

読み込み

特定の画像の印刷設定を調整するには、**設定**をクリックします。画像の明るさやコントラストなどのパラメーターの調整が終了したら、これらの設定を印刷設定ファイルとしてインポートします。**書き出し**オプションを使って、現在の設定から印刷設定ファイルを作成します。

書き出し

特定の画像の印刷設定を調整するには、**設定**をクリックします。画像の明るさやコントラストなどのパラメーターの調整が終了したら、これらの設定を印刷設定ファイルとしてエクスポートします。**読み込み**オプションを使って、以前にエクスポートした設定ファイルを読み込みます。

グレーの印刷を改善する

画像の影の部分の印刷品質を改善するためにはこのオプションを選択します。

黒色を強調して印刷する

黒い画像が正しく印刷されない場合は、この設定を選択します。

パターン印刷を改善する

パソコンの画面に表示される塗りつぶしやパターンと異なる印刷がされる場合、パターン印刷の品質を改善するためにはこのオプションを選択します。

8. レイアウト

複数ページの内容を1枚に印刷したいとき、または1ページの内容を複数枚にわたって印刷したいときに選択します。

ページの順序

複数ページの内容を1枚に印刷するときのページの順序を選択します。

仕切り線

複数ページの内容を1枚に印刷するときの仕切り線の種類を選択します。

9. 両面印刷/小冊子印刷

両面印刷または小冊子印刷をする場合に選択します。

両面印刷設定ボタン

綴じ方を選択するときこのボタンを押します。それぞれの向きごとに4タイプの綴じ方があります。

10. 給紙方法

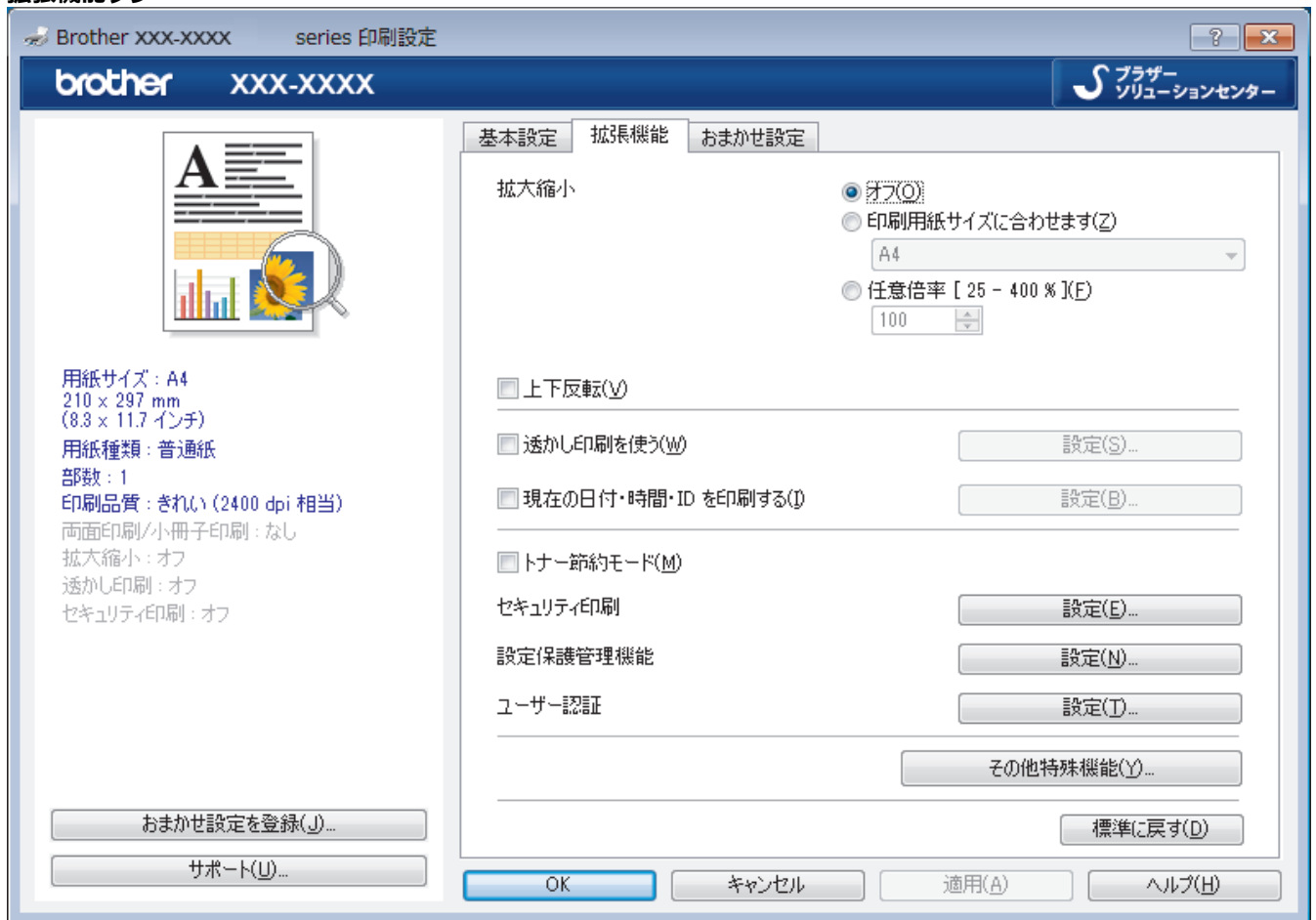
印刷状況や目的によって給紙方法の設定を選択します。

1 ページ目

最初のページを印刷するための給紙方法を選択します。

2 ページ目以降

2 ページ目以降を印刷するための給紙方法を選択します。



1. 拡大縮小

印刷したい文書の内容を拡大、または縮小するときに選択します。

印刷用紙サイズに合わせます

印刷に使用する用紙サイズに合わせて文書のサイズを拡大、縮小するときに選択します。選択した場合は、ドロップダウンリストから用紙サイズを選択します。

任意倍率

拡大、縮小の倍率を数値を入力して指定し、文書を拡大または縮小するときに選択します。

2. 上下反転

上下を 180 度回転して印刷できます。

3. 透かし印刷を使う

ロゴや文字を透かしとして文書に印刷するときに選択します。あらかじめ設定されている透かしから 1 つを選択するか、自分で作成した画像を使用することもできます。

4. 現在の日付・時間・ID を印刷する

日時およびログインユーザー名を文書に印刷する場合に選択します。

5. トナー節約モード

この機能を選択すると、通常より少ない量のトナーで印刷するため、トナーを節約できます。印字は薄くなりますが、読むのに問題はありません。

6. セキュリティ印刷

この機能を使用すると、本製品のコントロールパネルでパスワードの入力を行わない限り機密文書は印刷されません。

7. 設定保護管理機能

この機能を使用すると、管理者パスワードを変更し、さまざまな印刷機能を制限することができます。

8. ユーザー認証

この機能を使用すると、各ユーザーの制限を確認することができます。

9. その他特殊機能ボタン

印刷結果の改善

このオプションを選択すると、用紙の丸まりを軽減したり、トナーの定着を改善します。

TrueType 設定

モード

印刷するためのフォント処理方法を選択します。

プリンターのアウトライン フォントを使う (特定モデルのみ対応)

フォント処理で内臓フォントを使用するかどうかを選択します。

エコ設定

このオプションを選択すると、印刷時の音が軽減されます。

✓ 関連情報

- [パソコンから印刷する\(Windows®\)](#)
- [文書を印刷する \(Windows®\)](#)

認証印刷を行う (Windows®)

セキュリティ印刷を使用して、機密文書や取り扱いに注意が必要な文書を印刷する場合に、本製品の操作パネルでパスワードの入力が求められるようにします。

- 本製品の電源を切ると、セキュリティデータは本製品から削除されます。

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Brother XXX-XXXX** (XXXX はお使いのモデル名) を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。
プリンタードライバーの設定画面が表示されます。
3. **拡張機能** タブをクリックします。
4. **設定** 欄で、**セキュリティ印刷** ボタンをクリックします。
5. **セキュリティ印刷** のチェックボックスを選択します。
6. **パスワード** 欄で 4 桁のパスワードを入力します。



ドキュメント毎に個別のパスワードを設定する必要があります。

7. 必要に応じて **ユーザー名** および **印刷ジョブ名** をテキスト欄に入力します。
8. **OK** をクリックし、**セキュリティ印刷設定** 画面を閉じます。
9. **OK** をクリックします。
10. 印刷操作を完了します。
11. 本製品の操作パネルで、左右にフリックするか、◀または▶を押して [セキュリティ印刷] を表示し、[セキュリティ印刷] を押します。
12. 上下にフリックするか、▲または▼を押してユーザー名を表示し、お使いのユーザー名を押します。
画面には、この名前に対する安全なジョブが一覧表示されます。
13. 上下にフリックするか、▲または▼を押して印刷ジョブを表示し、印刷したい印刷ジョブを押します。
14. 4 桁のパスワードを入力し、[OK] を押します。
15. 枚数を入力します。
16. [スタート] を押します。
データが印刷されます。

セキュリティデータは印刷後、本製品のメモリーから削除されます。



関連情報


- [パソコンから印刷する\(Windows®\)](#)

初期値の印刷設定を変更する(Windows®)

アプリケーションの印刷設定を変更した場合、そのアプリケーションから印刷したものにしか変更は適用されません。全ての Windows®アプリケーションの印刷設定を変更するには、プリンタードライバーの設定を変更します。

1. 次のいずれかを行ってください。

- Windows Server® 2008 の場合 :

 (スタート) > コントロール パネル > ハードウェアとサウンド > プリンタをクリックします。


- Windows® 7 および Windows Server® 2008 R2 の場合 :

 (スタート) > デバイスとプリンターをクリックします。

- Windows® 8 の場合

マウスを、デスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、**設定**をクリックして、**コントロール パネル**をクリックします。**ハードウェアとサウンド**グループで**デバイスとプリンターの表示**をクリックします。

- Windows® 10 および Windows Server® 2016 の場合 :

 > **Windows システム ツール** > **コントロール パネル**をクリックします。**ハードウェアとサウンド**グループで、**デバイスとプリンターの表示**をクリックします。

- Windows Server® 2012 の場合

マウスを、デスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、**設定**をクリックして、**コントロール パネル**をクリックします。**ハードウェア**グループで**デバイスとプリンターの表示**をクリックします。

- Windows Server® 2012 R2 の場合

コントロール パネル画面で**スタート**をクリックします。**ハードウェア**グループで**デバイスとプリンターの表示**をクリックします。

2. **Brother XXX-XXXX** アイコン (XXXX はお使いのモデル名) を右クリックして、**プリンターのプロパティ**を選択します。プリンタードライバーのオプションが表示された場合は、お使いのドライバーを選択します。

3. **全般**タブをクリックし、**印刷設定**または**基本設定**ボタンをクリックします。

プリンタードライバーダイアログボックスが表示されます。



- トレイ設定を行うには、**デバイスの設定**タブをクリックします。
- プリンターポートを変更するには、**ポート**タブをクリックします。

4. すべての Windows®プログラムでデフォルトとして使いたい印刷設定を選択します。

5. **OK** をクリックします。

6. プリンタープロパティダイアログボックスを閉じます。



関連情報

- [パソコンから印刷する\(Windows®\)](#)
- [増設トレイを設定する \(Windows®\)](#)

増設トレイを設定する (Windows®)

本製品のプロパティにアクセスして、増設トレイとシリアル番号を自動検出します。

プリンタードライバーのインストール中に、増設トレイがプリンタードライバーにより自動的に検出されます。ドライバーのインストール後に増設トレイを追加する場合は、この手順に従います：

1. 次のいずれかを行ってください。

- Windows Server® 2008 の場合：

 (スタート) > コントロール パネル > ハードウェアとサウンド > プリンタをクリックします。


- Windows® 7 および Windows Server® 2008 R2 の場合：

 (スタート) > デバイスとプリンターをクリックします。

- Windows® 8 の場合

マウスを、デスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、**設定**をクリックして、**コントロール パネル**をクリックします。**ハードウェアとサウンド**グループで**デバイスとプリンターの表示**をクリックします。

- Windows® 10 および Windows Server® 2016 の場合：

 > **Windows システム ツール** > **コントロール パネル**をクリックします。**ハードウェアとサウンド**グループで、**デバイスとプリンターの表示**をクリックします。

- Windows Server® 2012 の場合

マウスを、デスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、**設定**をクリックして、**コントロール パネル**をクリックします。**ハードウェア**グループで**デバイスとプリンターの表示**をクリックします。

- Windows Server® 2012 R2 の場合

コントロール パネル画面で**スタート**をクリックします。**ハードウェア**グループで**デバイスとプリンターの表示**をクリックします。

2. **Brother XXX-XXXX** アイコン (XXXX はお使いのモデル名) を右クリックして、**プリンターのプロパティ**を選択します。プリンタードライバーのオプションが表示された場合は、お使いのドライバーを選択します。

3. **デバイスの設定**タブをクリックします。

4. **自動検知**ボタンをクリックします。

増設トレイと本製品のシリアル番号は、自動的に検出されます。

5. **適用**ボタンをクリックします。

6. プリンタープロパティダイアログボックスを閉じます。

本製品が以下の状態の場合は、**自動検知**機能は利用できません。

- 本製品の電源がオフになっている。
- 本製品がネットワーク共有環境にある。
- ケーブルが本製品に正しく接続されていない。

✓ 関連情報

- [初期値の印刷設定を変更する\(Windows®\)](#)

▲ホーム > 印刷 > パソコンから印刷する(Windows®) > BR-Script3 プリンタードライバー (PostScript® 3™ 言語エミュレーション) を使用して文書を印刷する (Windows®)

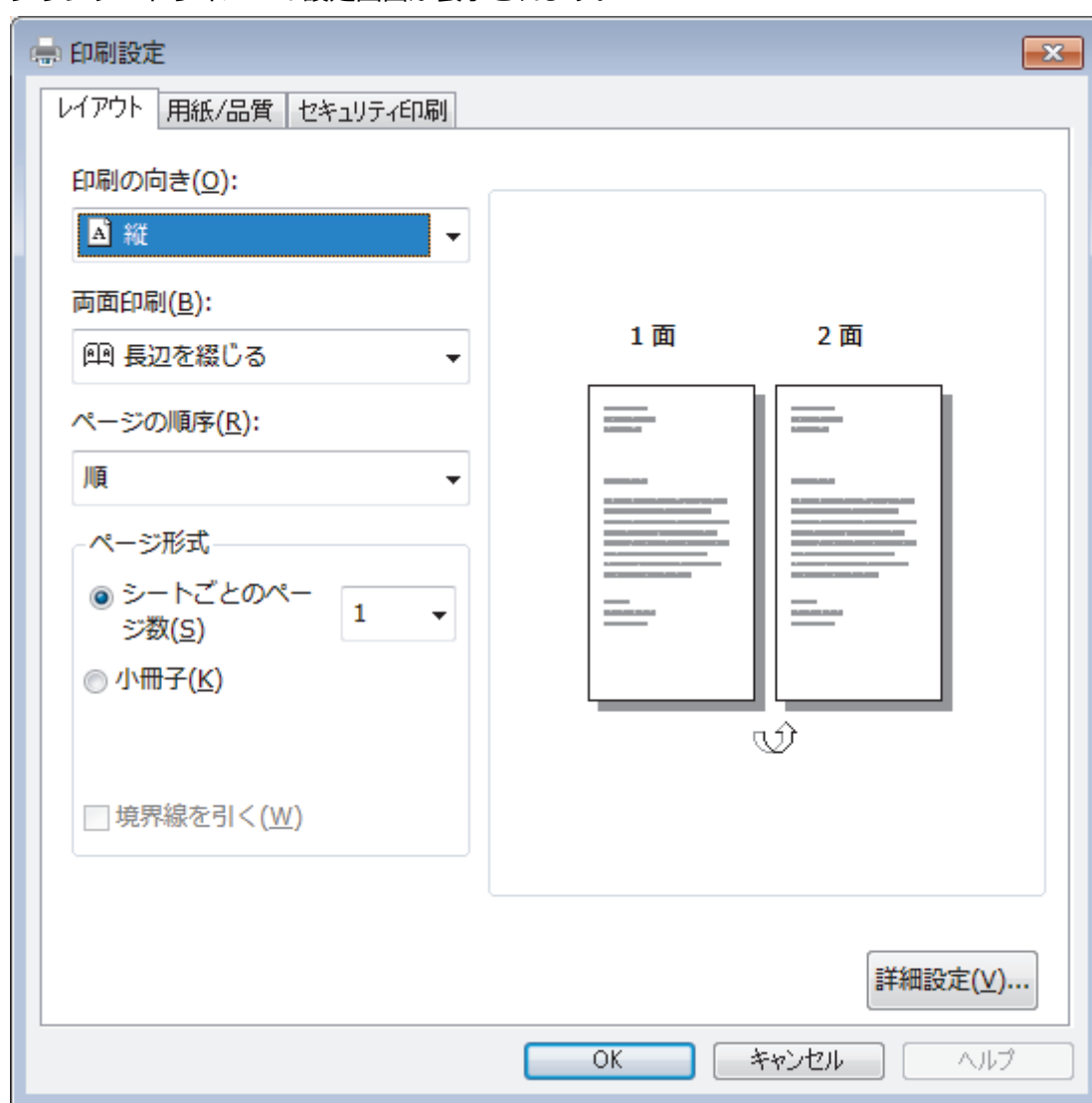
BR-Script3 プリンタードライバー (PostScript® 3™ 言語エミュレーション) を使用して文書を印刷する (Windows®)

BR-Script3 プリンタードライバーを使用すると、PostScript®のデータをより鮮明に印刷できます。

PS ドライバー (BR-Script3 プリンタードライバー) をインストールするには、ブラザーのインストールディスクを起動し、製品選択セクションで **カスタムインストール** を選択したあと、**ポストスクリプトドライバー** チェックボックスを選択します。

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Brother XXX-XXXX BR-Script3** (XXXX はお使いのモデル名) を選択して、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。

プリンタードライバーの設定画面が表示されます。



3. **レイアウト**、**用紙/品質**、または**セキュリティ印刷**タブをクリックして、基本的な印刷設定を変更します。
レイアウトまたは**用紙/品質**タブをクリックし、**詳細設定**ボタンをクリックして、詳細な印刷設定を変更します。
4. **OK** をクリックします。
5. 印刷操作を完了します。




関連情報

- [パソコンから印刷する\(Windows®\)](#)

お使いのパソコンからの本製品の状態を監視する (Windows®)

ステータスマニターユーティリティは、1台以上の機器の状態を監視するためのソフトウェアツールで、問題が発生した場合には即座にユーザーに通知します。

- 次のいずれかを行ってください。


- タスクトレイの  アイコンをダブルクリックします。

- (Windows® 7)



 (スタート) > すべてのプログラム > Brother > Brother Utilities をクリックします。

ドロップダウンリストをクリックして、お使いの機器のモデル名を選択します（未選択の場合）。左ナビゲーションバーの **ツール** をクリックし、さらに **ステータスマニター** をクリックします。

- (Windows® 8)

 (Brother Utilities) をクリックし、ドロップダウンリストをクリックして、お使いの機器のモデル名を選択します（未選択の場合）。左ナビゲーションバーの **ツール** をクリックし、さらに **ステータスマニター** をクリックします。

- (Windows® 8.1)

スタート画面の左下にマウスを移動し、 をクリックします（タッチ式の機器の場合は、スタート画面を下から上にフリックし、**アプリ**画面を表示します）。**アプリ**画面が表示されたら、 (Brother Utilities) をタップまたはクリックし、ドロップダウンリストをクリックして、本機器のモデル名を選択します（未選択の場合）。左ナビゲーションバーの **ツール** をクリックして、**ステータスマニター** をクリックします。

- (Windows® 10)

 **Brother > Brother Utilities** をクリックします。

ドロップダウンリストをクリックして、お使いの機器のモデル名を選択します（未選択の場合）。左ナビゲーションバーの **ツール** をクリックし、さらに **ステータスマニター** をクリックします。

ウェブ Q & A

ウェブ Q & A ボタンをクリックして、ブラザーサポートのウェブサイトアクセスします。

ブラザー純正消耗品サイトのご案内

ブラザー純正の補給品の詳細については、**ブラザー純正消耗品サイトのご案内** ボタンをクリックしてください。

関連情報

- [パソコンから印刷する\(Windows®\)](#)

パソコンから印刷する(Mac)

- 文書を印刷する (Mac)
- 印刷オプション (Mac)
- セキュリティ印刷 (Mac)
- BR-Script3 プリンタードライバー(PostScript® 3™言語エミュレーション) を使用して文書を印刷する(Mac)
- パソコンから本製品の状態を監視する (Mac)

文書を印刷する (Mac)

1. 用紙トレイに正しいサイズの内紙がセットされているかを確認します。
2. アプリケーションから、**ファイル**メニューをクリックし、**プリント**を選択します。
3. **Brother XXX-XXXX** を選択します (XXXX はお使いのモデル名)。
4. 印刷したい部数を**部数**欄に入力します。
5. **用紙サイズ**のポップアップメニューをクリックし、用紙サイズを選択します。
6. 印刷したい文書の向きに合った**方向**を選択します。
7. アプリケーションのポップアップメニューをクリックし、**印刷設定**を選択します。
印刷設定が表示されます。
8. **用紙種類**のポップアップメニューをクリックして、使用する用紙の種類を選択します。
9. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
10. **プリント**をクリックします。

✓ 関連情報

- [パソコンから印刷する\(Mac\)](#)
- [印刷オプション \(Mac\)](#)

印刷オプション (Mac)

ページ設定

ページ属性

対象プリンタ： XXX-XXXX
Brother XXX-XXXX CUPS

用紙サイズ： A4
210 x 297 mm

方向：
 縦向き 横向き

拡大縮小： 100 %

? キャンセル OK

1. 用紙サイズ

使用する用紙のサイズを選択します。一般的な用紙サイズから選択するか、カスタム用紙サイズを作成するかを選択します。

2. 方向

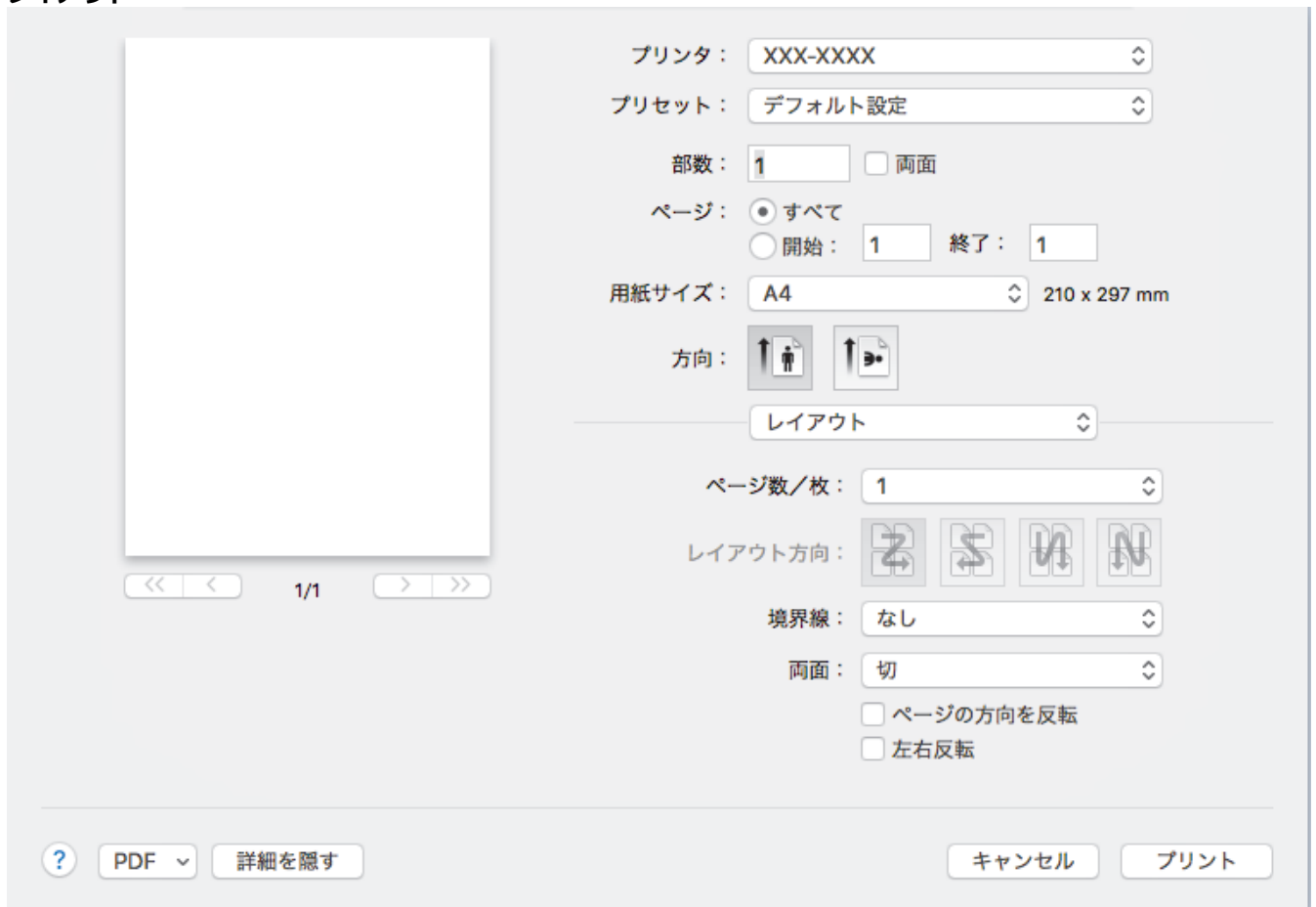
印刷の向き（縦または横）を選択します。

お使いのアプリケーションに同様の設定が備わっている場合は、アプリケーションを使用して印刷の向きを設定することをお勧めします。

3. 拡大縮小

印刷したい文書の内容を拡大または縮小し、選択した用紙サイズに合わせるには数値を入力します。

レイアウト





プリンタ： XXX-XXXX

プリセット： デフォルト設定

部数： 1 両面



ページ： すべて
 開始： 1 終了： 1

用紙サイズ： A4 210 x 297 mm

方向：  

レイアウト

ページ数/枚： 1

レイアウト方向：    

境界線： なし

両面： 切

ページの方法を反転

左右反転

? PDF 詳細を隠す キャンセル プリント

1. ページ数/枚

1枚に印刷するページ数を選択します。

2. レイアウト方向

複数ページの内容を1枚に印刷するときはページの順序を選択します。

3. 境界線

複数ページの内容を1枚に印刷するときの仕切り線の種類を選択します。

4. 両面

用紙の両面に印刷するかどうかを選択します。

5. ページの方法を反転

上下を180度回転して印刷できます。

6. 左右反転

左右を水平方向に反転して印刷できます。

用紙処理



プリンタ： XXX-XXXX

プリセット： デフォルト設定

部数： 1 両面

ページ： すべて
 開始： 1 終了： 1

用紙サイズ： A4 210 x 297 mm

方向： 縦向き 横向き

用紙処理

丁合い

プリントするページ： すべてのページ

ページの順序： 自動

用紙サイズに合わせる

出力用紙サイズ： 推奨用紙： A4

縮小のみ

? PDF 詳細を隠す キャンセル プリント

1. 丁合い

複数ページの文書を元のページの順序に合わせて印刷する場合に、選択します。選択した場合は、文書一式を一部印刷し、設定した部数に応じて残りの部数分だけ同様に印刷が繰り返されます。選択しない場合は、各ページが設定された部数だけ印刷されてから、次のページが印刷されます。

2. プリントするページ

印刷したいページ（偶数ページまたは奇数ページ）を選択します。

3. ページの順序

ページの順序を選択します。

4. 用紙サイズに合わせる

文書のページを拡大または縮小させて、印刷される用紙サイズに合わせる場合に選択します。

5. 出力用紙サイズ

印刷する用紙サイズを選択します。

6. 縮小のみ

文書サイズが選択した用紙サイズよりも大きく、縮小して印刷したい場合に選択します。この設定が選択されていても、文書サイズが選択した用紙サイズより小さい場合は、文書は元のサイズのまま印刷されます。

印刷設定

プリンタ: XXX-XXXX

プリセット: デフォルト設定

部数: 1 両面

ページ: すべて 開始: 1 終了: 1

用紙サイズ: A4 210 x 297 mm

方向: 縦向き 横向き

印刷設定

用紙種類: 普通紙

印刷品質: きれい

カラー/モノクロ: カラー/モノクロ自動切換

給紙方法: 自動選択

▶ 拡張機能

? PDF 詳細を隠す キャンセル プリント

1. 用紙種類

使用する用紙の種類を選択します。印刷品質保持のため、選択された用紙の種類に合った印刷設定を本製品が自動的に設定します。

2. 印刷品質

使用したい印刷の品質を選択します。印刷品質と印刷速度には相互関係があるため、品質が高いほど印刷速度は遅くなります。

3. カラー/モノクロ

使用する カラー/モノクロ設定を選択します。

お願い

- 本製品の カラー センサーは非常に感度が高いため、薄い黒色のテキストやオフホワイトの背景を カラーとして認識する可能性があります。印刷する文書が白黒で、 カラー トナーを節約したい場合は、**モノクロ** モードを選択してください。
- カラー 文書の印刷中に、シアン、マゼンタ、またはイエローのいずれかのトナーが切れると、印刷ジョブは完了できません。ブラックトナーが使用できる場合は、印刷ジョブをキャンセルし、もう一度 **モノクロ** モードで印刷ジョブを選択して再開してください。

4. 給紙方法

印刷状況や目的によって給紙方法の設定を選択します。

5. 拡張機能

トナー節約モード

この機能を選択すると、通常より少ない量のトナーで印刷するため、トナーを節約できます。印字は薄くなりますが、読むのに問題はありません。

印刷結果の改善

このオプションを選択すると、用紙の丸まりを軽減したり、トナーの定着を改善します。

静音モード

このオプションを選択すると、印刷時の音が軽減されます。

その他特殊機能

白紙ページの節約

このオプションを選択すると、プリンタードライバーが自動的に白紙ページを検出し、印刷から省くことができます。

カラー設定

プリンタ： XXX-XXXX

プリセット： デフォルト設定

部数： 1 両面

ページ： すべて
 開始： 1 終了： 1

用紙サイズ： A4 210 x 297 mm

方向： 縦向き 横向き

カラー設定

カラー設定： 標準
 鮮やかな色合い
 なし

▼ カラー詳細設定

明るさ	0	<input type="range"/>
コントラスト	0	<input type="range"/>
赤	0	<input type="range"/>
緑	0	<input type="range"/>
青	0	<input type="range"/>
彩度	0	<input type="range"/>

グレーの印刷を改善する
 黒色を強調して印刷する

? PDF 詳細を隠す キャンセル プrint

1. カラー設定

お好みに合わせてカラーモードを選択します。

2. カラー詳細設定

画質強調機能を選択するには、三角ボタンを押します。この機能は、画像を分析し、鮮明さ、ホワイトバランス、および色の濃さを改善します。画像サイズおよびお使いのパソコンの仕様によっては、この処理に数分かかる場合があります。

セキュリティ印刷



プリンタ： XXX-XXXX

プリセット： デフォルト設定

部数： 1 両面

ページ： すべて
 開始： 1 終了： 1

用紙サイズ： A4 210 x 297 mm

方向：  

セキュリティ印刷

セキュリティ印刷

ユーザー名：

印刷ジョブ名：

パスワード：

? PDF 詳細を隠す キャンセル プリント

1. セキュリティ印刷

この機能を使用すると、本製品のコントロールパネルでパスワードの入力を行わない限り機密文書は印刷されません。

✓ 関連情報

- パソコンから印刷する(Mac)
- 文書を印刷する (Mac)

セキュリティ印刷 (Mac)

セキュリティ印刷を使用して、機密文書や取り扱いに注意が必要な文書を印刷する場合に、本製品の操作パネルでパスワードの入力が求められるようになります。

- 本製品の電源を切ると、セキュリティデータは本製品から削除されます。

1. アプリケーションから、**ファイル**メニューをクリックし、**プリント**を選択します。
2. **Brother XXX-XXXX** を選択します (XXXX はお使いのモデル名)。
3. アプリケーションのポップアップメニューをクリックして、**セキュリティ印刷**を選択します。**セキュリティ印刷**が表示されます。
4. **セキュリティ印刷**のチェックボックスを選択します。
5. ユーザー名、印刷ジョブ名、および4桁のパスワードを入力します。
6. **プリント**をクリックします。
7. 本製品の操作パネルで、左右にフリックするか、◀または▶を押して[セキュリティ印刷]を表示し、[セキュリティ印刷]を押します。
8. 上下にフリックするか、▲または▼を押してユーザー名を表示し、お使いのユーザー名を押します。
画面には、この名前に対する安全なジョブが一覧表示されます。
9. 上下にフリックするか、▲または▼を押して印刷ジョブを表示し、印刷したい印刷ジョブを押します。
10. 4桁のパスワードを入力し、[OK]を押します。
11. 枚数を入力します。
12. [スタート]を押します。

セキュリティデータは印刷後、本製品のメモリーから削除されます。

✓ 関連情報

- [パソコンから印刷する\(Mac\)](#)

BR-Script3 プリンタードライバー(PostScript® 3™ 言語エミュレーション) を使用して文書を印刷する(Mac)

BR-Script3 プリンタードライバーを使用すると、PostScript®データをより鮮明に印刷できます。

- サポートサイト (ブラザーソリューションセンター) (support.brother.co.jp) で、ご使用モデルのソフトウェアダウンロードページから PS ドライバー (BR-Script3 プリンタードライバー) をダウンロードします。
- お使いの Mac に表示されるシステム環境設定リスト内のプリンタとスキャナまたはプリントとスキャンから、BR-Script3 プリンタードライバーを追加していることを確認します。

1. 用紙トレイに正しいサイズの用紙がセットされているかを確認します。
2. アプリケーションから、**ファイル**メニューをクリックし、**プリント**を選択します。
3. 本製品を選択します。
4. 印刷したい部数を**部数**欄に入力します。
5. **用紙サイズ**のポップアップメニューをクリックし、用紙サイズを選択します。
6. 印刷したい文書の向きに合った**方向**を選択します。
7. 印刷オプションのポップアップメニューをクリックして、**プリンタの機能**をクリックします。
プリンタの機能が表示されます。
8. **印刷品質**のポップアップメニューをクリックして、印刷の品質を選択します。
9. **用紙種類**のポップアップメニューをクリックして、使用する用紙の種類を選択します。
10. **カラー/モノクロ**の印刷設定に、**カラー/モノクロ自動切替**、**カラー**、または**モノクロ**を選択します。
11. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
12. **プリント**をクリックします。

✓ 関連情報

- [パソコンから印刷する\(Mac\)](#)

パソコンから本製品の状態を監視する (Mac)

ステータスマニターユーティリティは機器の状態を監視するためのソフトウェアツールであり、あらかじめ設定された更新間隔で、用紙切れや紙詰まりなどのエラーメッセージを即時に通知します。また、ウェブブラウザによる設定画面にアクセスすることもできます。

1. **システム環境設定**メニューをクリックして、**プリントとスキャン**または**プリンタとスキャナ**を選択してから、本製品を選択します。
2. **オプションとサブライ**ボタンをクリックします。
3. **ユーティリティ**タブをクリックし、**プリンタユーティリティを開く**ボタンをクリックします。
ステータスマニターが起動します。




ウェブ Q&A

ウェブ Q&A ボタンをクリックしてトラブルシューティングのウェブサイトアクセスします。

ブラザー純正消耗品のご案内

ブラザー純正の消耗品については、**ブラザー純正消耗品のご案内**ボタンをクリックして参照してください。

本製品の状態を更新する

ステータスマニター画面が開いているときに本製品の最新の状態を見るには、 アイコンをクリックします。ソフトウェアが製品の状態情報を更新する間隔を設定できます。メニューバーで**ブラザーステータスマニター**をクリックして、**環境設定**を選択します。


ウェブブラウザによる設定 (ネットワーク接続のみ)

ステータスマニター画面で本製品のアイコンをクリックすると、ウェブブラウザによる設定画面にアクセスします。HTTP (ハイパーテキスト転送プロトコル) を使用している本製品を、標準のウェブブラウザを使用して管理することができます。


✓ 関連情報

- [パソコンから印刷する\(Mac\)](#)

印刷ジョブをキャンセルする

1.  を押します。




複数の印刷ジョブをキャンセルするには、 を約 4 秒間押します。

関連情報

- [印刷](#)


テスト印刷

印刷品質に問題がある場合は、以下の指示に従ってテスト印刷を行います。

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [プリンター] > [プリンター オプション] > [テストプリント]を押します。



本製品のホーム画面に [全てのメニュー] が表示された場合は、 [メニュー] をスキップします。

2. [はい]を押します。
3. を押します。



関連情報

- [印刷](#)

スキャン

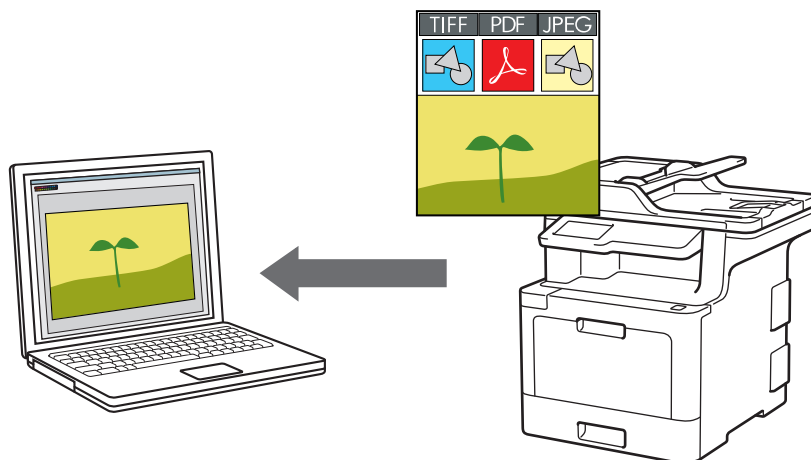
- 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする
- お使いのパソコンからスキャンする (Windows®)
- お使いのパソコンからスキャンする (Mac)
- ウェブブラウザを使用してスキャン設定を行う

本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする

- 写真やグラフィックをスキャンする
- スキャンしたデータを PDF ファイルとしてパソコンに保存する
- スキャンしたデータを USB フラッシュドライブに保存する
- 編集可能テキストファイルとしてスキャンする (OCR)
- スキャン to E メール添付
- スキャンしたデータを E メールサーバーに送信する
- スキャンしたデータを FTP サーバーに保存する
- スキャン to SSH FTP (SFTP)
- スキャンしたデータをネットワーク上のサーバーに保存する(Windows®)
- スキャン to SharePoint®
- Web サービスを使ってスキャンする (Windows® 7、Windows® 8 または Windows® 10)
- ControlCenter4 からスキャンボタン設定を変更する (Windows®)
- ControlCenter2 からスキャンボタン設定を変更する (Mac)
- 署名入り PDF の証明書を設定する
- お使いのパソコンからスキャンを無効にする


写真やグラフィックをスキャンする

スキャンした写真やグラフィックを、お使いのパソコンに直接送信します。




本製品のスキャンボタンを使って、スキャン設定を一時的に変更することができます。変更を保持する場合は、本製品の ControlCenter ソフトウェアを使用します。

1. 原稿をセットします。
2. [スキャン] > [PC] > [イメージ] を押します。
3. 本製品がネットワークを介して接続されている場合、データの送信先のパソコン名を選択します。

 パソコンの PIN 入力を要求するメッセージが画面に表示されたら、4桁の PIN を入力して、[OK] を押します。

4. 次のいずれかを行ってください。
 - スキャンの設定値を変更するには、[設定変更] を押して、次の手順に進みます。
 - 初期値のスキャン設定を使用するには、[スタート] を押します。
本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使う場合は、画面の指示に従ってスキャンジョブを完了させます。

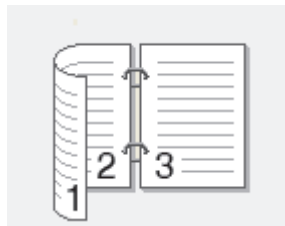
 スキャン設定を変更するには、ブラザーの ControlCenter ソフトウェアがインストールされたパソコンを本製品に接続する必要があります。

5. 原稿の両面をスキャンするには (MFC-L9570CDW) :
 - [両面スキャン] を押して、原稿の種類を選択します。

オプション

説明

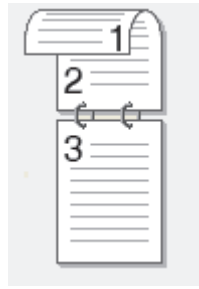
[両面スキャン: 長辺とじ原稿]



オプション

説明

[両面スキャン: 短辺とじ原稿]



6. 変更するスキャン設定を選択します。

- [解像度]
- [ファイル形式]
- [カラー設定]
- [原稿サイズ]
- [スキャン設定]
- [明るさ]
- [コントラスト]
([カラー]および[グレー]でのみ利用可能)
- [ADF 傾き補正]
- [白紙除去]
- [地色除去]
([カラー]および[グレー]でのみ利用可能)



- 本製品に [OK] ボタンが表示された場合は、[OK]を押します。
- 設定値をショートカットとして保存するには、[ショートカット登録]を押します。

7. [スタート]を押します。

本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使う場合は、画面の指示に従ってスキャンジョブを完了させます。



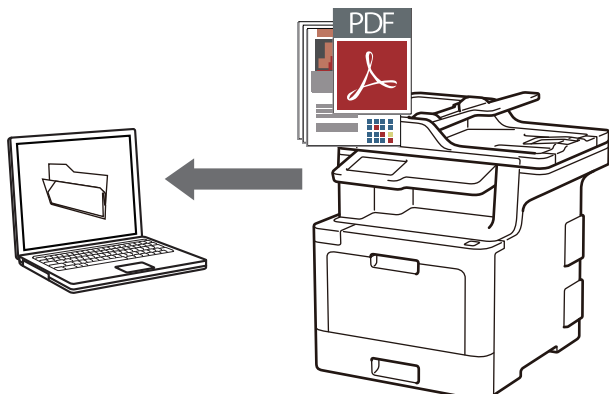
関連情報

- 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする
- ControlCenter4 からスキャンボタン設定を変更する (Windows®)
- ControlCenter2 からスキャンボタン設定を変更する (Mac)

▲ホーム > スキャン > 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする > スキャンしたデータを PDF ファイルとしてパソコンに保存する


スキャンしたデータを PDF ファイルとしてパソコンに保存する

原稿をスキャンし、お使いのパソコン上に PDF ファイルとして保存します。




本製品のスキャンボタンを使って、スキャン設定を一時的に変更することができます。変更を保持する場合は、本製品の ControlCenter ソフトウェアを使用します。

1. 原稿をセットします。
2. [スキャン] > [PC] > [ファイル] を押します。
3. 本製品がネットワークを介して接続されている場合、データの送信先のパソコン名を選択します。

 パソコンの PIN 入力を要求するメッセージが画面に表示されたら、4桁の PIN を入力して、[OK] を押します。

4. 次のいずれかを行ってください。
 - スキャンの設定値を変更するには、[設定変更] を押して、次の手順に進みます。
 - 初期値のスキャン設定を使用するには、[スタート] を押します。
本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使う場合は、画面の指示に従ってスキャンジョブを完了させます。

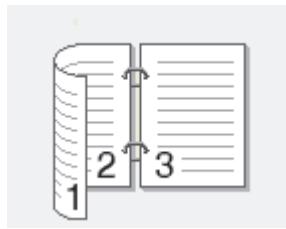
 スキャン設定を変更するには、ブラザーの ControlCenter ソフトウェアがインストールされたパソコンを本製品に接続する必要があります。

5. 原稿の両面をスキャンするには (MFC-L9570CDW) :
 - [両面スキャン] を押して、原稿の種類を選択します。

オプション

説明

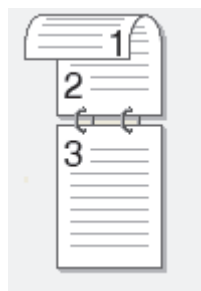
[両面スキャン: 長辺とじ原稿]



オプション

説明

[両面スキャン: 短辺とじ原稿]



6. 変更するスキャン設定を選択します。

- [解像度]
- [ファイル形式]
- [カラー設定]
- [原稿サイズ]
- [スキャン設定]
- [明るさ]
- [コントラスト]
([カラー]および[グレー]でのみ利用可能)
- [ADF 傾き補正]
- [白紙除去]
- [地色除去]
([カラー]および[グレー]でのみ利用可能)



- 本製品に [OK] ボタンが表示された場合は、[OK]を押します。
- 設定値をショートカットとして保存するには、[ショートカット登録]を押します。

7. [スタート]を押します。

本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使う場合は、画面の指示に従ってスキャンジョブを完了させます。




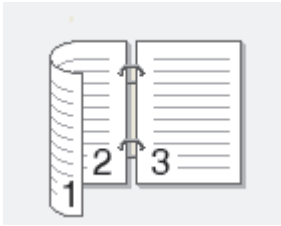
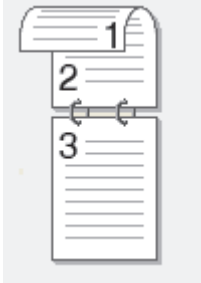
関連情報

- 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする
- ControlCenter4 からスキャンボタン設定を変更する (Windows®)
- ControlCenter2 からスキャンボタン設定を変更する (Mac)

スキャンしたデータを USB フラッシュドライブに保存する

原稿をスキャンしたデータを USB フラッシュドライブに直接保存します。

1. 原稿をセットします。
 2. USB フラッシュドライブを本製品に差し込みます。
画面の表示が自動的に変わります。
 3. [スキャン to USB] を押します。
 4. 次のいずれかを行ってください。
 - 初期値を変更するには、[設定変更] を押し、変更対象のボタンを選択します。本製品の指示に従います。
-
-  - 独自の既定値を設定するには、初期値を変更して [設定を保持する] を押し、[はい] を押します。
- お買い上げ時の設定に戻すには、[設定をリセットする] を押してから、[はい] を押します。
-
5. 原稿の両面をスキャンするには (MFC-L9570CDW) :
 - [両面スキャン] を押して、原稿の種類を選択します。

オプション	説明
[両面スキャン：長辺とじ原稿]	
[両面スキャン：短辺とじ原稿]	

6. 変更するスキャン設定を選択します。
 - [解像度]
 - [ファイル形式]
 - [カラー設定]
 - [原稿サイズ]
 - [明るさ]
 - [コントラスト]
([カラー] および [グレー] でのみ利用可能)
 - [ファイル名]
 - [ファイル名項目順序]
 - [ファイルサイズ]
 - [ADF 傾き補正]
 - [白紙除去]

- [白紙除去レベル調整]
- [地色除去]
([カラー]および[グレー]でのみ利用可能)



- 本製品に [OK] ボタンが表示された場合は、[OK]を押します。
- 設定値をショートカットとして保存するには、[ショートカット登録]を押します。

7. [スタート]を押します。



(MFC-L9570CDW)

メッセージが表示されたら、USB ホストを選択し、次の手順を選択します。

本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使う場合は、画面の指示に従ってスキャンジョブを完了させます。

重要

データの読み込み中は、画面にメッセージが表示されます。データの読み込み中は、電源コードを抜いたり、USB フラッシュドライブを取り外さないでください。データが失われたり、USB フラッシュドライブが損傷する恐れがあります。

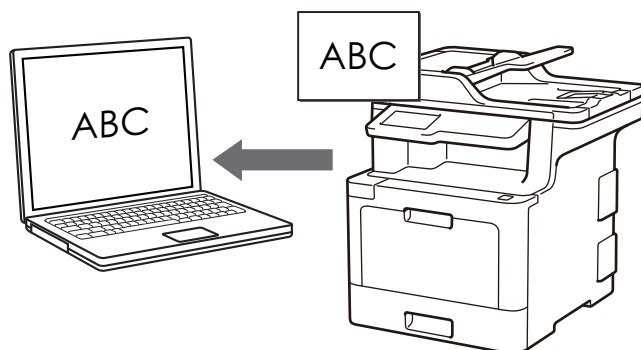


関連情報

- 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする


編集可能テキストファイルとしてスキャンする (OCR)

本製品は、OCR (光学式文字認識) の技術を使って、スキャンした原稿の文字をテキストに変換することができます。任意のテキスト編集アプリケーションを使ってこのテキストを編集できます。




- スキャン to OCR 機能は、特定の言語にのみ対応しています。
- 本製品のスキャンボタンを使って、スキャン設定を一時的に変更することができます。スキャン設定の変更を保持するためには、本製品付属のアプリケーションソフト ControlCenter を使用します。

1. 原稿をセットします。
2. [スキャン] > [PC] > [OCR] を押します。
3. 本製品がネットワークを介して接続されている場合、データの送信先のパソコン名を選択します。

 パソコンの PIN 入力を要求するメッセージが画面に表示されたら、4桁の PIN を入力して、[OK] を押しします。

4. 次のいずれかを行ってください。
 - スキャンの設定値を変更するには、[設定変更] を押して、次の手順に進みます。
 - 初期値のスキャン設定を使用するには、[スタート] を押します。
本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使う場合は、画面の指示に従ってスキャンジョブを完了させます。

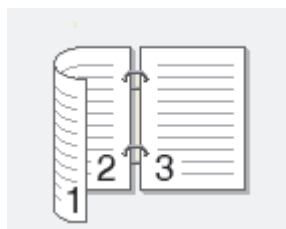
 スキャン設定を変更するには、ブラザーの ControlCenter ソフトウェアがインストールされたパソコンを本製品に接続する必要があります。

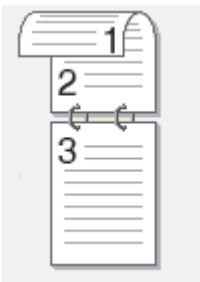
5. 原稿の両面をスキャンするには (MFC-L9570CDW) :
 - [両面スキャン] を押して、原稿の種類を選択します。

オプション

説明

[両面スキャン: 長辺とじ原稿]



オプション	説明
[両面スキャン: 短辺とじ原稿]	

6. 変更するスキャン設定を選択します。

- [解像度]
- [ファイル形式]
- [カラー設定]
- [原稿サイズ]
- [スキャン設定]
- [明るさ]
- [コントラスト]
([カラー]および[グレー]でのみ利用可能)
- [ADF 傾き補正]
- [白紙除去]
- [地色除去]
([カラー]および[グレー]でのみ利用可能)



- 本製品に [OK] ボタンが表示された場合は、[OK]を押します。
- 設定値をショートカットとして保存するには、[ショートカット登録]を押します。

7. [スタート]を押します。

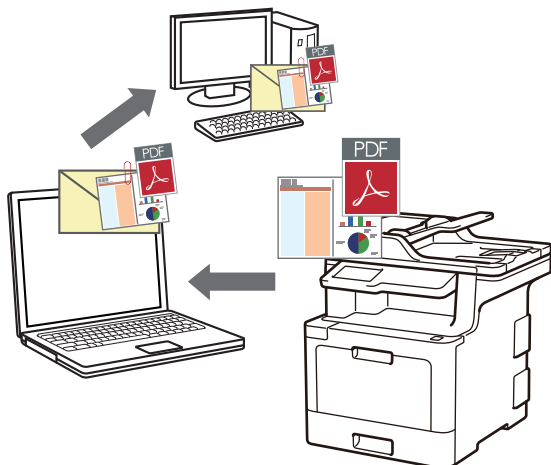
本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使う場合は、画面の指示に従ってスキャンジョブを完了させます。

✓ 関連情報

- 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする
- ControlCenter4 からスキャンボタン設定を変更する (Windows®)
- ControlCenter2 からスキャンボタン設定を変更する (Mac)

スキャン to E メール添付

パソコンのEメールソフトを起動し、スキャンしたデータを添付ファイルとして送信します。



- 本製品のスキャンボタンを使って、スキャン設定を一時的に変更することができます。変更を保持する場合は、本製品の ControlCenter ソフトウェアを使用します。
- スキャン to E メール添付機能は、Web メールサービスには対応していません。スキャン to イメージまたはスキャン to ファイル機能を使って、原稿や写真をスキャンして、パソコンに保存してください。保存したデータファイルを Web メールに添付してください。



パソコンの初期設定で起動するように指定されている E メールソフトにスキャンデータを送信します。

1. 原稿をセットします。
2. [スキャン] > [PC] > [E メール添付] を押します。
3. 本製品がネットワークを介して接続されている場合、データの送信先のパソコン名を選択します。



パソコンの PIN 入力を要求するメッセージが画面に表示されたら、4桁の PIN を入力して、[OK] を押します。

4. 次のいずれかを行ってください。
 - スキャンの設定値を変更するには、[設定変更] を押して、次の手順に進みます。
 - 初期値のスキャン設定を使用するには、[スタート] を押します。
本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使う場合は、画面の指示に従ってスキャンジョブを完了させます。



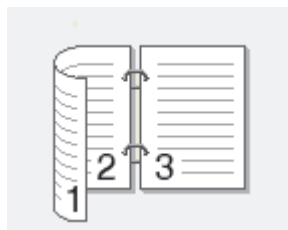
スキャン設定を変更するには、ブラザーの ControlCenter ソフトウェアがインストールされたパソコンを本製品に接続する必要があります。

5. 原稿の両面をスキャンするには (MFC-L9570CDW) :
 - [両面スキャン] を押して、原稿の種類を選択します。

オプション

説明

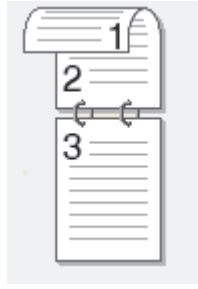
[両面スキャン: 長辺とじ原稿]



オプション

説明

[両面スキャン: 短辺とじ原稿]



6. 変更するスキャン設定を選択します。

- [解像度]
- [ファイル形式]
- [カラー設定]
- [原稿サイズ]
- [スキャン設定]
- [明るさ]
- [コントラスト]
([カラー] および [グレー] でのみ利用可能)
- [ADF 傾き補正]
- [白紙除去]
- [地色除去]
([カラー] および [グレー] でのみ利用可能)



- 本製品に [OK] ボタンが表示された場合は、[OK] を押します。
- 設定値をショートカットとして保存するには、[ショートカット登録] を押します。

7. [スタート] を押します。

本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使う場合は、画面の指示に従ってスキャンジョブを完了させます。



関連情報

- 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする
- ControlCenter4 からスキャンボタン設定を変更する (Windows®)
- ControlCenter2 からスキャンボタン設定を変更する (Mac)

スキャンしたデータを E メールサーバーに送信する

パソコンを使用せずに、スキャンしたデータを本製品から E メールサーバーへ直接送信します。

- (MFC-L8610CDW)
この機能を使うには、サポートサイト (ブラザーソリューションセンター) (support.brother.co.jp) で、本モデルの**ソフトウェアダウンロード**ページを表示し、本製品のファームウェアまたは本製品で使用しているプログラムを更新してください。
- スキャンしたデータを E-mail サーバーに送信するには、お使いのネットワークおよびメールサーバーと通信するように本製品を設定する必要があります。これらの設定は、本製品の操作パネル、ウェブブラウザ、リモートセットアップ、または BRAdmin Professional から行うことができます。

1. 原稿をセットします。
2. [スキャン] > [E メール送信] を押します。



- E メールアドレスをユーザー ID と共に登録している場合、セキュリティ機能ロック、Active Directory®、または LDAP 認証を使用して本製品にログインすると、[自分宛]が表示されます。
- お使いの E メールアドレスにスキャンしたデータを送信するには、[自分宛]を押します。E メールアドレスが画面に表示されたら、[OK]を押します。
- ウェブブラウザでこの機能を有効にするには、**スキャン** タブをクリックし、左側にあるナビゲーションバーの **スキャン to E メール** をクリックします。**自分宛に送信** 欄で、**オン** を選択します。

3. 以下のいずれかを行って、宛先 E-mail アドレスを入力します。
 - E-mail アドレスを手動で入力するには、[手動入力]を押して、画面に表示されるキーボードを使用して入力します。入力後、[OK]を押します。
 - E メールアドレスが本製品のアドレス帳に保存されている場合は、[電話帳]を押して、該当のアドレスを選択します。
[OK]を押します。
4. E-mail アドレスを確認し、[次へ]を押します。
5. 次のいずれかを行ってください。
 - 初期値を変更するには、[設定変更]を押し、変更対象のボタンを選択します。本製品の指示に従います。



- 独自の既定値を設定するには、初期値を変更して [設定を保持する] を押し、[はい] を押します。
- お買い上げ時の設定に戻すには、[設定をリセットする] を押してから、[はい] を押します。

6. 原稿の両面をスキャンするには (MFC-L9570CDW) :
 - [両面スキャン] を押して、原稿の種類を選択します。

オプション

説明

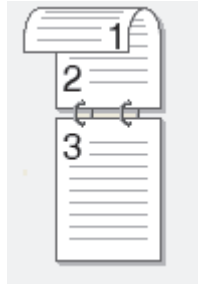
[両面スキャン: 長辺とじ原稿]



オプション

説明

[両面スキャン: 短辺とじ原稿]



7. 変更するスキャン設定を選択します。

- [解像度]
- [ファイル形式]
- [カラー設定]
- [原稿サイズ]
- [明るさ]
- [コントラスト]
([カラー]および[グレー]でのみ利用可能)
- [ファイル名]
- [ファイル名項目順序]
- [ファイルサイズ]
- [ADF 傾き補正]
- [白紙除去]
- [白紙除去レベル調整]
- [地色除去]
([カラー]および[グレー]でのみ利用可能)



- 本製品に [OK] ボタンが表示された場合は、[OK]を押します。
- 設定値をショートカットとして保存するには、[ショートカット登録]を押します。
(本製品の状態によっては、本機能をご利用いただけない場合があります。)

8. [スタート]を押します。

本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使う場合は、画面の指示に従ってスキャンジョブを完了させます。



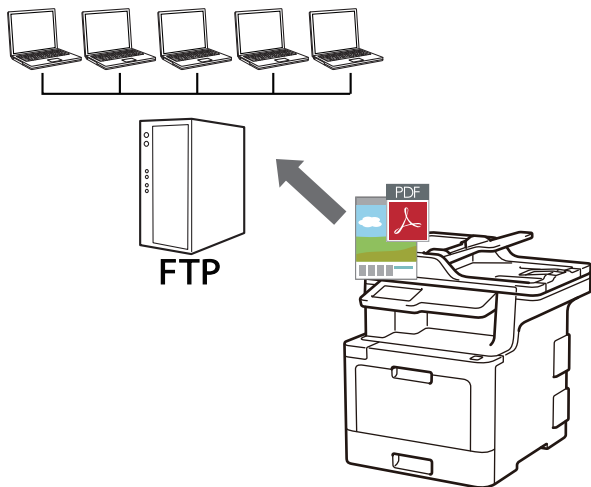
関連情報

- [本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする](#)

▲ホーム > スキャン > 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする > スキャンしたデータを FTP サーバーに保存する

スキャンしたデータを FTP サーバーに保存する

スキャンしたデータを共有する必要がある場合、原稿をスキャンして FTP サーバーに直接送ることができます。プロファイルを設定して、任意のスキャン to FTP の送信先を保存することもできます。




- スキャン to FTP プロファイルを設定する
- スキャンしたデータを FTP サーバーに送信する

スキャン to FTP プロファイルを設定する

スキャン to FTP プロファイルを設定し、スキャンしたデータを指定の FTP サーバーに直接送ることができます。

Windows®の場合は、Microsoft®Internet Explorer® 11 を、Mac の場合は、Safari 9 のブラウザーのご使用をお勧めします。どのウェブブラウザーの場合も、JavaScript および CSS を有効にして使用してください。

1. ウェブブラウザーを起動します。
ブラウザーのアドレス欄に「http://製品の IP アドレス」を入力します（「製品の IP アドレス」の部分には本製品の IP アドレスまたはプリントサーバー名を入力します）。例：http://192.168.1.2
初期設定ではパスワードは必要ありません。以前にパスワード設定をしている場合は、そのパスワードを入力し、をクリックします。
2. **スキャン**タブをクリックします。
3. 左側にあるナビゲーションバーの**スキャン to FTP/SFTP/ネットワークファイル/SharePoint**メニューをクリックします。
4. **FTP** を選択して、**OK** をクリックします。

スキャン to FTP/SFTP/ネットワークファイル/SharePoint

プロファイル 1	<input checked="" type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 2	<input checked="" type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 3	<input checked="" type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 4	<input checked="" type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 5	<input checked="" type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 6	<input checked="" type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 7	<input checked="" type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 8	<input checked="" type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 9	<input checked="" type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 10	<input checked="" type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 11	<input checked="" type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 12	<input checked="" type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 13	<input checked="" type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 14	<input checked="" type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 15	<input checked="" type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 16	<input checked="" type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 17	<input checked="" type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 18	<input checked="" type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 19	<input checked="" type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 20	<input checked="" type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 21	<input checked="" type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 22	<input checked="" type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 23	<input checked="" type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 24	<input checked="" type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 25	<input checked="" type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint

自分のフォルダに送信

オフ オン

この機能をご利用いただくためには、Active Directory認証、もしくはLDAP認証の設定が必要です。

キャンセル OK

5. 左側にあるナビゲーションバーの **FTP/SFTP/ネットワークファイル/SharePoint スキャン** プロファイルメニューをクリックします。
6. 設定または変更したいプロファイルを選択します。
7. **プロファイル名** 欄に、該当サーバープロファイル名を入力します（15 文字以下の英数字）。本製品の画面上に入力した名称が表示されます。
8. **サーバー アドレス** 欄に、サーバーのドメイン名（例：ftp.example.com、64 文字以下）、または IP アドレス（例：192.23.56.189）を入力します。
9. FTP サーバーへアクセスするための **ポート番号** を設定します。お買い上げ時の設定はポート 21 です。ほとんどの場合この設定を変更する必要はありません。
10. **ユーザー名** 欄に、FTP サーバーへのデータの書き込みが許可されているユーザー名（32 文字以下）を入力します。
11. **パスワード** 欄で入力したユーザー名のパスワード（32 文字以下）を、**ユーザー名** に入力します。**パスワード 確認** 欄にパスワードを再入力します。
12. SSL/TLS 通信を使用して安全にスキャンを行うには、**SSL/TLS** を設定します。必要に応じて **CA 証明書** 設定を変更します。

13. **転送先フォルダー**欄に、スキャンデータの送信先である FTP サーバー上のフォルダーのパスを入力します。アドレスの最初にスラッシュを入力しないでください (例参照)。

転送先フォルダー

brother/abc

14. **ファイル名**のドロップダウンリストをクリックして、あらかじめ指定された名称、または、ユーザー定義を選択します。ここで選択した名称が、スキャンしたデータのファイル名の先頭につき、「選択した名称+原稿台/ADF の 6 桁カウンター+拡張子」がファイル名となります。(例 : 「Estimate_098765.pdf」)
15. **画質**のドロップダウンリストをクリックして、画質を選択します。**本体で設定**を選択した場合、スキャンプロファイルを使用する度に、設定を選択するよう本製品の画面に表示されます。
16. **ファイル形式**のドロップダウンリストをクリックして、スキャンしたデータを保存するときのファイル形式を選択します。**本体で設定**を選択した場合、スキャンプロファイルを使用する度に、設定を選択するよう本製品の画面に表示されます。
17. **原稿サイズ**ドロップダウンリストをクリックして、リストから原稿サイズを選択します。スキャンする原稿のサイズが正しいかどうかを確認します。
18. **ファイルサイズ**のドロップダウンリストをクリックして、一覧からファイルサイズを選択します。
19. **地色除去**のドロップダウンリストをクリックして、一覧からレベルを選択します。原稿の背景にある地色を取り除き、スキャンしたデータをより見やすくすることができます。
20. FTP サーバーおよびファイアウォール設定に応じて、**パッシブモード**のオフ/オン設定を切り替えます。お買い上げ時の設定ではオンになっています。ほとんどの場合この設定を変更する必要はありません。
21. **OK** をクリックします。



?、/、\、"、:、<、>、|、*等の文字を使用すると、送信エラーが起こることがあります。



関連情報

- スキャンしたデータを FTP サーバーに保存する

スキャンしたデータを FTP サーバーに送信する

スキャンした情報を FTP サーバーへ保存して共有します。

1. 原稿をセットします。
2. [スキャン] > [(S) FTP サーバー] を押します。
3. ウェブブラウザを使用してセットアップしたサーバーのプロファイルが、覧表示されます。使用するプロファイルを選択します。プロファイルが完全ではない場合（例えば、ログオンアカウント名およびパスワードが存在しない、または品質やファイルの種類が指定されていない）、必要な情報の入力を求められます。
4. [スタート] を押します。

本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使う場合は、画面の指示に従ってスキャンジョブを完了させます。

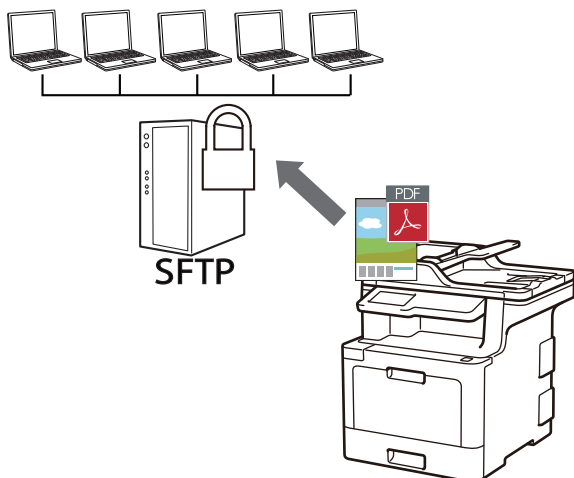


関連情報

- [スキャンしたデータを FTP サーバーに保存する](#)

スキャン to SSH FTP (SFTP)

原稿をスキャンし、SFTP サーバーに直接送信します。SFTP サーバーは、FTP サーバーよりもセキュリティが強化されたサーバーです。さらに便利にするために、異なるプロファイルを設定して、任意のスキャン to SFTP の送信先を保存します。




- スキャン to SFTP プロファイルを設定する
- ウェブブラウザを使用してクライアント鍵のペアを作成する
- ウェブブラウザを使用してクライアント鍵ペアをエクスポートする
- ウェブブラウザを使用してサーバーの公開鍵をインポートする
- スキャンしたデータを SFTP サーバーにアップロードする

スキャン to SFTP プロファイルを設定する

スキャン to SFTP プロファイルを設定して、スキャンしたデータを SFTP の場所に直接アップロードします。

Windows®の場合は、Microsoft®Internet Explorer® 11 を、Mac の場合は、Safari 9 のブラウザーのご使用をお勧めします。どのウェブブラウザーの場合も、JavaScript および CSS を有効にして使用してください。

1. ウェブブラウザーを起動します。
ブラウザーのアドレス欄に「http://製品の IP アドレス」を入力します（「製品の IP アドレス」の部分には本製品の IP アドレスまたはプリントサーバー名を入力します）。例：http://192.168.1.2
初期設定ではパスワードは必要ありません。以前にパスワード設定をしている場合は、そのパスワードを入力し、をクリックします。
2. **スキャン**タブをクリックします。
3. 左側にあるナビゲーションバーの**スキャン to FTP/SFTP/ネットワークファイル/SharePoint**メニューをクリックします。
4. **SFTP** を選択し、**OK** をクリックします。

スキャン to FTP/SFTP/ネットワークファイル/SharePoint

プロファイル 1	<input type="radio"/> FTP <input checked="" type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 2	<input type="radio"/> FTP <input checked="" type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 3	<input type="radio"/> FTP <input checked="" type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 4	<input type="radio"/> FTP <input checked="" type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 5	<input type="radio"/> FTP <input checked="" type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 6	<input type="radio"/> FTP <input checked="" type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 7	<input type="radio"/> FTP <input checked="" type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 8	<input type="radio"/> FTP <input checked="" type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 9	<input type="radio"/> FTP <input checked="" type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 10	<input type="radio"/> FTP <input checked="" type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 11	<input type="radio"/> FTP <input checked="" type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 12	<input type="radio"/> FTP <input checked="" type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 13	<input type="radio"/> FTP <input checked="" type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 14	<input type="radio"/> FTP <input checked="" type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 15	<input type="radio"/> FTP <input checked="" type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 16	<input type="radio"/> FTP <input checked="" type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 17	<input type="radio"/> FTP <input checked="" type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 18	<input type="radio"/> FTP <input checked="" type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 19	<input type="radio"/> FTP <input checked="" type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 20	<input type="radio"/> FTP <input checked="" type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 21	<input type="radio"/> FTP <input checked="" type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 22	<input type="radio"/> FTP <input checked="" type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 23	<input type="radio"/> FTP <input checked="" type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 24	<input type="radio"/> FTP <input checked="" type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 25	<input type="radio"/> FTP <input checked="" type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint

自分のフォルダに送信

オフ オン

この機能をご利用いただくためには、Active Directory認証、もしくはLDAP認証の設定が必要です。

キャンセル OK

5. 左側にあるナビゲーションバーの **FTP/SFTP/ネットワークファイル/SharePoint スキャン** プロファイルメニューをクリックします。
6. 設定または変更したいプロファイルを選択します。
7. **プロファイル名** 欄に、該当サーバープロファイル名を入力します（15文字以下の英数字）。本製品の画面上に入力した名称が表示されます。
8. **サーバー アドレス** 欄に、ホストアドレス（sftp.example.com など。最大 64 文字）、または IP アドレス（192.23.56.189 など）を入力します。
9. **ユーザー名** 欄に、SFTP サーバーへの書き込み許可を持つユーザー名（最大 32 文字）を入力します。
10. **認証方法** 欄で、**パスワード** または **公開鍵** を選択します。
11. 次のいずれかを行ってください。
 - ・ **パスワード** を選択した場合、**ユーザー名** 欄に入力したユーザー名に対するパスワード（最大 32 文字）を入力します。**パスワード確認** 欄にもう一度パスワードを入力します。
 - ・ **公開鍵** を選択した場合、**クライアント鍵ペア** ドロップダウンリストから、認証の種類を選択します。
12. **サーバー公開鍵** ドロップダウンリストから認証の種類を選択します。

13. **転送先フォルダー**欄に、スキャンデータの送信先である SFTP サーバー上のフォルダーのパスを入力します。アドレスの最初にスラッシュを入力しないでください (例参照)。

転送先フォルダー

brother/abc

14. **ファイル名**のドロップダウンリストをクリックして、あらかじめ指定された名称、または、ユーザー定義を選択します。ここで選択した名称が、スキャンしたデータのファイル名の先頭につき、「選択した名称+原稿台/ADF の 6 桁カウンター+拡張子」がファイル名となります。(例:「Estimate_098765.pdf」)
15. **画質**のドロップダウンリストをクリックして、画質を選択します。**本体で設定**を選択した場合、スキャンプロファイルを使用する度に、設定を選択するよう本製品の画面に表示されます。
16. **ファイル形式**のドロップダウンリストをクリックして、スキャンしたデータを保存するときのファイル形式を選択します。**本体で設定**を選択した場合、スキャンプロファイルを使用する度に、設定を選択するよう本製品の画面に表示されます。
17. **原稿サイズ**ドロップダウンリストをクリックして、リストから原稿サイズを選択します。スキャンする原稿のサイズが正しいかどうかを確認します。
18. **ファイルサイズ**のドロップダウンリストをクリックして、一覧からファイルサイズを選択します。
19. **地色除去**のドロップダウンリストをクリックして、一覧からレベルを選択します。原稿の背景にある地色を取り除き、スキャンしたデータをより見やすくすることができます。
20. SFTP サーバーへアクセスする際に適用される**ポート番号**設定を変更することができます。お買い上げ時の設定はポート 22 です。ほとんどの場合この設定を変更する必要はありません。
21. **OK** をクリックします。



?、/、\、"、:、<、>、|、*等の文字を使用すると、送信エラーが起こることがあります。



関連情報

- スキャン to SSH FTP (SFTP)

ウェブブラウザを使用してクライアント鍵のペアを作成する

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「http://製品の IP アドレス」を入力します(「製品の IP アドレス」には本製品の IP アドレスを入力します)。

例：

http://192.168.1.2



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

- 例：

http://SharedPrinter


NetBIOS 名を有効にしている場合、ノード名も使用できます。

- 例：

http://brnxxxxxxxxxxxx

NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

- Mac の場合、**ステータスマニター**画面に表示される本製品アイコンをクリックして、ウェブブラウザ経由でアクセスします。

3. お買い上げ時はパスワードは必要ありません。パスワードを設定している場合はパスワードを入力し、をクリックします。
4. **ネットワーク**タブをクリックします。
5. **セキュリティ**タブをクリックします。
6. 左側にあるナビゲーションバーの**クライアント鍵ペア**をクリックします。
7. **クライアント鍵ペアの作成**をクリックします。
8. **クライアント鍵ペア名**欄に、任意の名前を入力します (最大 20 文字)。
9. **公開鍵アルゴリズム**ドロップダウンリストをクリックして、対象のアルゴリズムを選択します。
10. **OK** をクリックします。

クライアント鍵のペアが作成され、本製品のメモリーに保存されます。クライアント鍵のペア名と公開鍵のアルゴリズムは、**クライアント鍵ペア一覧**に表示されます。



関連情報

- [スキャン to SSH FTP \(SFTP\)](#)

ウェブブラウザを使用してクライアント鍵ペアをエクスポートする

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「http://製品の IP アドレス」を入力します(「製品の IP アドレス」には本製品の IP アドレスを入力します)。

例：

http://192.168.1.2



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

- 例：

http://SharedPrinter


NetBIOS 名を有効にしている場合、ノード名も使用できます。

- 例：

http://brnxxxxxxxxxxxxx

NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

- Mac の場合、**ステータスマニター**画面に表示される本製品アイコンをクリックして、ウェブブラウザ経由でアクセスします。

3. お買い上げ時はパスワードは必要ありません。パスワードを設定している場合はパスワードを入力し、をクリックします。
4. **ネットワーク**タブをクリックします。
5. **セキュリティ**タブをクリックします。
6. 左側にあるナビゲーションバーの**クライアント鍵ペア**をクリックします。
7. **クライアント鍵ペア一覧**に示される**公開鍵のエクスポート**をクリックします。
8. **OK** をクリックします。
9. ファイルの保存先を指定します。

クライアント鍵ペアがお使いのパソコンにエクスポートされます。



関連情報

- [スキャン to SSH FTP \(SFTP\)](#)

ウェブブラウザを使用してサーバーの公開鍵をインポートする

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「http://製品の IP アドレス」を入力します(「製品の IP アドレス」には本製品の IP アドレスを入力します)。

例：

http://192.168.1.2



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

- 例：

http://SharedPrinter


NetBIOS 名を有効にしている場合、ノード名も使用できます。

- 例：

http://brnxxxxxxxxxxxx

NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

- Mac の場合、**ステータスマニター**画面に表示される本製品アイコンをクリックして、ウェブブラウザ経由でアクセスします。

3. お買い上げ時はパスワードは必要ありません。パスワードを設定している場合はパスワードを入力し、をクリックします。
4. **ネットワーク**タブをクリックします。
5. **セキュリティ**タブをクリックします。
6. 左側にあるナビゲーションバーの**サーバー公開鍵**をクリックします。
7. **サーバー公開鍵のインポート**をクリックします。
8. インポートするファイルを指定します。
9. **OK** をクリックします。

サーバーの公開鍵が本製品にインポートされます。



関連情報

- [スキャン to SSH FTP \(SFTP\)](#)

スキャンしたデータを SFTP サーバーにアップロードする

1. 原稿をセットします。
2. [スキャン] > [(S)FTP サーバー] を押します。
3. ウェブブラウザを使用してセットアップしたサーバーのプロファイルが、覧表示されます。使用するプロファイルを選択します。プロファイルが完全ではない場合（例えば、ログオンアカウント名およびパスワードが存在しない、または品質やファイルの種類が指定されていない）、必要な情報の入力を求められます。
4. [スタート] を押します。

本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使う場合は、画面の指示に従ってスキャンジョブを完了させます。

✓ 関連情報

- [スキャン to SSH FTP \(SFTP\)](#)

▲ホーム > スキャン > 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする > スキャンしたデータをネットワーク上のサーバーに保存する(Windows®)

スキャンしたデータをネットワーク上のサーバーに保存する(Windows®)

スキャンしたデータを、ネットワーク上の CIFS サーバーに直接送ることができます。プロファイルを設定して、任意のスキャン to ネットワークの送信先を保存することもできます。

- スキャン to ネットワークプロファイルを設定する
- スキャンしたデータを CIFS サーバーに送信する

▲ホーム > スキャン > 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする > スキャンしたデータをネットワーク上のサーバーに保存する(Windows®) > スキャン to ネットワークプロファイルを設定する


スキャン to ネットワークプロファイルを設定する

スキャン to ネットワークのプロファイルを設定し、スキャンしたデータを指定の CIFS サーバーに直接送ることができます。

Windows®の場合は、Microsoft®Internet Explorer® 11 を、Mac の場合は、Safari 9 のブラウザのご使用をお勧めします。どのウェブブラウザの場合も、JavaScript および CSS を有効にして使用してください。

1. ウェブブラウザを起動します。

ブラウザのアドレス欄に「http://製品の IP アドレス」を入力します（「製品の IP アドレス」の部分には本製品の IP アドレスまたはプリントサーバー名を入力します）。例：http://192.168.1.2

初期設定ではパスワードは必要ありません。以前にパスワード設定をしている場合は、そのパスワードを入力し、をクリックします。

2. **スキャン**タブをクリックします。

3. 左側にあるナビゲーションバーの**スキャン to FTP/SFTP/ネットワークファイル/SharePoint**メニューをクリックします。

4. **ネットワーク**を選択し、**OK** をクリックします。

スキャン to FTP/SFTP/ネットワークファイル/SharePoint

プロファイル 1	<input type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input checked="" type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 2	<input type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input checked="" type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 3	<input type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input checked="" type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 4	<input type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input checked="" type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 5	<input type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input checked="" type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 6	<input type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input checked="" type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 7	<input type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input checked="" type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 8	<input type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input checked="" type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 9	<input type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input checked="" type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 10	<input type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input checked="" type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 11	<input type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input checked="" type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 12	<input type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input checked="" type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 13	<input type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input checked="" type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 14	<input type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input checked="" type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 15	<input type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input checked="" type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 16	<input type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input checked="" type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 17	<input type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input checked="" type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 18	<input type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input checked="" type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 19	<input type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input checked="" type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 20	<input type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input checked="" type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 21	<input type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input checked="" type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 22	<input type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input checked="" type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 23	<input type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input checked="" type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 24	<input type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input checked="" type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint
プロファイル 25	<input type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input checked="" type="radio"/> ネットワーク <input type="radio"/> SharePoint

自分のフォルダに送信

オフ オン

この機能をご利用いただくためには、Active Directory認証、もしくはLDAP認証の設定が必要です。

5. 左側にあるナビゲーションバーの **FTP/SFTP/ネットワークファイル/SharePoint スキャン** プロファイルメニューをクリックします。
6. 設定または変更したいプロファイルを選択します。
7. CIFS サーバー上の指定したフォルダーにデータを送信するには、**自分のフォルダに送信** 欄で **オン** を選択します。
8. **プロファイル名** 欄に、該当サーバープロファイル名を入力します（15 文字以下の英数字）。本製品の画面上に入力した名称が表示されます。
9. **ネットワークフォルダパス** 欄に、スキャンデータの送信先である CIFS サーバー上のフォルダーのパスを入力します。
10. **ファイル名** のドロップダウンリストをクリックして、あらかじめ指定された名称、または、ユーザー定義を選択します。ここで選択した名称が、スキャンしたデータのファイル名の先頭につき、「選択した名称+原稿台/ADF の 6 桁カウンター+拡張子」がファイル名となります。（例：「Estimate_098765.pdf」）
11. **画質** のドロップダウンリストをクリックして、画質を選択します。**本体で設定** を選択した場合、スキャンプロファイルを使用する度に、設定を選択するよう本製品の画面に表示されます。

12. **ファイル形式**のドロップダウンリストをクリックして、スキャンしたデータを保存するときのファイル形式を選択します。**本体で設定**を選択した場合、スキャンプロファイルを使用する度に、設定を選択するよう本製品の画面に表示されます。
13. **原稿サイズ**ドロップダウンリストをクリックして、リストから原稿サイズを選択します。スキャンする原稿のサイズが正しいかどうかを確認します。
14. **ファイルサイズ**のドロップダウンリストをクリックして、一覧からファイルサイズを選択します。
15. **地色除去**のドロップダウンリストをクリックして、一覧からレベルを選択します。原稿の背景にある地色を取り除き、スキャンしたデータをより見やすくすることができます。
16. このプロファイルを PIN で保護するには、**接続時にパスワード認証を行う**欄で、**オン**を選びます。
17. **オン**欄で**接続時にパスワード認証を行う**を選択した場合、**接続パスワード**欄に 4 桁の PIN を入力します。
18. 認証方式を設定するには、**自動**から **Kerberos**、**NLMv2**、または**認証方法**を選択します。
19. **ユーザー名**欄で指定したフォルダーへの書き込み許可を持つユーザー名（最大 96 文字）を、**ネットワークフォルダパス**欄に入力します。ユーザー名がドメインの一部である場合、以下のいずれかの形式でユーザー名を入力します。
user@domain
ドメイン名\ユーザー名
20. **パスワード**欄で入力したユーザー名のパスワード（32 文字以下）を、**ユーザー名**に入力します。**パスワード確認**欄にパスワードを再入力します。
21. Kerberos サーバーアドレスを手動で設定するには、**Kerberos サーバーアドレス**欄に、Kerberos サーバーアドレスを入力します（最大 64 文字。例：kerberos.example.com）。
22. **OK** をクリックします。



?、/、\、"、:、<、>、|、*等の文字を使用すると、送信エラーが起こることがあります。

23. すべての認証方法に対して、SNTP プロトコル(ネットワークタイムサーバー)を設定するか、操作パネルで日時とタイムゾーンを正確に設定する必要があります。時間は、Kerberos サーバーおよび CIFS サーバーで使用される時間と一致させる必要があります。



関連情報

- スキャンしたデータをネットワーク上のサーバーに保存する(Windows®)
- ウェブブラウザを使用して日時を設定する

▲ホーム > スキャン > 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする > スキャンしたデータをネットワーク上のサーバーに保存する(Windows®) > スキャン to ネットワークプロファイルを設定する > ウェブブラウザを使用して日時を設定する

ウェブブラウザを使用して日時を設定する

日時およびタイムゾーンの設定値をウェブブラウザまたは操作パネルを使用して正しく設定し、認証を行うサーバーが使用する時間と本製品の時間が必ず一致するようにします。

ウェブブラウザによる設定画面が開いている場合は、手順 1 を行いません。

1. ウェブブラウザを起動します。

ブラウザのアドレス欄に「http://製品の IP アドレス」を入力します（「製品の IP アドレス」の部分には本製品の IP アドレスまたはプリントサーバー名を入力します）。例：http://192.168.1.2

初期設定ではパスワードは必要ありません。以前にパスワード設定をしている場合は、そのパスワードを入力し、をクリックします。

2. 管理者設定タブをクリックします。
3. 左側にあるナビゲーションバーの時計設定メニューをクリックします。

時計設定

日付	2016 / 01 / 01
時間	03 : 37 24時間制
タイムゾーン	UTC+09:00

SNTPサーバーと同期する

本機能を使用するためには
SNTPサーバーの設定が必要です。

[SNTP>>](#)

4. 日付欄に日付を入力します。
5. 時計表示欄から時間の種類を選択します（一部の国でのみ利用可能）。
6. 時間欄に時間を入力します。
7. タイムゾーンドロップダウンリストから、現在の地域と UTC との時差を選択します。例えば、米国およびカナダの東部時間のタイムゾーンは、UTC-05:00 となります。
8. サマータイム欄でオンをクリックして、サマータイムに合わせて自動的に時間が変更されるように本製品を設定します。この設定により、春には1時間早め、秋には1時間遅らせるよう、自動的にリセットされます（一部の国でのみ利用可能）。
9. OK をクリックします。

✓ 関連情報

- [スキャン to ネットワークプロファイルを設定する](#)

▲ホーム > スキャン > 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする > スキャンしたデータをネットワーク上のサーバーに保存する(Windows®) > スキャンしたデータを CIFS サーバーに送信する

スキャンしたデータを CIFS サーバーに送信する

1. 原稿をセットします。
2. [スキャン] > [ネットワーク] を押します。



- ユーザー ID を登録している場合、Active Directory®または LDAP 認証を使用して本製品にログインすると、[自分のフォルダ]が表示されます。
- CIFS サーバー上の指定したフォルダーにスキャンしたデータを送信するには、[自分のフォルダ]を押します。
- ウェブブラウザでこの機能を有効にするには、**スキャン** タブをクリックし、左側にあるナビゲーションバーの **スキャン to FTP/SFTP/ネットワークファイル/SharePoint** をクリックします。 **自分のフォルダに送信** 欄で、**オン**を選択します。

3. ウェブブラウザを使用してセットアップしたサーバーのプロファイルが、覧表示されます。使用するプロファイルを選択します。プロファイルが完全ではない場合（例えば、ログオンアカウント名およびパスワードが存在しない、または品質やファイルの種類が指定されていない）、必要な情報の入力を求められます。
4. [スタート]を押します。

本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使う場合は、画面の指示に従ってスキャンジョブを完了させます。



関連情報

- [スキャンしたデータをネットワーク上のサーバーに保存する\(Windows®\)](#)

スキャン to SharePoint®


スキャンした情報を共有する必要がある場合、原稿をスキャンして、SharePoint®サーバーに直接送信します。さらに便利な使用方法として、異なるプロファイルを設定して、任意のスキャン to SharePoint®の送信先を保存します。

- スキャン to SharePoint®プロファイルを設定する
- スキャンしたデータを SharePoint®サーバーにアップロードする

スキャン to SharePoint®プロファイルを設定する

スキャン to SharePoint®プロファイルを設定してスキャンし、スキャンしたデータを SharePoint®の指定先に直接アップロードします。

Windows®の場合は、Microsoft®Internet Explorer® 11 を、Mac の場合は、Safari 9 のブラウザーのご使用をお勧めします。どのウェブブラウザーの場合も、JavaScript および CSS を有効にして使用してください。

1. ウェブブラウザーを起動します。
ブラウザーのアドレス欄に「http://製品の IP アドレス」を入力します（「製品の IP アドレス」の部分には本製品の IP アドレスまたはプリントサーバー名を入力します）。例：http://192.168.1.2
初期設定ではパスワードは必要ありません。以前にパスワード設定をしている場合は、そのパスワードを入力し、をクリックします。
2. **スキャン**タブをクリックします。
3. 左側にあるナビゲーションバーの**スキャン to FTP/SFTP/ネットワークファイル/SharePoint**メニューをクリックします。
4. **SharePoint** を選択し、**OK** をクリックします。

スキャン to FTP/SFTP/ネットワークファイル/SharePoint

プロファイル 1	<input type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input checked="" type="radio"/> SharePoint
プロファイル 2	<input type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input checked="" type="radio"/> SharePoint
プロファイル 3	<input type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input checked="" type="radio"/> SharePoint
プロファイル 4	<input type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input checked="" type="radio"/> SharePoint
プロファイル 5	<input type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input checked="" type="radio"/> SharePoint
プロファイル 6	<input type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input checked="" type="radio"/> SharePoint
プロファイル 7	<input type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input checked="" type="radio"/> SharePoint
プロファイル 8	<input type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input checked="" type="radio"/> SharePoint
プロファイル 9	<input type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input checked="" type="radio"/> SharePoint
プロファイル 10	<input type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input checked="" type="radio"/> SharePoint
プロファイル 11	<input type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input checked="" type="radio"/> SharePoint
プロファイル 12	<input type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input checked="" type="radio"/> SharePoint
プロファイル 13	<input type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input checked="" type="radio"/> SharePoint
プロファイル 14	<input type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input checked="" type="radio"/> SharePoint
プロファイル 15	<input type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input checked="" type="radio"/> SharePoint
プロファイル 16	<input type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input checked="" type="radio"/> SharePoint
プロファイル 17	<input type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input checked="" type="radio"/> SharePoint
プロファイル 18	<input type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input checked="" type="radio"/> SharePoint
プロファイル 19	<input type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input checked="" type="radio"/> SharePoint
プロファイル 20	<input type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input checked="" type="radio"/> SharePoint
プロファイル 21	<input type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input checked="" type="radio"/> SharePoint
プロファイル 22	<input type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input checked="" type="radio"/> SharePoint
プロファイル 23	<input type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input checked="" type="radio"/> SharePoint
プロファイル 24	<input type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input checked="" type="radio"/> SharePoint
プロファイル 25	<input type="radio"/> FTP <input type="radio"/> SFTP <input type="radio"/> ネットワーク <input checked="" type="radio"/> SharePoint

自分のフォルダに送信

オフ オン

この機能をご利用いただくためには、Active Directory認証、もしくはLDAP認証の設定が必要です。

キャンセル OK

5. 左側にあるナビゲーションバーの **FTP/SFTP/ネットワークファイル/SharePoint スキャン** プロファイルメニューをクリックします。
6. 設定または変更したいプロファイルを選択します。
7. **プロファイル名** 欄に、該当サーバープロファイル名を入力します（15文字以下の英数字）。本製品の画面上に入力した名称が表示されます。
8. **SharePoint サイトのアドレス** 欄に、ブラウザのアドレスバーに表示されたフルパスのアドレス（例：http://SharePointSiteAddress/Shared%20Documents/Forms/AllItems.aspx）、または IP アドレス（例：http://192.168.0.1/Shared%20Documents/Forms/AllItems.aspx）をコピーアンドペーストします。
9. **ファイル名** のドロップダウンリストをクリックして、あらかじめ指定された名称、または、ユーザー定義を選択します。ここで選択した名称が、スキャンしたデータのファイル名の先頭につき、「選択した名称+原稿台/ADFの6桁カウンター+拡張子」がファイル名となります。（例：「Estimate_098765.pdf」）
10. **画質** のドロップダウンリストをクリックして、画質を選択します。**本体で設定** を選択した場合、スキャンプロファイルを使用する度に、設定を選択するよう本製品の画面に表示されます。

11. **ファイル形式**のドロップダウンリストをクリックして、スキャンしたデータを保存するときのファイル形式を選択します。**本体で設定**を選択した場合、スキャンプロファイルを使用する度に、設定を選択するよう本製品の画面に表示されます。
12. **原稿サイズ**ドロップダウンリストをクリックして、リストから原稿サイズを選択します。スキャンする原稿のサイズが正しいかどうかを確認します。
13. **ファイルサイズ**のドロップダウンリストをクリックして、一覧からファイルサイズを選択します。
14. **地色除去**のドロップダウンリストをクリックして、一覧からレベルを選択します。原稿の背景にある地色を取り除き、スキャンしたデータをより見やすくすることができます。
15. このプロファイルを PIN で保護するには、**接続時にパスワード認証を行う**欄で**オン**を選択します。
16. **接続時にパスワード認証を行う**欄で**オン**を選択した場合、**接続パスワード**欄に 4 桁の PIN を入力します。
17. 認証方式を設定するには、**認証方法**メニューから**自動**、**NTLMv2**、**Kerberos**、または**基本**を選択します。**自動**を選択した場合、認証方式は自動的に設定されます。
18. **SharePoint サイトのアドレス**欄で指定したフォルダーへの書き込み許可を持つユーザー名（最大 96 文字）を、**ユーザー名**欄に入力します。ユーザー名がドメインの一部である場合、以下のいずれかの形式でユーザー名を入力します。
user@domain
ドメイン名\ユーザー名
19. **パスワード**欄で入力したユーザー名のパスワード（32 文字以下）を、**ユーザー名**に入力します。**パスワード確認**欄にパスワードを再入力します。
20. Kerberos サーバーアドレスを手動で設定するには、**Kerberos サーバーアドレス**欄に Kerberos サーバーアドレスを入力します（例：kerberos.example.com、最大 64 文字）。
21. **OK** をクリックします。



?、/、\、"、:、<、>、|、*等の文字を使用すると、送信エラーが起こることがあります。



関連情報

- [スキャン to SharePoint®](#)

▲ホーム > スキャン > 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする > スキャン to SharePoint® > スキャンしたデータを SharePoint®サーバーにアップロードする

スキャンしたデータを SharePoint®サーバーにアップロードする

1. 原稿をセットします。
2. [スキャン] > [SharePoint] を押します。
3. ウェブブラウザを使用してセットアップしたサーバーのプロファイルが、覧表示されます。使用するプロファイルを選択します。プロファイルが完全ではない場合（例えば、ログオンアカウント名およびパスワードが存在しない、または品質やファイルの種類が指定されていない）、必要な情報の入力を求められます。
4. [スタート] を押します。

本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使う場合は、画面の指示に従ってスキャンジョブを完了させます。

✓ 関連情報

- [スキャン to SharePoint®](#)

▲ ホーム > スキャン > 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする > Web サービスを使ってスキャンする (Windows® 7、Windows® 8 または Windows® 10)

Web サービスを使ってスキャンする (Windows® 7、Windows® 8 または Windows® 10)

Windows® 7、Windows® 8 および Windows® 10 をお使いの場合は、ウェブサービスプロトコルにより、ネットワーク上のブラザー製品を使ってスキャンすることができます。ウェブサービス経由でドライバーをインストールする必要があります。

- Web サービスを使用してスキャン用のドライバーをインストールする (Windows® 7、Windows® 8 および Windows® 10)
- 本製品から Web サービスを使ってスキャンする (Windows® 7、Windows® 8 または Windows® 10)
- Web サービスのスキャンプロファイルを編集する

▲ ホーム > スキャン > 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする > Web サービスを使ってスキャンする (Windows® 7、Windows® 8 または Windows® 10) > Web サービスを使用してスキャン用のドライバーをインストールする (Windows® 7、Windows® 8 および Windows® 10)


Web サービスを使用してスキャン用のドライバーをインストールする (Windows® 7、Windows® 8 および Windows® 10)

Web サービスを使用してネットワーク上のプリンターを監視します。

- 本製品にドライバーとソフトウェアがインストールされている必要があります。
- ホストパソコンと本製品が同一のサブネット上に存在すること、またはこれら 2 つの機器間のデータ通信ができるようにルーターが正しく設定されていることを確認します。
- 設定を行う前に、本製品上で IP アドレスを設定する必要があります。

1. 次のいずれかを行ってください。

- Windows® 7

 (スタート) > コントロール パネル > ネットワークとインターネット > ネットワークのコンピュータとデバイスの表示をクリックします。

本製品の Web サービス名とプリンターアイコンが表示されます。

インストールする製品を右クリックします。

- Windows® 8

マウスをデスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、**設定 > PC 設定の変更 > デバイス > デバイスの追加**をクリックします。


本製品の Web サービス名が表示されます。

- Windows® 8.1

マウスをデスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら**設定 > PC 設定の変更 > PC とデバイス > デバイス > デバイスを追加する**をクリックします。

本製品の Web サービス名が表示されます。

- Windows® 10

 > **Windows システム ツール > コントロール パネル**をクリックします。ハードウェアとサウンドグループで、**デバイスの追加**をクリックします。



• 本製品の Web サービス名は、本製品のモデル名および MAC アドレス (イーサネットアドレス) です (例: Brother MFC-XXXX (モデル名) [XXXXXXXXXXXX] (MAC アドレス/イーサネットアドレス))。

- Windows® 8/Windows® 10

製品名にマウスのポインタを移動して、本製品の情報を表示します。

2. 次のいずれかを行ってください。


- Windows® 7

表示されたメニューから**インストール**をクリックします。

- Windows® 8/Windows® 10

インストール先の製品を選択し、画面の指示に従います。



ドライバーをアンインストールするには**アンインストール**または  (デバイスの削除) をクリックします。



関連情報

- Web サービスを使ってスキャンする (Windows® 7、Windows® 8 または Windows® 10)

▲ホーム > スキャン > 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする > Web サービスを使ってスキャンする (Windows® 7、Windows® 8 または Windows® 10) > 本製品から Web サービスを使ってスキャンする (Windows® 7、Windows® 8 または Windows® 10)

本製品から Web サービスを使ってスキャンする (Windows® 7、Windows® 8 または Windows® 10)

Web サービス経由のスキャンのためのドライバーをインストールしている場合、本製品の Web サービススキャンメニューにアクセスできます。

言語設定がお使いの OS と本製品間で異なる場合、画面に表示されるメッセージの文字の一部が空白に置き換えられることがあります。

1. 原稿をセットします。
2. [スキャン] > [Web サービス] を押します。
3. スキャンの種類を選択します。
4. データの送信先のパソコン名を選択します。
5. [スタート] を押します。
本製品でスキャン動作を開始します。

スキャンアプリケーションを選択するよう要求された場合は、リストから、Windows®ファクスとスキャンまたは、Windows®フォトギャラリーを選択します。

✓ 関連情報

- [Web サービスを使ってスキャンする \(Windows® 7、Windows® 8 または Windows® 10\)](#)

▲ ホーム > スキャン > 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする > Web サービスを使ってスキャンする (Windows® 7、Windows® 8 または Windows® 10) > Web サービスのスキャンプロファイルを編集する

Web サービスのスキャンプロファイルを編集する

1. 以下のいずれかを行ってください。

- Windows® 7



(スタート) > デバイスとプリンターをクリックします。

- Windows® 8

マウスをデスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、**設定**をクリックし、**コントロールパネル**をクリックします。**ハードウェアとサウンド**グループで、**デバイスとプリンターの表示**をクリックします。

- Windows® 10



> **Windows システム ツール** > **コントロール パネル**をクリックします。**ハードウェアとサウンド**グループで、**デバイスとプリンターの表示**をクリックします。

2. 本製品のアイコンをクリックし、**スキャン プロファイル**を選択します。**スキャン プロファイル**ダイアログボックスが表示されます。

3. 目的のスキャンプロファイルを選択します。

4. **スキャナー**一覧で選択されたモデル名が、Web サービスのスキャンに対応しているブラザー製品であることを確認し、**既定に設定**ボタンをクリックします。

5. **編集**をクリックします。

既定のプロファイルの編集ダイアログボックスが表示されます。

6. **スキャナーの種類**、**用紙サイズ**、**色の形式**、**ファイルの種類**、**解像度 (DPI)**、**明るさ**および**コントラスト**設定を選択します。

7. **プロファイルの保存**ボタンをクリックします。

Web サービスを使ってスキャンする場合の Protokol として適用されます。

スキャンするアプリケーションを選択するように表示された場合は、一覧から Windows® FAX とスキャン アプリケーション、または Windows® フォトギャラリーを選択します。




関連情報

- [Web サービスを使ってスキャンする \(Windows® 7、Windows® 8 または Windows® 10\)](#)

▲ ホーム > スキャン > 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする > ControlCenter4 からスキャンボタン設定を変更する (Windows®)

ControlCenter4 からスキャンボタン設定を変更する (Windows®)

1. タスクトレイの  (ControlCenter4)アイコンをクリックし、開くをクリックします。
2. デバイス設定タブをクリックします。
3. スキャンキー設定ボタンをクリックします。
スキャンキー設定ダイアログボックスが表示されます。



4. 変更したいスキャン to 操作 (イメージ、OCR、Eメール添付、またはファイル) のタブをクリックします。
5. 必要に応じて設定を変更します。
6. OK をクリックします。



以下の表の通り、各タブはスキャンデータの送信先を表しています。
 対応するタブをクリックして設定をカスタマイズすることで、スキャン to 設定を変更します。

タブの名称	対応する機能
イメージ	スキャン to イメージ
OCR	スキャン to OCR
E メール添付	スキャン to E メール
ファイル	スキャン to ファイル

設定	対応している機能			
	イメージ	OCR	E メール添付	ファイル
ファイル形式	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
使用するアプリケーション	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	-	-
OCR 言語	-	<input type="radio"/>	-	-
ファイル名	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
保存先フォルダーまたは保存先	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
スキャン毎に名前をつける	-	-	-	<input type="radio"/>
保存先フォルダーを開く	-	-	-	<input type="radio"/>
ファイルサイズ優先度	<input type="radio"/>	-	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
解像度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
カラー設定	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
原稿サイズ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
明るさ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
コントラスト	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2in1 ID カードスキャン	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
詳細設定	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
初期値	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

ファイル形式

スキャンしたデータのファイル形式を選択します。

使用するアプリケーション

スキャンしたデータを開くアプリケーションを選択します。

OCR 言語

OCR 言語を設定して、スキャンした原稿中のテキストの言語を照合します。

ファイル名

変更をクリックして、ファイル名の接頭辞を変更します。

保存先フォルダー

フォルダーアイコンをクリックし、スキャンしたデータの保存先フォルダーを指定します。

保存先

フォルダーまたは **SharePoint** のラジオボタンを選択し、スキャンした原稿の保存先を指定します。

スキャン毎に名前をつける

スキャンする度に、スキャンした画像の保存先を指定するには、このオプションを選択します。

保存先フォルダーを開く

スキャン後に自動的に保存先フォルダーを表示させる際に選択します。

ファイルサイズ優先度

スキャンした画像のデータ圧縮率を調節します。 **ファイルサイズ優先度**つまみを右または左に移動させてファイルサイズを変更します。

解像度

解像度のドロップダウンリストから、スキャンするときの解像度を選択します。高い解像度を選択すると、スキャンしたデータの画質は向上しますが、ファイルサイズが大きくなったり、スキャンするのに時間がかかります。

カラー設定

さまざまな色濃度の中から選択します。

- **自動**

どんなタイプの原稿にも使用できます。原稿に対して適切な色濃度が自動的に選択されます。

- **モノクロ**

文字原稿または線画に使用します。

- **グレー**

写真やグラフィックに使用します。(見た目を自然なグレーに似せるために、黒い点を一定の規則で配置させることで、実際にはグレーの点を使用せずに擬似的にグレー画像を作成する、誤差拡散という手法を使っています。)

- **256 階調グレー**

写真やグラフィックに使用します。最大で 256 段階の色調のグレーを使用して、より正確に細部を再現します。

- **1677 万色カラー**

最も正確に色を再現した画像を作成したい場合に適しています。最大で 1680 万色を使って画像をスキャンしますが、最も多くのメモリーが必要とされ、転送時間が最も長くなります。

原稿サイズ

原稿サイズのドロップダウンリストから、原稿の正確なサイズを選択します。

- **1 to 2 (A4)**を選択した場合、スキャンした画像は 2 つの A5 サイズ原稿に分割されます。

明るさ

つまみを右または左に移動させて**明るさ**レベルを設定し、データの明暗を調整します。スキャンしたデータが明るすぎる場合は、明るさレベルを下げて再度原稿をスキャンしてください。データが暗すぎる場合は、明るさレベルを上げて再度原稿をスキャンしてください。数値を入力して**明るさ**レベルを設定することも可能です。

コントラスト

つまみを右または左に移動させて**コントラスト**レベルの調整を行います。レベルを上げると画像の明暗が強調され、レベルを下げるとグレー部分をより詳細に見られます。数値を入力して**コントラスト**レベルを設定することも可能です。

2in1 ID カードスキャン

運転免許証のようなカードの両面を 1 つのページにスキャンするときに、このチェックボックスにチェックを入れます。

詳細設定

詳細設定を行うには、スキャン設定ダイアログボックスの**詳細設定**ボタンをクリックします。

- **地色除去**

原稿の背景にある地色を取り除き、スキャンしたデータを見やすくします。

- **画像回転**

スキャンした画像を回転させます。

- **白紙除去**

スキャン結果から原稿の空白ページを取り除きます。

- **スキャン結果表示**

パソコン画面に、総ページ数およびスキップした白紙ページ数を表示させます。

- **ADF 傾き補正**

ADF(自動原稿送り装置)から原稿をスキャンする場合、原稿の歪みは本製品により自動的に修正されま
す。

初期値

すべての設定をお買い上げ時の状態に戻すときに選択します。

✓ 関連情報

- 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする
 - 写真やグラフィックをスキャンする
 - スキャンしたデータを PDF ファイルとしてパソコンに保存する
 - 編集可能テキストファイルとしてスキャンする (OCR)
 - スキャン to E メール添付
-

ControlCenter2 からスキャンボタン設定を変更する (Mac)

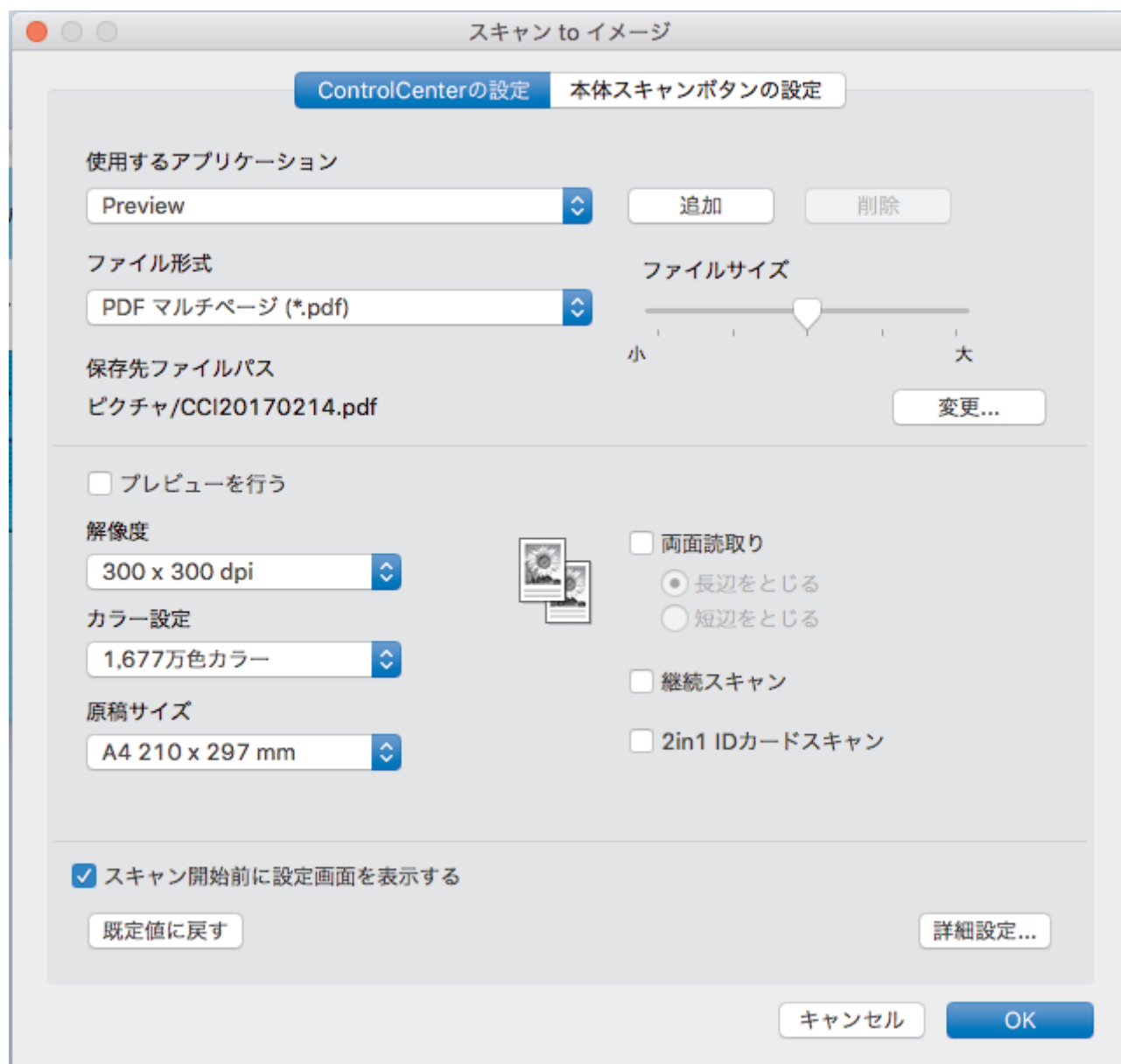
1. Finder メニューバーで移動 > アプリケーション > Brother をクリックし、 (ControlCenter) アイコンをダブルクリックします。

ControlCenter2 画面が表示されます。

2. キーボードのコントロールキーを押しながら、設定を変更したいスキャン機能 (イメージ、OCR、E メール添付またはファイル) をクリックします。
3. 本体スキャンボタンの設定タブをクリックします。

選択したスキャン機能の設定が表示されます。

以下の例は、スキャン to イメージ設定を示しています。





以下の表の通り、各機能のタブはそれぞれのスキャン機能に対応しています。
これらの設定は変更することができます。

ボタン名	対応機能
イメージ	スキャン to イメージ
OCR	スキャン to OCR
E メール添付	スキャン to E メール
ファイル	スキャン to ファイル

設定	対応している機能			
	イメージ	OCR	E メール添付	ファイル
使用するアプリケーション/使用する E メールアプリケーション	○	○	○	-
ファイル形式	○	○	○	○
ファイルサイズ	○	-	○	○
OCR 言語	-	○	-	-
保存先ファイルパス	○	○	○	-
ファイル名	○	○	○	○
ファイル名に日付を入れる	○	○	○	○
保存先フォルダー	○	○	○	○
保存先フォルダーを開く	-	-	-	○
解像度	○	○	○	○
カラー設定	○	○	○	○
原稿サイズ	○	○	○	○
2in1 ID カードスキャン	○	○	○	○
詳細設定	○	○	○	○
既定値に戻す	○	○	○	○

使用するアプリケーション/使用する E メールアプリケーション

スキャンしたデータを開くためのアプリケーションを選択します。お使いのパソコンにインストールされているアプリケーションのみ選択することができます。

- **追加**

ポップアップメニューにアプリケーションを追加します。

アプリケーションの名前にアプリケーション名を入力し（最大 30 文字）、**参照**ボタンをクリックして使用するアプリケーションを選択します。**ファイル形式**をポップアップメニューから選択します。

- **削除**

ポップアップメニューに追加したアプリケーションを削除します。

アプリケーションの名前ポップアップメニューからアプリケーションを選択して、**削除**をクリックします。

ファイル形式

スキャンしたデータのファイル形式を選択します。

ファイルサイズ

ファイルサイズのつまみを右または左に移動させて、**ファイルサイズ**を変更します。

OCR 言語

OCR 言語を設定して、スキャンした原稿中のテキストの言語を照合します。

保存先ファイルパス

変更をクリックして、ファイル名の先頭の文字およびファイル保存先フォルダーのアドレスを変更します。

ファイル名

必要に応じて、お使いのファイル名に接頭辞を入力します。

ファイル名に日付を入れる

スキャンしたデータのファイル名に、日付を自動的に入れます。

保存先フォルダー

参照をクリックして、スキャンしたデータの保存先フォルダーを選択します。

保存先フォルダーを開く

保存先フォルダーを開くを選択して、スキャン後に保存先フォルダーが自動的に表示されるようにします。

解像度

解像度のポップアップメニューから、スキャン解像度を選択します。高い解像度を選択すると、スキャンしたデータの画質は向上しますが、ファイルサイズが大きくなったり、スキャンするのに時間がかかります。

カラー設定

さまざまな色濃度の中から選択します。

- **モノクロ**

文字原稿または線画に使用します。

- **グレー**

写真やグラフィックに使用します。(見た目を自然なグレーに似せるために、黒い点を一定の規則で配置させることで、実際にはグレーの点を使用せずに擬似的にグレー画像を作成する、誤差拡散という手法を使っています。)

- **256 階調グレー**

写真やグラフィックに使用します。最大で 256 段階の色調のグレーを使用して、より正確に細部を再現します。

- **1,677 万色カラー**

最も正確に色を再現した画像を作成したい場合に適しています。最大で 1680 万色を使って画像をスキャンしますが、最も多くのメモリーが必要とされ、転送時間が最も長くなります。

- **自動**

いずれのドキュメントの種類にも使用できます。原稿に対して適切な色の濃さが自動的に選択されます。

原稿サイズ

原稿サイズのポップアップメニューから、原稿の正確なサイズを選択します。

- **1 to 2 (A4)**を選択した場合、スキャンした画像は 2 つの A5 サイズ原稿に分割されます。

2in1 ID カードスキャン

運転免許証のようなカードの両面を 1 つのページにスキャンするときに、このチェックボックスにチェックを入れます。

詳細設定

詳細設定を行うには、スキャン設定ダイアログボックスで**詳細設定**ボタンをクリックします。

- **明るさ**

つまみを右または左に移動させて**明るさ**レベルを設定し、スキャンしたデータの明暗を調整します。スキャンしたデータが明るすぎる場合は、明るさレベルを下げて再度原稿をスキャンしてください。データが暗すぎる場合は、明るさレベルを上げて再度原稿をスキャンしてください。

- **コントラスト**

つまみを右または左に移動させて**コントラスト**レベルの調整を行います。レベルを上げると画像の明暗が強調され、レベルを下げるとグレー部分をより詳細に見られます。

- **ADF 傾き補正**

ADF(自動原稿送り装置)から原稿をスキャンする場合、原稿の歪みは本製品により自動的に修正されま
す。

- **地色除去**

原稿の地色を消去して、スキャンしたデータがよりはっきりと分かるこの機能を使う場合、強または弱
のいずれかの設定を選択します。

(自動、256 階調グレー、および 1,677 万色カラーにのみ有効)

- **白紙除去**

スキャン結果から、原稿の白紙ページを削除します。

- **スキャン結果表示**

パソコン画面に、総ページ数およびスキップした白紙ページ数を表示させます。

- **画像回転**

スキャンした画像を回転します。

既定値に戻す

すべての設定をお買い上げ時の状態に戻すときに選択します。



関連情報

- [本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする](#)
 - [写真やグラフィックをスキャンする](#)
 - [スキャンしたデータを PDF ファイルとしてパソコンに保存する](#)
 - [編集可能テキストファイルとしてスキャンする \(OCR\)](#)
 - [スキャン to E メール添付](#)
-


署名入り PDF の証明書を設定する

USB へのスキャン画像送信、E-mail サーバーへのスキャン画像送信、FTP へのスキャン画像送信、SFTP へのスキャン画像送信、ネットワークへのスキャン画像送信または SharePoint®へのスキャン画像送信の各機能に対して、署名入り PDF を選択する場合、ウェブブラウザを使用して本製品に証明書を設定する必要があります。

署名入り PDF を使用するには、本製品とお使いのパソコンに証明書をインストールする必要があります。

1. ウェブブラウザを起動します。

ブラウザのアドレス欄に「http://製品の IP アドレス」を入力します（「製品の IP アドレス」の部分には本製品の IP アドレスまたはプリントサーバー名を入力します）。例：http://192.168.1.2

初期設定ではパスワードは必要ありません。以前にパスワード設定をしている場合は、そのパスワードを入力し、をクリックします。

2. **管理者設定**タブをクリックします。
3. 左側にあるナビゲーションバーの**電子署名付 PDF**メニューをクリックします。
署名入り PDF の設定ダイアログボックスが表示されます。




4. **証明書の選択**ドロップダウンリストをクリックして、証明書を選択します。
5. **OK** をクリックします。

✓ 関連情報

- 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする

お使いのパソコンからスキャンを無効にする

お使いのパソコンからスキャン機能を無効にします。ウェブブラウザを使用してプルスキャンを設定します。

1. ウェブブラウザを起動します。
ブラウザのアドレス欄に「http://製品の IP アドレス」を入力します（「製品の IP アドレス」の部分には本製品の IP アドレスまたはプリントサーバー名を入力します）。例：http://192.168.1.2
初期設定ではパスワードは必要ありません。以前にパスワード設定をしている場合は、そのパスワードを入力し、をクリックします。
2. **スキャン**タブをクリックします。
3. 左側にあるナビゲーションバーの**PC からのスキャン**メニューをクリックします。
4. **PC からのスキャン**欄で、**無効**をクリックします。
5. **OK** をクリックします。

関連情報

- [本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする](#)

お使いのパソコンからスキャンする (Windows®)

お使いのパソコンを使用して、写真や文章を本製品でスキャンします。弊社から提供されているソフトウェアやお使いのスキャンアプリケーションを使用します。

- [ControlCenter4 Home モードを使ってスキャンする \(Windows®\)](#)
- [ControlCenter4 Advanced モードを使ってスキャンする \(Windows®\)](#)
- [Nuance™ PaperPort™ 14SE または Other Windows®アプリケーションを使用してスキャンする](#)
- [Windows® フォトギャラリー、Windows® FAX とスキャンを使ってスキャンする](#)

▲ホーム > スキャン > お使いのパソコンからスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Home モードを使ってスキャンする (Windows®)

ControlCenter4 Home モードを使ってスキャンする (Windows®)


ControlCenter4 Home モードから、本製品の主要な機能进行操作できます。

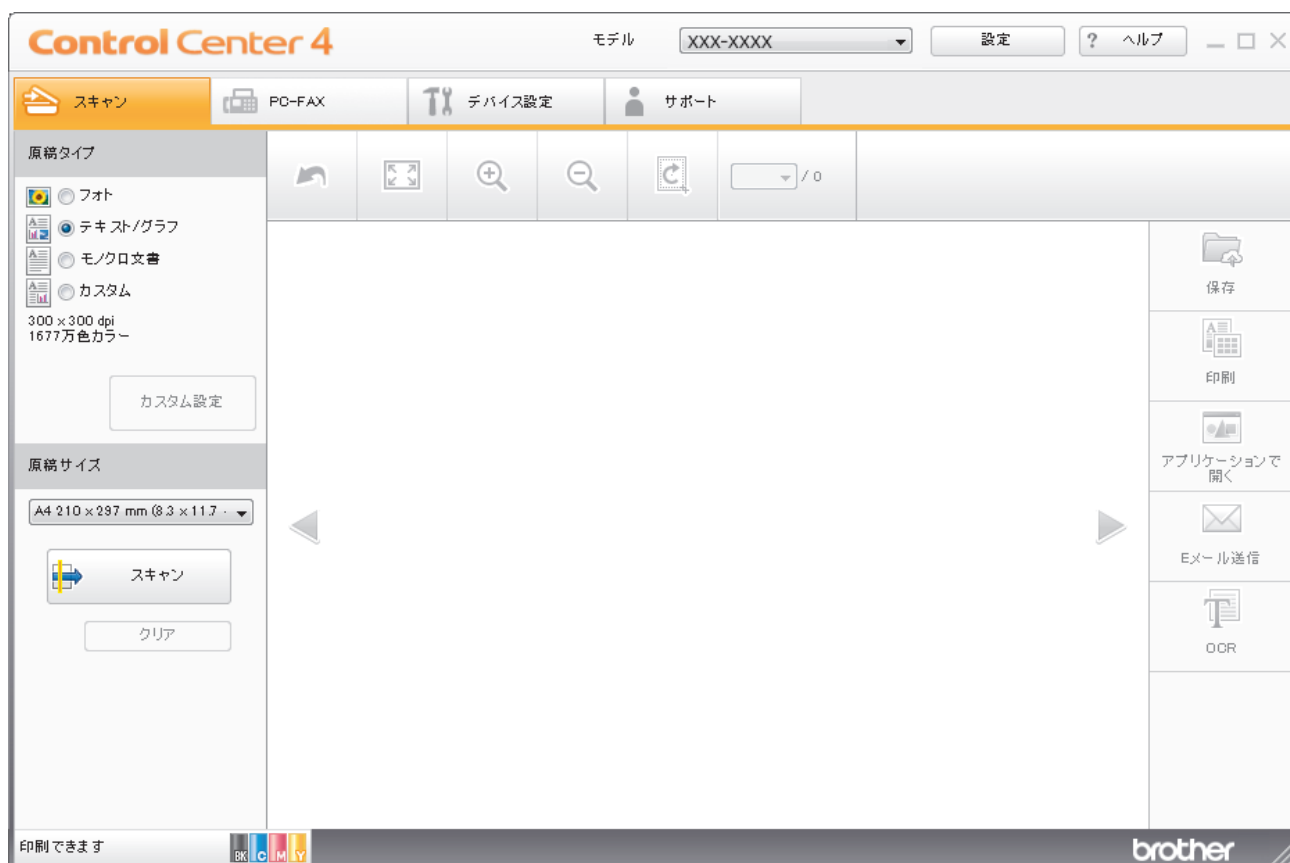
- ControlCenter4 Home モードのスキャン (Windows®)
- ControlCenter4 Home モードを使ってスキャンしたデータを PDF ファイルとして保存する(Windows®)
- ControlCenter4 Home モードを使って、両面原稿をスキャンする(Windows®)
- ControlCenter4 Home モードのスキャン設定 (Windows®)


▲ホーム > スキャン > お使いのパソコンからスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Home モードを使ってスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Home モードのスキャン (Windows®)






ControlCenter4 Home モードのスキャン (Windows®)

ControlCenter4 のモード設定で **Home モード** を選択します。

1. 原稿をセットします。
2. タスクトレイの  (ControlCenter4) アイコンをクリックし、**開く** をクリックします。
3. **スキャン** タブをクリックします。



4. **原稿タイプ** を選択します。
5. 必要に応じて原稿の**原稿サイズ**を変更します。
6.  (**スキャン**) をクリックします。

本製品がスキャン動作を開始し、スキャンした画像がイメージビューアーに表示されます。
7. スキャンしたデータの各ページをプレビューする場合は、左または右の矢印ボタンをクリックします。
8. 必要に応じてスキャン画像を切り取ります。
9. 次のいずれかを行ってください。
 -  (**保存**) をクリックして、スキャンしたデータを保存します。
 -  (**印刷**) をクリックして、スキャンしたデータを印刷します。
 -  (**アプリケーションで開く**) をクリックして、お好みのアプリケーションでスキャンしたデータを開きます。
 -  (**Eメール送信**) をクリックして、スキャンしたデータをEメールに添付します。
 - スキャンした原稿を編集可能なテキストファイルに変換するには  (**OCR**) をクリックします。(特定のモデルのみ可能)



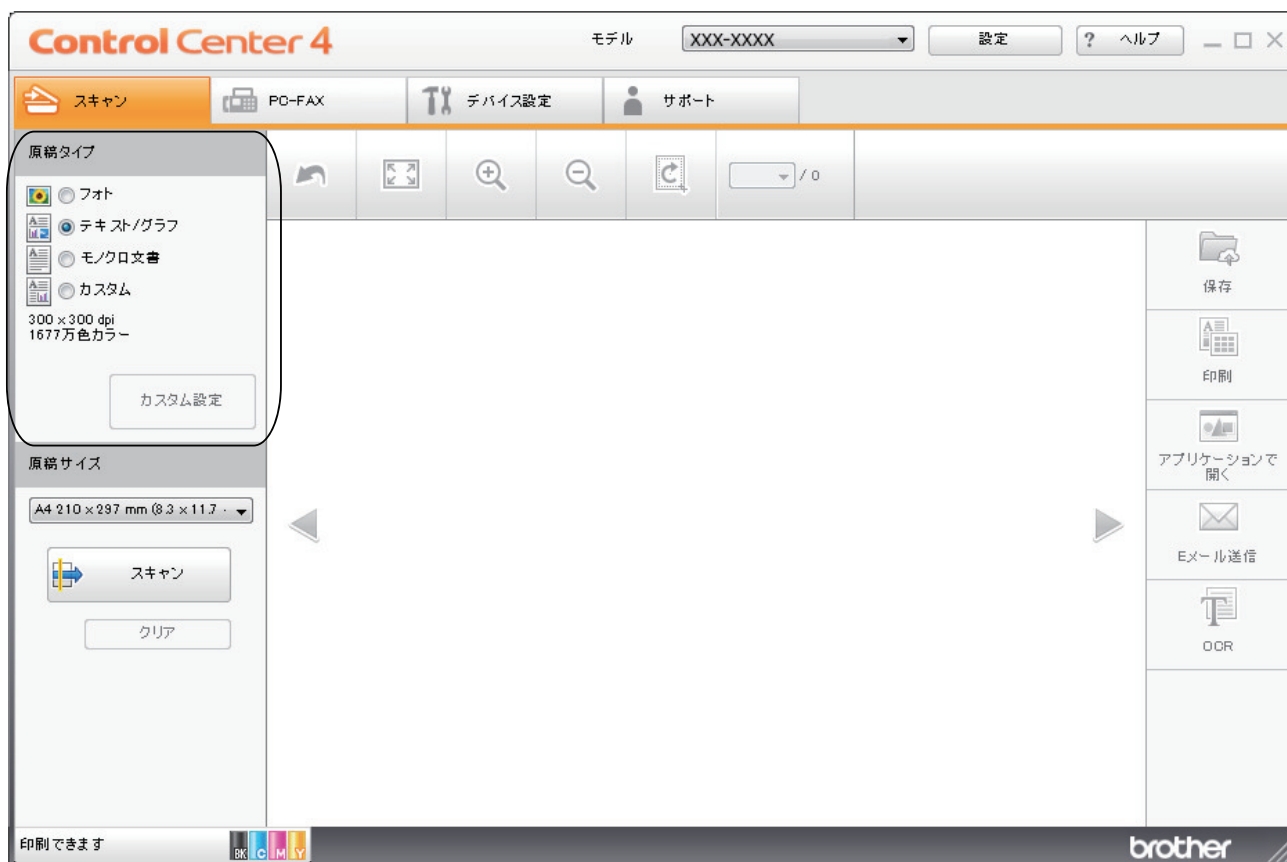
関連情報

- ControlCenter4 Home モードを使ってスキャンする (Windows®)
- ControlCenter4 Home モードで原稿タイプを選択する(Windows®)
- ControlCenter4 Home モードでスキャンサイズを変更する(Windows®)
- ControlCenter4 Home モードでスキャンした画像を編集する(Windows®)
- ControlCenter4 Home モードでスキャンしたデータを印刷する (Windows®)
- ControlCenter4 Home モードを使って、スキャンしたデータをアプリケーションに送る (Windows®)

▲ホーム > スキャン > お使いのパソコンからスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Home モードを使ってスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Home モードのスキャン (Windows®) > ControlCenter4 Home モードで原稿タイプを選択する(Windows®)

ControlCenter4 Home モードで原稿タイプを選択する(Windows®)

- スキャンする原稿の種類や用途に応じて、**原稿タイプ**を選択します。



オプション	説明
フォト	600 x 600 dpi 1677 万色カラー
テキスト/グラフ	300 x 300 dpi 1677 万色カラー
モノクロ文書	200 x 200 dpi モノクロ
カスタム	300 x 300 dpi (初期設定は 1677 万色カラー) カスタム設定ボタンからお好みのスキャン設定を選択します。

✓ 関連情報

- ControlCenter4 Home モードのスキャン (Windows®)
- カスタムスキャン設定 (Windows®)

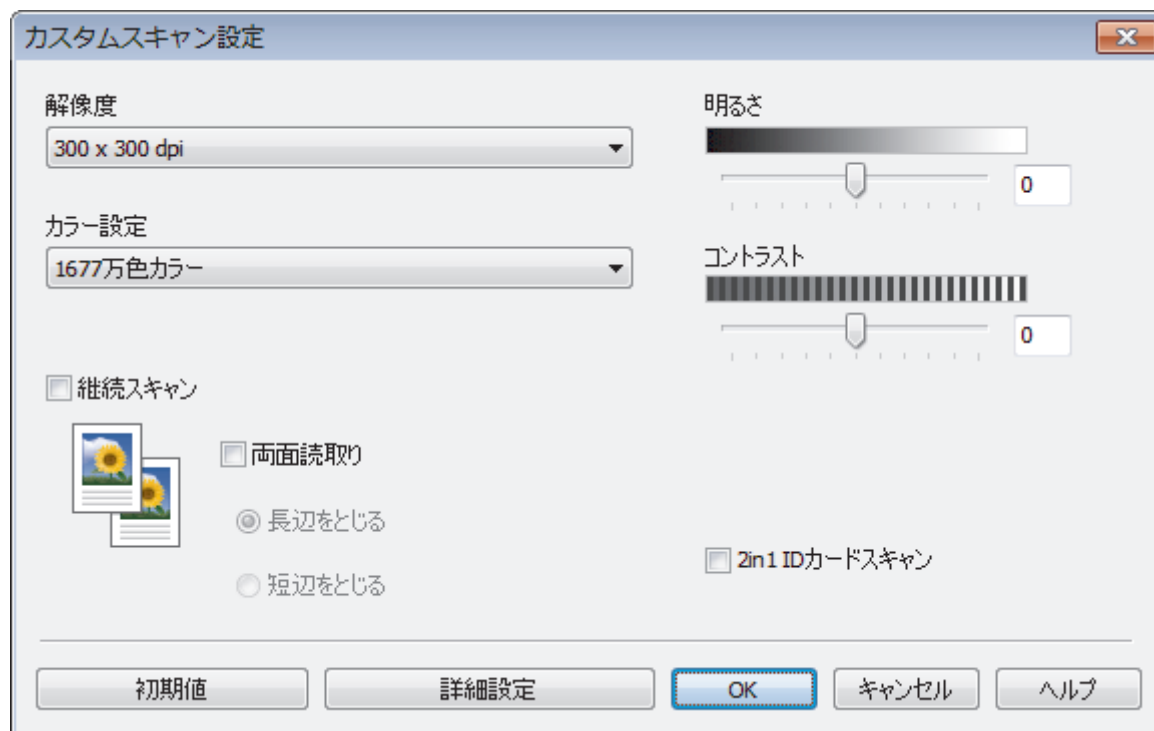
▲ホーム > スキャン > お使いのパソコンからスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Home モードを使ってスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Home モードのスキャン (Windows®) > ControlCenter4 Home モードで原稿タイプを選択する(Windows®) > カスタムスキャン設定 (Windows®)

カスタムスキャン設定 (Windows®)

原稿タイプで**カスタム**を選択して、詳細なスキャン設定を変更します。

- ・ **カスタム**を選択して、**カスタム設定**ボタンをクリックします。

カスタムスキャン設定ダイアログボックスが表示されます。



以下の設定を変更することができます。

解像度

解像度のドロップダウンリストから、スキャンするときの解像度を選択します。高い解像度を選択すると、スキャンしたデータの画質は向上しますが、ファイルサイズが大きくなったり、スキャンするのに時間がかかります。

カラー設定

さまざまな色濃度の中から選択します。

- 自動

どんなタイプの原稿にも使用できます。原稿に対して適切な色濃度が自動的に選択されます。

- モノクロ

文字原稿または線画に使用します。

- グレー

写真やグラフィックに使用します。(見た目を自然なグレーに似せるために、黒い点を一定の規則で配置させることで、実際にはグレーの点を使用せずに擬似的にグレー画像を作成する、誤差拡散という手法を使っています。)

- 256 階調グレー

写真やグラフィックに使用します。最大で 256 段階の色調のグレーを使用して、より正確に細部を再現します。

- 1677 万色カラー

最も正確に色を再現した画像を作成したい場合に適しています。最大で 1680 万色を使って画像をスキャンしますが、最も多くのメモリーが必要とされ、転送時間が最も長くなります。

明るさ

つまみを右または左に移動させて**明るさ**レベルを設定し、データの明暗を調整します。スキャンしたデータが明るすぎる場合は、明るさレベルを下げて再度原稿をスキャンしてください。データが暗すぎる場合は、明るさレベルを上げて再度原稿をスキャンしてください。数値を入力して**明るさ**レベルを設定することも可能です。

コントラスト

つまみを右または左に移動させて**コントラスト**レベルの調整を行います。レベルを上げると画像の明暗が強調され、レベルを下げるとグレー部分をより詳細に見られます。数値を入力して**コントラスト**レベルを設定することも可能です。

継続スキャン

複数ページをスキャンするには、このオプションを選択します。1ページ目がスキャンされた後に、スキャンを続けるか終了するかを選びます。

両面読取り

原稿の両面スキャンを行う場合にチェックして、原稿の綴じ方を選択します。作成したデータファイルが正しく表示されているか確認するために、原稿のレイアウトに応じて**長辺をとじる**または**短辺をとじる**を選択する必要があります。

(MFC-L9570CDW)

2in1 ID カードスキャン

運転免許証のようなカードの両面を1つのページにスキャンするとき、このチェックボックスにチェックを入れます。

詳細設定

詳細設定を行うには、スキャン設定ダイアログボックスの**詳細設定**ボタンをクリックします。

- **裏写り・地紋除去**
 - **地色除去**
原稿の背景にある地色を取り除き、スキャンしたデータを見やすくします。
- **画像回転**
スキャンした画像を回転させます。
- **白紙除去**
スキャン結果から原稿の空白ページを取り除きます。
- **スキャン結果表示**
パソコン画面に、総ページ数およびスキップした白紙ページ数を表示させます。
- **ADF 傾き補正**
ADF(自動原稿送り装置)から原稿をスキャンする場合、原稿の歪みは本製品により自動的に修正されます。



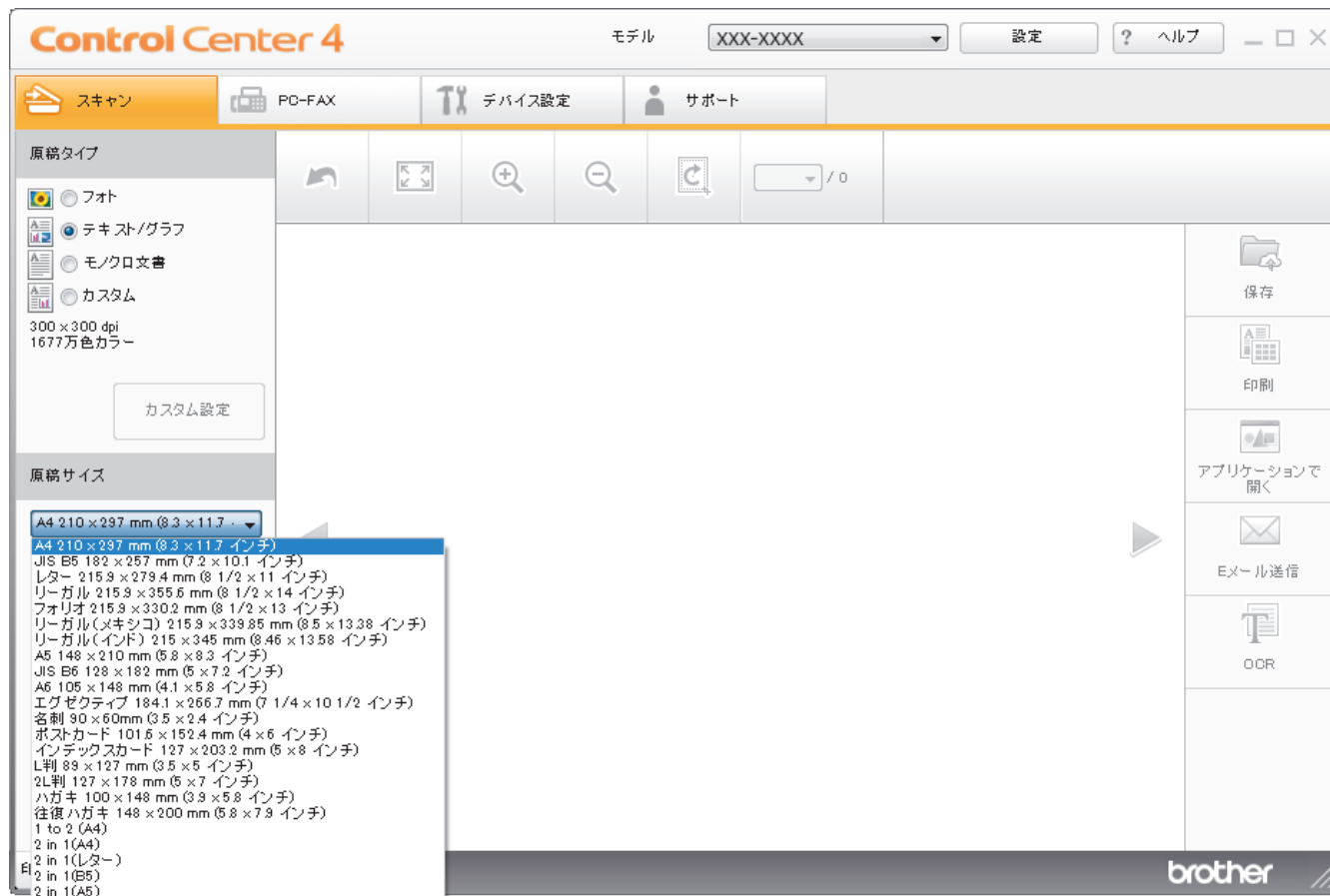
関連情報

- [ControlCenter4 Home モードで原稿タイプを選択する\(Windows®\)](#)

▲ホーム > スキャン > お使いのパソコンからスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Home モードを使ってスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Home モードのスキャン (Windows®) > ControlCenter4 Home モードでスキャンサイズを変更する(Windows®)

ControlCenter4 Home モードでスキャンサイズを変更する(Windows®)

スキャン速度を上げるには、**原稿サイズ**のドロップダウンメニューから、原稿の正確なサイズを選択します。



✓ 関連情報

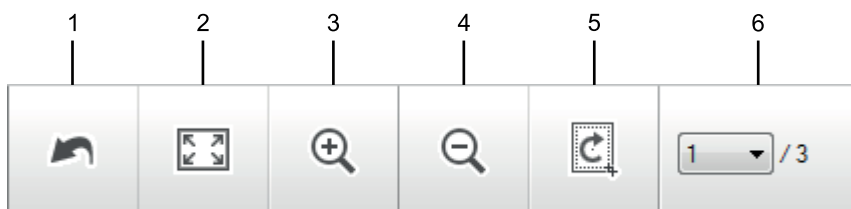
- [ControlCenter4 Home モードのスキャン \(Windows®\)](#)

▲ホーム > スキャン > お使いのパソコンからスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Home モードを使ってスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Home モードのスキャン (Windows®) > ControlCenter4 Home モードでスキャンした画像を編集する(Windows®)

ControlCenter4 Home モードでスキャンした画像を編集する(Windows®)

画像編集ツールで、スキャンした画像の不要な部分を切り取ることができます。拡大および縮小を使用すれば、切り取った画像が見やすくなります。

画像編集ツールバー



1. 編集取消

選択された画像に適用した編集内容を、すべて取り消します。編集された画像は元の状態に戻ります。

2. ウィンドウに合わせる

スキャンした画像の全体画像がウィンドウに合わせて表示されます。

3. 拡大

スキャンした画像を拡大します。

4. 縮小

スキャンした画像を縮小します。

5. 編集

画像の外側の部分を取り除きます。編集ボタンをクリックして、必要な部分を残して、不要な外側の部分を切り取ります。


6. ページカウンター

イメージビューアーに現在表示されているスキャンデータのページ数を示します。別のページを表示するには、ページ番号のドロップダウンリストからページ番号を選択します。

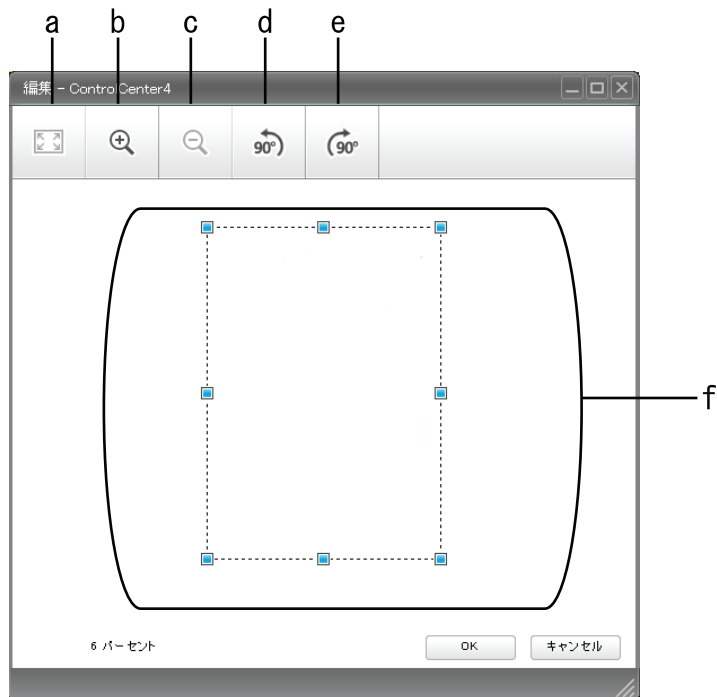


複数ページのスキャンをした場合、プレビュー画面の左または右の矢印ボタンをクリックして、スキャンしたデータの各ページを確認することができます。

1. 原稿をスキャンします。

2.  (編集)をクリックして、スキャンしたデータを編集します。

編集 - ControlCenter4 画面が表示されます。



- a. スキャンした画像の全体画像をウィンドウに合わせます。
 - b. 画像を拡大します。
 - c. 画像を縮小します。
 - d. 画像を反時計回りに 90 度回転します。
 - e. 画像を時計回りに 90 度回転します。
 - f. フレームをクリックおよびドラッグして、切り取る範囲を調節します。
3. **OK** をクリックします。
イメージビューアーに編集後のイメージが表示されます。

✓ 関連情報

- [ControlCenter4 Home モードのスキャン \(Windows®\)](#)

▲ホーム > スキャン > お使いのパソコンからスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Home モードを使ってスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Home モードのスキャン (Windows®) > ControlCenter4 Home モードでスキャンしたデータを印刷する (Windows®)

ControlCenter4 Home モードでスキャンしたデータを印刷する (Windows®)

本製品で原稿をスキャンし、ControlCenter4 で利用できるプリンタードライバー機能を使用して印刷します。

1. 原稿をスキャンします。
2. **印刷**をクリックします。



- a. 現在選択している画像が表示されます。
 - b. **詳細設定**ボタンをクリックして特定のプリンター設定を変更します。
 - c. **用紙サイズ**、**用紙種類** および **レイアウト**を選択します。青い四角で囲まれているのが現在の設定です。
3. 印刷設定を行い、**印刷開始**ボタンをクリックします。

✓ 関連情報


- [ControlCenter4 Home モードのスキャン \(Windows®\)](#)

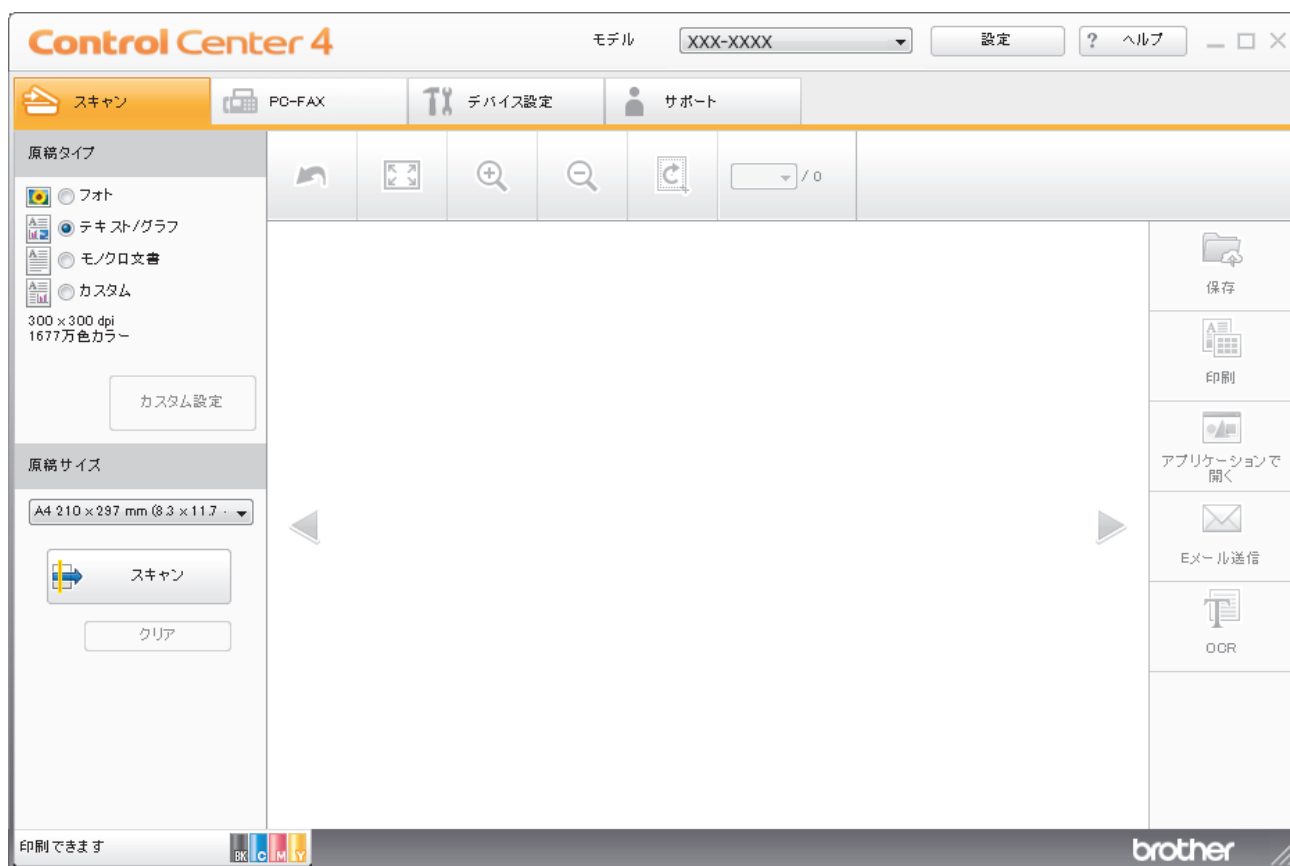
▲ホーム > スキャン > お使いのパソコンからスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Home モードを使ってスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Home モードのスキャン (Windows®) > ControlCenter4 Home モードを使って、スキャンしたデータをアプリケーションに送る (Windows®)


ControlCenter4 Home モードを使って、スキャンしたデータをアプリケーションに送る (Windows®)

アプリケーションで開くボタンを使って、スキャンしたデータを画像編集用アプリケーションへ送信します。

ControlCenter4 のモード設定で **Home モード** を選択します。

1. 原稿をセットします。
2. タスクトレイの  (ControlCenter4) アイコンをクリックし、**開く** をクリックします。
3. **スキャン** タブをクリックします。



4. **原稿タイプ** を選択します。
5. 必要に応じて原稿のサイズを変更します。
6.  (**スキャン**) をクリックします。

本製品がスキャン動作を開始し、スキャンした画像がイメージビューアーに表示されます。
7. スキャンしたデータの各ページをプレビューする場合は、左または右の矢印ボタンをクリックします。
8. 必要に応じてスキャン画像を切り取ります。
9. **アプリケーションで開く** ボタンをクリックします。
10. リストからアプリケーションを選択し、**OK** をクリックします。

選択されたアプリケーションで画像を開きます。


✓ 関連情報

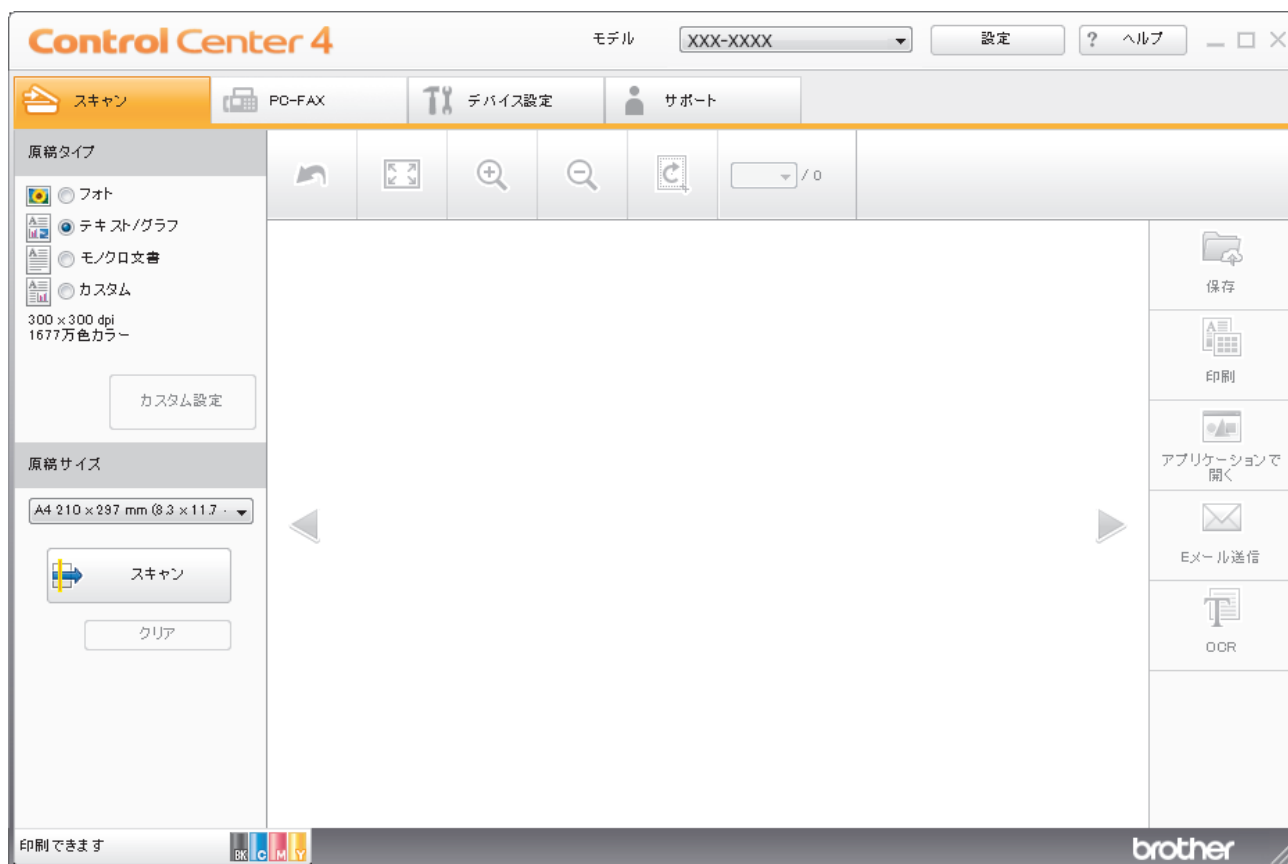
- [ControlCenter4 Home モードのスキャン \(Windows®\)](#)


▲ホーム > スキャン > お使いのパソコンからスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Home モードを使ってスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Home モードを使ってスキャンしたデータを PDF ファイルとして保存する(Windows®)

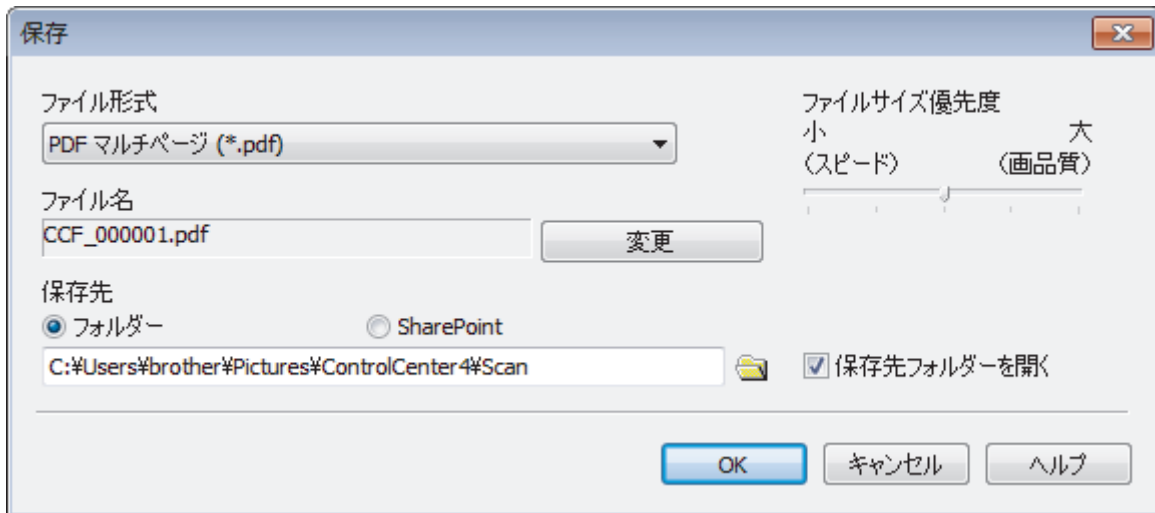
ControlCenter4 Home モードを使ってスキャンしたデータを PDF ファイルとして保存する(Windows®)



ControlCenter4 のモード設定で **Home モード** を選択します。

1. 原稿をセットします。
2. タスクトレイの  (ControlCenter4) アイコンをクリックし、**開く** をクリックします。
3. **スキャン** タブをクリックします。



4. **原稿タイプ** を選択します。
5. 必要に応じて原稿のサイズを変更します。
6.  (**スキャン**) をクリックします。
本製品がスキャン動作を開始し、スキャンした画像がイメージビューアーに表示されます。
7. スキャンしたデータの各ページをプレビューする場合は、左または右の矢印ボタンをクリックします。
8. **保存** をクリックします。
保存 のダイアログボックスが表示されます。
9. **ファイル形式** ドロップダウンリストをクリックして、PDF ファイルを選択します。



 パスワード保護された PDF として保存するには、**パスワード付 PDF シングルページ (*.pdf)** ドロップダウンリストから**パスワード付 PDF マルチページ (*.pdf)** または **ファイル形式** を選択し、 をクリックしてパスワードを入力します。

10. ファイル名を変更するには、必要に応じて**変更** ボタンをクリックします。
11. フォルダーアイコンをクリックし、スキャンした原稿を保存したいフォルダーを指定します。
12. **OK** をクリックします。
スキャンした原稿は指定先フォルダーに PDF として保存されます。

関連情報

- [ControlCenter4 Home モードを使ってスキャンする \(Windows®\)](#)

▲ホーム > スキャン > お使いのパソコンからスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Home モードを使ってスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Home モードを使って、両面原稿をスキャンする (Windows®)

ControlCenter4 Home モードを使って、両面原稿をスキャンする (Windows®)


関連モデル: MFC-L9570CDW

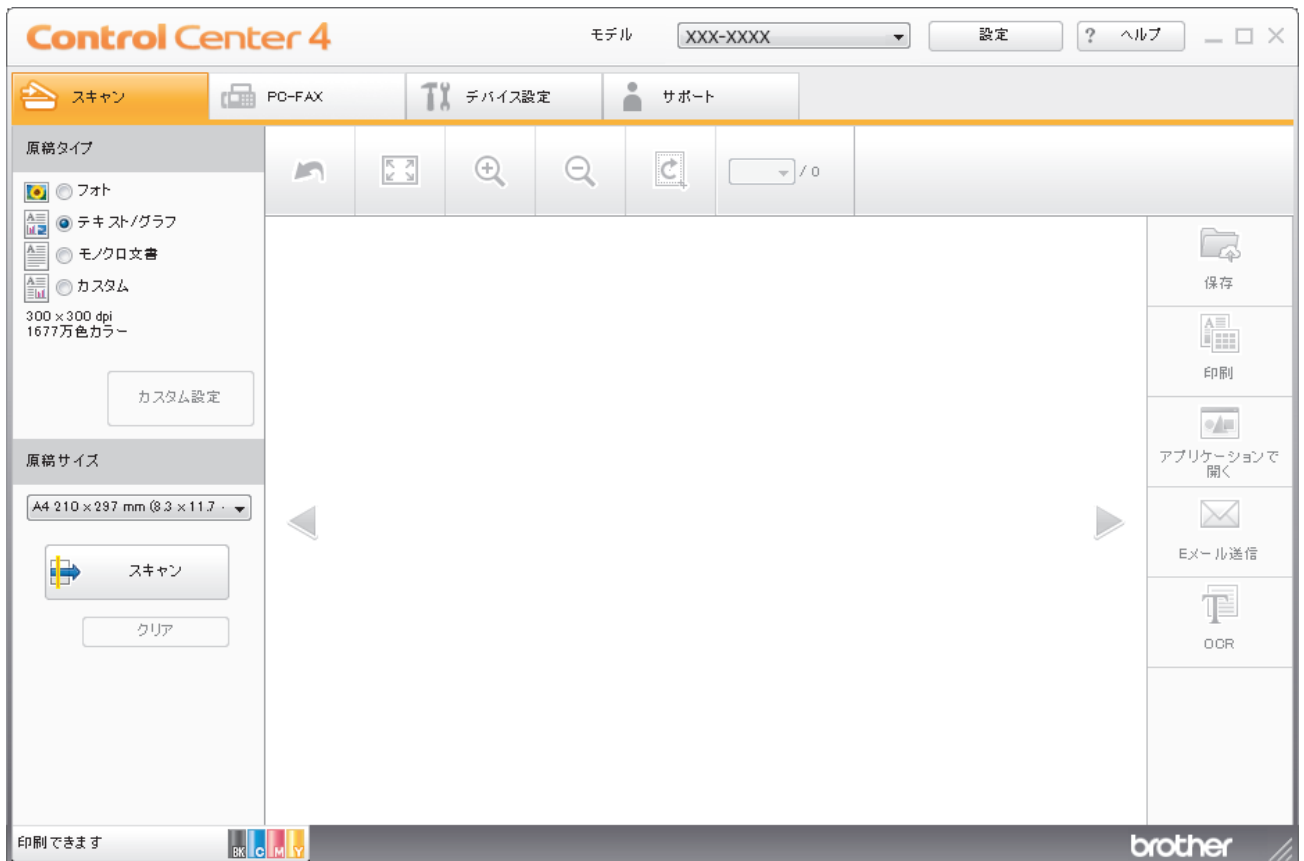
ControlCenter4 のモード設定で **Home モード** を選択します。


1. ADF (自動原稿送り装置) に原稿をセットします。








両面原稿を自動的にスキャンする場合は、必ず ADF (自動原稿送り装置) を使用してください。原稿台ガラスは使用しないでください。

2. タスクトレイの  (ControlCenter4) アイコンをクリックし、**開く** をクリックします。
3. **スキャン** タブをクリックします。



4. **原稿タイプ** で、**カスタム** を選択し、**カスタム設定** ボタンをクリックします。
カスタムスキャン設定 のダイアログボックスが表示されます。
5. **両面読取り** のチェックボックスにチェックを入れます。
6. 元のレイアウトに合わせて、**長辺をとじる** または **短辺をとじる** を選択します。
7. 必要に応じて、その他の **カスタムスキャン設定** を設定します。
8. **OK** をクリックします。
9.  (**スキャン**) をクリックします。
本製品がスキャン動作を開始し、スキャンした画像がイメージビューアーに表示されます。
10. スキャンしたデータの各ページをプレビューする場合は、左または右の矢印ボタンをクリックします。

11. 次のいずれかを行ってください。

-  **(保存)** をクリックして、スキャンしたデータを保存します。
-  **(印刷)** をクリックして、スキャンしたデータを印刷します。
-  **(アプリケーションで開く)** をクリックして、お好みのアプリケーションでスキャンしたデータを開きます。
-  **(Eメール送信)** をクリックして、スキャンしたデータをEメールに添付します。
- スキャンした原稿を編集可能なテキストファイルに変換するには  **(OCR)** をクリックします。(特定のモデルのみ可能)

関連情報

- [ControlCenter4 Home モードを使ってスキャンする \(Windows®\)](#)
-

ControlCenter4 Home モードのスキャン設定 (Windows®)

設定	対応している機能			
	アプリケーションで開く	OCR	Eメール送信	保存
ファイル形式	-	○	○	○
使用するアプリケーション	○	○	-	-
OCR 言語	-	○	-	-
ファイル名	-	-	-	○
保存先	-	-	-	○
保存先フォルダーを開く	-	-	-	○
ファイルサイズ優先度	-	-	○	○

ファイル形式

スキャンしたデータのファイル形式を選択します。

Eメール送信および保存の場合

- Windows ビットマップ (*.bmp)
- JPEG (*.jpg) (写真をスキャンする場合、ほとんどのユーザーにお勧めします。)
- TIFF シングルページ (*.tif)
- TIFF マルチページ (*.tif)
- Portable Network Graphics (*.png)
- PDF シングルページ (*.pdf) (原稿をスキャンして共有する場合にお勧めします。)
- PDF マルチページ (*.pdf) (原稿をスキャンして共有する場合にお勧めします。)
- PDF/A シングルページ (*.pdf) (原稿をスキャンして共有する場合にお勧めします。)
- PDF/A マルチページ (*.pdf) (原稿をスキャンして共有する場合にお勧めします。)
- 高圧縮 PDF シングルページ (*.pdf)
- 高圧縮 PDF マルチページ (*.pdf)
- パスワード付 PDF シングルページ (*.pdf)
- パスワード付 PDF マルチページ (*.pdf)
- サーチャブル PDF シングルページ (*.pdf)
- サーチャブル PDF マルチページ (*.pdf)
- XML Paper Specification (*.xps) (XML Paper Specification は、Windows® 7、Windows® 8 および Windows® 10 で、または XML Paper Specification ファイルをサポートするアプリケーションを使用する場合に利用できます。)
- Microsoft Office Word (*.docx) (特定モデルのみ対応)
- Microsoft Office PowerPoint (*.pptx) (特定モデルのみ対応)
- Microsoft Office Excel (*.xlsx) (特定モデルのみ対応)

OCR の場合

- HTML 3.2 (*.htm)
- HTML 4.0 (*.htm)
- Microsoft Excel 2003, XP (*.xls)
- RTF Word 2000 (*.rtf)
- WordPad (*.rtf)
- WordPerfect 9, 10 (*.wpd)

-
- テキストファイル (*.txt)
 - サーチャブル PDF シングルページ (*.pdf)
 - サーチャブル PDF マルチページ (*.pdf)

使用するアプリケーション

スキャンしたデータを開くアプリケーションを選択します。

OCR 言語

スキャンした原稿の言語に一致する OCR（光学式文字認識）言語を設定します。

ファイル名

変更をクリックして、ファイル名の接頭辞を変更します。

保存先

フォルダーまたは **SharePoint** のラジオボタンを選択し、スキャンした原稿の保存先を指定します。

保存先フォルダーを開く

スキャン後に自動的に保存先フォルダーを表示させる際に選択します。

ファイルサイズ優先度

スキャンした画像のデータ圧縮率を調節します。 **ファイルサイズ優先度**つまみを右または左に移動させてファイルサイズを変更します。

カスタム設定

カスタムを選択して、**カスタム設定**ボタンをクリックし、設定を変更します。

原稿サイズ

原稿サイズドロップダウンメニューから、使用する原稿と同じサイズを選択します。

関連情報

- [ControlCenter4 Home モードを使ってスキャンする \(Windows®\)](#)
-

ControlCenter4 Advanced モードを使ってスキャンする (Windows®)

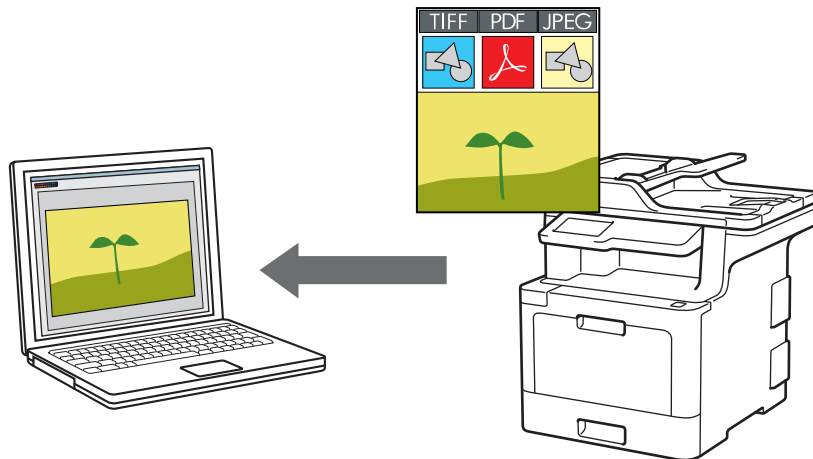
ControlCenter4 Advanced モードでは、本製品のより詳細な機能を操作して、ワンタッチのスキャン操作に変更することができます。

- ControlCenter4 Advanced モードを使って、写真やグラフィックをスキャンする (Windows®)
- ControlCenter4 Advanced モード (Windows®) を使用して、スキャンデータを PDF ファイルとしてフォルダーに保存する
- ControlCenter4 Advanced モードを使って、両面原稿をスキャンする (Windows®)
- ControlCenter4 Advanced モードを使って、ID カードの両面をスキャンする (Windows®)
- ControlCenter4 Advanced モードを使用したスキャン to E メール添付 (Windows®)
- ControlCenter4 詳細モード (Windows®) を使用したスキャン to 編集可能テキストファイル (OCR)
- ControlCenter4 Advanced モードのスキャン設定 (Windows®)

▲ホーム > スキャン > お使いのパソコンからスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Advanced モードを使ってスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Advanced モードを使って、写真やグラフィックをスキャンする(Windows®)

ControlCenter4 Advanced モードを使って、写真やグラフィックをスキャンする(Windows®)

スキャンした写真やグラフィックを、お使いのパソコンに直接送信します。

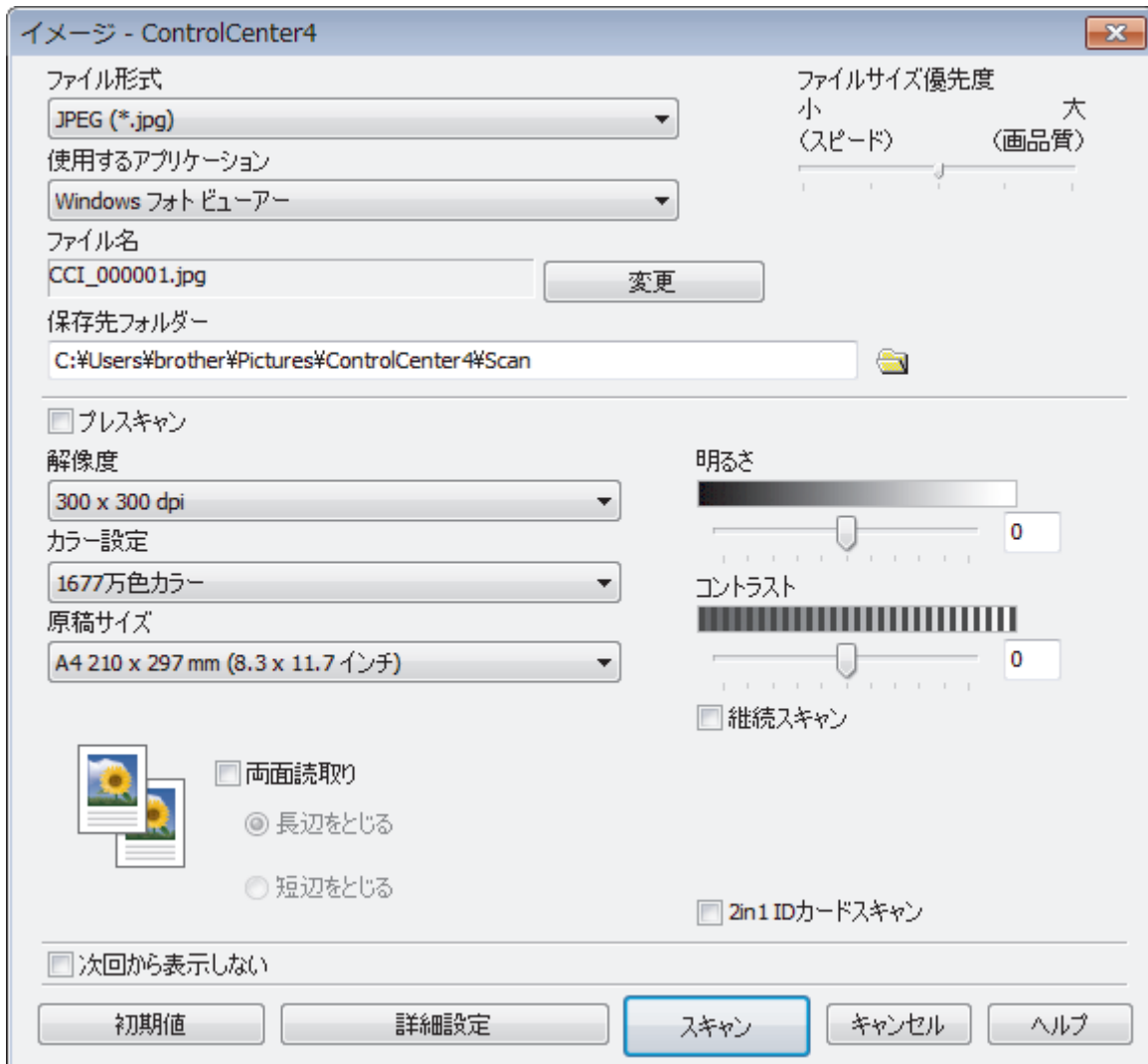


ControlCenter4 のモード設定で **Advanced モード** を選択します。

1. 原稿をセットします。
2. タスクトレイの **CC4** (ControlCenter4) アイコンをクリックし、**開く** をクリックします。
3. **スキャン** タブをクリックします。



4. **イメージ** ボタンをクリックします。
スキャン設定ダイアログボックスが表示されます。



5. 必要に応じて、ファイル形式、ファイル名、保存先フォルダー、解像度、およびカラー等のスキャン設定を変更します。



- ファイル名を変更するには、**変更**をクリックします。
- **保存先フォルダー**を変更するには、フォルダーアイコンをクリックします。
- スキャンした画像のプレビューおよび設定を行うには、**プレスキャン**のチェックボックスにチェックを入れます。

6. **スキャン**をクリックします。

本製品でスキャン動作を開始します。選択されたアプリケーションで画像を開きます。



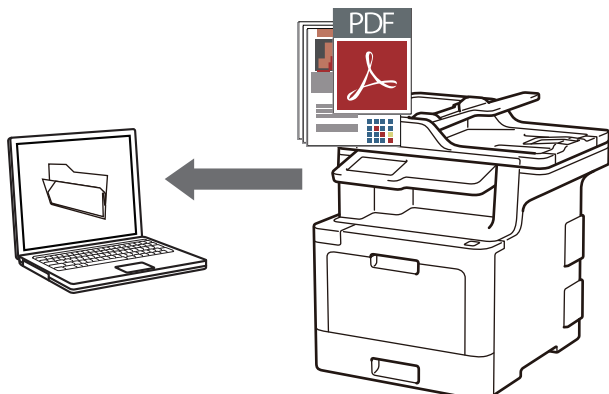
関連情報

- ControlCenter4 Advanced モードを使ってスキャンする (Windows®)


▲ホーム > スキャン > お使いのパソコンからスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Advanced モードを使ってスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Advanced モード (Windows®) を使用して、スキャンデータを PDF ファイルとしてフォルダーに保存する

ControlCenter4 Advanced モード (Windows®) を使用して、スキャンデータを PDF ファイルとしてフォルダーに保存する

原稿をスキャンし、お使いのパソコン上に PDF ファイルとして保存します。

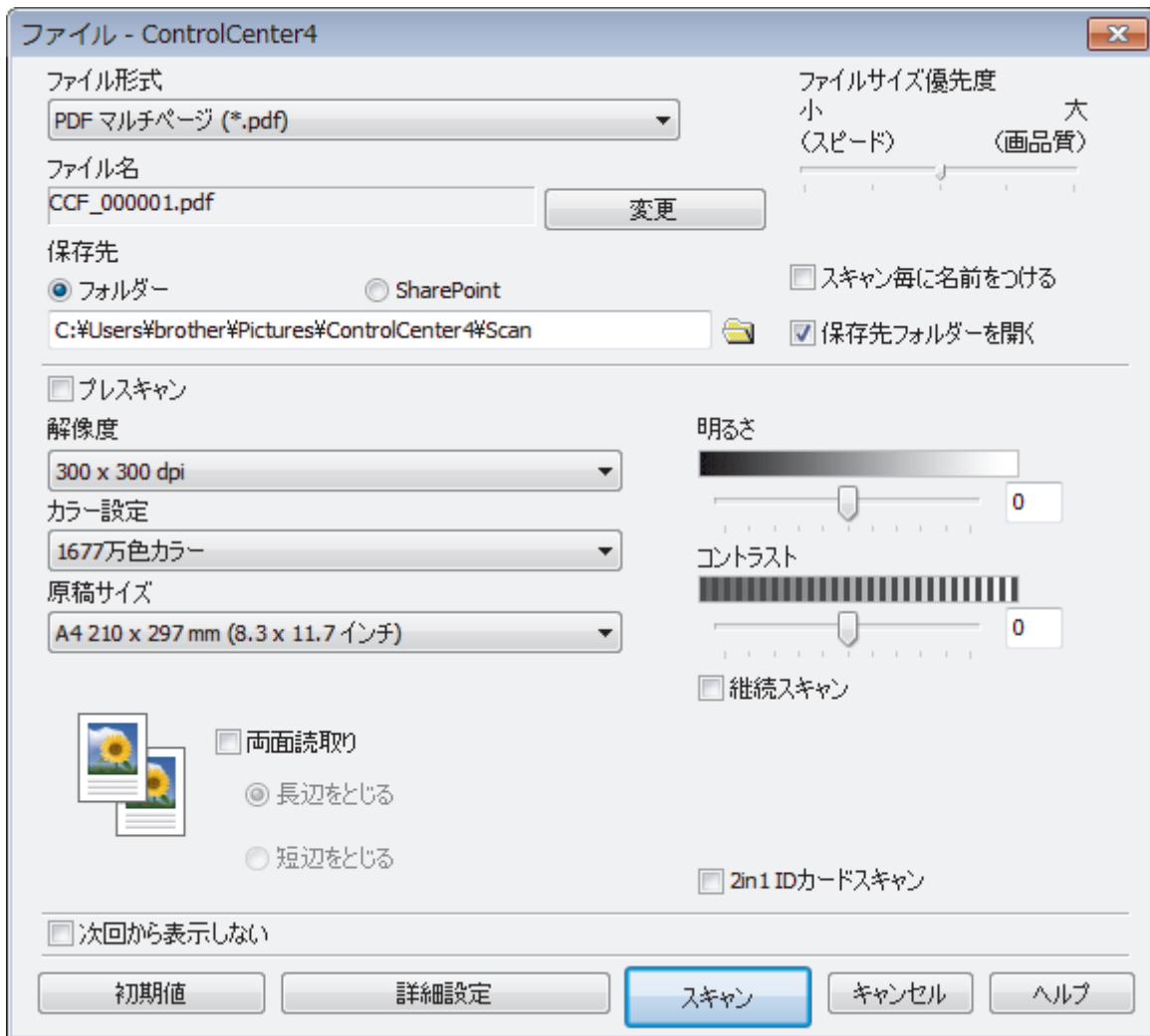


ControlCenter4 のモード設定で **Advanced モード** を選択します。

1. 原稿をセットします。
2. タスクトレイの  (ControlCenter4) アイコンをクリックし、**開く** をクリックします。
3. **スキャン** タブをクリックします。




4. **ファイル**ボタンをクリックします。
スキャン設定ダイアログボックスが表示されます。



5. **ファイル形式**ドロップダウンリストをクリックして、PDF ファイルを選択します。

 パスワード保護された PDF として保存するには、**ファイル形式**ドロップダウンリストから**パスワード付 PDF シングルページ (*.pdf)**または**パスワード付 PDF マルチページ (*.pdf)**を選択し、をクリックしてパスワードを入力します。

6. フォルダーアイコンをクリックし、スキャンした原稿を保存したいフォルダーを指定します。
7. 必要に応じて、ファイル形式、ファイル名、解像度、およびカラー等のスキャン設定を変更します。

 スキャンした画像のプレビューおよび設定を行うには、**プレスキャン**のチェックボックスにチェックを入れます。

8. **スキャン**をクリックします。
本製品でスキャン動作を開始します。選択されたフォルダーにファイルが保存されます。

関連情報

- [ControlCenter4 Advanced モードを使ってスキャンする \(Windows®\)](#)


▲ホーム > スキャン > お使いのパソコンからスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Advanced モードを使ってスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Advanced モードを使って、両面原稿をスキャンする (Windows®)


ControlCenter4 Advanced モードを使って、両面原稿をスキャンする (Windows®)

関連モデル: MFC-L9570CDW

ControlCenter4 のモード設定で **Advanced モード** を選択します。


1. ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットします。

 両面原稿を自動的にスキャンする場合は、必ず ADF（自動原稿送り装置）を使用してください。原稿台ガラスは使用しないでください。

2. タスクトレイの  (ControlCenter4) アイコンをクリックし、**開く** をクリックします。
3. **スキャン** タブをクリックします。



4. 変更したい機能のボタン (**イメージ**、**OCR**、**Eメール添付**、または**ファイル**) をクリックします。スキャン設定ダイアログボックスが表示されます。
5. **両面読取り** のチェックボックスにチェックを入れます。
6. 元のレイアウトに合わせて、**長辺をとじる** または **短辺をとじる** を選択します。
7. 必要に応じて、ファイル形式、ファイル名、保存先フォルダー、解像度、およびカラー等のスキャン設定を変更します。



- ファイル名を変更するには、**変更** をクリックします。
- **保存先フォルダー** を変更するには、フォルダーアイコンをクリックします。

8. **スキャン** をクリックします。
本製品でスキャン動作を開始します。

選択したスキャン to 操作の既定値が変更されました。これらの設定値は、次回に使用する時、スキャンオプションのいずれか (**イメージ**、**OCR**、**Eメール添付**、または**ファイル**) を選択した場合に適用されます。




関連情報

- ControlCenter4 Advanced モードを使ってスキャンする (Windows®)

▲ホーム > スキャン > お使いのパソコンからスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Advanced モードを使ってスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Advanced モードを使って、ID カードの両面をスキャンする (Windows®)

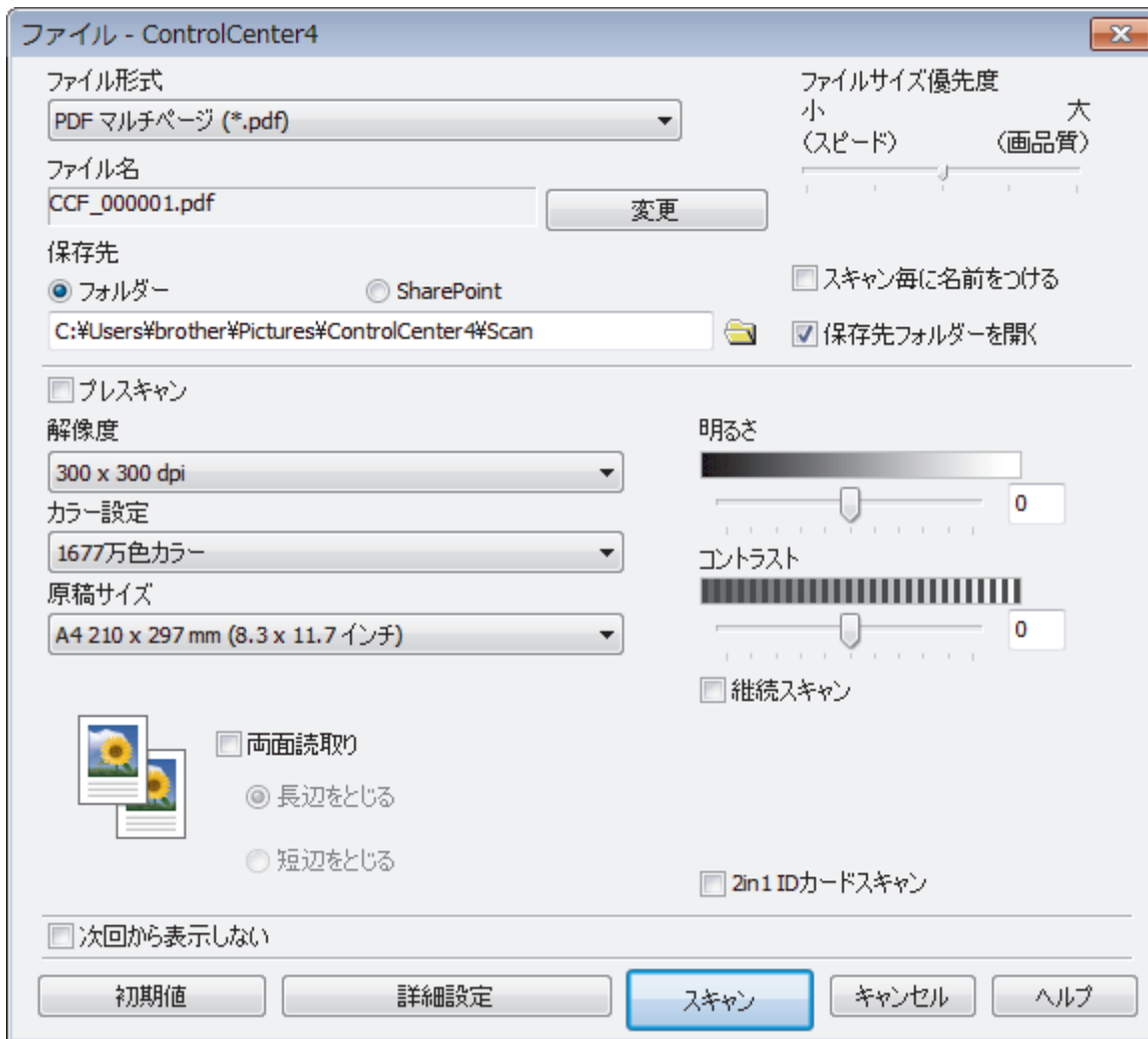
ControlCenter4 Advanced モードを使って、ID カードの両面をスキャンする (Windows®)

ControlCenter4 のモード設定で **Advanced モード** を選択します。

1. 原稿台ガラスに運転免許証のような両面の ID カードをセットします。
2. タスクトレイの  (ControlCenter4) アイコンをクリックし、**開く** をクリックします。
3. **スキャン** タブをクリックします。



4. **ファイル**ボタンをクリックします。
スキャン設定ダイアログボックスが表示されます。



5. **2in1 ID カードスキャン**のチェックボックスにチェックを入れます。
指示ダイアログが表示されます。
6. 画面の指示を確認して、**OK** をクリックします。
7. 必要に応じて、ファイル形式、ファイル名、スキャン場所、解像度、およびカラー等のスキャン設定を変更します。
8. **スキャン**をクリックします。
本製品で ID カードの片面のスキャンを開始します。
9. 片面のスキャンが終わったら、ID カードを裏返し、**続ける**をクリックしてもう一方の片面もスキャンします。
10. **完了**をクリックします。

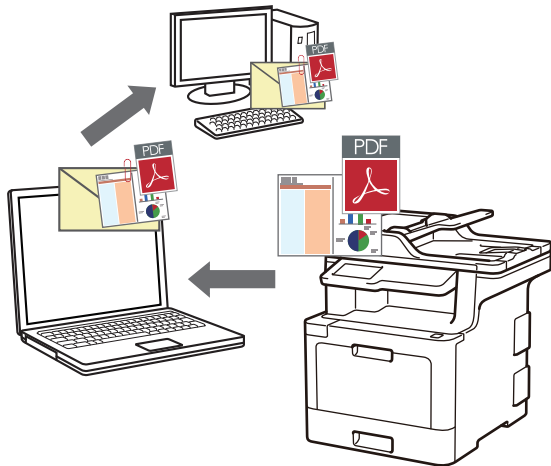
✓ 関連情報

- [ControlCenter4 Advanced モードを使ってスキャンする \(Windows®\)](#)

▲ホーム > スキャン > お使いのパソコンからスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Advanced モードを使ってスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Advanced モードを使用したスキャン to E メール添付 (Windows®)

ControlCenter4 Advanced モードを使用したスキャン to E メール添付 (Windows®)


パソコンの E メールソフトを起動し、スキャンしたデータを添付ファイルとして送信します。



- ControlCenter4 のモード設定で **Advanced モード** を選択します。
- スキャン to E メール添付機能は、Web メールサービスには対応していません。スキャン to イメージまたはスキャン to ファイル機能を使って、原稿や写真をスキャンして、パソコンに保存してください。保存したデータファイルを Web メールに添付してください。

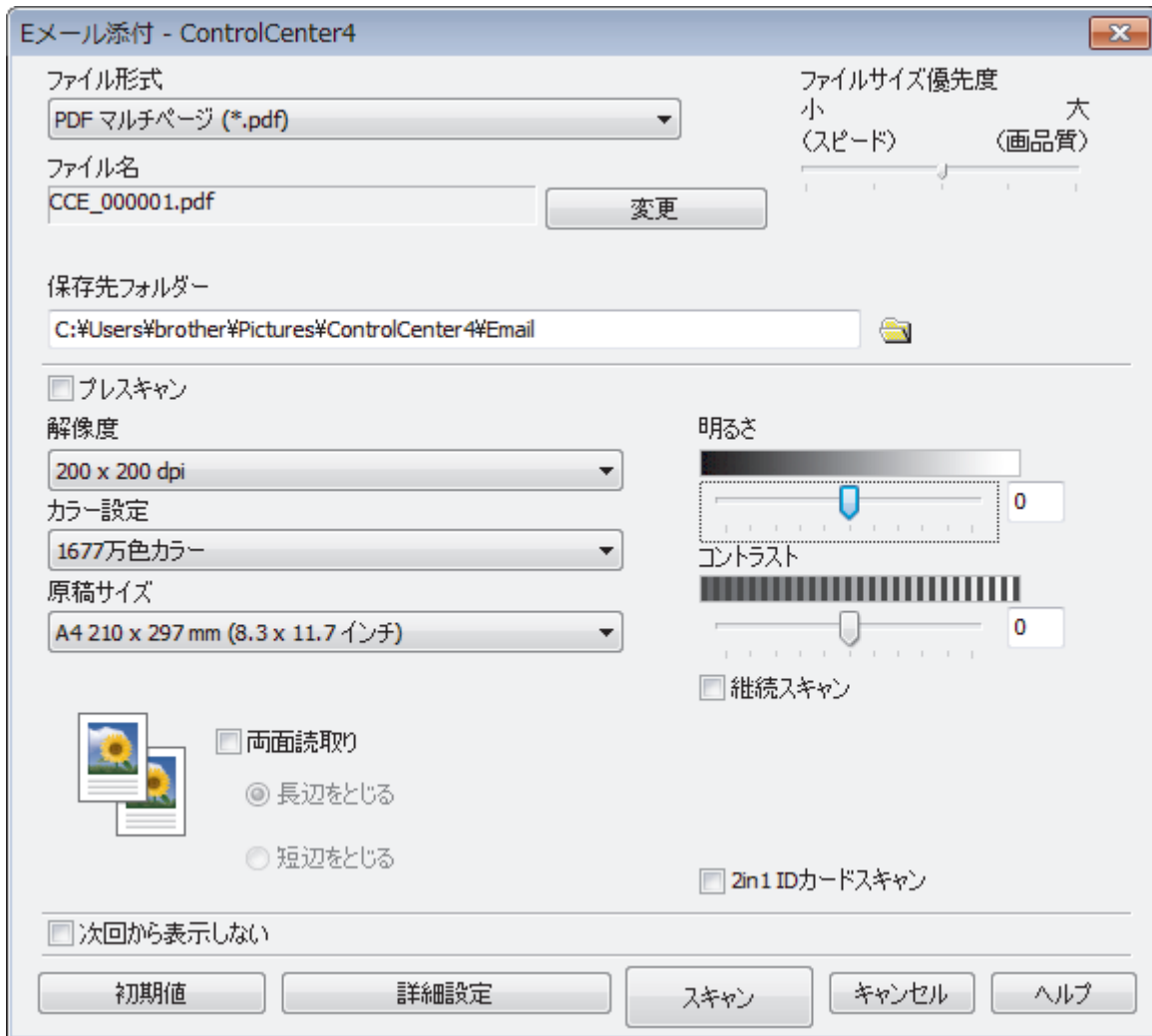


パソコンの初期設定で起動するように指定されている E メールソフトにスキャンデータを送信します。

1. 原稿をセットします。
2. タスクトレイの  (ControlCenter4) アイコンをクリックし、**開く** をクリックします。
3. **スキャン** タブをクリックします。



4. **Eメール添付** ボタンをクリックします。
スキャン設定ダイアログボックスが表示されます。



5. 必要に応じて、ファイル形式、ファイル名、保存先フォルダー、解像度、およびカラー等のスキャン設定を変更します。



- ファイル名を変更するには、**変更**をクリックします。
- **保存先フォルダー**を変更するには、フォルダーアイコンをクリックします。
- スキャンした画像のプレビューおよび設定を行うには、**プレスキャン**のチェックボックスにチェックを入れます。

6. **スキャン**をクリックします。

本製品でスキャン動作を開始します。パソコンの初期設定で起動するように指定されている E メールソフトが開き、スキャンされたデータを添付ファイルとして、メールの送信画面が表示されます。

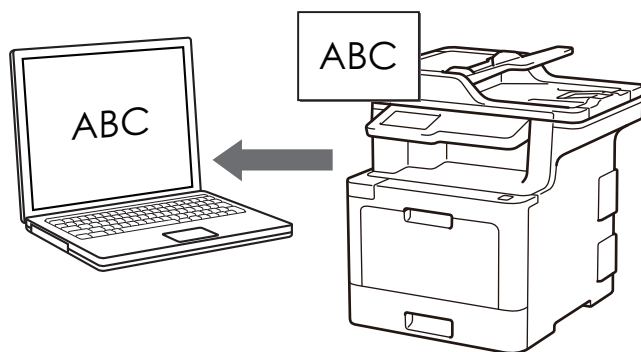
✓ 関連情報

- [ControlCenter4 Advanced モードを使ってスキャンする \(Windows®\)](#)


▲ホーム > スキャン > お使いのパソコンからスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Advanced モードを使ってスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 詳細モード (Windows®) を使用したスキャン to 編集可能テキストファイル (OCR)

ControlCenter4 詳細モード (Windows®) を使用したスキャン to 編集可能テキストファイル (OCR)

本製品は、OCR (光学式文字認識) の技術を使って、スキャンした原稿の文字をテキストに変換することができます。任意のテキスト編集アプリケーションを使ってこのテキストを編集できます。

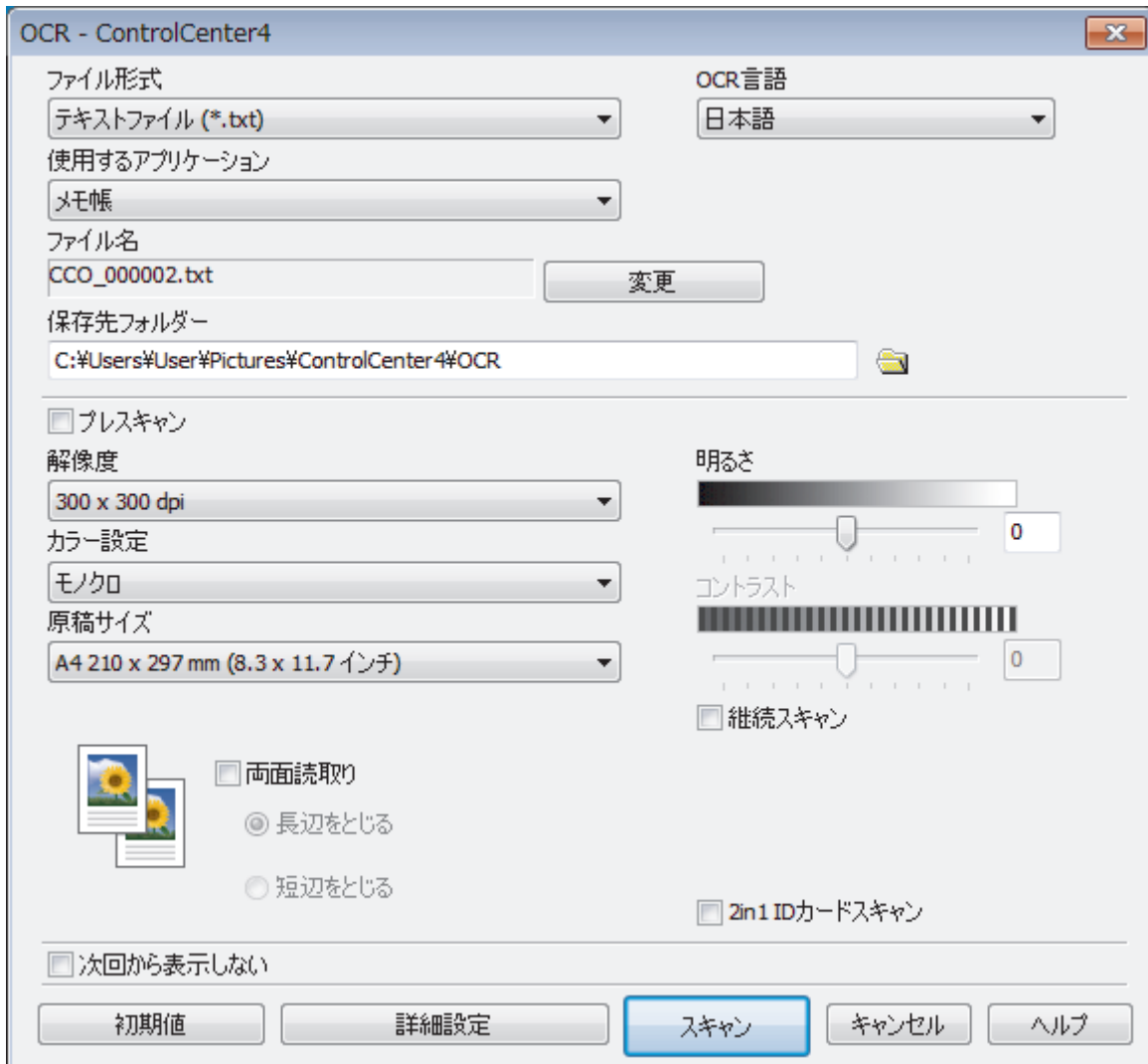


- ControlCenter4 のモード設定で **Advanced モード** を選択します。

1. 原稿をセットします。
2. タスクトレイの  (ControlCenter4) アイコンをクリックし、**開く** をクリックします。
3. **スキャン** タブをクリックします。



4. **OCR** ボタンをクリックします。
スキャン設定ダイアログボックスが表示されます。



5. 必要に応じて、ファイル形式、ファイル名、保存先フォルダー、解像度、およびカラー等のスキャン設定を変更します。



- ファイル名を変更するには、**変更**をクリックします。
- **保存先フォルダー**を変更するには、フォルダーアイコンをクリックします。
- スキャンした画像のプレビューおよび設定を行うには、**プレスキャン**のチェックボックスにチェックを入れます。

6. **スキャン**をクリックします。

本製品でスキャン動作を開始し、編集可能なテキストに変換されたデータを、設定したアプリケーションに送信します。

✓ 関連情報

- [ControlCenter4 Advanced モードを使ってスキャンする \(Windows®\)](#)

ControlCenter4 Advanced モードのスキャン設定 (Windows®)

設定	対応している機能			
	イメージ	OCR	Eメール添付	ファイル
ファイル形式	○	○	○	○
使用するアプリケーション	○	○	-	-
OCR 言語	-	○	-	-
ファイル名	○	○	○	○
保存先 or 保存先フォルダー	○	○	○	○
保存先フォルダーを開く	-	-	-	○
スキャン毎に名前をつける	-	-	-	○
ファイルサイズ優先度	○	-	○	○
プレスキャン	○	○	○	○
解像度	○	○	○	○
カラー設定	○	○	○	○
原稿サイズ	○	○	○	○
明るさ	○	○	○	○
コントラスト	○	○	○	○
継続スキャン	○	○	○	○
両面読取り	○	○	○	○
2in1 ID カードスキャン	○	○	○	○
詳細設定	○	○	○	○
初期値	○	○	○	○

ファイル形式

スキャンしたデータのファイル形式を選択します。

画像、Eメール、ファイルの場合

- Windows ビットマップ (*.bmp)
- JPEG (*.jpg) (写真をスキャンする場合、ほとんどのユーザーにお勧めします。)
- TIFF シングルページ (*.tif)
- TIFF マルチページ (*.tif)
- Portable Network Graphics (*.png)
- PDF シングルページ (*.pdf) (原稿をスキャンして共有する場合にお勧めします。)
- PDF マルチページ (*.pdf) (原稿をスキャンして共有する場合にお勧めします。)
- PDF/A シングルページ (*.pdf) (原稿をスキャンして共有する場合にお勧めします。)
- PDF/A マルチページ (*.pdf) (原稿をスキャンして共有する場合にお勧めします。)
- 高圧縮 PDF シングルページ (*.pdf)
- 高圧縮 PDF マルチページ (*.pdf)
- パスワード付 PDF シングルページ (*.pdf)
- パスワード付 PDF マルチページ (*.pdf)
- サーチャブル PDF シングルページ (*.pdf)

- **サーチャブル PDF マルチページ (*.pdf)**
- **XML Paper Specification (*.xps)** (XML Paper Specification は、Windows® 7、Windows® 8 および Windows® 10 で、または XML Paper Specification ファイルをサポートするアプリケーションを使用する場合に利用できます。)

E メールやファイルの場合

- **Microsoft Office Word (*.docx)** (特定モデルのみ対応)
- **Microsoft Office PowerPoint (*.pptx)** (特定モデルのみ対応)
- **Microsoft Office Excel (*.xlsx)** (特定モデルのみ対応)

OCR の場合

- **HTML 3.2 (*.htm)**
- **HTML 4.0 (*.htm)**
- **Microsoft Excel 2003, XP (*.xls)**
- **RTF Word 2000 (*.rtf)**
- **WordPad (*.rtf)**
- **WordPerfect 9, 10 (*.wpd)**
- **テキストファイル (*.txt)**
- **サーチャブル PDF シングルページ (*.pdf)**
- **サーチャブル PDF マルチページ (*.pdf)**

使用するアプリケーション

スキャンしたデータを開くアプリケーションを選択します。

OCR 言語

OCR 言語を設定して、スキャンした原稿中のテキストの言語を照合します。

ファイル名

変更をクリックして、ファイル名の接頭辞を変更します。

保存先

フォルダーまたは **SharePoint** のラジオボタンを選択し、スキャンした原稿の保存先を指定します。

保存先フォルダー

フォルダーアイコンをクリックし、スキャンしたデータの保存先フォルダーを指定します。

保存先フォルダーを開く

スキャン後に自動的に保存先フォルダーを表示させる際に選択します。

スキャン毎に名前をつける

スキャンする度に、スキャンした画像の保存先を指定するには、このオプションを選択します。

ファイルサイズ優先度

スキャンした画像のデータ圧縮率を調節します。 **ファイルサイズ優先度**つまみを右または左に移動させてファイルサイズを変更します。

プレスキャン

スキャンする前に画像のプレビューを確認して不要な部分を切り取りたい場合は、**プレスキャン**を選択します。

解像度

解像度のドロップダウンリストから、スキャンするときの解像度を選択します。高い解像度を選択すると、スキャンしたデータの画質は向上しますが、ファイルサイズが大きくなったり、スキャンするのに時間がかかります。

カラー設定

さまざまな色濃度の中から選択します。

- **自動**
どんなタイプの原稿にも使用できます。原稿に対して適切な色濃度が自動的に選択されます。
- **モノクロ**
文字原稿または線画に使用します。
- **グレー**
写真やグラフィックに使用します。(見た目を自然なグレーに似せるために、黒い点を一定の規則で配置させることで、実際にはグレーの点を使用せずに擬似的にグレー画像を作成する、誤差拡散という手法を使っています。)
- **256 階調グレー**
写真やグラフィックに使用します。最大で 256 段階の色調のグレーを使用して、より正確に細部を再現します。
- **1677 万色カラー**
最も正確に色を再現した画像を作成したい場合に適しています。最大で 1680 万色を使って画像をスキャンしますが、最も多くのメモリーが必要とされ、転送時間が最も長くなります。

原稿サイズ

原稿サイズのドロップダウンリストから、原稿の正確なサイズを選択します。

- **1 to 2 (A4)**を選択した場合、スキャンした画像は 2 つの A5 サイズ原稿に分割されます。

明るさ

つまみを右または左に移動させて**明るさレベル**を設定し、データの明暗を調整します。スキャンしたデータが明るすぎる場合は、明るさレベルを下げて再度原稿をスキャンしてください。データが暗すぎる場合は、明るさレベルを上げて再度原稿をスキャンしてください。数値を入力して**明るさレベル**を設定することも可能です。

コントラスト

つまみを右または左に移動させて**コントラストレベル**の調整を行います。レベルを上げると画像の明暗が強調され、レベルを下げるとグレー部分をより詳細に見られます。数値を入力して**コントラストレベル**を設定することも可能です。

継続スキャン

複数ページをスキャンするには、このオプションを選択します。1 ページ目がスキャンされた後に、スキャンを続けるか終了するかを選びます。

両面読取り

原稿の両面スキャンを行う場合にチェックして、原稿の綴じ方を選択します。作成したデータファイルが正しく表示されているか確認するために、原稿のレイアウトに応じて**長辺をとじる**または**短辺をとじる**を選択する必要があります。

(MFC-L9570CDW)

2in1 ID カードスキャン

運転免許証のようなカードの両面を 1 つのページにスキャンするときに、このチェックボックスにチェックを入れます。

詳細設定

詳細設定を行うには、スキャン設定ダイアログボックスの**詳細設定**ボタンをクリックします。


- **裏写り・地紋除去**
 - **地色除去**
原稿の背景にある地色を取り除き、スキャンしたデータを見やすくします。
- **画像回転**
スキャンした画像を回転させます。
- **白紙除去**
スキャン結果から原稿の空白ページを取り除きます。
- **スキャン結果表示**
パソコン画面に、総ページ数およびスキップした白紙ページ数を表示させます。

- **ADF 傾き補正**

ADF(自動原稿送り装置)から原稿をスキャンする場合、原稿の歪みは本製品により自動的に修正されます。

初期値


すべての設定をお買い上げ時の状態に戻すときに選択します。

 **関連情報**

- [ControlCenter4 Advanced モードを使ってスキャンする \(Windows®\)](#)
-




Nuance™ PaperPort™ 14SE または Other Windows®アプリケーションを使用してスキャンする

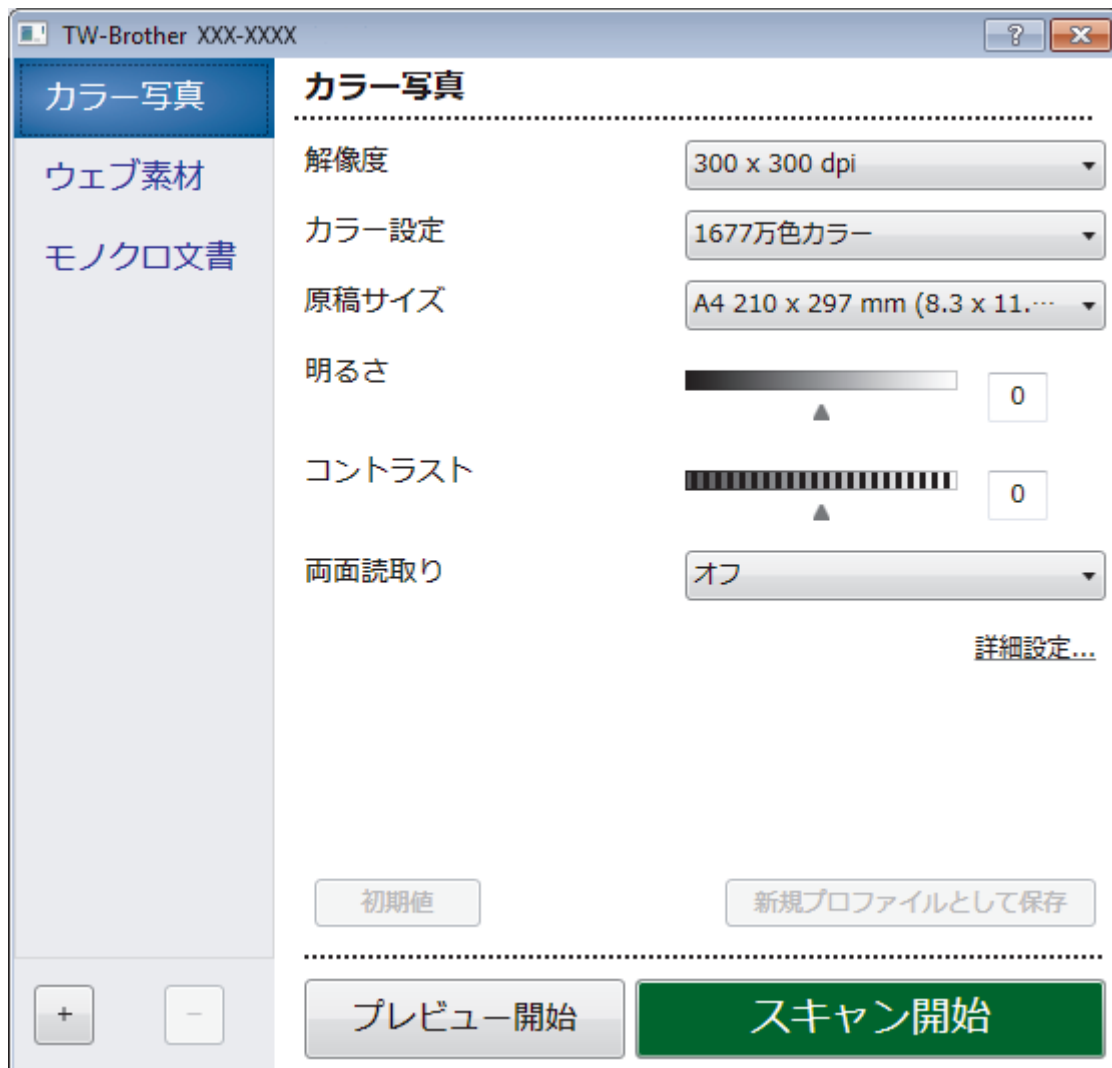
Nuance™ PaperPort™ 14SE アプリケーションを使ってスキャンができます。

- Nuance™ PaperPort™ 14SE アプリケーションをダウンロードするには、 (Brother Utilities) をクリックし、左ナビゲーションバーの**もっと活用する**を選択して、**PaperPort** をクリックします。
- Nuance™ PaperPort™ 14SE は、Windows® 7、Windows® 8、Windows® 8.1 および Windows® 10 をサポートしています。
- 各アプリケーションの使用についての詳細な指示は、該当アプリケーションの**ヘルプ**メニューをクリックして、**ヘルプ**リボンで**使い方ガイド**をクリックします。



これらの手順は、PaperPort™ 14SE を使用してスキャンする場合の指示です。その他の Windows®アプリケーションの場合も、手順は同様です。PaperPort™ 14SE は、TWAIN ドライバーと WIA ドライバーをサポートしています。TWAIN ドライバー (推奨) は、本手順で使用されています。

1. 原稿をセットします。
2. PaperPort™ 14SE を起動します。
次のいずれかを行ってください。
 - Windows® 7
お使いのパソコンで、 (スタート) > **すべてのプログラム** > **Nuance PaperPort 14** > **PaperPort** をクリックします。
 - Windows® 8
 (PaperPort) をクリックします。
 - Windows® 10
 **Nuance PaperPort 14** > **PaperPort** をクリックします。
3. **デスクトップ**メニューをクリックして、**スキャン設定**リボンで**デスクトップ**をクリックします。
画面の左側に、**スキャン**または**写真の取り込み**パネルが表示されます。
4. 使用可能なスキャナー一覧から、**TW-Brother XXX-XXXX** または **TW-Brother XXX-XXXX LAN** を選択します (MFC-XXXX はお使いの製品のモデル名)。WIA ドライバーを使うには、先頭の文字に「WIA」が付いている本製品のドライバーを選択します。
5. **スキャナダイアログボックスの表示**パネルで**スキャン**または**写真の取り込み**チェックボックスを選択します。
6. **スキャン**をクリックします。
スキャナーセットアップダイアログボックスが表示されます。



- 必要に応じて、スキャナーセットアップダイアログボックスで設定値を調整します。
- 原稿サイズ**のドロップダウンリストから原稿サイズを選択します。



原稿の両面をスキャンするには (MFC-L9570CDW) :
自動両面スキャンは、ADF(自動原稿送り装置)を使用する場合にのみ利用可能です。
プレビュー機能は使用できません。

- 画像をプレビューして、スキャンする前に不要な部分を切り取りたい場合は、**プレビュー開始**をクリックします。
- スキャン開始**をクリックします。
本製品はスキャンを開始します。



関連情報

- お使いのパソコンからスキャンする (Windows®)
- TWAIN ドライバーの設定 (Windows®)

TWAIN ドライバーの設定 (Windows®)



- 設定項目名および設定可能な値は、ご使用の製品によって異なります。
- **コントラスト**は、**グレー**、**256 階調グレー**、または **1677 万色カラー**を**カラー設定**から選択した場合にのみ利用可能です。

1. スキャン設定

スキャンしたい原稿のタイプに応じて、**カラー写真**、**ウェブ素材**、または**モノクロ文書**を選択します。

スキャン (画像の種類)		解像度	カラー設定
カラー写真	写真などのカラー原稿をスキャンするときに選びます。	300 x 300 dpi	1677 万色カラー
ウェブ素材	スキャンした画像データをホームページに使用するときを選びます。	100 x 100 dpi	1677 万色カラー
モノクロ文書	白黒の原稿をスキャンするときに選びます。	200 x 200 dpi	モノクロ

2. 解像度

解像度リストから、スキャン解像度を選択します。高い解像度を選択すると、スキャンしたデータの画質は向上しますが、ファイルサイズが大きくなったり、スキャンするのに時間がかかります。

3. カラー設定

さまざまな色濃度の中から選択します。

- **モノクロ**

文字原稿または線画に使用します。

- **グレー**

写真やグラフィックに使用します。(見た目を自然なグレーに似せるために、黒い点を一定の規則で配置させることで、実際にはグレーの点を使用せずに擬似的にグレー画像を作成する、誤差拡散という手法を使っています。)

- **256 階調グレー**

写真やグラフィックに使用します。最大で 256 段階の色調のグレーを使用して、より正確に細部を再現します。

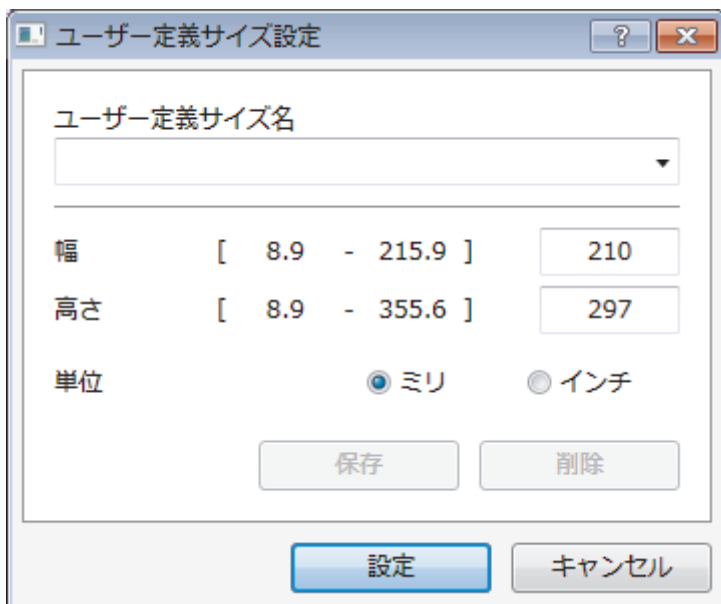
- **1677 万色カラー**

最も正確に色を再現した画像を作成したい場合に適しています。最大で 1680 万色を使って画像をスキャンしますが、最も多くのメモリーが必要とされ、転送時間が最も長くなります。

4. 原稿サイズ

あらかじめ設定されたスキャンサイズから、正確な原稿サイズを選択します。

ユーザー定義サイズを選択した場合、**ユーザー定義サイズ設定**ダイアログボックスが表示され、原稿サイズを指定することができます。



5. 明るさ

つまみを右または左に移動させて**明るさレベル**を設定し、スキャンしたデータの明暗を調整します。スキャンしたデータが明るすぎる場合は、明るさレベルを下げて再度原稿をスキャンしてください。データが暗すぎる場合は、明るさレベルを上げて再度原稿をスキャンしてください。数値を入力して明暗レベルを設定することも可能です。

6. コントラスト

つまみを右または左に移動させて**コントラストレベル**の調整を行います。レベルを上げると画像の明暗が強調され、レベルを下げるとグレー部分がより詳細に見られます。数値を入力することでコントラストレベルを設定することも可能です。

7. 両面読取り

原稿の両面をスキャンします。自動両面スキャン機能を使用する場合、ページをめくったときに向きが意図した通りになるよう、**長辺をとじる**ドロップダウンリストから**短辺をとじる**または**両面読取り**を選択する必要があります。

(MFC-L9570CDW)

8. 詳細設定

詳細設定を行うには、スキャン設定ダイアログボックスで**詳細設定**ボタンをクリックします。

- **原稿検知**

- **傾き補正**

ADF(自動原稿送り装置)から原稿がスキャンされたときに、原稿の歪みが自動的に修正されるよう本製品を設定します。

- **画像回転**
スキャンした画像を回転させます。
- **画質調整**
 - **背景スムージング**
 - **裏写り・地紋除去**
裏写りや地紋を防止します。
 - **地色除去**
原稿の背景にある地色を取り除き、スキャンしたデータを見やすくします。
 - **ドロップアウトカラー**
スキャンした画像から取り除きたい色を選択します。
 - **文字強調**
原稿の文字を太字にして強調します。
 - **かすれ文字補正**
かすれたり欠けたりしている原稿の文字を修正し、読みやすくします。
 - **エッジ強調**
原稿の文字をシャープにします。
 - **ノイズ軽減**
スキャン画像の品質を改善および向上させます。**ノイズ軽減**は、**1677万色カラー**および**300 x 300 dpi**、**400 x 400 dpi**、または**600 x 600 dpi** スキャン解像度を選択した場合に利用可能です。
- **搬送制御**
 - **エッジ塗りつぶし**
選択した色と範囲を使用して、スキャンした画像の各余白を塗りつぶします。
 - **白紙除去**
スキャン結果から原稿の空白ページを取り除きます。
 - **継続スキャン**
複数ページをスキャンするには、このオプションを選択します。1ページ目がスキャンされた後に、スキャンを続けるか終了するかを選びます。

✓ 関連情報

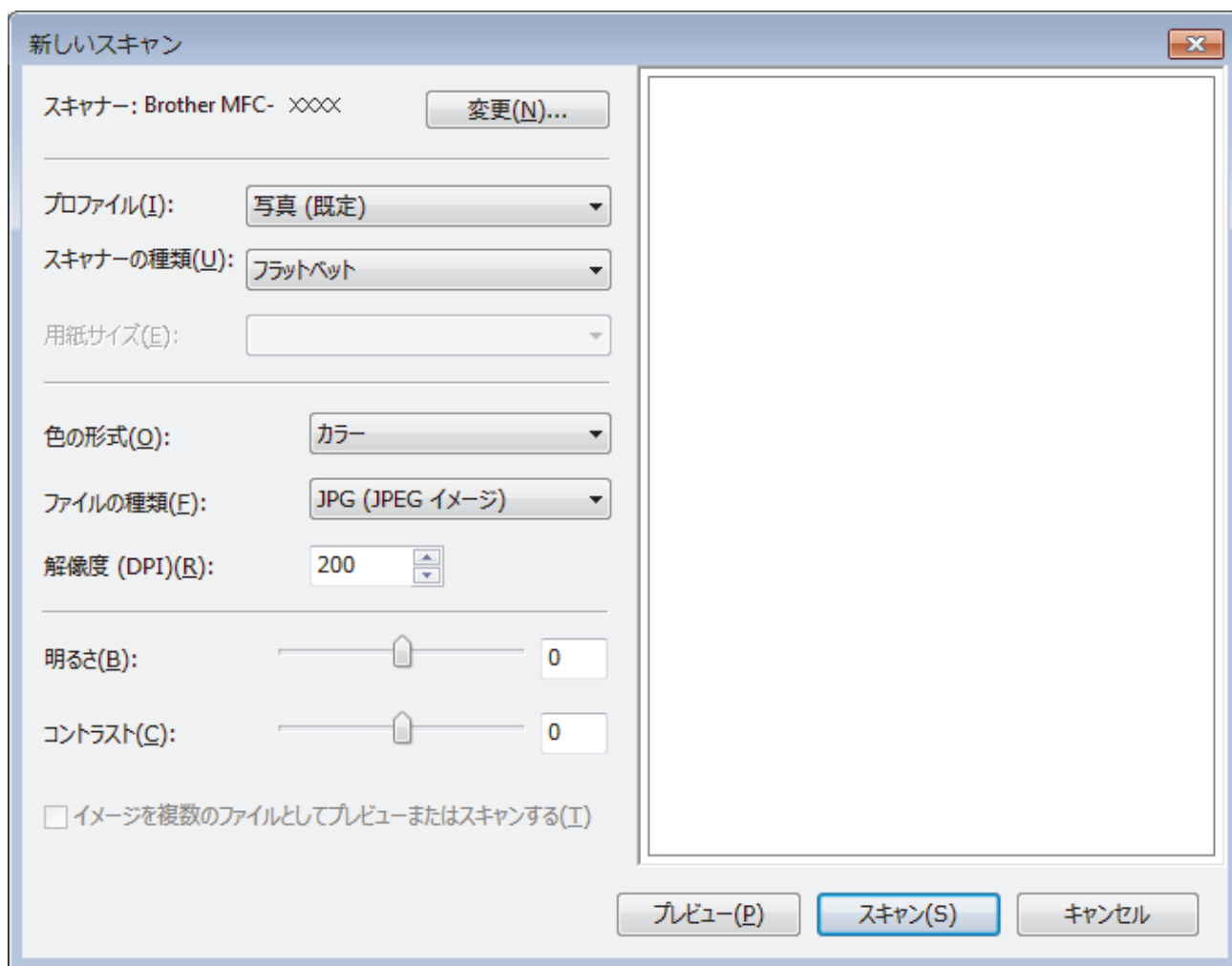
- Nuance™ PaperPort™ 14SE または Other Windows®アプリケーションを使用してスキャンする

Windows® フォトギャラリー、Windows® FAX とスキャンを使ってスキャンする

Windows® フォトギャラリーや Windows® FAX とスキャンアプリケーションを使用してスキャンすることが可能です。


- これらのアプリケーションは、WIA スキャナードライバーを使用します。
- 原稿台ガラスから原稿をスキャンした場合は、スキャンするエリアを調整することが可能です。

1. 原稿をセットします。
2. スキャン用アプリケーションを起動します。 次のいずれかを行ってください。
 - (Windows® フォトギャラリー)
ファイル > カメラまたはスキャナーからの読み込み…をクリックします。
 - (Windows® FAX とスキャン)
ファイル > 新規作成 > スキャンをクリックします。
3. 接続している本製品のモデル名を選択します。
4. **読み込み**または **OK** をクリックします。
新しいスキャンダイアログボックスが表示されます。



5. 必要に応じて、ダイアログボックスの設定を調整します。
スキャナーの解像度は、最大 1200dpi に設定可能です。さらに高解像度でスキャンしたい場合は、**Brother Utilities** の **Scanner Utility** ソフトウェアを使用してください。
両面スキャンを行う場合は、**スキャナーの種類**で**フィーダー (両面スキャン)**を選択します。

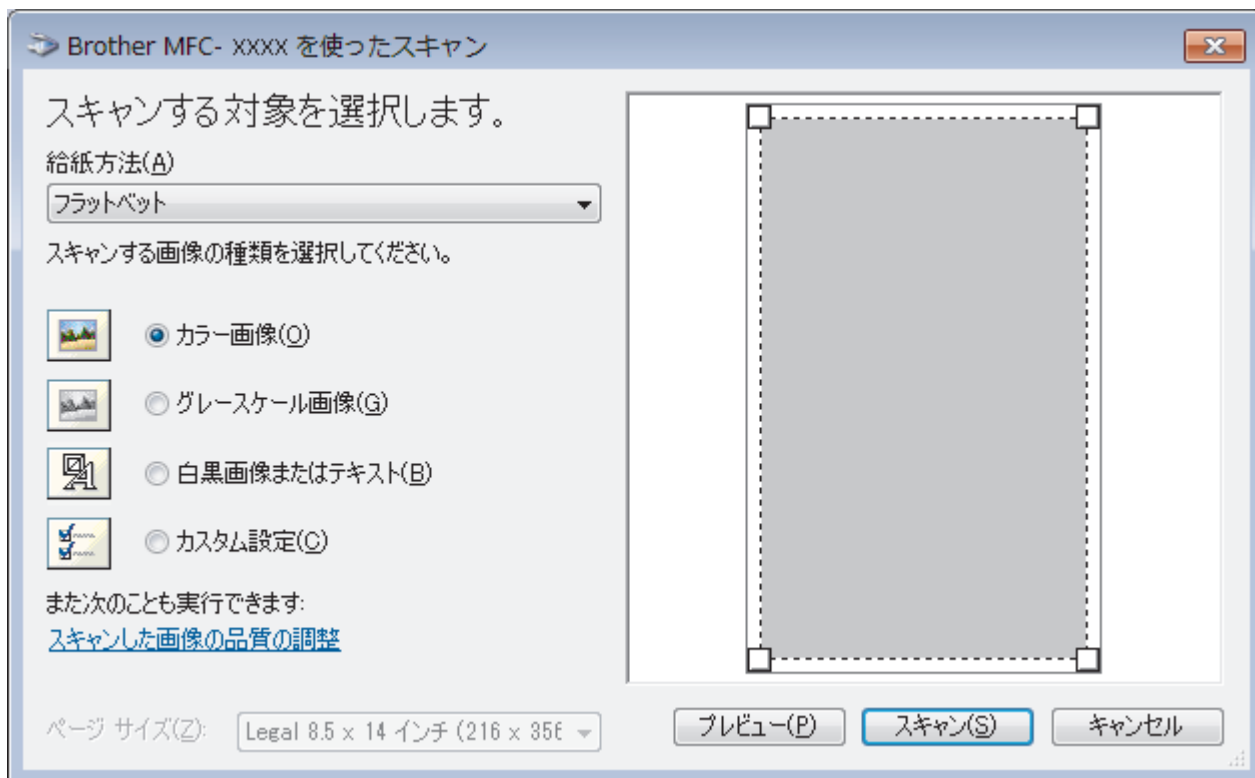
-
6. **スキャン**をクリックします。
本製品がスキャン動作を開始します。

 **関連情報**

- [お使いのパソコンからスキャンする \(Windows®\)](#)
 - [WIA ドライバー設定\(Windows®\)](#)
-

▲ホーム > スキャン > お使いのパソコンからスキャンする (Windows®) > Windows® フォトギャラリー、Windows® FAX とスキャンを使ってスキャンする > WIA ドライバー設定(Windows®)

WIA ドライバー設定(Windows®)



給紙方法

ドロップダウンリストからドキュメント フィーダーまたはフラットベットを選択します。

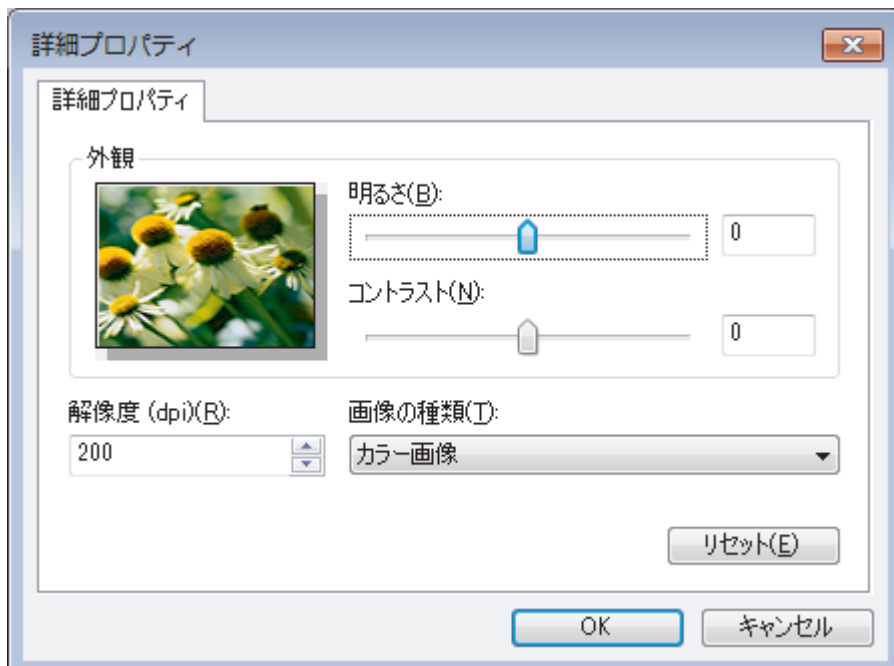
写真のタイプ (画像のタイプ)

スキャンする原稿の種類にあわせて、カラー画像、グレースケール画像、白黒画像またはテキスト、またはカスタム設定を選択します。

詳細設定を変更するには、スキャンした画像の品質の調整リンクをクリックします。

ページサイズ

ページサイズは、給紙方法としてドキュメント フィーダーを選択した場合にのみ利用可能です。



明るさ

つまみを右または左にドラッグして**明るさ**レベルを設定し、画像の明暗を調整します。スキャンした画像が明るすぎる場合は、明るさレベルを下げてから再度原稿をスキャンしてください。画像が暗すぎる場合は、明るさレベルを上げてから再度原稿をスキャンしてください。

コントラスト

つまみを右または左に移動させて、**コントラスト**レベルの調整を行います。レベルを上げると画像の明暗が強調され、レベルを下げるとグレー部分をより詳細に見られます。数値を入力することでコントラストレベルを設定することも可能です。

解像度 (dpi)

解像度 (dpi) から、スキャンの解像度を選択します。高い解像度を選択すると、スキャンしたデータの画質は向上しますが、ファイルサイズが大きくなったり、スキャンするのに時間がかかります。



関連情報

- [Windows® フォトギャラリー](#)、[Windows® FAX](#) とスキャンを使ってスキャンする
-

お使いのパソコンからスキャンする (Mac)

お使いの Mac を使用して、写真や文章を本製品でスキャンします。弊社から提供しているソフトウェアやお使いのスキャンアプリケーションを使用します。

- [ControlCenter2 を使ってスキャンする\(Mac\)](#)
- [TWAIN 準拠のアプリケーションを使ってスキャンする \(Mac\)](#)
- [TWAIN ドライバーの設定 \(Mac\)](#)


ControlCenter2 を使ってスキャンする(Mac)

本製品の ControlCenter ソフトウェアを使って写真や原稿をスキャンし、JPEG、PDF、その他のファイル形式で保存します。

- [ControlCenter2 を使ってスキャンする\(Mac\)](#)
- [ControlCenter2 を使って、スキャンしたデータを PDF ファイルとして保存する\(Mac\)](#)
- [ControlCenter2 を使って、両面原稿をスキャンする\(Mac\)](#)
- [ControlCenter2 を使って、ID カードの両面をスキャンする \(Mac\)](#)
- [ControlCenter2 \(Mac\) を使用したスキャン to E メール添付](#)
- [ControlCenter2 を使用したスキャン to 編集可能テキストファイル \(OCR\) \(Mac\)](#)
- [ControlCenter2 のスキャン設定 \(Mac\)](#)

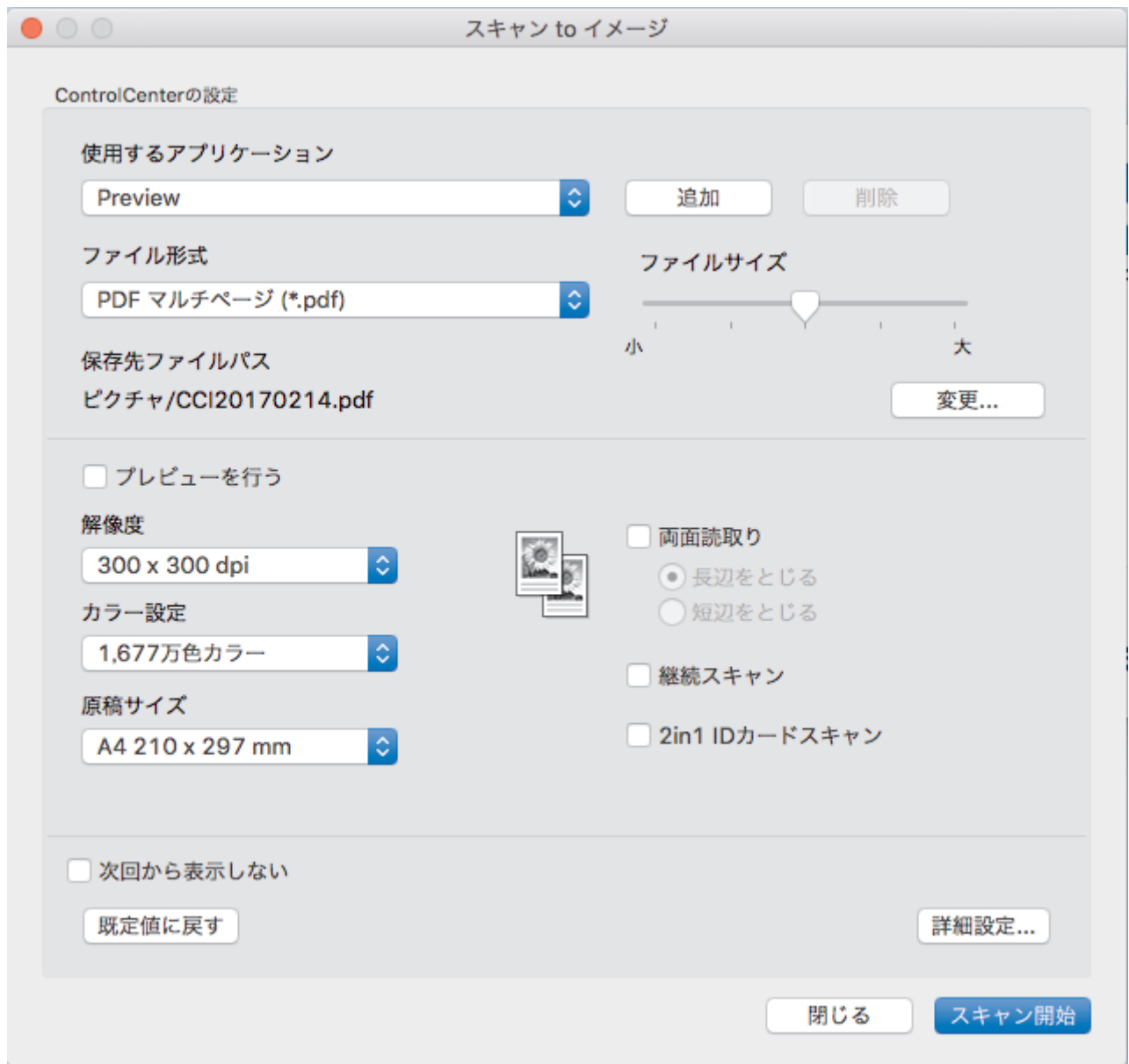
ControlCenter2 を使ってスキャンする (Mac)

スキャンした写真やグラフィックを、お使いのパソコンに直接送信します。

1. 原稿をセットします。
2. **Finder** メニューバーで**移動 > アプリケーション > Brother** をクリックし、 (**ControlCenter**) アイコンをダブルクリックします。
ControlCenter2 画面が表示されます。
3. **スキャン** タブをクリックします。



4. **イメージ** ボタンをクリックします。
スキャン設定ダイアログボックスが表示されます。



5. 必要に応じて、ファイル形式、ファイル名、保存先ファイルパス、解像度、およびカラー設定等のスキャン設定を変更します。



ファイル名または保存先ファイルパスを変更するには、**変更**をクリックします。

6. **スキャン開始**ボタンをクリックします。
本製品はスキャンを開始します。選択されたアプリケーションでスキャンされた画像を開きます。




関連情報

- [ControlCenter2 を使ってスキャンする\(Mac\)](#)

▲ホーム > スキャン > お使いのパソコンからスキャンする (Mac) > ControlCenter2 を使ってスキャンする (Mac) > ControlCenter2 を使って、スキャンしたデータを PDF ファイルとして保存する(Mac)

ControlCenter2 を使って、スキャンしたデータを PDF ファイルとして保存する(Mac)

1. 原稿をセットします。
2. **Finder** メニューバーで**移動 > アプリケーション > Brother** をクリックし、 (ControlCenter) アイコンをダブルクリックします。
ControlCenter2 画面が表示されます。
3. **スキャン**タブをクリックします。



4. **ファイル**ボタンをクリックします。
スキャン設定ダイアログボックスが表示されます。



5. **ファイル形式**のポップアップメニューをクリックし、PDF ファイルを選択します。



PDF ファイルにパスワードを設定する場合は、**パスワード付き PDF (*.pdf)**のポップアップメニューから**ファイル形式**を選択し、**PDF を開くパスワード**および**PDF を開くパスワード (確認)**にパスワードを入力して、**OK**をクリックします。

6. 必要に応じて、ファイル名、保存先フォルダー、解像度、およびカラー等のスキャン設定を変更します。
7. **スキャン開始**ボタンをクリックします。

本製品はスキャン動作を開始します。スキャンしたデータは選択されたフォルダー内に保存されます。

✓ 関連情報

- [ControlCenter2 を使ってスキャンする\(Mac\)](#)

ControlCenter2 を使って、両面原稿をスキャンする (Mac)

関連モデル: MFC-L9570CDW

1. ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットします。



両面原稿を自動的にスキャンする場合は、必ず ADF（自動原稿送り装置）を使用してください。原稿台ガラスは使用しないでください。

2. Finder メニューバーで **移動 > アプリケーション > Brother** をクリックし、（ControlCenter）アイコンをダブルクリックします。

ControlCenter2 画面が表示されます。

3. **スキャン** タブをクリックします。



4. 使用するスキャンの種類ボタン（**イメージ**、**OCR**、**Eメール添付**、または**ファイル**）をクリックします。スキャン設定ダイアログボックスが表示されます。
5. **両面読取り**のチェックボックスにチェックを入れます。
6. 元のレイアウトに合わせて、**長辺をとじる**または**短辺をとじる**を選択します。
7. 必要に応じて他の設定を行います。
8. **スキャン開始**ボタンをクリックします。
本製品でスキャン動作を開始します。


選択したスキャン to 操作の初期値が変更されました。これらの設定値は、このスキャンタイプ（**イメージ**、**OCR**、**Eメール添付**、または**ファイル**）が次回に使用する時、選択された場合に適用されます。



関連情報

- [ControlCenter2 を使ってスキャンする \(Mac\)](#)

ControlCenter2 を使って、ID カードの両面をスキャンする (Mac)

1. 原稿台ガラスに運転免許証のような両面の ID カードをセットします。
2. Finder メニューバーで **移動 > アプリケーション > Brother** をクリックし、 (ControlCenter) アイコンをダブルクリックします。

ControlCenter2 画面が表示されます。

3. **スキャン** タブをクリックします。



4. **ファイル** ボタンをクリックします。
スキャン設定ダイアログボックスが表示されます。



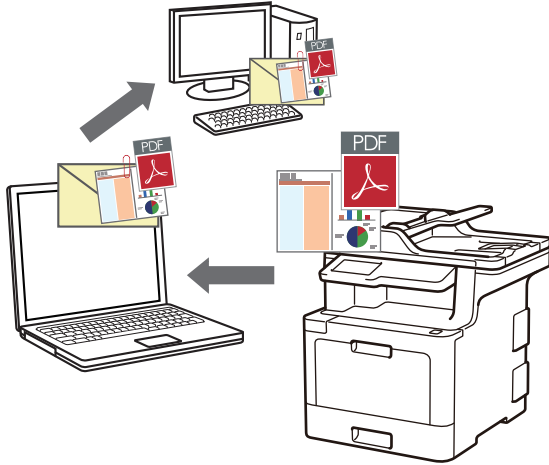
5. **2in1 ID カードスキャン**のチェックボックスにチェックを入れます。
指示ダイアログボックスが表示されます。
6. 画面の指示を確認して、**OK** をクリックします。
7. 必要に応じて他の設定を行います。
8. **スキャン開始**ボタンをクリックします。
本製品で ID カードの片面のスキャンを開始します。
9. 片面のスキャンが終わったら、ID カードを裏返し、**続ける**をクリックしてもう一方の面もスキャンします。
10. **完了**をクリックします。

✓ 関連情報


- [ControlCenter2 を使ってスキャンする\(Mac\)](#)

ControlCenter2 (Mac) を使用したスキャン to E メール添付

パソコンの E メールソフトを起動し、スキャンしたデータを添付ファイルとして送信します。

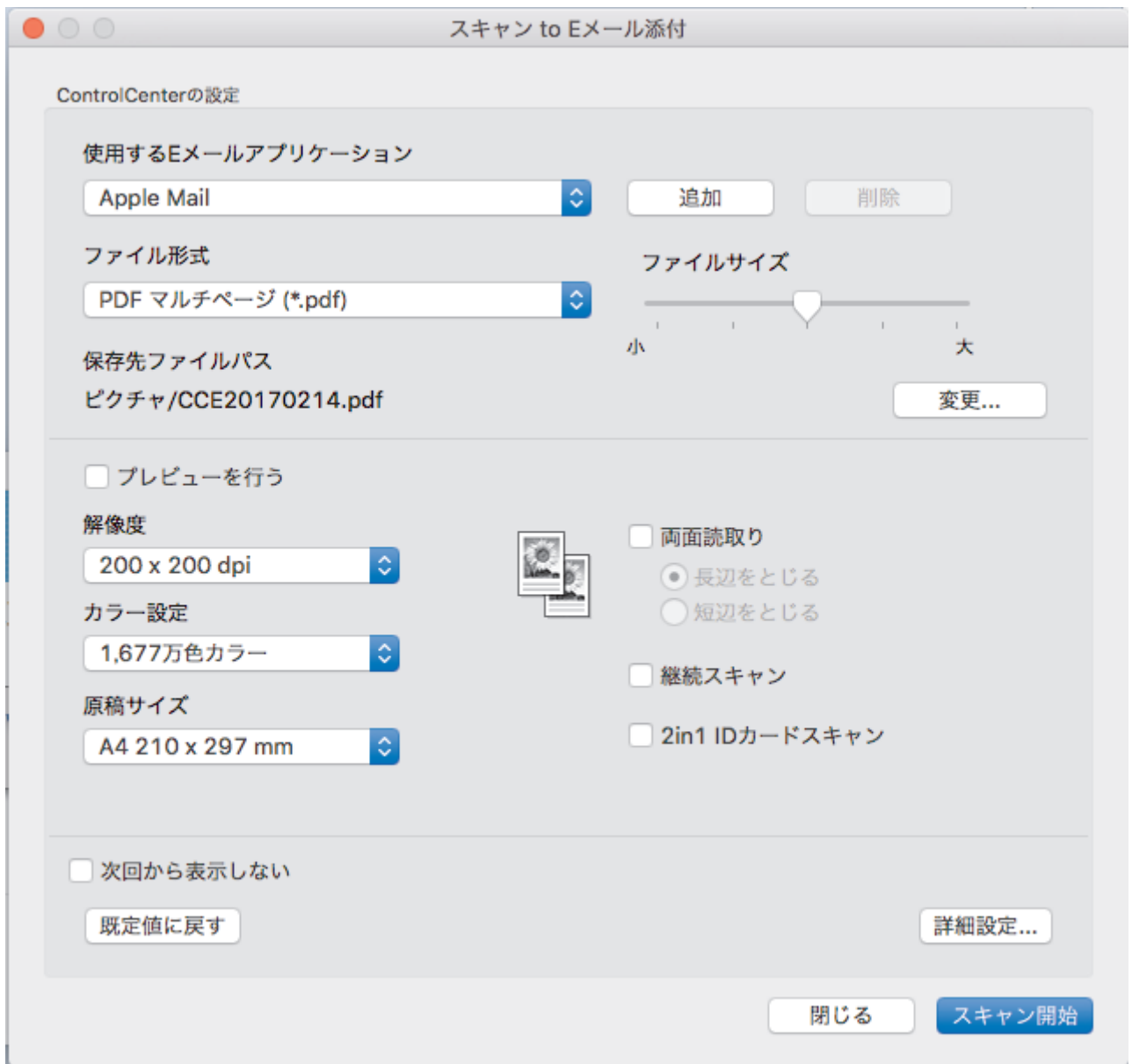


スキャン to E メール添付機能は、Web メールサービスには対応していません。スキャン to イメージまたはスキャン to ファイル機能を使って、原稿や写真をスキャンして、パソコンに保存してください。保存したデータファイルを Web メールに添付してください。

1. 原稿をセットします。
2. **Finder** メニューバーで **移動 > アプリケーション > Brother** をクリックし、 (**ControlCenter**) アイコンをダブルクリックします。
ControlCenter2 画面が表示されます。
3. **スキャン** タブをクリックします。



4. **Eメール添付** ボタンをクリックします。
スキャン設定ダイアログボックスが表示されます。



5. 必要に応じて、ファイル形式、ファイル名、保存先ファイルパス、解像度、およびカラー設定等のスキャン設定を変更します。



ファイル名または保存先ファイルパスを変更するには、**変更**をクリックします。

6. **スキャン開始**ボタンをクリックします。
本製品はスキャンを開始します。パソコンの初期設定で起動するように設定されている E メールソフトが開き、スキャンされたデータが新規の空メールに添付されます。



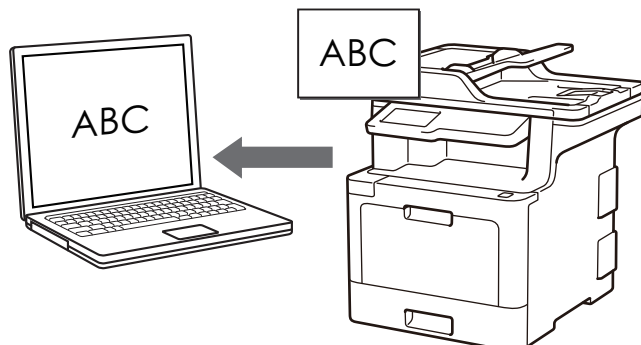
関連情報

- [ControlCenter2 を使ってスキャンする\(Mac\)](#)


▲ホーム > スキャン > お使いのパソコンからスキャンする (Mac) > ControlCenter2 を使ってスキャンする (Mac) > ControlCenter2 を使用したスキャン to 編集可能テキストファイル (OCR) (Mac)

ControlCenter2 を使用したスキャン to 編集可能テキストファイル (OCR) (Mac)

本製品は、OCR（光学式文字認識）の技術を使って、スキャンした原稿の文字をテキストに変換することができます。任意のテキスト編集アプリケーションを使ってこのテキストを編集できます。



スキャン to OCR 機能は、特定の言語にのみ対応しています。

1. 原稿をセットします。
2. **Finder** メニューバーで**移動 > アプリケーション > Brother** をクリックし、 (**ControlCenter**) アイコンをダブルクリックします。
ControlCenter2 画面が表示されます。
3. **スキャン** タブをクリックします。



4. **OCR** ボタンをクリックします。
スキャン設定ダイアログボックスが表示されます。



- 必要に応じて、ファイル形式、ファイル名、保存先ファイルパス、解像度、およびカラー設定等のスキャン設定を変更します。



ファイル名または保存先ファイルパスを変更するには、**変更**をクリックします。

- スキャン開始**ボタンをクリックします。

本製品はスキャン動作を開始し、編集可能なテキストに変換されたデータを、OCR アプリケーションに送信します。



関連情報

- ControlCenter2 を使ってスキャンする(Mac)

ControlCenter2 のスキャン設定 (Mac)

設定	対応している機能			
	イメージ	OCR	Eメール添付	ファイル
使用するアプリケーション/使用する E メールアプリケーション	○	○	○	-
ファイル形式	○	○	○	○
ファイルサイズ	○	-	○	○
OCR 言語	-	○	-	-
保存先ファイルパス	○	○	○	-
ファイル名	○	○	○	○
ファイル名に日付を入れる	○	○	○	○
スキャン毎に名前をつける	-	-	-	○
保存先フォルダー	○	○	○	○
保存先フォルダーを開く	-	-	-	○
解像度	○	○	○	○
カラー設定	○	○	○	○
原稿サイズ	○	○	○	○
継続スキャン	○	○	○	○
両面読取り	○	○	○	○
2in1 ID カードスキャン	○	○	○	○
プレビューを行う	○	○	○	○
詳細設定	○	○	○	○
既定値に戻す	○	○	○	○

使用するアプリケーション/使用する E メールアプリケーション

スキャンしたデータを開くためのアプリケーションを選択します。お使いのパソコンにインストールされているアプリケーションのみ選択することができます。

• 追加

ポップアップメニューにアプリケーションを追加します。

アプリケーションの名前にアプリケーション名を入力し (最大 30 文字)、**参照**ボタンをクリックして使用するアプリケーションを選択します。**ファイル形式**をポップアップメニューから選択します。

• 削除

ポップアップメニューに追加したアプリケーションを削除します。

アプリケーションの名前ポップアップメニューからアプリケーションを選択して、**削除**をクリックします。

ファイル形式

スキャンしたデータのファイル形式を選択します。

ファイルサイズ

ファイルサイズのつまみを右または左に移動させて、**ファイルサイズ**を変更します。

OCR 言語

OCR 言語を設定して、スキャンした原稿中のテキストの言語を照合します。

保存先ファイルパス

変更をクリックして、ファイル名の先頭の文字およびファイル保存先フォルダーのアドレスを変更します。

ファイル名

必要に応じて、お使いのファイル名に接頭辞を入力します。

ファイル名に日付を入れる

スキャンしたデータのファイル名に、日付を自動的に入れます。

スキャン毎に名前をつける

スキャンする度に、スキャンした画像の保存先を指定するには、このオプションを選択します。

保存先フォルダー

参照をクリックして、スキャンしたデータの保存先フォルダーを選択します。

保存先フォルダーを開く

保存先フォルダーを開くを選択して、スキャン後に保存先フォルダーが自動的に表示されるようにします。

解像度

解像度のポップアップメニューから、スキャン解像度を選択します。高い解像度を選択すると、スキャンしたデータの画質は向上しますが、ファイルサイズが大きくなったり、スキャンするのに時間がかかります。

カラー設定

さまざまな色濃度の中から選択します。

- **モノクロ**

文字原稿または線画に使用します。

- **グレー**

写真やグラフィックに使用します。(見た目を自然なグレーに似せるために、黒い点を一定の規則で配置させることで、実際にはグレーの点を使用せずに擬似的にグレー画像を作成する、誤差拡散という手法を使っています。)

- **256 階調グレー**

写真やグラフィックに使用します。最大で 256 段階の色調のグレーを使用して、より正確に細部を再現します。

- **1,677 万色カラー**

最も正確に色を再現した画像を作成したい場合に適しています。最大で 1680 万色を使って画像をスキャンしますが、最も多くのメモリーが必要とされ、転送時間が最も長くなります。

- **自動**

いずれのドキュメントの種類にも使用できます。原稿に対して適切な色の濃さが自動的に選択されます。

原稿サイズ

原稿サイズのポップアップメニューから、原稿の正確なサイズを選択します。

- **1 to 2 (A4)**を選択した場合、スキャンした画像は 2 つの A5 サイズ原稿に分割されます。

継続スキャン

複数ページをスキャンするには、このオプションを選択します。1 ページ目がスキャンされた後に、スキャンを続けるか終了するかを選びます。

両面読取り

原稿の両面スキャンを行うときは、このチェックボックスを選択します。自動両面スキャン機能を使うときは、作成したデータファイルが正しく表示されているか確認するために、原本のレイアウトに応じて**長辺をとじる**または**短辺をとじる**を選択する必要があります。

(MFC-L9570CDW)

2in1 ID カードスキャン

運転免許証のようなカードの両面を 1 つのページにスキャンするときに、このチェックボックスにチェックを入れます。

プレビューを行う

このチェックボックスを選択して、スキャンイメージを確認したり、スキャンしたページの一部を切り取ることが出来ます。

詳細設定

詳細設定を行うには、スキャン設定ダイアログボックスで**詳細設定**ボタンをクリックします。

• 明るさ

つまみを右または左に動かして画像を明るく、または暗くして、**明るさレベル**を設定します。スキャンしたデータが明るすぎる場合は、明るさレベルを下げて再度原稿をスキャンしてください。データが暗すぎる場合は、明るさレベルを上げて再度原稿をスキャンしてください。

• コントラスト

つまみを右または左に移動させて**コントラストレベル**の調整を行います。レベルを上げると画像の明暗が強調され、レベルを下げるとグレー部分をより詳細に見られます。

• 地色除去

原稿の地色を消去して、スキャンしたデータがよりはっきりと分かるこの機能を使う場合、強または弱のいずれかの設定を選択します。

(自動、256 階調グレー、および 1,677 万色カラーにのみ有効)

• 画像回転

スキャンした画像を回転します。

• ADF 傾き補正

ADF(自動原稿送り装置)から原稿をスキャンする場合、原稿の歪みは本製品により自動的に修正されます。

• 白紙除去

スキャン結果から、原稿の白紙ページを削除します。

• スキャン結果表示

パソコン画面に、総ページ数およびスキップした白紙ページ数を表示させます。

既定値に戻す

すべての設定をお買い上げ時の状態に戻すときに選択します。



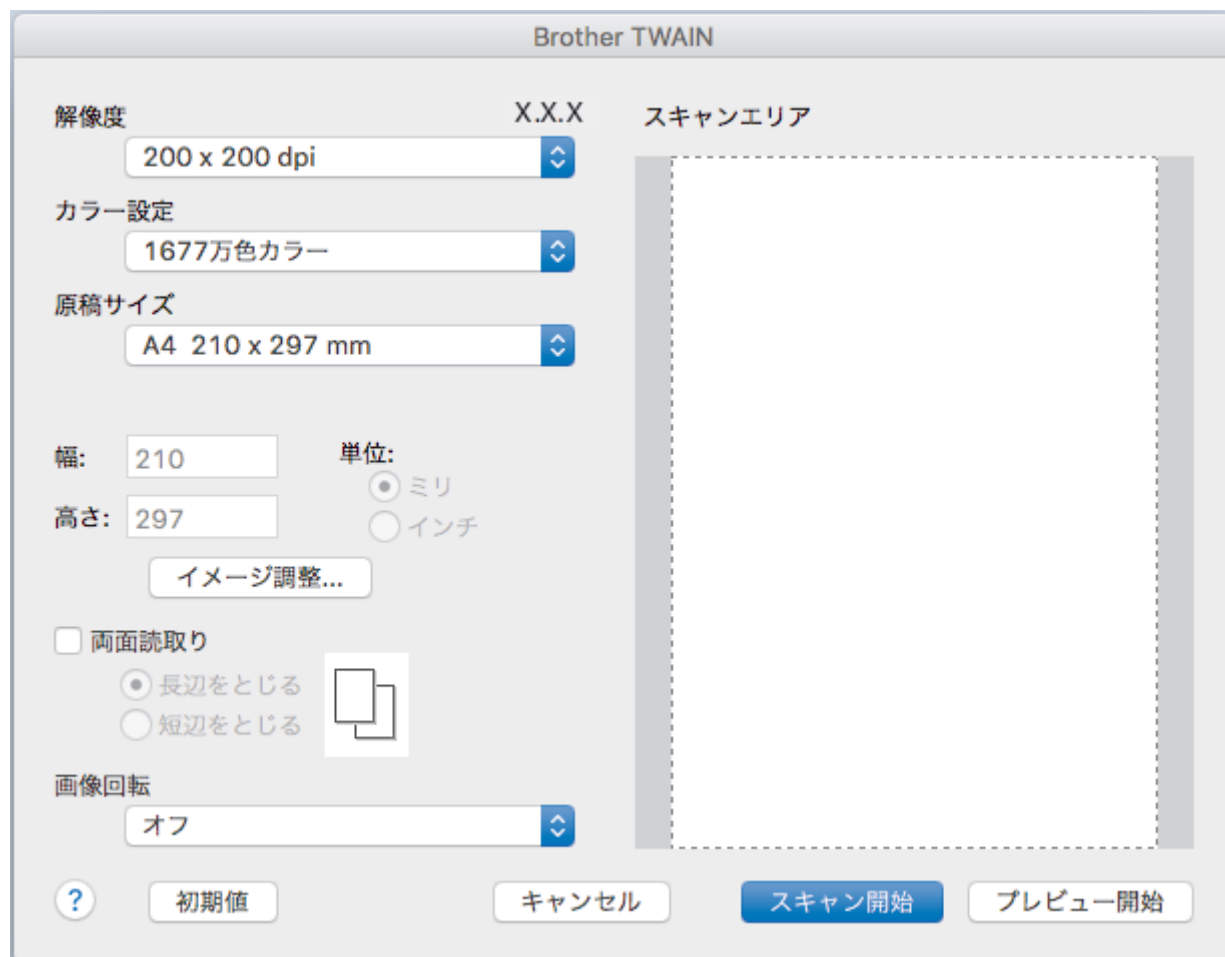
関連情報

- [ControlCenter2 を使ってスキャンする\(Mac\)](#)

TWAIN 準拠のアプリケーションを使ってスキャンする (Mac)

TWAIN 準拠のアプリケーションを使ってスキャンすることができます。スキャンの手順については、お使いのアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

1. グラフィックアプリケーションを起動し、スキャン機能を選択します。
スキャナーセットアップダイアログボックスが表示されます。



2. 必要に応じて、**解像度**、**カラー設定**、または**イメージ調整**等、スキャン設定を変更します。
3. **原稿サイズ**のポップアップメニューをクリックし、原稿サイズを選択します。
4. スキャンする前に画像のプレビューをして不要部分を切り取りたい場合は、**プレビュー開始**をクリックします。



- 原稿サイズを選択したら、マウスのボタンを押したままスキャンしたい範囲までマウスポインターをドラッグし、スキャンするエリアを調整します。
- 原稿の両面をスキャンするには (MFC-L9570CDW) :
自動両面スキャンは、ADF (自動原稿送り装置) を使用している場合にのみ利用可能です。
スキャンするエリアの調整はできません。
プレビュー機能は使用できません。

5. **スキャン開始**をクリックします。
本製品はスキャンを開始します。

✓ 関連情報

- [お使いのパソコンからスキャンする \(Mac\)](#)

TWAIN ドライバーの設定 (Mac)



- 設定項目名および設定可能な値は、ご使用の製品によって異なります。
- **コントラスト**は、**カラー設定**から**グレー**、**256 階調グレー**、または**1677 万色カラー**を選択した場合にのみ設定可能です。

1. 解像度

解像度ポップアップメニューから、スキャン解像度を選択します。高い解像度を選択すると、スキャンしたデータの画質は向上しますが、ファイルサイズが大きくなったり、スキャンするのに時間がかかります。

2. カラー設定

さまざまな色濃度の中から選択します。

• モノクロ

文字原稿または線画に使用します。

• グレー

写真やグラフィックに使用します。(見た目を自然なグレーに似せるために、黒い点を一定の規則で配置させることで、実際にはグレーの点を使用せずに擬似的にグレー画像を作成する、誤差拡散という手法を使っています。)

• 256 階調グレー

写真やグラフィックに使用します。最大で 256 段階の色調のグレーを使用して、より正確に細部を再現します。

• 1677 万色カラー

最も正確に色を再現した画像を作成したい場合に適しています。最大で 1680 万色を使って画像をスキャンしますが、最も多くのメモリーが必要とされ、転送時間が最も長くなります。

3. 原稿サイズ

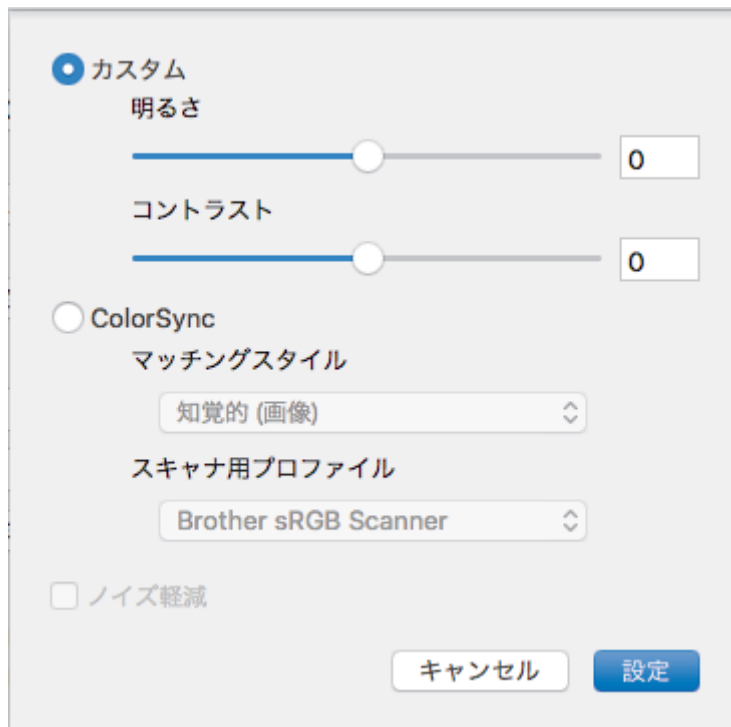
あらかじめ設定されたスキャンサイズから、正確な原稿サイズを選択します。

- **ユーザー定義サイズ**を選択した場合、原稿サイズを指定することができます。



4. イメージ調整

イメージ調整ボタンをクリックして、他の画像品質を調整します。



The image shows a software dialog box for image adjustment. It has a light gray background and contains the following elements:

- A radio button labeled "カスタム" (Custom) is selected.
- Below it, the label "明るさ" (Brightness) is followed by a horizontal slider and a numeric input field containing "0".
- Below that, the label "コントラスト" (Contrast) is followed by another horizontal slider and a numeric input field containing "0".
- A radio button labeled "ColorSync" is unselected.
- Below it, the label "マッチングスタイル" (Matching Style) is followed by a dropdown menu showing "知覚的 (画像)" (Perceptual (Image)).
- Below that, the label "スキャナ用プロファイル" (Scanner Profile) is followed by a dropdown menu showing "Brother sRGB Scanner".
- At the bottom left, there is a checkbox labeled "ノイズ軽減" (Noise Reduction) which is unselected.
- At the bottom right, there are two buttons: "キャンセル" (Cancel) and "設定" (Settings).

明るさ

つまみを右または左に移動させて、スキャンしたデータの**明るさ**を調整します。スキャンしたデータが明るすぎる場合は、明るさレベルを下げて再度原稿をスキャンしてください。データが暗すぎる場合は、明るさレベルを上げて再度原稿をスキャンしてください。数値を入力して、明るさレベルを設定することも可能です。

コントラスト

つまみを右または左に移動させて**コントラスト**レベルの調整を行います。レベルを上げると画像の明暗が強調され、レベルを下げるとグレー部分をより詳細に見られます。コントラストは、数値を入力して設定することも可能です。

ノイズ軽減

スキャンしたデータに乱れがある場合に使用して、画像データのノイズを軽減します。**ノイズ軽減**は、**1677万色カラー**で解像度が **300 x 300 dpi**、**400 x 400 dpi**、または **600 x 600 dpi** の場合に利用可能です。

5. 両面読取り

このチェックボックスを選択した場合は、本製品は原稿の両面をスキャンします。自動両面スキャン機能を使うときは、作成したデータファイルが正しく表示されているか確認するために、原本のレイアウトに応じて**長辺をとじる**または**短辺をとじる**を選択する必要があります。

(特定モデルのみ対応)

6. 画像回転

スキャンした画像を回転します。

✓ 関連情報


- [お使いのパソコンからスキャンする \(Mac\)](#)

ウェブブラウザを使用してスキャン設定を行う

- ウェブブラウザを使用してスキャンファイル名称を設定する
- ウェブブラウザを使用してスキャンジョブのEメールレポートを設定する

ウェブブラウザを使用してスキャンファイル名称を設定する

ウェブブラウザを使用して、スキャンしたデータのファイル名を設定します。

1. ウェブブラウザを起動します。
ブラウザのアドレス欄に「http://製品の IP アドレス」を入力します（「製品の IP アドレス」の部分には本製品の IP アドレスまたはプリントサーバー名を入力します）。例：http://192.168.1.2
初期設定ではパスワードは必要ありません。以前にパスワード設定をしている場合は、そのパスワードを入力し、をクリックします。
2. **スキャン**タブをクリックします。
3. 左側にあるナビゲーションバーの**スキャン ファイル名称**メニューをクリックします。
4. ドロップダウンリストから **ファイル名項目順序** 認証の種類を選択します。
5. **ファイル名項目順序** 欄で日付を含めるオプションを選択した場合、ドロップダウンリストから **日付** フォーマットを選択します。
6. ファイル名に時間情報を含めるには、**時間** 欄で、**オン** を選択します。
7. **カウンタ** 欄で、**自動更新** または **読み取り毎にリセット** を選択します。



読み取り毎にリセットを選択すると、ファイル名の重複が起こることがあります。

8. ファイル名の先頭にユーザー定義の名称をつけたい場合は、各スキャン機能のユーザー定義欄にファイル名を入力します。



?、/、\、*等の文字を使用すると、送信エラーが起こることがあります。

9. **OK** をクリックします。




関連情報

- [ウェブブラウザを使用してスキャン設定を行う](#)

ウェブブラウザを使用してスキャンジョブのEメールレポートを設定する

原稿をスキャンすると、本製品はスキャンジョブのEメールレポートを、登録されているEメールアドレスに自動的に送信します。

1. ウェブブラウザを起動します。
ブラウザのアドレス欄に「http://製品のIPアドレス」を入力します（「製品のIPアドレス」の部分には本製品のIPアドレスまたはプリントサーバー名を入力します）。例：http://192.168.1.2
初期設定ではパスワードは必要ありません。以前にパスワード設定をしている場合は、そのパスワードを入力し、をクリックします。
2. **スキャン**タブをクリックします。
3. 左側にあるナビゲーションバーの**スキャン通知レポート**メニューをクリックします。
4. **管理者メールアドレス**欄で、E-mail アドレスを入力します。
5. 利用するスキャン機能に対して**オン**を選択し、スキャンジョブのEメールレポートが送信されるようにします。
6. **OK** をクリックします。

関連情報

- [ウェブブラウザを使用してスキャン設定を行う](#)

PC-FAX

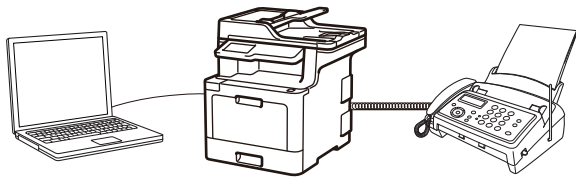
- Windows®用 PC-FAX (MFC モデル)
- Mac 用 PC-FAX (MFC モデル)

Windows®用 PC-FAX (MFC モデル)

- [PC-FAX の概要\(Windows®\) \(MFC モデル\)](#)
- [PC-FAX を使ってファクスを送信する\(Windows®\)](#)
- [パソコンでファクスを受信する\(Windows®\) \(MFC モデル\)](#)

PC-FAX の概要(Windows®) (MFC モデル)

本製品の PC-FAX ソフトウェアを使用して、印刷せずにパソコンから直接ファクス (モノクロのみ) を送信します。この機能により、用紙の消費を抑えたり、時間を節約したりすることができます。



- PC-FAX の設定を行う(Windows®)
- PC-FAX のアドレス帳を設定する (Windows®)

PC-FAX の設定を行う(Windows®)

PC-FAX を使用してファクスを送信する前に、**PC-FAX 設定**ダイアログボックスの各タブにある送信設定をカスタマイズします。

1. 次のいずれかを行ってください。

- Windows® 7



(スタート) > **すべてのプログラム** > **Brother** > **Brother Utilities** をクリックします。

モデル名が選択されていない場合は、ドロップダウンリストをクリックして、お使いの製品のモデル名を選択します。左ナビゲーションバーの**パソコンからファクスを送受信する**をクリックし、**PC-FAX 送信設定**をクリックします。

- Windows® 8 および Windows® 10



(**Brother Utilities**) を起動し、ドロップダウンリストをクリックして、お使いの機器のモデル名を選択します (未選択の場合)。左ナビゲーションバーの**パソコンからファクスを送受信する**をクリックし、**PC-FAX 送信設定**をクリックします。

PC-FAX 設定ダイアログボックスが表示されます。

The screenshot shows a window titled "PC-FAX 設定" with a close button (X) in the top right corner. Below the title bar are three tabs: "個人情報", "送信", and "アドレス帳". The "個人情報" tab is active. The main area contains the following labels and input fields:

- 名前: [input field]
- 会社名: [input field]
- 部署: [input field]
- 電話番号: [input field]
- FAX 番号: [input field]
- E-mail: [input field]
- 住所1: [input field]
- 住所2: [input field]

At the bottom right, there are two buttons: "OK" and "キャンセル".

2. 次のいずれかを行ってください。

- **個人情報**タブをクリックし、各欄にユーザー情報を入力します。



各 Microsoft®アカウントでは、ファクスのヘッダーや送付書に、カスタマイズした**個人情報**画面をそれぞれ設定することができます。

- **送信**タブをクリックし、必要に応じて、外線にアクセスするために必要な番号を**外線番号**に入力します。**ヘッダー情報追加**のチェックボックスを選択し、ヘッダー情報を含めます。
- **アドレス帳**タブをクリックし、**使用するアドレス帳**のドロップダウンリストから、PC-FAX に使いたいアドレス帳を選択します。

3. **OK** をクリックします。



関連情報

- PC-FAX の概要(Windows®) (MFC モデル)

PC-FAX のアドレス帳を設定する (Windows®)

PC-FAX アドレス帳で、メンバーやグループを追加、編集、または削除などのカスタマイズを行います。

- PC-FAX アドレス帳にメンバーを追加する(Windows®)
- PC-FAX アドレス帳でグループを作成する (Windows®)
- PC-FAX アドレス帳でメンバーまたはグループの情報を編集する (Windows®)
- PC-FAX アドレス帳でメンバーまたはグループを削除する (Windows®)
- PC-FAX アドレス帳をエクスポートする (Windows®)
- PC-FAX アドレス帳に情報をインポートする (Windows®)

PC-FAX アドレス帳にメンバーを追加する(Windows®)

本製品の PC-FAX ソフトウェアを使ってファクスを送りたい場合は、新規のメンバーおよびそのメンバーのファクス情報を PC-FAX アドレス帳に追加します。

1. 次のいずれかを行ってください。

- Windows® 7



(スタート) > すべてのプログラム > Brother > Brother Utilities をクリックします。

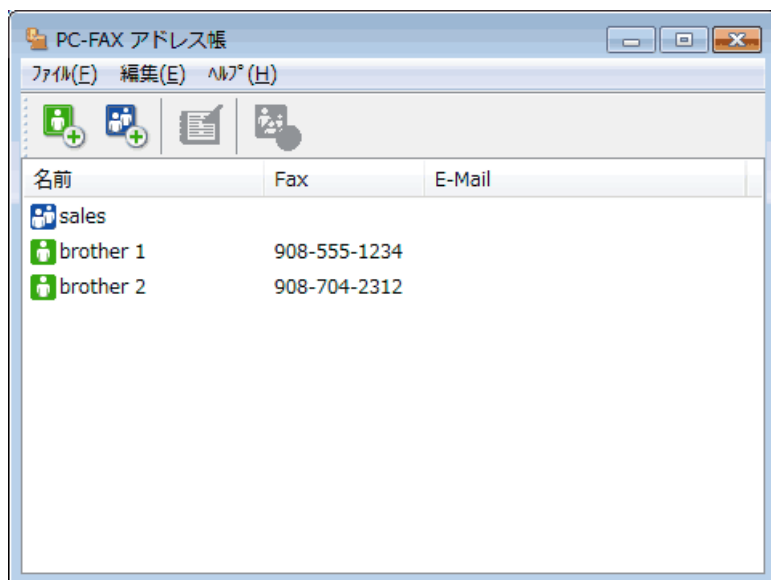
モデル名が選択されていない場合は、ドロップダウンリストをクリックして、お使いの製品のモデル名を選択します。左ナビゲーションバーのパソコンからファクスを送受信するをクリックし、PC-FAX 送信アドレス帳をクリックします。


- Windows® 8 および Windows® 10



(Brother Utilities) を起動し、ドロップダウンリストをクリックして、お使いの機器のモデル名を選択します (未選択の場合)。左ナビゲーションバーのパソコンからファクスを送受信するをクリックし、PC-FAX 送信アドレス帳をクリックします。

PC-FAX アドレス帳ダイアログボックスが表示されます。



2.  をクリックします。

PC-FAX アドレス帳 メンバー設定ダイアログボックスが表示されます。

PC-FAX アドレス帳 メンバー設定

名前(N):	<input type="text"/>	敬称(T):	<input type="text"/>
会社名(O):	<input type="text"/>		
部署(D):	<input type="text"/>	役職(J):	<input type="text"/>
番地(S):	<input type="text"/>		
市町村(C):	<input type="text"/>	都道府県(V):	<input type="text"/>
郵便番号(Z):	<input type="text"/>	国/地域(R):	<input type="text"/>
勤務先電話番号(B):	<input type="text"/>	自宅電話番号(H):	<input type="text"/>
ファクス(F):	<input type="text"/>	携帯電話(P):	<input type="text"/>
E-Mail(E):	<input type="text"/>		

決定 キャンセル

3. 対応する欄にメンバーの情報を入力します。**名前のみ必須**です。



電話番号およびファクス番号は、必ず市外局番から登録してください。ナンバー・ディスプレイの名前や着信履歴が正しく表示されない場合があります。

4. **決定**をクリックします。



関連情報

- PC-FAX のアドレス帳を設定する (Windows®)

PC-FAX アドレス帳でグループを作成する (Windows®)

グループを作成して、PC-FAX を複数の受信者に同報送信します。


1. 次のいずれかを行ってください。

- Windows® 7

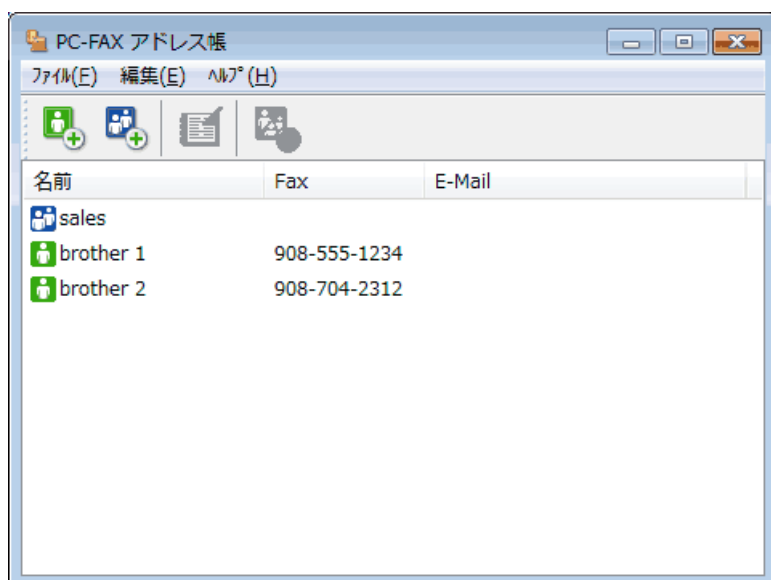
 (スタート) > **すべてのプログラム** > **Brother** > **Brother Utilities** をクリックします。


モデル名が選択されていない場合は、ドロップダウンリストをクリックして、お使いの製品のモデル名を選択します。左ナビゲーションバーの**パソコンからファクスを送受信する**をクリックし、**PC-FAX 送信アドレス帳**をクリックします。

- Windows® 8 および Windows® 10

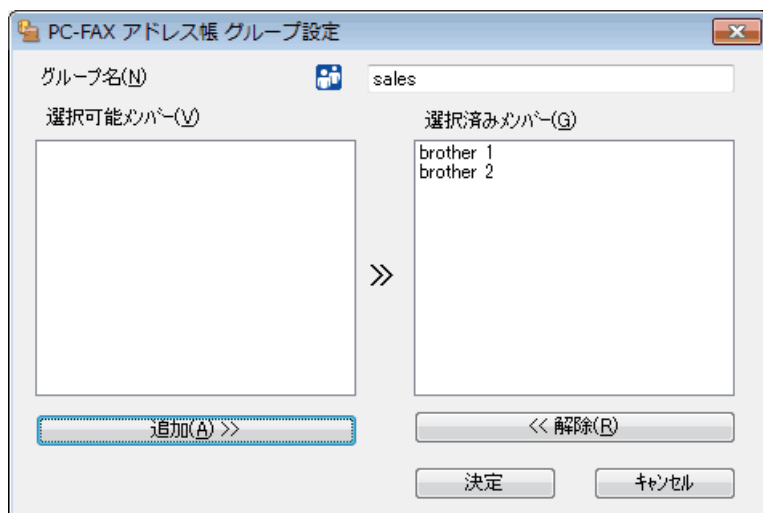
 (**Brother Utilities**) を起動し、ドロップダウンリストをクリックして、お使いの機器のモデル名を選択します (未選択の場合)。左ナビゲーションバーの**パソコンからファクスを送受信する**をクリックし、**PC-FAX 送信アドレス帳**をクリックします。

PC-FAX アドレス帳ダイアログボックスが表示されます。



2.  をクリックします。

PC-FAX アドレス帳 **グループ設定**ダイアログボックスが表示されます。



3. **グループ名**に、新しいグループの名前を入力します。

4. **選択可能メンバー**内からグループに含める名前を選択し、**追加**をクリックします。

グループに追加されたメンバーは、**選択済みメンバー**に表示されます。

5. 設定の完了後、**決定**をクリックします。



各グループには、最大 50 名のメンバーを含めることができます。



関連情報

- PC-FAX のアドレス帳を設定する (Windows®)

PC-FAX アドレス帳でメンバーまたはグループの情報を編集する (Windows®)


1. 次のいずれかを行ってください。

- Windows® 7

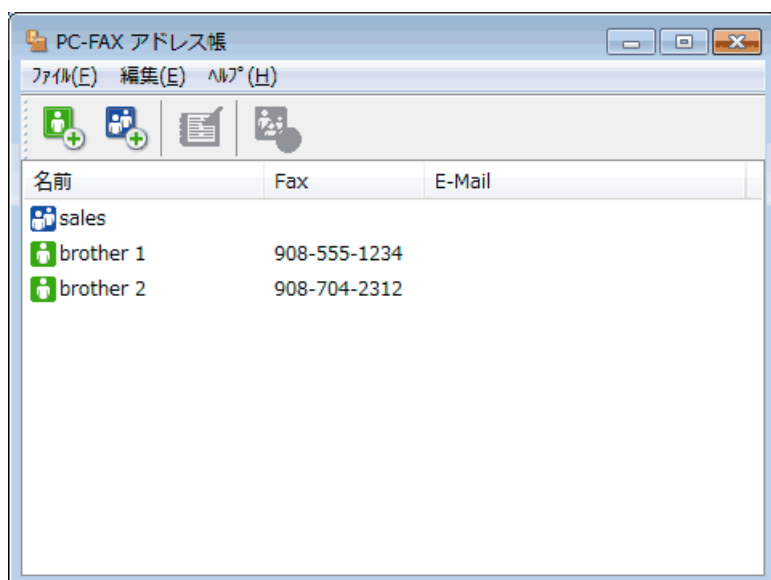
 (スタート) > **すべてのプログラム** > **Brother** > **Brother Utilities** をクリックします。

モデル名が選択されていない場合は、ドロップダウンリストをクリックして、お使いの製品のモデル名を選択します。左ナビゲーションバーの**パソコンからファクスを送受信する**をクリックし、**PC-FAX 送信アドレス帳**をクリックします。


- Windows® 8 および Windows® 10

 (**Brother Utilities**) を起動し、ドロップダウンリストをクリックして、お使いの機器のモデル名を選択します (未選択の場合)。左ナビゲーションバーの**パソコンからファクスを送受信する**をクリックし、**PC-FAX 送信アドレス帳**をクリックします。

PC-FAX アドレス帳ダイアログボックスが表示されます。



2. 編集したいメンバーまたはグループを選択します。

3.  (詳細情報) をクリックします。

4. メンバーまたはグループ情報を変更します。

5. **決定**をクリックします。

✓ 関連情報

- PC-FAX のアドレス帳を設定する (Windows®)

PC-FAX アドレス帳でメンバーまたはグループを削除する (Windows®)

1. 次のいずれかを行ってください。

- Windows® 7



(スタート) > すべてのプログラム > Brother > Brother Utilities をクリックします。

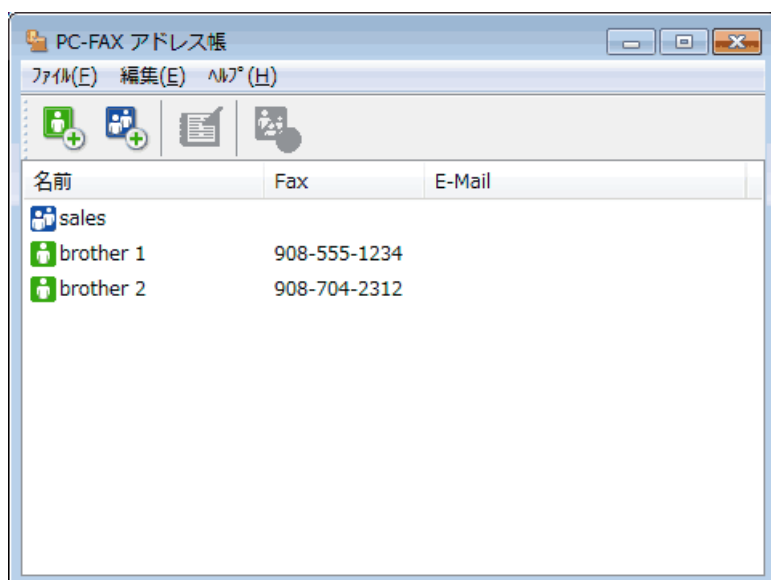
モデル名が選択されていない場合は、ドロップダウンリストをクリックして、お使いの製品のモデル名を選択します。左ナビゲーションバーのパソコンからファクスを送受信するをクリックし、PC-FAX 送信アドレス帳をクリックします。

- Windows® 8 および Windows® 10




(Brother Utilities) を起動し、ドロップダウンリストをクリックして、お使いの機器のモデル名を選択します (未選択の場合)。左ナビゲーションバーのパソコンからファクスを送受信するをクリックし、PC-FAX 送信アドレス帳をクリックします。

PC-FAX アドレス帳ダイアログボックスが表示されます。



2. 削除したいメンバーまたはグループを選択します。

3.  (削除) をクリックします。

4. 確認ダイアログボックスが表示されたら、OK をクリックします。



関連情報

- PC-FAX のアドレス帳を設定する (Windows®)

PC-FAX アドレス帳をエクスポートする (Windows®)

アドレス帳を、ASCII テキストファイル (*.csv)、vCard (電子名刺)、またはリモートセットアップダイアルデータとしてエクスポートし、お使いのパソコンに保存することができます。

- PC-FAX アドレス帳データをエクスポートしても、グループ設定はエクスポートできません。


1. 次のいずれかを行ってください。

- Windows® 7

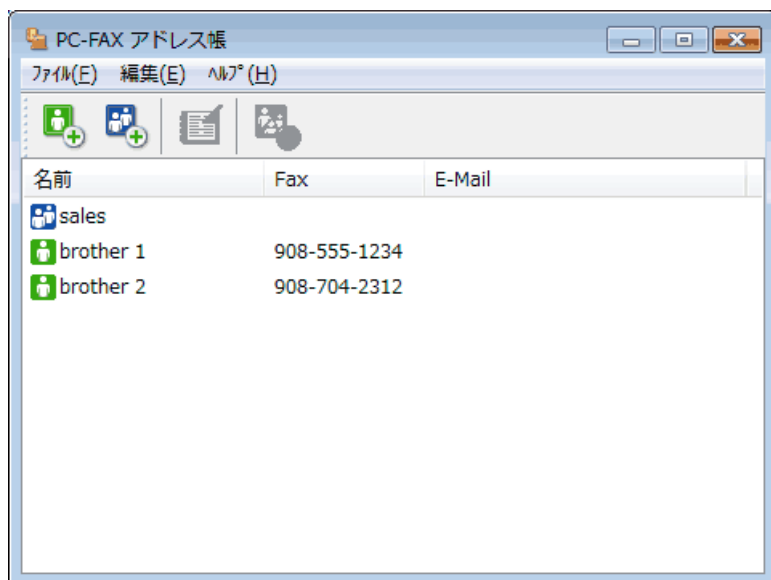
 (スタート) > **すべてのプログラム** > **Brother** > **Brother Utilities** をクリックします。

モデル名が選択されていない場合は、ドロップダウンリストをクリックして、お使いの製品のモデル名を選択します。左ナビゲーションバーの**パソコンからファクスを送受信する**をクリックし、**PC-FAX 送信アドレス帳**をクリックします。

- Windows® 8 および Windows® 10

 (**Brother Utilities**) を起動し、ドロップダウンリストをクリックして、お使いの機器のモデル名を選択します (未選択の場合)。左ナビゲーションバーの**パソコンからファクスを送受信する**をクリックし、**PC-FAX 送信アドレス帳**をクリックします。

PC-FAX アドレス帳ダイアログボックスが表示されます。



2. **ファイル**メニューをクリックして、**エクスポート**を選択します。

3. 以下のいずれかを選択してください。

- **テキストファイル**

項目選択ダイアログボックスが表示されます。手順 4 に進みます。

- **vCard**

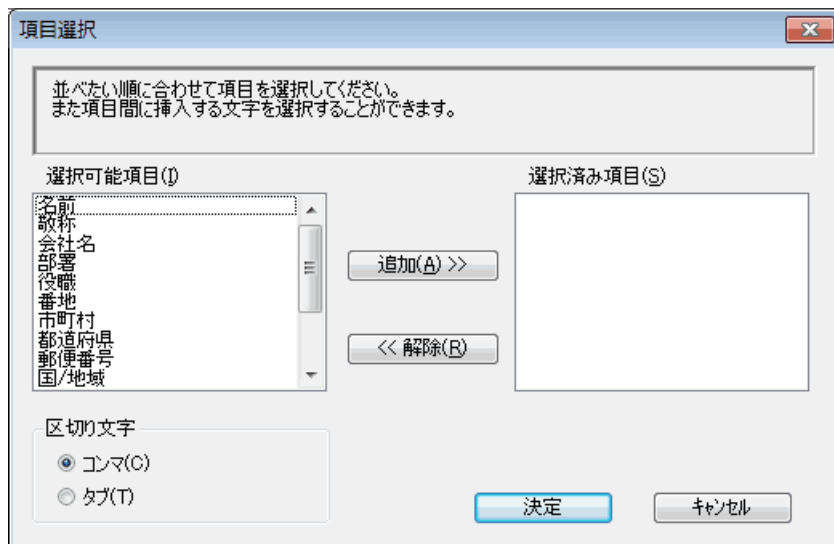
選択する前に、アドレス帳からエクスポートするメンバーを指定する必要があります。


vCard の保存先フォルダーを開き、**ファイル名**にファイル名を入力して、**保存**をクリックします。

- **リモートセットアップダイアルデータ**

データの保存先フォルダーを開き、**ファイル名**にファイル名を入力して、**保存**をクリックします。

4. **選択可能項目**で、エクスポートするデータを選択し、**追加**をクリックします。



 表示する順に項目を選択して追加します。

5. ASCII ファイルにエクスポートする場合、**区切り文字**で、**タブ**または**コンマ**を選択して、データフィールドを分割します。
6. **決定**をクリックします。
7. データの保存先のパソコンのフォルダーを開き、ファイル名を入力して、**保存**をクリックします。

関連情報

- PC-FAX のアドレス帳を設定する (Windows®)

PC-FAX アドレス帳に情報をインポートする (Windows®)

ASCII テキストファイル(*.csv)、vCard (電子名刺)、またはリモートセットアップダイアルデータを、お使いのアドレス帳にインポートすることができます。

1. 次のいずれかを行ってください。

- Windows® 7



(スタート) > すべてのプログラム > Brother > Brother Utilities をクリックします。

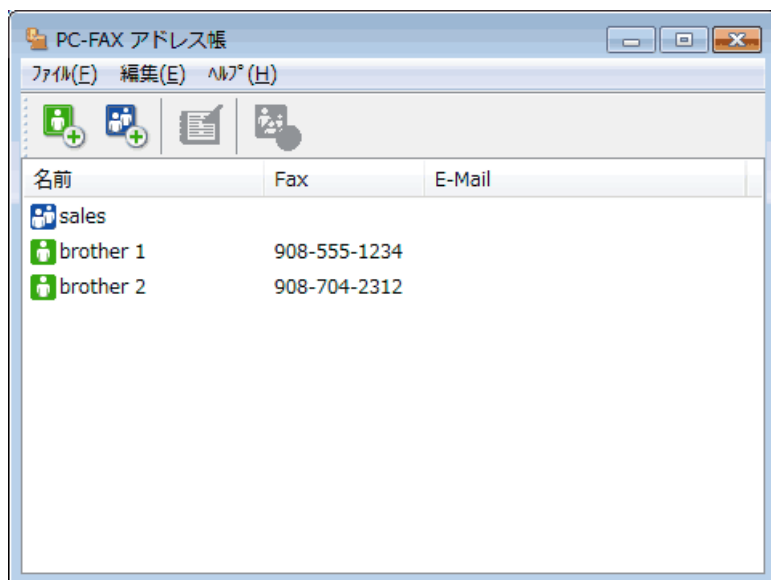
モデル名が選択されていない場合は、ドロップダウンリストをクリックして、お使いの製品のモデル名を選択します。左ナビゲーションバーのパソコンからファクスを送受信するをクリックし、PC-FAX 送信アドレス帳をクリックします。

- Windows® 8 および Windows® 10



(Brother Utilities) を起動し、ドロップダウンリストをクリックして、お使いの機器のモデル名を選択します (未選択の場合)。左ナビゲーションバーのパソコンからファクスを送受信するをクリックし、PC-FAX 送信アドレス帳をクリックします。

PC-FAX アドレス帳ダイアログボックスが表示されます。



2. ファイルメニューをクリックし、インポートを選択します。

3. 以下のいずれかを選択してください。

- テキストファイル

項目選択のダイアログボックスが表示されます。手順 4 に進みます。

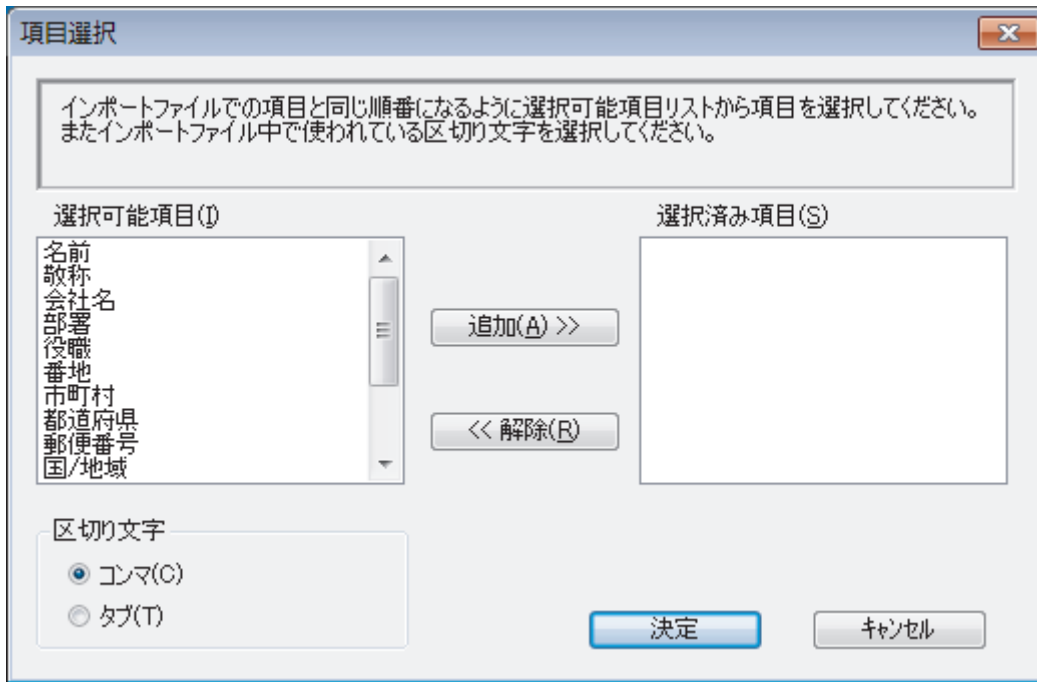
- vCard

手順 7 に進みます。

- リモートセットアップダイアルデータ

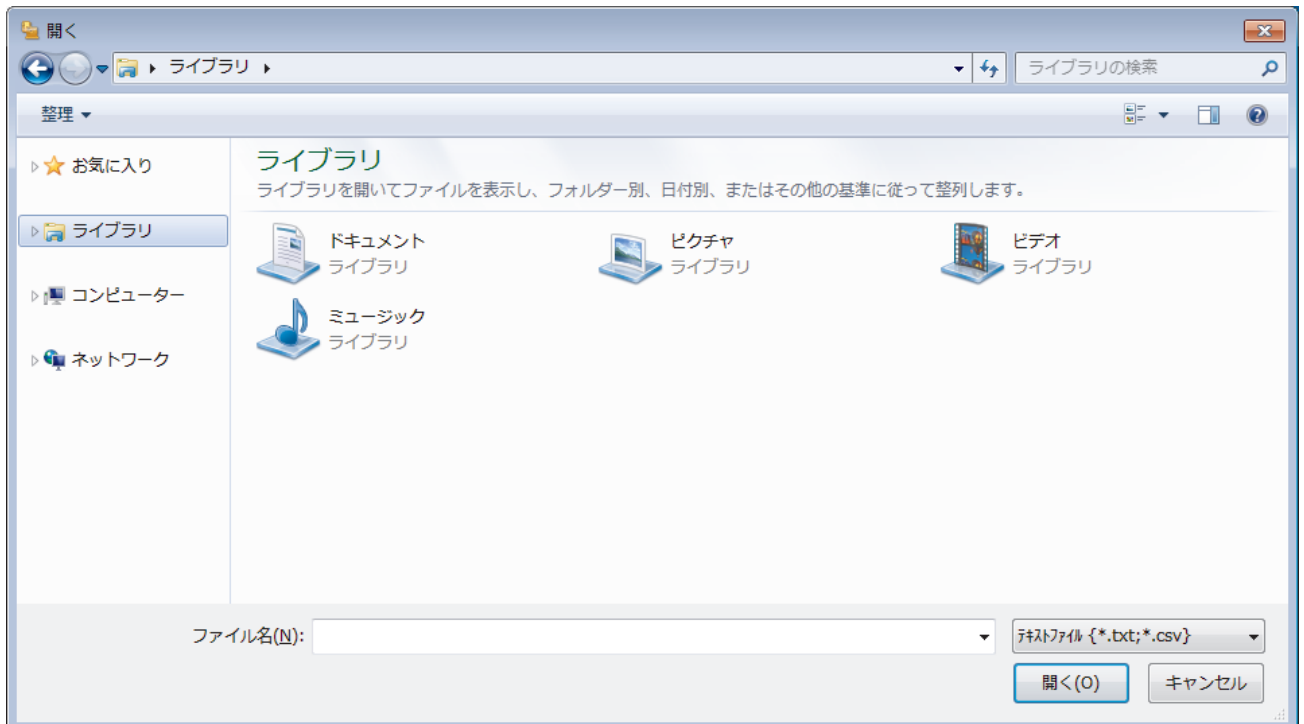
手順 7 に進みます。

4. 選択可能項目で、インポートしたいデータを選択し、追加をクリックします。



選択可能項目から、インポートするテキストファイルの並びと同じ順番で追加してください。

5. ASCII ファイルをインポートする場合、**区切り文字**で**タブ**または**コンマ**を選択してデータフィールドを区切ります。
6. **決定**をクリックします。
7. データをインポートしたいフォルダーを選択し、ファイル名を入力して**開く**をクリックします。



✓ 関連情報

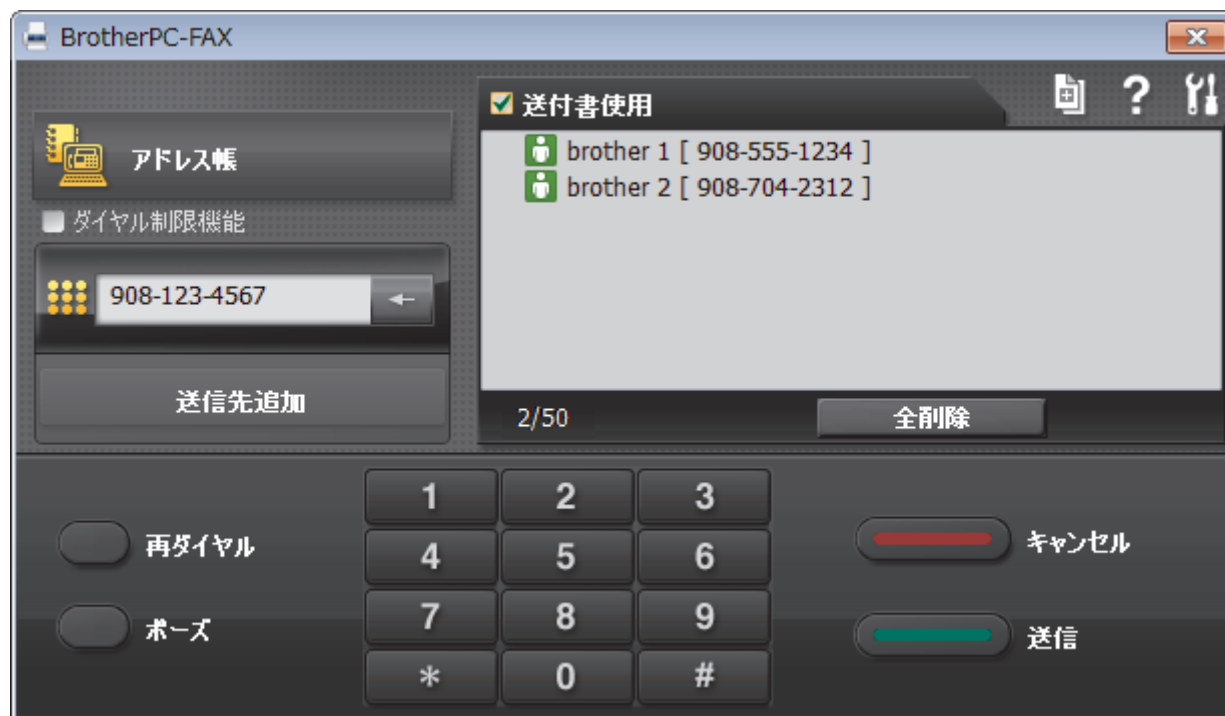
- PC-FAX のアドレス帳を設定する (Windows®)

PC-FAX を使ってファクスを送信する(Windows®)


PC-FAX はモノクロのファクスにのみ対応しています。元のデータがカラーで、かつ受信側のファクス機がカラー対応のファクスであったとしても、モノクロのファクスが送信されます。

1. パソコン上のアプリケーションでファイルを作成します。
2. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
3. プリンターとして **Brother PC-FAX** を選択し、印刷操作を完了させます。


BrotherPC-FAX のダイアログボックスが表示されます。




4. 以下のいずれかの方法でファクス番号を入力します。
 - ダイアルパッドの数字をクリックして番号を入力し、**送信先追加**をクリックします。

 **ダイヤル制限機能**のチェックボックスを選択した場合は、確認用ダイアログボックスが表示され、キーボードを使ってファクス番号を再入力することが求められます。この機能により、送信先の間違いを防ぐことができます。

- **アドレス帳**ボタンをクリックし、アドレス帳からメンバーまたはグループを設定します。

 間違った場合は、**全削除**をクリックすれば入力した項目をすべて削除できます。

5. 送付書を含める場合は、**送付書使用**のチェックボックスにチェックを入れます。  をクリックして送付書の作成や編集をすることもできます。
6. **送信**をクリックしてファクスを送信します。

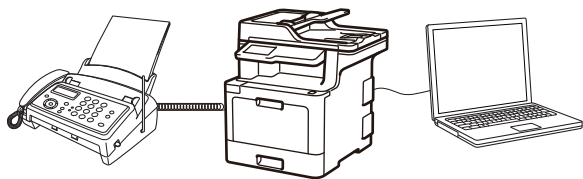
- ファクス送信を中止するときは、**キャンセル**をクリックします。
- 再ダイヤルするときは、**再ダイヤル**をクリックして送信したい番号を表示し、**送信**をクリックします。

✓ 関連情報

- [Windows®用 PC-FAX \(MFC モデル\)](#)

パソコンでファクスを受信する(Windows®) (MFC モデル)

本製品の PC-FAX ソフトウェアを使って、パソコンでファクスを受信し、確認して、必要な場合には印刷することができます。



- PC-FAX 受信を使ってファクスを受信する(Windows®)

PC-FAX 受信を使ってファクスを受信する(Windows®)

PC-FAX 受信ソフトウェアにより、パソコンで受信したファクスの閲覧や保存ができます。ブラザーのソフトウェアとプリンタードライバーをインストールする際に、PC-FAX 受信ソフトウェアもインストールされます。

- PC-FAX 受信機能は、モノクロのファクスにのみ対応しています。

パソコンの電源を切っても、本製品は継続してファクスを受信し、メモリーに保存します。保存されたファクスの数が本製品の画面に表示されます。アプリを起動すると、本製品が受信したファクスをまとめてパソコンに転送します。ファクスがパソコンに送信される前、もしくはパソコンの電源を切る前に、ファクスを印刷したい場合は、バックアップ印刷オプションを有効にします。バックアップ印刷は、本製品から設定できます。

✓ 関連情報

- パソコンでファクスを受信する(Windows®) (MFC モデル)
- パソコンで本製品の PC-FAX 受信を起動する (Windows®)
- 受信した PC-FAX メッセージを確認する (Windows®)

■ ホーム > PC-FAX > Windows®用 PC-FAX (MFC モデル) > パソコンでファクスを受信する(Windows®) (MFC モデル) > PC-FAX 受信を使ってファクスを受信する(Windows®) > パソコンで本製品の PC-FAX 受信を起動する (Windows®)

パソコンで本製品の PC-FAX 受信を起動する (Windows®)



パソコン起動時に起動するのチェックボックスを選択しておく、パソコンを起動したときに、ソフトウェアが同時に起動し、ファクスを転送します。

1. 以下のいずれかを行ってください。

- Windows® 7



(スタート) > すべてのプログラム > Brother > Brother Utilities をクリックします。


モデル名が選択されていない場合は、ドロップダウンリストをクリックして、本製品のモデル名を選択します。左ナビゲーションバーのパソコンからファクスを送受信するをクリックし、PC-FAX 受信を起動をクリックします。

- Windows® 8 および Windows® 10



(Brother Utilities) をクリックし、モデル名が選択されていない場合は、ドロップダウンリストをクリックして、お使いの製品のモデル名を選択します。左ナビゲーションバーのパソコンからファクスを送受信するをクリックし、PC-FAX 受信を起動をクリックします。

2. メッセージを確認して、Yes をクリックします。

PC ファクス受信画面が表示されます。  (待機中) アイコンがパソコンのタスクトレイに表示されます。




関連情報

- PC-FAX 受信を使ってファクスを受信する(Windows®)
- PC-FAX 受信を設定する(Windows®)
- PC-FAX 受信を行う製品を登録する (Windows®)

▲ホーム > PC-FAX > Windows®用 PC-FAX (MFC モデル) > パソコンでファクスを受信する(Windows®) (MFC モデル) > PC-FAX 受信を使ってファクスを受信する(Windows®) > パソコンで本製品の PC-FAX 受信を起動する (Windows®) > PC-FAX 受信を設定する(Windows®)

PC-FAX 受信を設定する(Windows®)

1. お使いのパソコンで、タスクトレイの  (待機中) アイコンをダブルクリックします。
PC ファクス受信画面が表示されます。
2. 設定をクリックします。
3. 必要に応じて設定してください。

起動

Windows®の起動時に、PC-FAX 受信が自動的に起動されるよう設定します。

保存

受信した PC-FAX の保存先や保存形式を選択します。

アップロード先

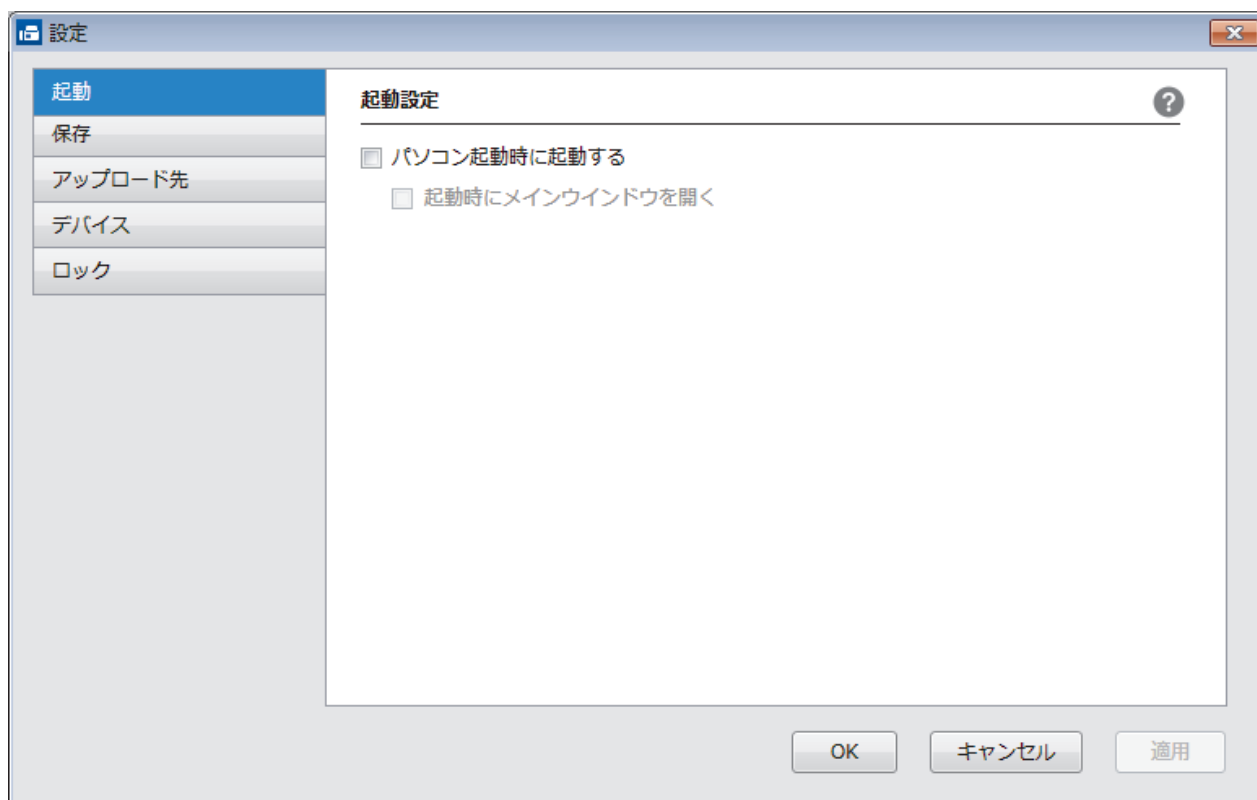
SharePoint®サーバーへのパスを設定し、アップロードの自動または手動を選択します。(管理者のみ可能)

デバイス

PC-FAX を受信したいブラザー製品を設定します。

ロック (管理者のみ可能)

管理者権限の無いユーザーに対して、設定を制限することができます。



4. OK をクリックします。

✓ 関連情報

- パソコンで本製品の PC-FAX 受信を起動する (Windows®)

▲ホーム > PC-FAX > Windows®用 PC-FAX (MFC モデル) > パソコンでファクスを受信する(Windows®) (MFC モデル) > PC-FAX 受信を使ってファクスを受信する(Windows®) > パソコンで本製品の PC-FAX 受信を起動する (Windows®) > PC-FAX 受信を行う製品を登録する (Windows®)

PC-FAX 受信を行う製品を登録する (Windows®)

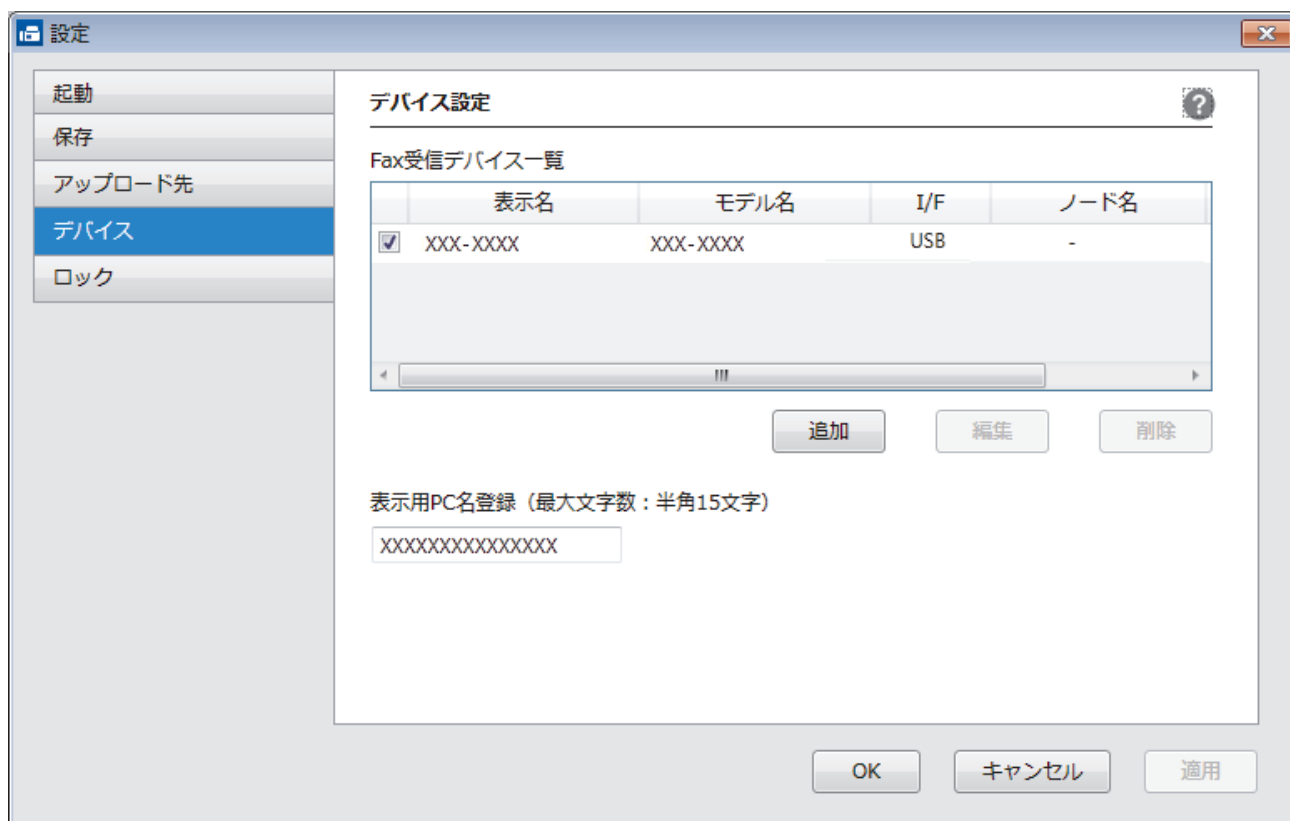
- 本製品のプリンタードライバーをネットワークユーザー用の指示に従って CD-ROM からインストールした場合、本製品はお使いのネットワーク上ですでに設定されています。

1. お使いのコンピュータで、タスクトレイの  (待機中) アイコンをダブルクリックします。

PC ファクス受信画面が表示されます。

2. **設定**をクリックします。

3. **デバイス > 追加**をクリックします。



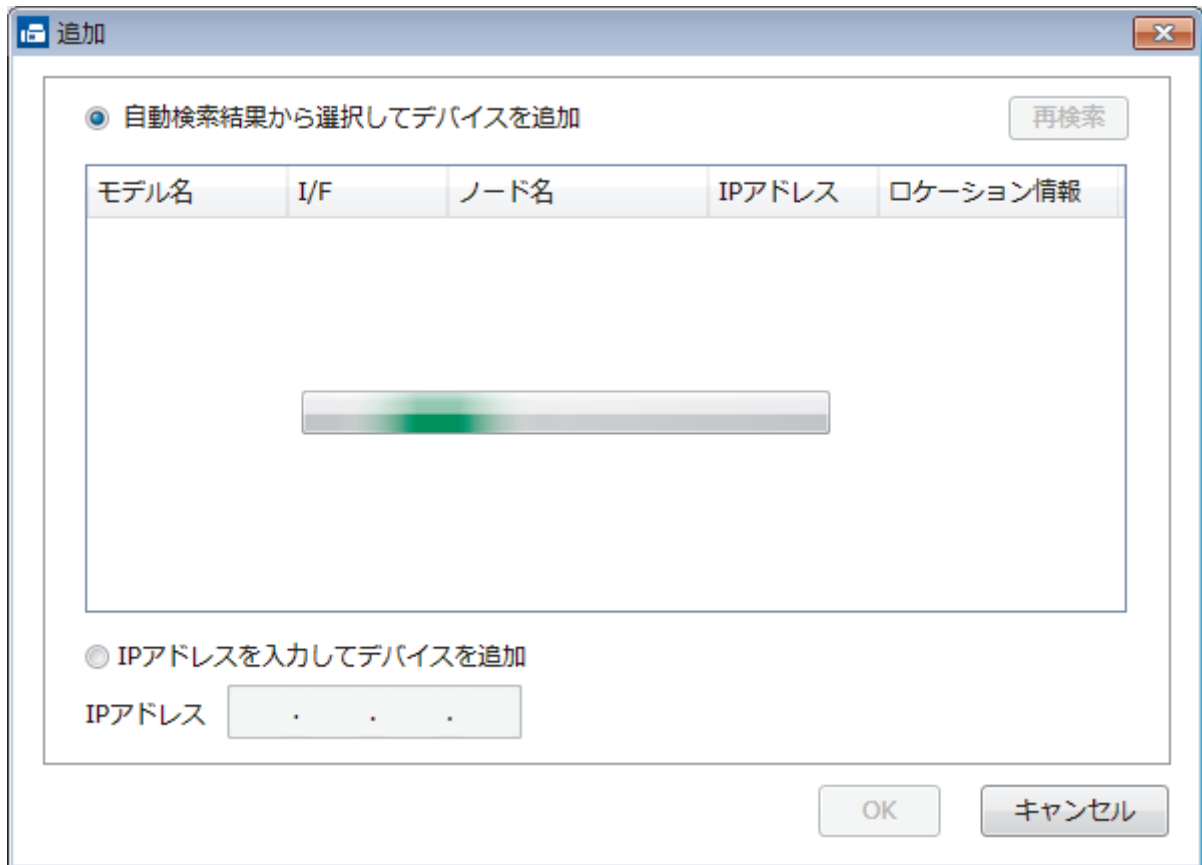
4. 本製品の追加方法を選択します。

自動検索結果から選択してデバイスを追加

使用可能なブラザー製品が表示されます。リストから本製品を選択します。**OK** をクリックします。

IP アドレスを入力してデバイスを追加

本製品の IP アドレスを **IP アドレス** に入力して、**OK** をクリックします。



5. 本製品の画面に表示されるパソコン名を変更するには、**表示用 PC 名登録（最大文字数：半角 15 文字）** に新しい名称を入力します。
6. **OK** をクリックします。



✓ 関連情報


- パソコンで本製品の PC-FAX 受信を起動する (Windows®)

▲ホーム > PC-FAX > Windows®用 PC-FAX (MFC モデル) > パソコンでファクスを受信する(Windows®) (MFC モデル) > PC-FAX 受信を使ってファクスを受信する(Windows®) > 受信した PC-FAX メッセージを確認する (Windows®)

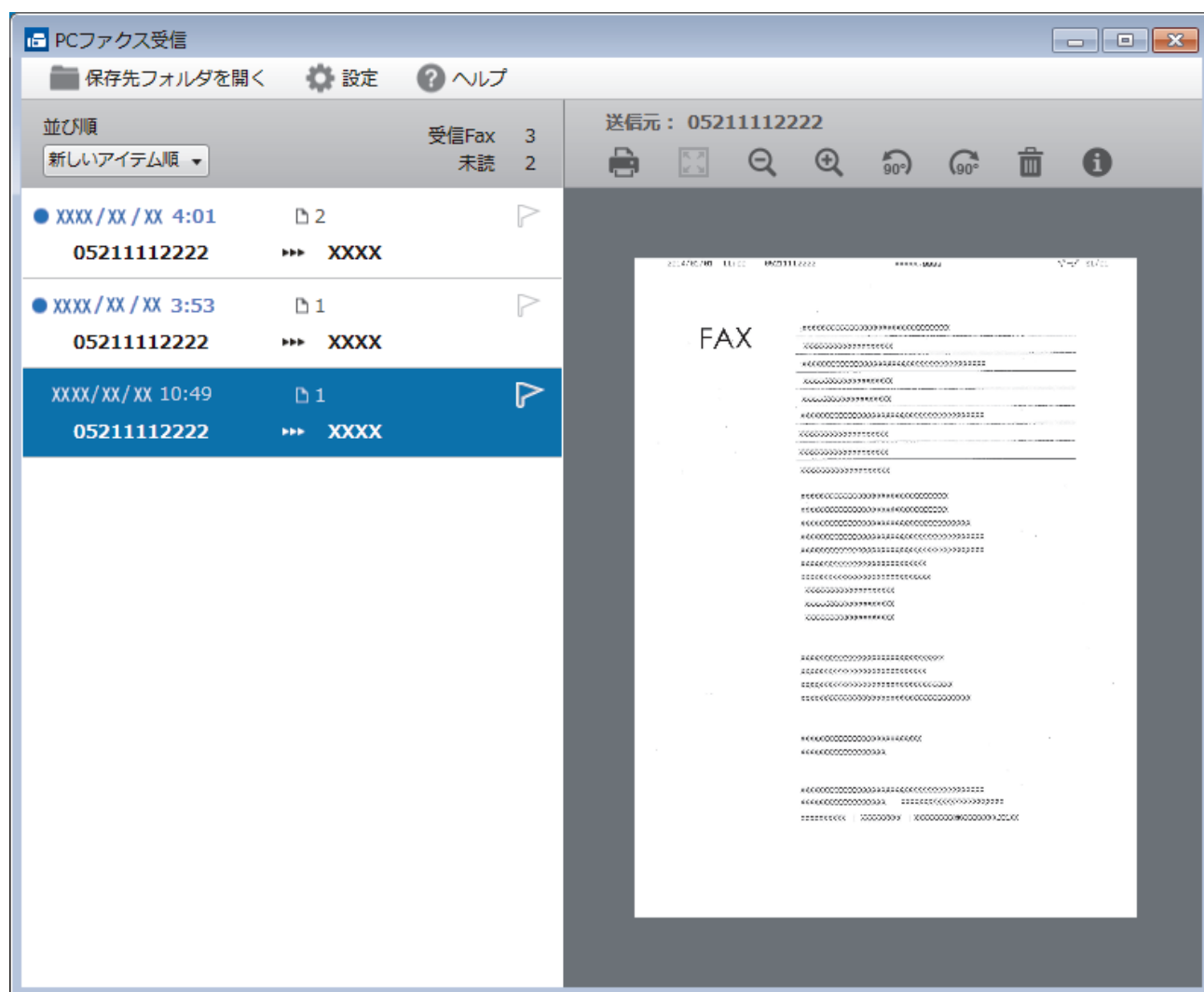
受信した PC-FAX メッセージを確認する (Windows®)

受信ステータス


アイコン	表示ステータス
	スタンバイモード 未読ファクス無し
	ファクス受信中
	ファクス受信済み 未読ファクスあり

1. タスクトレイの  (待機中) アイコンをダブルクリックします。


PC ファクス受信ウィンドウが表示されます。



2. リストをクリックすると、ファクスが表示されます。

3. 終了するには、ウィンドウ右上にある  をクリックして閉じます。



ウィンドウを閉じて、パソコンのタスクトレイに  (待機中) アイコンが表示され、PC-FAX 受信が起動しています。PC-FAX 受信を終了するには、パソコンのタスクトレイに表示されているアイコンをクリックして **閉じる** をクリックします。



関連情報

- PC-FAX 受信を使ってファクスを受信する(Windows®)

Mac 用 PC-FAX (MFC モデル)

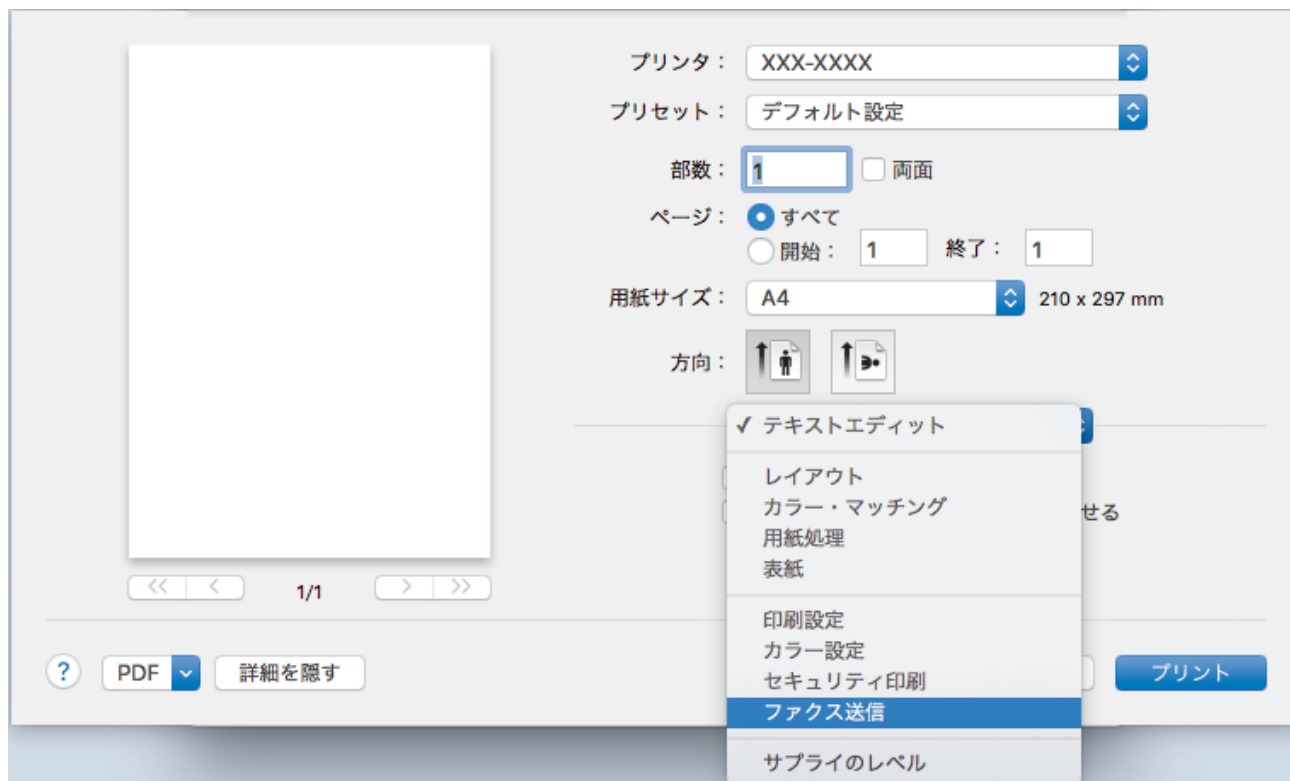
本製品の PC-FAX ソフトウェアを使用して、印刷せずに Mac から直接ファクスを送信します。この機能により、用紙の消費を抑えたり、時間を節約したりすることができます。

- [アプリケーションからファクスを送信する\(Mac\)](#)

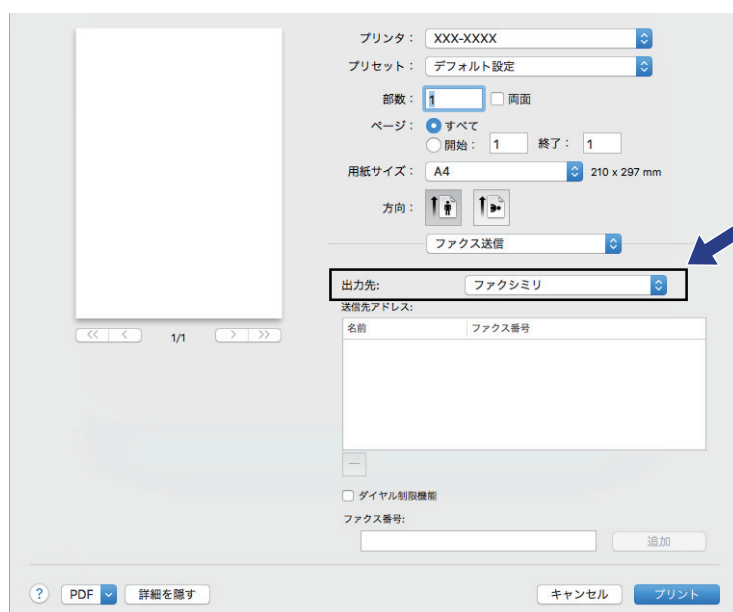
アプリケーションからファクスを送信する(Mac)

PC-FAX はモノクロのファクスにのみ対応しています。元のデータがカラーで、かつ受信側のファクス機がカラー対応のファクスであったとしても、モノクロファクスが送信されます。

1. Mac アプリケーションでファイルを作成します。
2. アプリケーションから、**ファイル**メニューをクリックし、**プリント**を選択します。
3. アプリケーションのポップアップメニューをクリックし、**ファクス送信**を選択します。



4. **出力先**のポップアップメニューをクリックし、**ファクシミリ**を選択します。



5. **ファクス番号**にファクス番号を入力し、**追加**をクリックします。
ファクス番号が**送信先アドレス**に表示されます。



2つ以上の番号にファクスを送信するときは、1件目のファクス番号を追加した後に次のファクス番号を入力してもう一度**追加**ボタンをクリックします。送信先のファクス番号は、**送信先アドレス**にリストアップされます。



ファクス番号は、必ず市外局番から登録してください。ナンバー・ディスプレイの名前や着信履歴が正しく表示されない場合があります。

6. **プリント**をクリックしてファクスを送信します。



関連情報

- Mac 用 PC-FAX (MFC モデル)

ネットワーク

- 対応している基本ネットワーク機能について
- ネットワーク管理ソフトウェアおよびユーティリティ
- 他の無線ネットワーク設定方法について
- 高度なネットワーク機能について
- 上級ユーザーのための技術的な情報について

対応している基本ネットワーク機能について

本製品は、使用される OS に合わせて、さまざまな機能をサポートしています。この表で、各 OS でサポートされるネットワーク機能と接続を確認してください。

オペレーティングシステム	Windows® 7 Windows® 8 Windows® 10	Windows Server® 2008/2012/2012 R2/2016	macOS v10.10.5 macOS v10.11.x macOS v10.12
印刷	Yes	Yes	Yes
スキャン	Yes		Yes
PC ファクス送信 (特定モデルのみ対応)	Yes		Yes
PC ファクス受信 (特定モデルのみ対応)	Yes		
BRAdmin Light	Yes	Yes	
BRAdmin Professional	Yes	Yes	
ウェブブラウザによる設定	Yes	Yes	Yes
リモートセットアップ (特定モデルのみ対応)	Yes		Yes
ステータスマニター	Yes		Yes
オートマチックドライバインストーラー	Yes	Yes	
Vertical Pairing (特定モデルのみ対応)	Yes		



- サポートサイト (ブラザーソリューションセンター) (support.brother.co.jp) で、お使いの製品のソフトウェアダウンロードページを開き、BRAdmin Light の最新版をダウンロードします。
- サポートサイト (ブラザーソリューションセンター) (support.brother.co.jp) で、お使いの製品のソフトウェアダウンロードページを開き、BRAdmin Professional ユーティリティの最新版をダウンロードします。



関連情報

- ネットワーク

ネットワーク管理ソフトウェアおよびユーティリティ

ユーティリティソフトを使用して、本製品のネットワークの設定や変更を行います。

- ネットワーク管理ソフトウェアとユーティリティについて
- パソコンを使用して製品の設定を変更する
- ウェブブラウザを使用して製品の設定を変更する

ネットワーク管理ソフトウェアとユーティリティについて

ウェブブラウザ設定

ウェブブラウザ設定は、標準的なウェブブラウザを使用するユーティリティで、ハイパーテキスト転送プロトコル (HTTP) または SSL 経由のハイパーテキスト転送プロトコル (HTTPS) を使用して本製品を管理します。本製品の IP アドレスをお使いのウェブブラウザに入力して、本プリントサーバーの設定値の表示や変更を行います。

BRAdmin Light (Windows®)

BRAdmin Light は、ネットワークに接続された本製品の初期設定を行うためのユーティリティです。ネットワーク上の本製品の検索、状態の閲覧、IP アドレスなどのネットワークの基本設定が行えます。

サポートサイト (ブラザーソリューションセンター) (support.brother.co.jp) で、お使いの製品のソフトウェアダウンロードページを開き、BRAdmin Light をダウンロードします。



- Windows® ファイアウォールまたは、アンチスパイウェアまたはアンチウイルスアプリケーションのファイアウォール機能を使用している場合、それらを一時的に無効にします。印刷が可能であることを確認し、指示に従ってソフトウェアを設定します。

BRAdmin Professional (Windows®)

BRAdmin Professional は、ネットワークに接続されたブラザー機器の管理をより詳細に行うためのユーティリティです。このユーティリティは、お使いのネットワーク上にあるブラザー製品を検索し、Windows® Explorer 形式の画面に機器の状態を表示します。各機器の状態を分かりやすく表示させるため、画面上の色は変更されます。ローカル接続された製品を監視したい場合は、Print Auditor クライアントソフトウェアを、クライアントパソコンにインストールします。このユーティリティにより、BRAdmin Professional を使用して、USB インターフェイス経由でクライアントパソコンに接続されている製品を監視できます。



- サポートサイト (ブラザーソリューションセンター) (support.brother.co.jp) で、お使いの製品のソフトウェアダウンロードページを開き、BRAdmin Professional ユーティリティの最新版をダウンロードします。
- BRAdmin Professional で表示される本製品のお買い上げ時のノード名は、有線 LAN の場合は [BRNxxxxxxxxxxxx]、無線 LAN の場合は [BRWxxxxxxxxxxxx] となっています。(「xxxxxxxxxxxx」は MAC アドレス (イーサネットアドレス) です。)
- Windows® ファイアウォールまたは、アンチスパイウェアまたはアンチウイルスアプリケーションのファイアウォール機能を使用している場合、それらを一時的に無効にします。印刷が可能であることを確認し、指示に従ってソフトウェアを設定します。

リモートセットアップ(Windows®と Mac) (特定モデルのみ対応)

リモートセットアップは、Windows®または Mac アプリケーションから、複数の製品およびネットワークを設定するためのプログラムです。このアプリケーションを起動すると、本製品の設定値がお使いのコンピューターの画面に自動的に表示されます。設定を変更する場合は、変更した設定値を本製品に直接送信します。



このユーティリティは USB またはネットワーク接続で使えます。



関連情報

- ネットワーク管理ソフトウェアおよびユーティリティ

他の無線ネットワーク設定方法について

本製品を無線ネットワークに接続する場合、ブラザーインストール CD-ROM を使用することを推奨します。

- 本製品を無線ネットワーク用に設定する前に
- 無線ネットワーク用に本製品を設定する
- Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) のワンプッシュ方式を使用して本製品に無線ネットワークを設定する
- Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) の PIN 方式を使用して本製品に無線ネットワークを設定する
- 本製品の操作パネルセットアップウィザードを使用して、本製品に無線 LAN を設定する
- SSID が同報送信以外の場合の無線 LAN を本製品に設定する
- エンタープライズ無線 LAN 用に本製品を設定する
- Wi-Fi Direct®を使用する

本製品を無線ネットワーク用に設定する前に

無線ネットワークの設定を行う前に以下の内容を確認してください。

- エンタープライズ無線ネットワークを使用している場合、ユーザー ID とパスワードを知っておく必要があります。
- 文書を快適に印刷するために、本製品をできるだけ無線 LAN アクセスポイントまたはルーターに近づけ、障害物からは遠ざけてください。本製品とアクセスポイントやルーターの間に大きな物や壁、他の電子機器からの干渉があると、印刷する文書のデータ転送速度が遅くなる可能性があります。
そのため、無線 LAN での接続が必ずしも最適というわけではありません。複雑で文字数の多い文書や写真などの大きいサイズのデータを印刷する場合は、データ転送速度のより速い有線 LAN 接続（サポート対象モデルのみ）または USB 接続で印刷することをお勧めします。
- 本製品は有線 LAN と無線 LAN のいずれのネットワークでも使用できますが（サポート対象モデルのみ）、両方のネットワークを同時に使用することはできません。ただし、無線 LAN 接続と Wi-Fi Direct 接続、または有線 LAN 接続（サポート対象モデルのみ）と Wi-Fi Direct 接続は同時に使用できます。



セキュリティ情報がわからない場合は、ルーターの製造業者、システム管理者、またはインターネットプロバイダーにお問い合わせください。

✓ 関連情報


- [他の無線ネットワーク設定方法について](#)

無線ネットワーク用に本製品を設定する

1. パソコンの電源を入れ、お使いのパソコンにインストール CD-ROM を挿入します。
 - Windows® の場合は、これらの指示に従ってください。
 - Mac の場合、**Driver Download** をクリックしてサポートサイト（ブラウザソリューションセンター）にアクセスします。画面の指示に従ってプリンタードライバーをインストールします。
2. 起動画面が自動的に表示されます。
言語を選択し、画面の指示に従います。



インストール画面がパソコンに表示されない場合は、以下の操作を行ってください。

- (Windows® 7)
コンピューターに進みます。CD/DVD アイコンをダブルクリックし、**start.exe** をダブルクリックします。
- (Windows® 8 および Windows® 10)
タスクバーの  (エクスプローラー) アイコンをクリックし、コンピューター (PC) にアクセスします。CD/DVD アイコンをダブルクリックし、**start.exe** をダブルクリックします。
- **ユーザー アカウント制御** 画面が表示されたら、**はい** をクリックします。

3. **無線 LAN (Wi-Fi)** を選択し、**次の項目へ** をクリックします。
4. 画面の指示に従います。

無線セットアップを完了した後、インストーラープログラムは、お使いの機器を操作するために必要なドライバーとソフトウェアのインストールへ進みます。インストールダイアログボックスの**次の項目へ** をクリックし、画面の指示に従います。




関連情報


- [他の無線ネットワーク設定方法について](#)

Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) のワンプッシュ方式を使用して本製品に無線ネットワークを設定する

お使いの無線 LAN アクセスポイント/ルーターが WPS (PBC : プッシュボタン設定) をサポートしている場合、本製品の操作パネルメニューから WPS を使用して無線ネットワークを設定することができます。

 WPS をサポートしているルーターまたはアクセスポイントは、以下のロゴマークが付いています。



1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク] > [無線 LAN] > [WPS] を押します。

 本製品のホーム画面に [全てのメニュー] が表示された場合は、[メニュー] をスキップします。

2. [無線 LAN をオンにしますか?] が表示されたら、[はい] を押します。
これにより無線セットアップウィザードが起動します。キャンセルするには、[いいえ] を押します。
3. タッチパネルに [アクセスポイントの WPS ボタンを 押してください 操作ができれば [OK] を押してください] と表示されたら、無線 LAN アクセスポイント/ルーターの WPS ボタンを押します。本製品の [OK] を押します。本製品は、お使いの無線 LAN アクセスポイント/ルーターを自動的に検出し、無線ネットワークへの接続を試みます。

無線機器が正常に接続されると、本製品の画面に [接続しました] と表示されます。

無線ネットワークのセットアップは完了しています。本機器の操作に必要なプリンタードライバーとソフトウェアをインストールするには、ブラザーインストールディスクを使用するか、サポートサイト (ブラザーソリューションセンター) (support.brother.co.jp) で、本モデルのソフトウェアダウンロードページをご覧ください。

関連情報

- [他の無線ネットワーク設定方法について](#)
- [無線 LAN レポートのエラーコード](#)

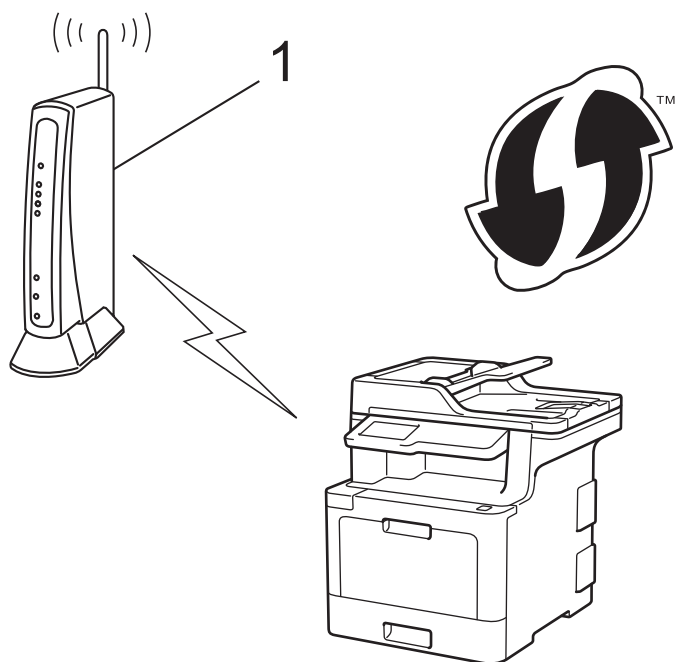
Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) の PIN 方式を使用して本製品に無線ネットワークを設定する

お使いの無線 LAN のアクセスポイント/ルーターが WPS をサポートしている場合、暗証番号 (PIN) 方式を使用して無線ネットワークを設定できます。

PIN 方式は、Wi-Fi Alliance®により開発された接続方式の一つです。加入者 (本製品) によって作成された PIN を、レジストラー (登録管理機器) に送信することで、無線ネットワークとセキュリティを設定することができます。WPS モードへのアクセスについては、お使いの無線 LAN アクセスポイント/ルーターに同梱の説明書をご参照ください。

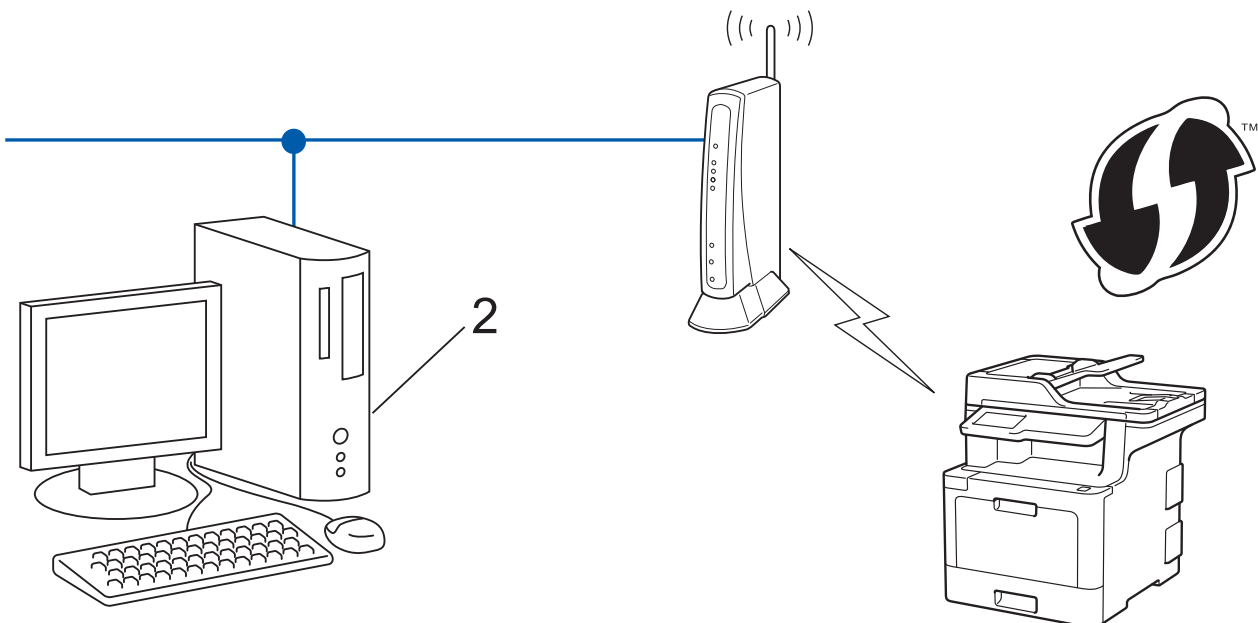
タイプ A


無線 LAN アクセスポイント/ルーター (1) がレジストラーを兼ねている場合の接続 :




タイプ B


パソコンなど、その他の機器 (2) がレジストラーとして使用される場合の接続 :




 WPS をサポートしているルーターまたはアクセスポイントには、以下のロゴマークが付いています。



1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク] > [無線 LAN] > [WPS (PIN コード)] を押します。

 本製品のホーム画面に [全てのメニュー] が表示された場合は、[メニュー] をスキップします。

2. [無線 LAN をオンにしますか?] が表示されたら、[はい] を押します。
これにより無線セットアップウィザードが起動します。キャンセルするには、[いいえ] を押します。
3. 本製品の画面には 8 桁の PIN が表示され、製品は無線 LAN アクセスポイントルーターの検索を開始します。
4. ネットワークに接続したパソコンでウェブブラウザのアドレスバーに、レジストラーとして使用している機器の IP アドレスを入力します。(例: <http://192.168.1.2>)
5. WPS の設定ページを表示して PIN を入力したあと、画面の指示に従います。




- レジストラー (登録管理機器) は通常、無線 LAN アクセスポイントルーターです。
- 設定画面は、無線 LAN アクセスポイントルーターの種類によって異なります。詳細については、無線 LAN アクセスポイントルーターの取扱説明書をご覧ください。

Windows® 7、Windows® 8、または Windows® 10 パソコンをレジストラー (登録管理機器) として使用している場合、以下の手順をすべて行ってください。

6. 次のいずれかを行ってください。

- Windows® 7

 (スタート) > デバイスとプリンター > デバイスの追加をクリックします。

- Windows® 8

マウスをデスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、**設定 > コントロール パネル > ハードウェアとサウンド > デバイスとプリンター > デバイスの追加**をクリックします。

- Windows® 10

 > Windows システム ツール > コントロール パネルをクリックします。ハードウェアとサウンドグループで、**デバイスの追加**をクリックします。



- Windows® 7、Windows® 8、または Windows® 10 パソコンをレジストラー（登録管理機器）として使用する場合、使用するパソコンをネットワークに事前に登録する必要があります。詳細については、無線 LAN アクセスポイントルーターの取扱説明書をご覧ください。
- Windows® 7、Windows® 8 または Windows® 10 をレジストラーとして使用する場合、以下の画面の指示に従って無線設定を行ったあと、プリンタードライバーをインストールできます。ドライバーとソフトウェアの完全なパッケージをインストールするには、本製品のインストール CD-ROM を使用します。

7. 本製品を選択し、**次へ**をクリックします。
8. 本製品の画面に表示された PIN を入力し、**次へ**をクリックします。
9. (Windows® 7) ネットワークを選択して、**次へ**をクリックします。
10. **閉じる**をクリックします。

無線機器が正常に接続されると、本製品の画面に [接続しました] と表示されます。

無線ネットワークのセットアップは完了しています。本機器の操作に必要なプリンタードライバーとソフトウェアをインストールするには、ブラザーインストールディスクを使用するか、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（support.brother.co.jp）で、本モデルの**ソフトウェアダウンロード** ページをご覧ください。



関連情報

- [他の無線ネットワーク設定方法について](#)
- [無線 LAN レポートのエラーコード](#)

本製品の操作パネルセットアップウィザードを使用して、本製品に無線 LAN を設定する

本製品を設定する前に、お使いの無線ネットワークの設定値を書き留めておくことをお勧めします。設定を行う前に、この情報が必要になります。

1. 現在接続しているパソコンの無線ネットワーク設定を確認して記録します。

ネットワーク名 (SSID)

ネットワークキー

例：

ネットワーク名 (SSID)
HELLO


ネットワークキー
12345



- お使いのアクセスポイント/ルーターが複数の WEP キーをサポートしている場合でも、本製品では最初の WEP キーのみが使用可能です。
- セットアップについてブラザーコールセンターにお問い合わせになる場合は、お使いの SSID (ネットワーク名) とネットワークキーをお手元にご用意ください。この情報に関しては、お問い合わせいただいても回答できません。
- この情報 (SSID およびネットワークキー) が不明の場合は、無線セットアップを行うことができません。

この情報はどこに載っていますか？

- a. お使いの無線 LAN アクセスポイント/ルーターに付属の説明書をお読みください。
- b. 初期 SSID は、製造メーカー名またはモデル名の可能性があります。
- c. セキュリティ情報が不明の場合は、ルーターの製造メーカー、システム管理者、またはインターネットプロバイダーにお問い合わせください。

2.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク] > [無線 LAN] > [無線接続ウィザード] を押します。



本製品のホーム画面に [全てのメニュー] が表示された場合は、[メニュー] をスキップします。

3. [無線 LAN をオンにしますか?] が表示されたら、[はい] を押します。
これにより無線セットアップウィザードが起動します。キャンセルするには、[いいえ] を押します。
4. 製品は使用しているネットワークを検索し、利用可能な SSID のリストを表示します。
SSID のリストが表示されたら、上下にフリックするか、▲または▼を押して接続する SSID を表示し、表示した SSID を押します。
5. [OK] を押します。
6. 次のいずれかを行ってください。
 - ネットワークキーを必要とする認証および暗号化方式を使用している場合、最初の手順で書き留めたネットワークキーを入力します。
文字の入力が終了したら、[OK] を押します。

-
- 使用している認証方式がオープンシステムで、暗号化モードが「なし」の場合、次の手順に進みます。
7. 製品は、選択された無線機器との接続を開始します。

無線機器が正常に接続されると、本製品の画面に「接続しました」と表示されます。

無線ネットワークのセットアップは完了しています。本機器の操作に必要なプリンタードライバーとソフトウェアをインストールするには、ブラザーインストールディスクを使用するか、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（support.brother.co.jp）で、本モデルの**ソフトウェアダウンロード** ページをご覧ください。

関連情報

- 他の無線ネットワーク設定方法について
 - 無線 LAN レポートのエラーコード
-

SSID が同報送信以外の場合の無線 LAN を本製品に設定する


本製品を設定する前に、お使いの無線ネットワークの設定値を書き留めておくことをお勧めします。設定を行う前に、この情報が必要になります。


- 現在の無線ネットワーク設定を確認して記録します。


ネットワーク名 (SSID)			
通信モード	認証方式	暗号化モード	ネットワークキー
インフラストラクチャ	オープンシステム	なし	-
		WEP	
	共有キー	WEP	
		WPA/WPA2-PSK	AES
		TKIP	

例：


ネットワーク名 (SSID)			
HELLO			
通信モード	認証方式	暗号化モード	ネットワークキー
インフラストラクチャ	WPA2-PSK	AES	12345678

 お使いのルーターが WEP 暗号化方式を使用している場合、最初の WEP キーとして使用されているキーを入力します。本製品は最初の WEP キーのみをサポートします。

-  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク] > [無線 LAN] > [無線接続ウィザード] を押します。

 本製品のホーム画面に [全てのメニュー] が表示された場合は、[メニュー] をスキップします。

- [無線 LAN をオンにしますか?] が表示されたら、[はい] を押します。
これにより無線セットアップウィザードが起動します。キャンセルするには、[いいえ] を押します。
- 製品は使用しているネットワークを検索し、利用可能な SSID のリストを表示します。上または下にフリックするか、▲または▼を押して [New SSID] を表示します。[New SSID] を押したあと、[OK] を押します。
- SSID 名を入力し、[OK] を押します。
- 指示に従い、[インフラストラクチャ] を押します。
- 認証方式を選択します。
- 次のいずれかを行ってください。
 - [オープンシステム認証] を選択した場合、暗号化方式として [なし] または [WEP] を押します。
暗号化方式に [WEP] を選択した場合、WEP キーを選択して入力し、[OK] を押します。
 - [共有キー認証] を選択した場合、WEP キーを選択して入力し、[OK] を押します。
 - [WPA/WPA2-PSK] を選択した場合、暗号化方式として [TKIP+AES] または [AES] を押します。
WPA キーを入力し、[OK] を押します。

 本ブザー製品は最初の WEP キーのみをサポートします。

- 本製品は、選択された無線機器に接続しようとします。

無線機器が正常に接続されると、本製品の画面に「接続しました」と表示されます。

無線ネットワークのセットアップは完了しています。本機器の操作に必要なプリンタードライバーとソフトウェアをインストールするには、ブラザーインストールディスクを使用するか、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（support.brother.co.jp）で、本モデルの**ソフトウェアダウンロード** ページをご覧ください。

関連情報

- 他の無線ネットワーク設定方法について
 - 無線ネットワーク設定を完了できません
 - 無線 LAN レポートのエラーコード
-

エンタープライズ無線 LAN 用に本製品を設定する

本製品を設定する前に、お使いの無線ネットワークの設定値を書き留めておくことをお勧めします。設定を行う前に、この情報が必要になります。

- 現在の無線 LAN 設定を確認して記録します。

ネットワーク名 (SSID)

通信モード	認証方式	暗号化モード	ユーザー ID	パスワード
インフラストラクチャ	LEAP	CKIP		
	EAP-FAST/NONE	AES		
		TKIP		
	EAP-FAST/MS-CHAPv2	AES		
		TKIP		
	EAP-FAST/GTC	AES		
		TKIP		
	PEAP/MS-CHAPv2	AES		
		TKIP		
	PEAP/GTC	AES		
		TKIP		
	EAP-TTLS/CHAP	AES		
		TKIP		
	EAP-TTLS/MS-CHAP	AES		
		TKIP		
	EAP-TTLS/MS-CHAPv2	AES		
		TKIP		
	EAP-TTLS/PAP	AES		
TKIP				
EAP-TLS	AES			-
	TKIP			-


例：

ネットワーク名 (SSID)
HELLO

通信モード	認証方式	暗号化モード	ユーザー ID	パスワード
インフラストラクチャ	EAP-FAST/MS-CHAPv2	AES	Brother	12345678



- EAP-TLS 認証を使用して本製品を設定する場合、設定の開始前に、CA により発行されたクライアント証明書を必ずインストールしてください。クライアント証明書については、ネットワーク管理者に問い合わせてください。複数の証明書をインストールした場合、使用する証明書の名前を書き留めておくことをお勧めします。
- サーバー証明書の共通名を使用して本製品を確認する場合、設定の開始前に、使用する共通名を書き留めておくことをお勧めします。サーバー証明書の共通名については、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

2.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク] > [無線 LAN] > [無線接続ウィザード] を押します。



本製品のホーム画面に [全てのメニュー] が表示された場合は、[メニュー] をスキップします。

3. [無線 LAN をオンにしますか?] が表示されたら、[はい] を押します。
これにより無線セットアップウィザードが起動します。キャンセルするには、[いいえ] を押します。
4. 製品は使用しているネットワークを検索し、利用可能な SSID のリストを表示します。上または下にフリックするか、▲または▼を押して [<New SSID>] を表示します。[<New SSID>] を押したあと、[OK] を押します。
5. SSID 名を入力し、[OK] を押します。
6. 指示に従い、[インフラストラクチャ] を押します。
7. 認証方式を選択します。
8. 次のいずれかを行ってください。
 - [LEAP] を選択した場合、ユーザー ID を入力し、[OK] を押します。パスワードを入力し、[OK] を押します。
 - [EAP-FAST]、[PEAP] または [EAP-TTLS] を選択した場合、内部認証方式を [NONE]、[CHAP]、[MS-CHAP]、[MS-CHAPv2]、[GTC] または [PAP] から選択します。



使用する認証方式によって、選択する内部認証方式は異なります。

暗号化タイプに [TKIP+AES] または [AES] を選択します。

検証方法に、[検証しない]、[CA 証明書] または [CA 証明書+サーバー ID] から選択します。

- [CA 証明書+サーバー ID] を選択した場合、その都度 [OK] を押します。
- その他を選択した場合は、その都度 [OK] を押します。



本製品に CA 証明書をインポートしていない場合、[検証しない] のみ表示されます。

- [EAP-TLS] を選択した場合、暗号化方式として [TKIP+AES] または [AES] を選択します。
使用可能なクライアント証明書のリストが本製品に表示されます。表示されたリストから証明書を選択します。
検証方法に、[検証しない]、[CA 証明書] または [CA 証明書+サーバー ID] から選択します。
 - [CA 証明書+サーバー ID] を選択した場合、その都度 [OK] を押します。
 - その他を選択した場合は、ユーザー ID を入力し、[OK] を押します。



本製品に CA 証明書をインポートしていない場合、[検証しない] のみ表示されます。

9. 製品は、選択された無線機器との接続を開始します。

無線機器が正常に接続されると、本製品の画面に [接続しました] と表示されます。

無線ネットワークのセットアップは完了しています。本機器の操作に必要なプリンタードライバーとソフトウェアをインストールするには、ブラザーインストールディスクを使用するか、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（support.brother.co.jp）で、本モデルのソフトウェアダウンロードページをご覧ください。



関連情報

- [他の無線ネットワーク設定方法について](#)

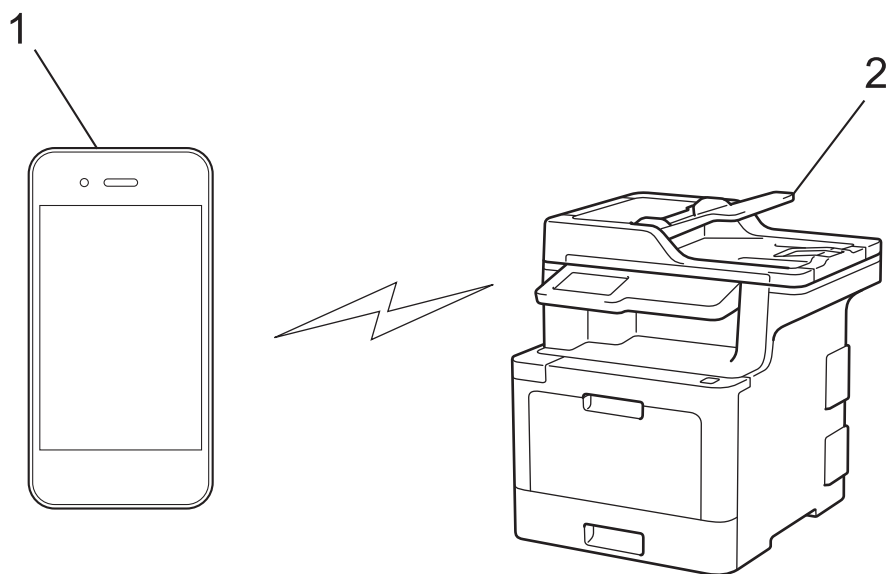
-
- 無線 LAN レポートのエラーコード
-

Wi-Fi Direct[®]を使用する

- Wi-Fi Direct を使用した携帯端末からの印刷またはスキャンについて
- Wi-Fi Direct の設定について
- 無線ネットワーク設定を完了できません

Wi-Fi Direct を使用した携帯端末からの印刷またはスキャンについて

Wi-Fi Direct は、Wi-Fi Alliance®により開発された無線設定方法の一つです。これにより、アクセスポイントを使用せずに、ブラザー製品と、Android™ 機器、Windows® 機器、iPhone、iPod touch、または iPad などの携帯端末との間に、安全な無線ネットワークを設定することができます。Wi-Fi Direct は、Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) のワンプッシュまたは PIN 方式を使用した無線ネットワークの設定をサポートしています。また、SSID とパスワードの手動設定、無線ネットワークの設定も可能です。本製品の Wi-Fi Direct 機能は、AES 暗号化を使用する WPA2™ をサポートしています。



1. 携帯端末
2. 本製品



- 本製品は有線 LAN と無線 LAN のいずれのネットワークでも使用できますが、両方のネットワークを同時に使用することはできません。ただし、無線 LAN 接続と Wi-Fi Direct 接続、または有線 LAN 接続（サポート対象モデルのみ）と Wi-Fi Direct 接続は同時に使用できます。
- Wi-Fi Direct をサポートしている機器は、グループオーナー (G/O) になることができます。Wi-Fi Direct を設定する場合、G/O はアクセスポイントとして機能します。



関連情報

- [Wi-Fi Direct®を使用する](#)

Wi-Fi Direct の設定について

製品の操作パネルから、Wi-Fi Direct の設定をします。

- [Wi-Fi Direct ネットワーク設定の概要](#)
- [ワンプッシュ方式を使用して Wi-Fi Direct を接続する](#)
- [Wi-Fi Protected Setup™ \(WPS\) のワンプッシュ方式を使用して Wi-Fi Direct ネットワークを設定する](#)
- [PIN 方式を使用して Wi-Fi Direct を接続する](#)
- [Wi-Fi Protected Setup™ \(WPS\) の PIN 方式を使用して Wi-Fi Direct を接続する](#)
- [Wi-Fi Direct を手動で接続する](#)

Wi-Fi Direct ネットワーク設定の概要

無線ネットワーク環境で本製品を設定する 5 つの方法を以下に示します。お使いの環境に合わせて方法を選択してください。

設定する携帯端末を確認します。

1. お使いの携帯端末は Wi-Fi Direct をサポートしていますか？

オプション	説明
はい	手順 2 に進みます。
いいえ	手順 3 に進みます。

2. お使いの携帯端末は Wi-Fi Direct のワンプッシュ設定をサポートしていますか？

オプション	説明
はい	関連情報をご覧ください：ワンプッシュ方式を使用して Wi-Fi Direct を接続する
いいえ	関連情報をご覧ください：PIN 方式を使用して Wi-Fi Direct を接続する

3. お使いの携帯端末は Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) をサポートしていますか？

オプション	説明
はい	手順 4 に進みます。
いいえ	関連情報をご覧ください：Wi-Fi Direct を手動で接続する

4. お使いの携帯端末は Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) のワンプッシュ設定をサポートしていますか？

オプション	説明
はい	関連情報をご覧ください：Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) のワンプッシュ方式を使用して Wi-Fi Direct ネットワークを設定する
いいえ	関連情報をご覧ください：Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) の PIN 方式を使用して Wi-Fi Direct を接続する

ワンプッシュまたは PIN で Wi-Fi Direct を設定したあとで iPrint&Scan 機能を使用する場合は、Android™ 4.0 以降の端末機器が必要です。

✓ 関連情報


- [Wi-Fi Direct の設定について](#)
- [ワンプッシュ方式を使用して Wi-Fi Direct を接続する](#)
- [Wi-Fi Protected Setup™ \(WPS\) のワンプッシュ方式を使用して Wi-Fi Direct ネットワークを設定する](#)
- [PIN 方式を使用して Wi-Fi Direct を接続する](#)
- [Wi-Fi Protected Setup™ \(WPS\) の PIN 方式を使用して Wi-Fi Direct を接続する](#)
- [Wi-Fi Direct を手動で接続する](#)

ワンプッシュ方式を使用して Wi-Fi Direct を接続する

お使いの携帯端末が Wi-Fi Direct をサポートしている場合、以下の手順に従って Wi-Fi Direct を設定します。



本製品が携帯端末から Wi-Fi Direct 要求を受信すると、メッセージ「[Wi-Fi Direct の接続リクエストが来ています 通信を開始するには [OK] を押してください]」が画面に表示されます。[OK] を押して接続します。

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク] > [Wi-Fi Direct] > [プッシュボタン接続] を押しします。



本製品のホーム画面に [全てのメニュー] が表示された場合は、[メニュー] をスキップします。

2. [相手側デバイスの Wi-Fi Direct 設定を有効にして [OK] ボタンを押してください] が本製品の画面に表示されたら、携帯端末の Wi-Fi Direct を有効にします（有効化の手順については、お使いの携帯端末の取扱説明書を参照）。[OK] を押しします。

Wi-Fi Direct セットアップが起動します。キャンセルする場合、 を押しします。

3. 次のいずれかを行ってください。
 - 本製品がグループオーナー (G/O) の場合、お使いの携帯端末を本製品に直接接続します。
 - 本製品が G/O ではない場合、Wi-Fi Direct の設定が可能な機器の名前が表示されます。接続したい携帯端末を選択します。[再検索] を押して、利用可能な機器を再検索します。
4. 携帯端末が正常に接続されると、本製品の画面に [接続しました] と表示されます。以上で Wi-Fi Direct ネットワークのセットアップが完了しました。モバイルプリント & スキャンガイド Brother iPrint&Scan 用 には、携帯端末からの印刷または携帯端末へのスキャン画像の送信についての情報が含まれています。サポートサイト (ブラザーソリューションセンター) (support.brother.co.jp) で、お使いの製品の **製品マニュアル** ページを開き、ガイドをご覧ください。



関連情報

- [Wi-Fi Direct の設定について](#)
- [Wi-Fi Direct ネットワーク設定の概要](#)


▲ホーム > ネットワーク > 他の無線ネットワーク設定方法について > Wi-Fi Direct®を使用する > Wi-Fi Direct の設定について > Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) のワンプッシュ方式を使用して Wi-Fi Direct ネットワークを設定する

Wi-Fi Protected Setup™ (WPS)のワンプッシュ方式を使用して Wi-Fi Direct ネットワークを設定する

お使いの携帯端末が WPS (PBC: プッシュボタン設定) をサポートしている場合、以下の手順に従い Wi-Fi Direct ネットワークを設定します。



本製品が携帯端末から Wi-Fi Direct 要求を受信すると、メッセージ「[Wi-Fi Direct の接続リクエストが来ています 通信を開始するには [OK] を押してください]」が画面に表示されます。[OK] を押して接続します。

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク] > [Wi-Fi Direct] > [グループ オーナー]を押します。



本製品のホーム画面に [全てのメニュー] が表示された場合は、[メニュー] をスキップします。

2. [オン]を押します。
3. 上または下にフリックするか、▲または▼を押して [プッシュボタン接続] オプションを選択します。[プッシュボタン接続]を押します。
4. [相手側デバイスの Wi-Fi Direct 設定を有効にして [OK] ボタンを押してください] が本製品の画面に表示されたら、携帯端末の WPS ワンプッシュ設定方式を有効にします (有効化の手順については、お使いの携帯端末の取扱説明書を参照)。ブラザー製品の [OK] を押します。

これにより Wi-Fi Direct セットアップが起動します。キャンセルするには、 を押します。

5. 携帯端末が正常に接続されると、本製品の画面に [接続しました] と表示されます。以上で Wi-Fi Direct ネットワークのセットアップが完了しました。モバイルプリント & スキャンガイド Brother iPrint&Scan 用 には、携帯端末からの印刷または携帯端末へのスキャン画像の送信についての情報が含まれています。サポートサイト (ブラザーソリューションセンター) (support.brother.co.jp) で、お使いの製品の **製品マニュアル** ページを開き、ガイドをご覧ください。





関連情報


- [Wi-Fi Direct の設定について](#)
- [Wi-Fi Direct ネットワーク設定の概要](#)

PIN 方式を使用して Wi-Fi Direct を接続する


お使いの携帯端末が Wi-Fi Direct の PIN 方式をサポートしている場合、以下の手順に従って Wi-Fi Direct を設定します。

 本製品が携帯端末から Wi-Fi Direct 要求を受信すると、メッセージ「[Wi-Fi Direct の接続リクエストが来ています 通信を開始するには [OK] を押してください]」が液晶ディスプレイに表示されます。[OK] を押して接続します。

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク] > [Wi-Fi Direct] > [パスワード] を押します。

 本製品のホーム画面に [全てのメニュー] が表示された場合は、[メニュー] をスキップします。

2. [相手側デバイスの Wi-Fi Direct 設定を有効にして [OK] ボタンを押してください] が本製品の画面に表示されたら、携帯端末の Wi-Fi Direct を有効にします (有効化の手順については、お使いの携帯端末の取扱説明書を参照)。[OK] を押します。

Wi-Fi Direct セットアップが起動します。キャンセルする場合、 を押します。

3. 次のいずれかを行ってください。

- 本製品がグループオーナー (G/O) の場合、携帯端末からの接続要求を待ちます。[PIN コード接続] が表示されたら、携帯端末に表示された PIN を、製品に入力します。[OK] を押してセットアップを完了させます。

本製品に PIN が表示されたら、表示された PIN を携帯端末に入力します。

- 本製品が G/O ではない場合、Wi-Fi Direct の設定が可能な機器の名前が表示されます。接続したい携帯端末を選択します。[再検索] を押して、利用可能な機器を再検索します。

4. 次のいずれかを行ってください。

- [PIN Code 表示] を押して本製品に PIN を表示し、表示された PIN を携帯端末に入力します。次の手順に進みます。
- [PIN Code 入力] を押して携帯端末に表示された PIN を本製品に入力し、[OK] を押します。次の手順に進みます。

携帯端末に PIN が表示されない場合、本製品の  を押します。最初の手順に戻り、再度実行します。

5. 携帯端末が正常に接続されると、本製品の画面に [接続しました] と表示されます。以上で Wi-Fi Direct ネットワークのセットアップが完了しました。モバイルプリント&スキャンガイド Brother iPrint&Scan 用 には、携帯端末からの印刷または携帯端末へのスキャン画像の送信についての情報が含まれています。サポートサイト (ブラザーソリューションセンター) (support.brother.co.jp) で、お使いの製品の **製品マニュアル** ページを開き、ガイドをご覧ください。

関連情報


- [Wi-Fi Direct の設定について](#)
- [Wi-Fi Direct ネットワーク設定の概要](#)

Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) の PIN 方式を使用して Wi-Fi Direct を接続する

お使いの携帯端末で Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) の PIN 方式がサポートされている場合、以下の手順に従って Wi-Fi Direct 設定します。



本製品が携帯端末から Wi-Fi Direct 要求を受信すると、メッセージ「[Wi-Fi Direct の接続リクエストが来ています 通信を開始するには [OK] を押してください]」が画面に表示されます。[OK] を押して接続します。

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク] > [Wi-Fi Direct] > [グループ オーナー]を押します。



本製品のホーム画面に [全てのメニュー] が表示された場合は、[メニュー] をスキップします。

2. [オン]を押します。
3. 上または下にフリックするか、▲または▼を押して [PIN コード接続] を選択します。[PIN コード接続] を押します。
4. [相手側デバイスの Wi-Fi Direct 設定を有効にして [OK] ボタンを押してください] が表示されたら、携帯端末の WPS PIN 設定方式を有効にして (有効化の手順については、お使いの携帯端末の取扱説明書を参照)、[OK] を押します。

Wi-Fi Direct セットアップが起動します。キャンセルする場合、 を押します。

5. 携帯端末からの接続要求を待ちます。本製品の画面に [PIN コード接続] が表示されたら、携帯端末に表示された PIN を、本製品に入力します。[OK] を押します。
6. 携帯端末が正常に接続されると、本製品の画面に [接続しました] と表示されます。以上で Wi-Fi Direct ネットワークのセットアップが完了しました。モバイルプリント & スキャンガイド Brother iPrint&Scan 用 には、携帯端末からの印刷または携帯端末へのスキャン画像の送信についての情報が含まれています。サポートサイト (ブラザーソリューションセンター) (support.brother.co.jp) で、お使いの製品の製品マニュアルページを開き、ガイドをご覧ください。





関連情報


- [Wi-Fi Direct の設定について](#)
- [Wi-Fi Direct ネットワーク設定の概要](#)

Wi-Fi Direct を手動で接続する

お使いの携帯端末で、Wi-Fi Direct または WPS が未サポートの場合、Wi-Fi Direct ネットワークを手動で設定する必要があります。

 本製品が携帯端末から Wi-Fi Direct 要求を受信すると、メッセージ「[Wi-Fi Direct の接続リクエストがきています 通信を開始するには [OK] を押してください]」が画面に表示されます。[OK] を押して接続します。

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク] > [Wi-Fi Direct] > [手動接続] を押します。

 本製品のホーム画面に [全てのメニュー] が表示された場合は、[メニュー] をスキップします。

2. 本製品には SSID 名とパスワードが 2 分間表示されます。ご使用の携帯端末の無線ネットワーク設定画面で、この SSID 名を選択して、パスワードを入力します。
3. 携帯端末が正常に接続されると、本製品の画面に [接続しました] と表示されます。以上で Wi-Fi Direct ネットワークのセットアップが完了しました。モバイルプリント&スキャンガイド Brother iPrint&Scan 用 には、携帯端末からの印刷または携帯端末へのスキャン画像の送信についての情報が含まれています。サポートサイト (ブラザーソリューションセンター) (support.brother.co.jp) で、お使いの製品の **製品マニュアル** ページを開き、ガイドをご覧ください。

関連情報

- [Wi-Fi Direct の設定について](#)
- [Wi-Fi Direct ネットワーク設定の概要](#)

高度なネットワーク機能について


- ネットワーク設定レポートを印刷する
- ウェブブラウザを使用してメールサーバーを設定する
- Eメールまたはインターネットファクス (I-Fax) 用に本製品を設定する
- インターネットファクス (I-FAX)オプション
- 無線 LAN レポートを印刷する
- LDAP 検索の設定と操作について
- ウェブブラウザ設定を使用した、SNTP サーバーとの時間の同期について

ネットワーク設定レポートを印刷する

ネットワーク設定レポートには、ネットワークプリントサーバーの設定値を含む、ネットワーク設定の一覧が表示されます。



- ノード名：ノード名は、ネットワーク設定レポートに表示されます。お買い上げ時のノード名は、有線 LAN の場合は「BRNxxxxxxxxxxxx」、無線 LAN の場合は「BRWxxxxxxxxxxxx」です。（「xxxxxxxxxxxx」は、本製品の MAC アドレス/イーサネットアドレスを示します。）
- ネットワーク設定レポートに表示される [IP Address] が 0.0.0.0 の場合、1 分間待ってから、もう一度印刷してください。
- IP アドレス、サブネットマスク、ノード名、および MAC アドレスなどの、本製品の設定をレポートで確認できます。以下は一例です：
 - IP アドレス：192.168.0.5
 - サブネットマスク：255.255.255.0
 - ノード名：BRN000ca0000499
 - MAC アドレス：00-0c-a0-00-04-99

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [レポート印刷] > [ネットワーク設定リスト] を押します。



本製品のホーム画面に [全てのメニュー] が表示された場合は、[メニュー] をスキップします。

2. [はい] を押します。

3.  を押します。



関連情報

- 高度なネットワーク機能について
- 本製品のネットワーク設定はどこを確認すればいいですか？
- ネットワーク診断修復ツールを使用する (Windows®)
- 使用しているネットワーク機器が正しく動作していることを確認したい
- ウェブブラウザによる設定画面にアクセスする
- ウェブブラウザを使用してギガビットイーサネットを設定する


ウェブブラウザを使用してメールサーバーを設定する

ウェブブラウザを使用して本製品を設定し、お使いのメールサーバーと接続します。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「http://製品の IP アドレス」を入力します(「製品の IP アドレス」には本製品の IP アドレスを入力します)。

例：

http://192.168.1.2

3. お買い上げ時はパスワードは必要ありません。パスワードを設定している場合はパスワードを入力し、をクリックします。
4. **ネットワーク**タブをクリックします。
5. 左ナビゲーションバーの**プロトコル**メニューをクリックします。
6. **POP3/IMAP4/SMTP** 欄で、**詳細設定**をクリックして、**状態が有効**であることを確認します。



キャンセル OK

状態 有効

Eメール送信設定(SMTP)

メールサーバー	<input type="text" value="0.0.0.0"/>
ポート	<input type="text" value="25"/>
送信メールサーバー認証方式	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> SMTP-AUTH
SMTP-AUTHアカウント名	<input type="text"/>
SMTP-AUTHアカウントパスワード	
パスワード設定	<input type="text"/>
パスワード確認	<input type="text"/>
SSL/TLS	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> SSL <input type="radio"/> TLS <input type="checkbox"/> サーバー証明書を検証
デバイスのEメールアドレス	<input type="text" value="bmxxxxxxxxxxx@example.com"/>

Eメール受信設定(POP3/IMAP4)

プロトコル	<input checked="" type="radio"/> POP3 <input type="radio"/> IMAP4
メールサーバー	<input type="text" value="0.0.0.0"/>
ポート	<input type="text" value="110"/>
アカウント名(ユーザー名)	<input type="text"/>
パスワード	
パスワード設定	<input type="text"/>
パスワード確認	<input type="text"/>
	<input type="checkbox"/> APOPを使用(POP3のみ)
Eメールフォルダ名(IMAP4のみ)	<input checked="" type="radio"/> デフォルト (Inbox) <input type="radio"/> 指定: <input type="text"/>
SSL/TLS	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> SSL <input type="radio"/> TLS <input type="checkbox"/> サーバー証明書を検証
分割メッセージタイムアウト	<input type="text" value="120"/> 分

[インターネットファクス>>](#)

[CA証明書>>](#)

[Eメール通達\(メンテナンス情報\)>>](#)

[エラー通達>>](#)

キャンセル OK

-
7. 設定するメールサーバーを選択します。
 8. メールサーバーに必要な設定を入力します。



IMAP4 オプションを選択した場合、メールフォルダーのフルパスを半角文字のみで入力した後、ルートメールフォルダー用に「Inbox」と入力します。

9. 完了後、**OK** をクリックします。
Eメール送信/受信設定のテストダイアログボックスが表示されます。
10. ダイアログボックスに表示される指示に従って、現在の設定値をテストします。



関連情報

- [高度なネットワーク機能について](#)
-

Eメールまたはインターネットファクス (I-Fax) 用に本製品を設定する

I-Fax を使用する前に、本製品がお使いのネットワークおよびメールサーバーとの通信を設定します。これらの項目は、コントロールパネル、ウェブブラウザによる設定、リモートセットアップ、または BRAdmin Professional を使用して設定できます。以下の項目は必ず本製品に設定してください。

- IP アドレス（お使いのネットワークで本製品を使用中の場合は、IP アドレスは設定されています。）
- E-mail アドレス
- SMTP、POP3、IMAP4 サーバーアドレス/ポート/認証方式/暗号化方式/サーバー証明書検証
- メールボックス名とパスワード

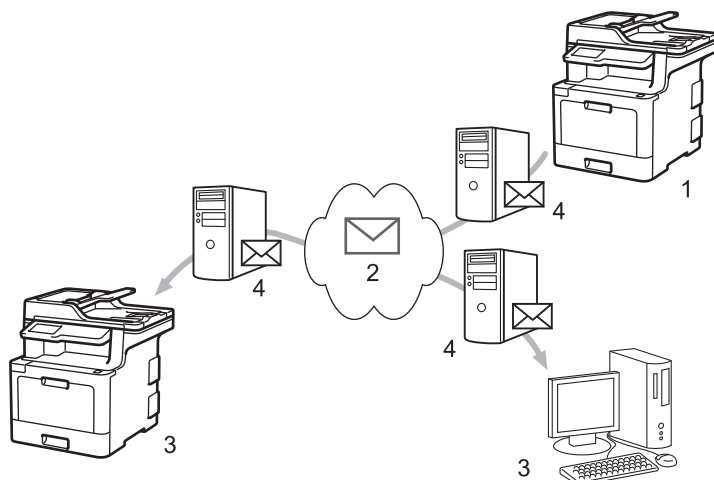
不明の場合は、システム管理者に問い合わせてください。

✓ 関連情報

- [高度なネットワーク機能について](#)
- [インターネットを使用するファクスについて \(I-Fax\)](#)
- [Eメールまたはインターネットファクス \(I-Fax\) の初期設定](#)
- [インターネットファクス \(I-Fax\) を送信する](#)
- [本製品によるインターネットファクス \(I-Fax\) の受信方法](#)
- [サーバーに手動でポーリングする](#)
- [お使いのパソコンによる I-Fax の受信について](#)
- [受信した E-mail とファクスメッセージを転送する](#)
- [同報送信をリレーする](#)
- [インターネットファクス \(I-FAX\) オプション](#)

インターネットを使用するファクスについて (I-Fax)

インターネットファクス (I-Fax) を使用すると、転送機構としてのインターネットを使用してファクス文書を送受信することができます。文書は、添付 TIFF-F ファイルとして、Eメールで送信されます。お使いのパソコンに TIFF-F ファイルの生成と閲覧に対応したアプリケーションがインストールされていると、文書の送受信が可能です。いずれの TIFF-F ビューアアプリケーションも利用可能です。本製品を介して送信された文書は、自動的に TIFF-F 形式に変換されます。本製品とメッセージを送受信する場合は、お使いのパソコンの Eメールアプリケーションが Multipurpose Internet Mail Extensions (MIME) をサポートしている必要があります。



1. 送信者
2. インターネット
3. 受信者
4. E-mail サーバー



- I-Fax では、レターまたは A4 サイズ、およびモノクロでの原稿の送受信のみをサポートしています。
- (MFC-L8610CDW)

この機能を使うには、サポートサイト (ブラザーソリューションセンター) (support.brother.co.jp) で、本モデルのソフトウェアダウンロードページを表示し、本製品のファームウェアまたは本製品で使用しているプログラムを更新してください。

✓ 関連情報

- Eメールまたはインターネットファクス (I-Fax) 用に本製品を設定する
- インターネットファクス (I-Fax) に関する重要事項
- 受信した E-mail とファクスメッセージを転送する

インターネットファクス (I-Fax) に関する重要事項

LAN 経由の I-Fax 通信は E-mail 経由の通信とほぼ同様ですが、一般的な電話回線を使用したファクス通信とは異なります。I-Fax を使用する場合の重要事項を以下に記載します。

- 受信者の場所、LAN の構造、および回線（インターネットなど）の混雑具合などの要因により、エラーメールの送信に通常より時間がかかることがあります。
- 機密文書を送信する場合は、インターネットではなく（セキュリティレベルが低いため）、一般的な電話回線の使用を推奨します。
- 受信者が MIME 互換のメールシステムを使用していない場合、I-Fax を使用して文書を送信することはできません。できるだけ事前に確認し、サーバーがエラー応答を送信しないようにしてください。
- 文書のサイズが大きすぎるために I-Fax 経由で送信できない場合があります。
- 受信インターネットメールの、文字のフォントまたはサイズを変更することはできません。

✓ 関連情報

- [インターネットを使用するファクスについて \(I-Fax\)](#)

Eメールまたはインターネットファクス (I-Fax) の初期設定

インターネットファクス (I-FAX)を送信する前に、操作パネル、ウェブブラウザによる設定、またはリモートセットアップを使用して、以下の任意の項目を設定します。

- メールタイトル
- スキャン to Eメール 文書
- サイズ制限
- 受信確認要求を行う

インターネットファクス送信設定

メールタイトル	<input type="text" value="Internet Fax Job"/>
スキャン to Eメール 文書	<input type="text" value="イメージデータが添付されています。"/>
サイズ制限	<input checked="" type="radio"/> オフ <input type="radio"/> オン
最大サイズ	<input type="text" value="1"/> Mbytes
受信確認要求を行う	<input checked="" type="radio"/> オフ <input type="radio"/> オン

[POP3/IMAP4/SMTP>>](#)

不明の場合は、システム管理者に問い合わせてください。

✓ 関連情報


- Eメールまたはインターネットファクス (I-Fax) 用に本製品を設定する
- 受信した E-mail とファクスメッセージを転送する



インターネットファクス (I-Fax) を送信する

I-Fax の送信は、通常のコピーの送信と同様です。受信者の情報が、お使いの E メールアドレス帳に保存されていることを確認し、I-Fax で送信する原稿を本製品にセットします。



- 原稿の送信先パソコンで Windows Server® 2008/2012/2012 R2/2016、Windows® 7、Windows® 8、または Windows® 10 が動作していない場合、TIFF ファイルを表示できるソフトウェアをパソコンの所有者にインストールしてもらいます。
- 複数のページを送信する場合は、ADF（自動原稿送り装置）を使用します。

1. 原稿をセットします。
2. 次のいずれかを行ってください。
 - みるだけ受信が [オフ (受信したら印刷)] に設定されている場合、[ファクス] を押します。
 - みるだけ受信が [オン (画面で確認)] に設定されている場合は、[ファクス] を押したあと、[ファクス 送信] を押します。
3. ファクス送信の設定値を変更するには、[設定変更] を押します。
4. 上または下にフリックするか、▲または▼を押して、ファクス設定値をスクロールします。変更対象の設定値が表示されたら、それを押して変更後の値を選択します。設定の変更が終了したら、[OK] を押します。（[OK] ボタンが表示された場合。）
5. 次のいずれかを行ってください。
 -  を押し、タッチパネルを使用して E-mail アドレスを入力します。
 - [電話帳] を押し、受信者の E-mail アドレスを選択して、[送信先に 設定] を押します。
6. [スタート] を押します。

本製品はスキャンを開始します。原稿はスキャンされると、SMTP サーバー経由で受信者に送信されます。スキャン中に  を押し、送信操作をキャンセルすることができます。
7.  を押します。



関連情報

- Eメールまたはインターネットファクス (I-Fax) 用に本製品を設定する

本製品によるインターネットファクス (I-Fax) の受信方法

本製品が I-Fax を受信すると、受信 I-Fax を自動的に印刷します。I-Fax を受信するには、コントロールパネルまたはウェブブラウザによる設定を使用して、以下の任意の項目を設定することを推奨します。

- 自動受信
- ポーリング間隔
- ヘッダー印刷
- エラーメール削除/既読
- 受信確認通知を行う

インターネットファクス受信設定

自動受信 オフ オン

ポーリング間隔 分

ヘッダー印刷 ▼

エラーメール削除/既読 オフ オン

受信確認通知を行う ▼

[POP3/IMAP4/SMTP>>](#)

キャンセル OK

Eメールの受信方法は2通りあります：

- 通常間隔での POP3/IMAP4 受信
- 手動開始の POP3/IMAP4 受信

POP3/IMAP4 受信を使用している場合、本製品はお使いの E-mail サーバーにポーリングしてデータを受信します。ポーリングは設定した間隔で発生させるか（例えば、10 分間隔で E-mail サーバーにポーリングするよう製品を設定できます）、サーバーに対して手動で実行できます。




- 本製品が Eメールの受信を開始すると、画面に [受信中] が表示されます。Eメールは自動的に印刷されます。
- データの受信時に、本製品に用紙がセットされていない場合、受信データは製品のメモリーに保存されます。用紙トレイに用紙がセットされると、このデータは自動的に印刷されます。
- 製品の一時バックアップ機能がオンの場合、受信データはある一定の期間保存されます。
- 受信メールがプレーンテキスト形式以外、または添付ファイルが TIFF-F 形式以外の場合、「**添付ファイルのフォーマットは使用できません。**」が印刷されます。
- 受信メールのサイズが大きすぎる場合、エラーメッセージ「**ファイルサイズが大きすぎます。**」が印刷されます。
- **エラーメール削除/既読がオン**（初期値）の場合、エラーのメールは E-mail サーバーから自動的に削除されます。



関連情報

- Eメールまたはインターネットファクス（I-Fax）用に本製品を設定する
- お使いのパソコンによる I-Fax の受信について
- 受信した E-mail とファクスメッセージを転送する

サーバーに手動でポーリングする

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク] > [Eメール/IFAX] > [手動受信] を押します。



本製品のホーム画面に [全てのメニュー] が表示された場合は、 [メニュー] をスキップします。

2. [はい] を押して確認します。
3. 画面に [受信中] と表示され、本製品は E-mail サーバーから送られたデータを印刷します。



関連情報

- Eメールまたはインターネットファクス (I-Fax) 用に本製品を設定する

お使いのパソコンによる I-Fax の受信について

お使いのパソコンがインターネットファクス (I-FAX)を受信すると、E-mail アプリケーションで E-mail が受信されます。受信するインターネットファクス (I-FAX)は、E-mail メッセージに添付され、その**件名**の行に、E-mail サーバーがインターネットファクス (I-FAX)を受信したことが表示されます。本製品が E-mail サーバーにポーリングするのを待つか、E-mail サーバーに手動でポーリングしてデータを受信することができます。


✓ 関連情報

- Eメールまたはインターネットファクス (I-Fax) 用に本製品を設定する
- 本製品によるインターネットファクス (I-Fax) の受信方法

受信した E-mail とファクスメッセージを転送する

本製品の I-Fax 機能を使用して、Eメールや一般的なファクスメッセージを、他のパソコン、ファクス機、または別の I-Fax 機に転送します。本製品の操作パネルを使用して、転送機能を有効にします。

操作パネルを使用して、転送機能を有効にする手順：

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [受信設定] > [メモリ受信] > [ファクス転送] を押しします。



本製品のホーム画面に [全てのメニュー] が表示された場合は、[メニュー] をスキップします。

2. 操作パネルを使用して、受信者のファクス番号または E-mail アドレスを入力します。
3. 以下のいずれかを行ってください。
 - [手動入力] を押して、タッチパネルから転送ファクス番号 (最大 20 文字) を入力します。
[OK] を押しします。
 - [電話帳] を押しします。
上または下にフリックするか、▲または▼を押して、転送先のファクス番号または E メールアドレスが表示されるまでスクロールします。
転送先のファクス番号または E メールアドレスを押しします。
4. 使用するファイル形式を選択します。



[本体でも印刷する] を押しすると、本製品で受信したファクスを印刷することができます。

5.  を押しします。

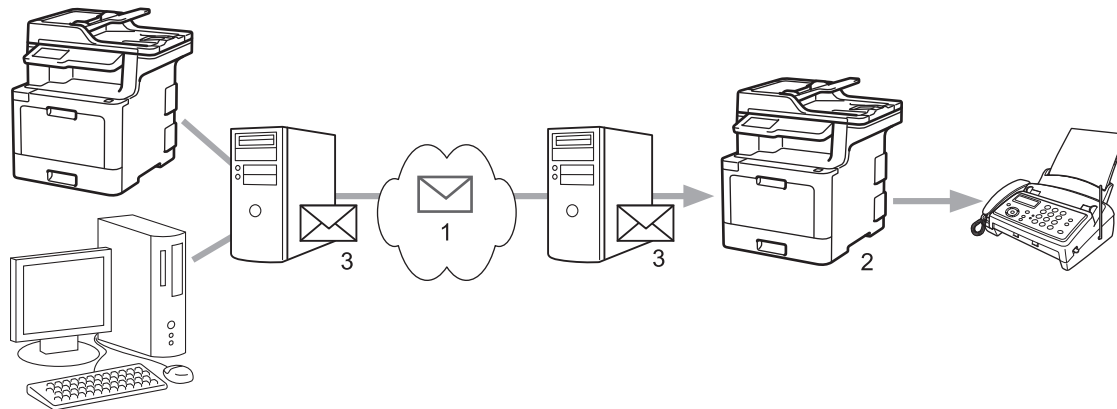


関連情報

- Eメールまたはインターネットファクス (I-Fax) 用に本製品を設定する
- インターネットを使用するファクスについて (I-Fax)
- Eメールまたはインターネットファクス (I-Fax) の初期設定
- 本製品によるインターネットファクス (I-Fax) の受信方法

同報送信をリレーする

リレー同報送信では、本製品がインターネットを介してメッセージを受信し、従来の電話回線を使用して別のファクス機にメッセージを中継します。遠隔地や海外に文書をファクスする必要がある場合、リレー同報送信機能を使用して通信費を節約することができます。



1. インターネット
2. 電話回線
3. E-mail サーバー

本製品の操作パネルまたはウェブブラウザ設定を使用して、以下の項目を設定します。

- **リレー許可**
リレー許可をオンに設定します。
- **許可ドメイン**
一般的なファクス機に原稿を同報送信する製品に、本製品のドメイン名を設定します。本製品をリレー同報送信機器として使用する場合は、製品に信頼できるドメイン名（「@」記号以降の部分）を指定する必要があります。信頼できるドメインは慎重に選択してください。信頼できるドメインのすべてのユーザーが、リレー同報送信を送信できるようになります。最大 10 個のドメイン名を登録できます。
- **リレー配信レポート**
本製品がリレー同報送信を完了した後の、レポート印刷の有無を指定します。

リレー配信機能

リレー許可 オフ オン

許可ドメイン

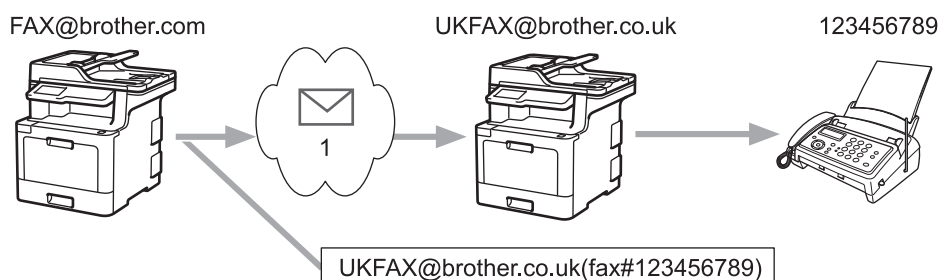
リレー配信レポート オフ オン

✓ 関連情報

- Eメールまたはインターネットファクス（I-Fax）用に本製品を設定する
 - 本製品から同報送信をリレーする
 - お使いのパソコンから同報送信をリレーする
-


本製品から同報送信をリレーする

リレー同報送信機能を使用して、本製品からファクス機に E メールを送信します。



1. インターネット

この例では、本製品の E-mail アドレスは FAX@brother.com であり、原稿を本製品から、E-mail アドレスが UKFAX@brother.co.uk の、イギリスの一般的なファクス機に送信します。また、送信には従来の電話回線が使用されます。

1. 原稿をセットします。
2. 次のいずれかを行ってください。
 - みるだけ受信が [オフ (受信したら印刷)] に設定されている場合、[ファクス] を押します。
 - みるだけ受信が [オン (画面で確認)] に設定されている場合は、[ファクス] を押したあと、[ファクス 送信] を押します。
3. [設定変更] を押します。
4. 上または下にフリックするか、▲または▼を押して [同報送信] オプションを表示します。
5. [同報送信] を押します。
6. [番号追加] を押します。
7. 以下の方法で、同報送信に E-mail アドレスを追加できます。
 - [手動入力]、 と押し、E-mail アドレスを入力したあと、[OK] を押します。
 - [電話帳から選択] を押します。同報送信に追加する E-mail アドレスのチェックボックスを押します。追加対象すべての E-mail アドレスを選択し、[OK] を押します。
 - [検索して選択] を押します。名前を入力し、[OK] を押します。検索結果が表示されます。名前を押してから、同報送信に追加する E-mail アドレスを押します。

E-mail アドレスと電話番号の入力方法の例を以下に示します。



UKFAX@brother.co.uk (fax#123456789)

Eメールアドレス ファクス番号

() 内に中継指示を示す
“fax#” を必ず入れる

すべてのファクス番号を入力し、[OK] を押します。



本製品に  が表示された場合は、 を押します。

8. [スタート] を押します。



関連情報

- 同報送信をリレーする

インターネットファクス (I-FAX)オプション

- インターネットファクス (I-Fax) 検証メール
- I-Fax のエラーメール
- Eメールまたはインターネットファクス (I-Fax) 用に本製品を設定する

インターネットファクス (I-Fax) 検証メール


- 送信の確認メールを使用すると、送信したインターネットファクス (I-FAX)または E-mail の受信と処理が行われた旨の通知の送信を、受信局に要求することができます。
- 受信の確認メールを使用すると、インターネットファクス (I-FAX)または E-mail の受信と処理を正常に行ったあと、デフォルトのレポートを送信局に返信することができます。

この機能を使用するには、本製品の操作パネルの、[メール 受信設定]で[受信確認]を、[メール 送信設定]で[受信確認要求]を設定します。

✓ 関連情報

- [インターネットファクス \(I-FAX\)オプション](#)
- [TX 確認メールの送信通知を有効にする](#)
- [TX 確認メールの受信通知を有効にする](#)

TX 確認メールの送信通知を有効にする

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク] > [Eメール/IFAX] > [メール 送信設定] > [受信確認要求]を押します。



本製品のホーム画面に [全てのメニュー] が表示された場合は、[メニュー] をスキップします。

2. [オン]または[オフ]を選択して、送信通知機能を有効または無効にします。
送信通知がオンの場合、ファクスには、メッセージの配信情報を含む、開封通知 (MDN : Message Disposition Notification) と呼ばれるフィールドが追加されます。お買い上げ時には、送信通知はオフに設定されています。



通知レポートを送信するために、MDN フィールドがファクス受信者の製品でサポートされている必要があります。


3.  を押します。




関連情報

- インターネットファクス (I-Fax) 検証メール


TX 確認メールの受信通知を有効にする

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク] > [Eメール/IFAX] > [メール 受信設定] > [受信確認要求]を押します。

 本製品のホーム画面に [全てのメニュー] が表示された場合は、[メニュー] をスキップします。

2. 3つの設定オプションの中から1つを押します。

オプション	説明
受信通知 [オン]	受信通知が[オン]の場合、テンプレートが送信者に返信され、メッセージの受信と処理が正常に行われたことが通知されます。 これらのテンプレートは、送信者が要求した操作により異なります。 例： [成功：(PCのメールアドレス)から受信しました。]
受信通知 [MDN]	受信通知が[MDN]の場合、発信局が要求確認を[MDN] (開封通知) フィールドに送信していると、受信と処理が正常に行われたことを示すレポートが送信者に返信されます。
受信通知 [オフ]	受信通知が[オフ]の場合、すべての形式の受信通知が無効になり、要求の種類に関わらず、送信者には何も返信されません。

-  TX 確認メールを送信するには、送信者が以下の設定を行っている必要があります。
- [受信確認要求]の[メール 送信設定]を[オン]に変更。
 - [ヘッダー印刷]の[メール 受信設定]を[全て]または[ヘッダーのみ]に変更。
- TX 確認メールを受信するには、受信者が以下の設定を行っている必要があります。
- [受信確認]の[メール 受信設定]を[オン]に変更。

3.  を押します。

関連情報

- [インターネットファクス \(I-Fax\) 検証メール](#)

I-Fax のエラーメール

インターネットファクス (I-FAX)送信時に配信エラーが発生すると、メールサーバーはファクスを送信した本製品にエラーメッセージを送り、エラーメッセージが印刷されます。

I-Fax 受信時にエラーが発生すると、「本製品に送信中のメッセージは TIFF 形式ではありませんでした」などのエラーメッセージが印刷されます。


本製品でエラーメールの受信と印刷を行うには、[メール 受信設定]で、[ヘッダ印刷]を、[全て]または[ヘッダのみ]に切り替える必要があります。

✓ 関連情報

- [インターネットファクス \(I-FAX\)オプション](#)


無線 LAN レポートを印刷する

無線 LAN レポートには、本製品の無線の状態が印刷されます。無線接続に失敗した場合、印刷されたレポートでエラーコードを確認してください。

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [レポート印刷] > [無線 LAN レポート]を押します。



本製品のホーム画面に [全てのメニュー] が表示された場合は、[メニュー] をスキップします。

2. [はい]を押します。
製品は無線 LAN レポートを印刷します。
3.  を押します。

WLAN レポート（無線 LAN レポート）が印刷されない場合、製品のエラーの有無を確認します。目視できるエラーがない場合、1 分間待ったあと、もう一度レポートを印刷してみてください。



関連情報

- [高度なネットワーク機能について](#)
- [無線 LAN レポートのエラーコード](#)
- [本製品で、ネットワーク経由の印刷、スキャン、または PC-FAX の受信ができません](#)
- [使用しているネットワーク機器が正しく動作していることを確認したい](#)

無線 LAN レポートのエラーコード

無線 LAN レポートに接続の失敗が表示された場合、印刷されたレポートでエラーコードを確認し、エラーに対応する指示を表で確認します。

エラーコード	問題と推奨対策
TS-01	無線設定が有効ではありません。無線設定をオンに変更します。 ネットワークケーブルが本製品に接続されている場合、接続を切断して、本製品の無線設定をオンに変更します。
TS-02	無線 LAN アクセスポイント/ルーターを検出できません。 1. 以下の 2 点を確認します。 <ul style="list-style-type: none">無線 LAN アクセスポイント/ルーターの電源を切り、10 秒待ってから、再度電源を入れます。無線 LAN アクセスポイント/ルーターが MAC アドレスフィルタリングを使用している場合、本製品の MAC アドレスがそのフィルターで許可されていることを確認します。 2. SSID とセキュリティ情報 (SSID/認証方式/暗号化方式/ネットワークキー) を手動で入力した場合、入力した情報が誤っている可能性があります。 SSID とセキュリティ情報を再確認して、必要に応じて正しい情報を再入力してください。 本機器は 5 GHz SSID/ESSID をサポートしていないため、2.4 GHz SSID/ESSID を選択する必要があります。アクセスポイント/ルーターが、2.4 GHz または 2.4 GHz/5 GHz の混合モードに設定されていることを確認してください。
TS-03	入力した無線ネットワークおよびセキュリティ設定が正しくない可能性があります。無線ネットワーク設定を再確認してください。 この情報が分からない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
TS-04	選択された無線 LAN アクセスポイント/ルーターが使用する認証/暗号化方式は、本製品でサポートされていません。 無線 LAN アクセスポイント/ルーターの認証および暗号化方式を変更します。本製品は以下の認証方式をサポートしています。 <ul style="list-style-type: none">WPA-Personal TKIP または AESWPA2-Personal TKIP または AESオープン WEP または、なし (暗号化なし)共有キー WEP 問題が解決しない場合、入力した SSID またはネットワーク設定が正しくない可能性があります。無線ネットワーク設定を確認してください。
TS-05	セキュリティ情報 (SSID、ネットワークキー) が正しくありません。 無線セキュリティ情報 (認証方式、暗号化方式、ネットワークキー) を確認してください。
TS-06	本製品は、WPS 対応の無線 LAN アクセスポイント/ルーターを検出できません。 無線セキュリティ情報 (認証方式、暗号化方式、ネットワークキー) を確認してください。
TS-07	本製品は、WPS 対応の無線 LAN アクセスポイント/ルーターを検出できません。 WPS と接続する場合は、本製品と無線 LAN アクセスポイント/ルーターの両方を操作する必要があります。無線 LAN アクセスポイント/ルーターの WPS の接続方式を確認して、再起動してみます。 WPS を使用する無線 LAN アクセスポイント/ルーターの操作方法が分からない場合、無線 LAN アクセスポイント/ルーターに同梱の説明書をご覧になるか、無線 LAN アクセスポイント/ルーターのメーカーまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

エラーコード	問題と推奨対策
TS-08	WPS 対応の無線 LAN アクセスポイントが、2 箇所以上検出されています。 <ul style="list-style-type: none">• WPS に対応した無線 LAN アクセスポイント/ルーターが範囲内で 1 つのみであることを確認して、再試行します。• 他のアクセスポイントからの影響を避けるために、数分待ってから再試行してください。

✓ 関連情報

- 無線 LAN レポートを印刷する
- 本製品で、ネットワーク経由の印刷、スキャン、または PC-FAX の受信ができません
- 使用しているネットワーク機器が正しく動作していることを確認したい
- Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) のワンプッシュ方式を使用して本製品に無線ネットワークを設定する
- Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) の PIN 方式を使用して本製品に無線ネットワークを設定する
- 本製品の操作パネルセットアップウィザードを使用して、本製品に無線 LAN を設定する
- SSID が同報送信以外の場合の無線 LAN を本製品に設定する
- エンタープライズ無線 LAN 用に本製品を設定する

LDAP 検索の設定と操作について

MFC-L9570CDW : 標準、MFC-L8610CDW : ダウンロード可能

LDAP 機能を使うと、お使いのサーバー上で、ファクス番号および E メールアドレスなどの情報を検索できます。ファクス、I-Fax、またはスキャン to E メールサーバー機能を使用する場合、LDAP 検索を使用してファクス番号または E メールアドレスを取得することができます。



- LDAP 機能は、簡体字、繁体字、および韓国語はサポートしていません。
- LDAP 機能は LDAPv3 をサポートしています。
- LDAP 機能は SSL/TLS をサポートしていません。
- (MFC-L8610CDW)

この機能を使うには、サポートサイト (ブラザーソリューションセンター) (support.brother.co.jp) で、本モデルの**ソフトウェアダウンロード**ページを表示し、本製品のファームウェアまたは本製品で使用しているプログラムを更新してください。




関連情報

- [高度なネットワーク機能について](#)
- [ウェブブラウザによる設定を使用して LDAP 構成を変更する](#)
- [本製品の操作パネルを使用して LDAP 検索を行う](#)

ウェブブラウザによる設定を使用して LDAP 構成を変更する

ウェブブラウザによる設定を使用して、LDAP 設定値を設定します。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「http://製品の IP アドレス」を入力します(「製品の IP アドレス」には本製品の IP アドレスを入力します)。例：
http://192.168.1.2
3. お買い上げ時はパスワードは必要ありません。パスワードを設定している場合はパスワードを入力し、 をクリックします。
4. **ネットワーク**タブをクリックします。
5. 左ナビゲーションバーの**プロトコル**メニューをクリックします。
6. **LDAP** チェックボックスを選択し、**OK** をクリックします。
7. 本ブラウザ製品を再起動して、設定を有効にします。
8. お使いのパソコン上で、ウェブブラウザの**アドレス**タブを開き、左ナビゲーションバーの **LDAP** を選択します。

- **LDAP 検索**
- **LDAP アドレス**
- **ポート** (お買い上げ時のポート番号は 389 です。)
- **検索場所**
- **認証方式**
- **ユーザー名**
この項目は、使用される認証方式によっては選択が可能になります。
- **パスワード**
この項目は、使用される認証方式によっては選択が可能になります。



- LDAP サーバーが Kerberos 認証をサポートしている場合、本認証の設定として Kerberos を選択することを推奨します。Kerberos により、LDAP サーバーとお使いの製品との間で厳密な認証が行えます。
- Kerberos 認証のために、SNTP プロトコル (ネットワークタイムサーバー) を設定するか、操作パネルで日時とタイムゾーンを正確に設定する必要があります。

- **Kerberos サーバーアドレス**
この項目は、使用される認証方式によっては選択が可能になります。
 - **LDAP タイムアウト**
 - **名前属性名 (検索する属性)**
 - **メールの属性名**
 - **FAX の属性名**
9. 設定の完了後、**OK** をクリックします。**状態**欄に **OK** と表示されることを確認します。



関連情報

- [LDAP 検索の設定と操作について](#)
- [ウェブブラウザ設定を使用した、SNTP サーバーとの時間の同期について](#)


本製品の操作パネルを使用して LDAP 検索を行う

LDAP の設定後、LDAP 検索機能を使用して、ファクス番号または E メールアドレスを取得し、以下の操作を行うことができます。

- ファクスを送信する
- インターネットファクス (I-Fax) を送信する
- E-mail サーバーにスキャン画像を送信する



- LDAP 機能は LDAPv3 をサポートしています。
- LDAP 機能は SSL/TLS をサポートしていません。
- Kerberos 認証または簡単認証を使用して、お使いの LDAP サーバーに接続しなければならない場合があります。いずれの認証方式を使用するかは、ネットワーク管理者に設定されたセキュリティポリシーにより異なります。
- Kerberos 認証のために、SNTP プロトコル (ネットワークタイムサーバー) を設定するか、操作パネルで日時とタイムゾーンを正確に設定する必要があります。

1.  を押して検索します。
2. タッチパネルを使用して、検索する先頭文字を入力します。
3. [OK] を押します。

LDAP 検索結果は液晶ディスプレイに表示されます。  アイコンが、ファクス番号 (ローカル) または E-mail (ローカル) の、アドレス帳検索結果の前に表示されます。

- サーバーまたは E-mail (ローカル) アドレス帳に一致する文字列が存在しない場合、画面に [検索結果がありません] が約 1 分間表示されます。
4. 上または下にフリックするか、▲または▼を押して、対象の名前を表示します。
 5. 対象の名前を押します。
名前の詳細を表示するには、[詳細] を押します。
 6. 検索結果のファクス番号や E-mail アドレスが複数の場合は、製品には 1 つのみを選択するよう表示されます。 [送信先に 設定] を押します。 次のいずれかを行ってください。
 - ファクスまたはインターネットファクス (I-FAX) を送信する場合、[スタート] を押します。
 - E-mail サーバーにスキャン画像を送信する場合、原稿を読み込ませて [次へ] を押したあと、[スタート] を押します。



関連情報

- [LDAP 検索の設定と操作について](#)
- [ウェブブラウザ設定を使用した、SNTP サーバーとの時間の同期について](#)


ウェブブラウザ設定を使用した、SNTP サーバーとの時間の同期について

簡易ネットワークタイムプロトコル（SNTP : Simple Network Time Protocol）は、本製品が認証に使用する時間と、SNTP タイムサーバーとの時刻を同期させます。（この時刻は、本製品の操作パネルに表示される時間とは異なります。）SNTP タイムサーバーを使用して、本製品の時刻と協定世界時（UTC: Coordinated Universal Time）を、自動または手動で同期させることができます。

- ウェブブラウザによる設定を使用して日時を設定する
- ウェブブラウザによる設定を使用して SNTP プロトコルを設定する
- ウェブブラウザによる設定を使用して LDAP 構成を変更する
- 本製品の操作パネルを使用して LDAP 検索を行う

ウェブブラウザによる設定を使用して日時を設定する

本製品が使用している時間と SNTP タイムサーバーを同期させます。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「http://製品の IP アドレス」を入力します(「製品の IP アドレス」には本製品の IP アドレスを入力します)。
例：
http://192.168.1.2
3. お買い上げ時はパスワードは必要ありません。パスワードを設定している場合はパスワードを入力し、をクリックします。
4. **管理者設定**タブをクリックします。
5. 左側にあるナビゲーションバーの**時計設定**をクリックします。

時計設定

日付 / /


時間 : 24時間制

タイムゾーン

SNTPサーバーと同期する

本機能を使用するためには
SNTPサーバーの設定が必要です。

[SNTP>>](#)

 **タイムゾーン**のドロップダウンリストから、お住まいの地域と UTC 間の時差を選択します。


6. **タイムゾーン**の設定値を確認します。
7. **SNTPサーバーと同期する**チェックボックスにチェックを入れます。
8. **OK** をクリックします。

✓ 関連情報

- ウェブブラウザ設定を使用した、SNTP サーバーとの時間の同期について

ウェブブラウザによる設定を使用して SNTP プロトコルを設定する

製品が認証のために使用する時間と、SNTP タイムサーバーにより維持されている時間との同期がとれるように、SNTP プロトコルを設定します。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「http://製品の IP アドレス」を入力します(「製品の IP アドレス」には本製品の IP アドレスを入力します)。例：
http://192.168.1.2
3. お買い上げ時はパスワードは必要ありません。パスワードを設定している場合はパスワードを入力し、をクリックします。
4. **ネットワーク**タブをクリックします。
5. 左ナビゲーションバーの**プロトコル**メニューをクリックします。
6. **SNTP** チェックボックスを選択し、設定を有効にします。
7. **OK** をクリックします。
8. 本ブラウザ製品を再起動して、設定を有効にします。
9. SNTP チェックボックスの横にある**詳細設定**をクリックして以下の指示に従います。

SNTP

状態	有効
同期状態	同期成功

SNTPサーバー設定の方法	AUTO ▼
プライマリSNTPサーバーアドレス	xxx.xxx.xxx
プライマリSNTPサーバーポート	123
セカンダリSNTPサーバーアドレス	
セカンダリSNTPサーバーポート	123
同期間隔	24 時間

[時計設定>>](#)

オプション	説明
状態	SNTP プロトコルが有効または無効かを表示します。
同期状態	最新の同期状態を確認します。
SNTP サーバー設定の方法	AUTO または STATIC を選択します。 <ul style="list-style-type: none">• AUTO お使いのネットワーク上に DHCP サーバーが存在する場合、SNTP サーバーは、そのサーバーから自動的にアドレスを入手します。• STATIC 使用したいアドレスを入力します。

オプション	説明
プライマリー SNTP サーバーアドレス	サーバーのアドレスを入力します (最大 64 文字)。
セカンダリー SNTP サーバーアドレス	セカンダリー SNTP サーバーのアドレスは、プライマリー SNTP サーバーのアドレスのバックアップとして使用されます。プライマリーサーバーが使用不可の場合、製品はセカンダリー SNTP サーバーにアクセスします。
プライマリー SNTP サーバーポート	ポート番号を入力します (1~65535)
セカンダリー SNTP サーバーポート	セカンダリー SNTP サーバーポートは、プライマリー SNTP サーバーポートのバックアップとして使用されます。プライマリーポートが使用不可の場合、製品はセカンダリー SNTP ポートにアクセスします。
同期間隔	サーバーの同期処理の間隔を入力します (1~168 時間)。

10. **OK** をクリックします。

関連情報

- [ウェブブラウザ設定を使用した、SNTP サーバーとの時間の同期について](#)

上級ユーザーのための技術的な情報について

- [ギガビットイーサネット（有線 LAN のみ）](#)
- [ネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットする](#)

ギガビットイーサネット（有線 LAN のみ）

本製品は、1000BASE-T Gigabit Ethernet をサポートしています。1000BASE-T Gigabit Ethernet ネットワークに接続するには、製品の操作パネルまたはウェブブラウザによる設定画面から、製品のイーサネットリンクモードを「Auto」に設定する必要があります。




- カテゴリー 5e 以上のストレートタイプのツイストペアケーブルを使用してください。本製品をギガビットイーサネットネットワークに接続する場合、1000BASE-T に準拠しているネットワーク機器を使用してください。



関連情報

- [上級ユーザーのための技術的な情報について](#)
- [ウェブブラウザを使用してギガビットイーサネットを設定する](#)

ウェブブラウザを使用してギガビットイーサネットを設定する

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「http://製品の IP アドレス」を入力します（「製品の IP アドレス」には本製品の IP アドレスを入力します）。
例：
http://192.168.1.2
3. お買い上げ時はパスワードは必要ありません。パスワードを設定している場合はパスワードを入力し、をクリックします。
4. **ネットワーク**タブをクリックします。
5. **有線**をクリックします。
6. 左側にあるナビゲーションバーの**イーサネット**をクリックします。
7. **イーサネットモード**ドロップダウンリストから**自動**を選択します。
8. **OK** をクリックします。
9. 設定を有効にするには、本製品を再起動します。

設定値は、ネットワーク設定リストを印刷して確認することができます。

関連情報

- ギガビットイーサネット（有線 LAN のみ）
- ネットワーク設定レポートを印刷する

ネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットする

本製品の操作パネルを使用して、プリントサーバーをお買い上げ時の設定にリセットします。パスワードや IP アドレスなど、すべての情報がリセットされます。



- すべての有線 LAN（サポート対象モデルのみ）および無線ネットワークの設定が、お買い上げ時の設定に戻ります。
- BRAdmin Light、BRAdmin Professional、またはウェブブラウザを使用して、プリントサーバーをお買い上げ時の設定にリセットすることもできます。

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク] > [ネットワーク設定リセット] を押します。



本製品のホーム画面に [全てのメニュー] が表示された場合は、[メニュー] をスキップします。

2. [再起動しますか？ 実行する場合は [OK] を 2 秒間 押してください 実行しない場合は [キャンセル] を押してください] が表示されます。[OK] を 2 秒間押して、確認します。

製品が再起動します。



関連情報

- [上級ユーザーのための技術的な情報について](#)

トラブルシューティング

本製品の使用時に生じやすい一般的な問題を解決するには、この章をご覧ください。ほとんどの問題はご自身で解決できます。

重要

技術的サポートについては、必ず本製品をお買い上げの国内にてお問い合わせください。お問い合わせは、必ずお買い上げの国内にて行ってください。

ブラザー製品以外の消耗品を使用すると、印刷品質、ハードウェア性能、および製品の信頼性に影響する場合があります。



サポートが必要な場合は、サポートサイト(ブラザーソリューションセンター)(support.brother.co.jp)にアクセスしてください。

まず、以下を確認してください：

- 製品の電源コードが正しく接続され、電源がオンになっている。かんたん設置ガイドをご覧ください。
- 製品から保護部品がすべて取り外されている。かんたん設置ガイドをご覧ください。
- 用紙トレイに用紙が正しくセットされている。
- 製品とパソコンにインターフェイスケーブルがしっかりと接続されている、または、無線接続が製品とパソコンの両方で設定されている。
- エラーおよびメンテナンスメッセージ

確認して問題が解決できなかった場合、問題を特定し関連情報をご覧ください。



関連情報

- [クラウド接続機能のエラーメッセージ](#)
- [ネットワークの問題](#)
- [Google クラウド プリントの問題](#)
- [AirPrint の問題](#)

クラウド接続機能のエラーメッセージ

エラーが発生すると、お使いのブラザー製品にエラーメッセージが表示されます。最も発生頻度の高いエラーのエラーメッセージを、表に示します。

ほとんどのエラーはユーザーご自身で解決することができます。この表を参照してもエラーが解決しない場合は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）で最新のトラブルシューティングをご参照ください。

サポートサイト（ブラザーソリューションセンター） support.brother.co.jp にアクセスしてください。

接続エラー

エラーメッセージ	原因	対処
[ネットワーク接続エラー 02] [ネットワークに接続されていません ネットワークの接続状況を確認してください]	お使いのブラザー製品がネットワークに接続されていません。	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク接続が良好であることを確認します。 お使いのブラザー製品の電源を投入した後、すぐに[クラウド]を押した場合、ネットワーク接続がまだ確立されていない可能性があります。しばらく時間をおいてから再度実行してください。
[ネットワーク接続エラー 03] [サーバーへの接続に失敗しました ネットワーク設定を確認してください]	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークやサーバーの設定が間違っています。 ネットワークまたはサーバーに問題があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークの設定が正しいことを確認するか、少し待ってから再度実行してください。 お使いのブラザー製品の電源を投入した後、すぐに[クラウド]を押した場合、ネットワーク接続がまだ確立されていない可能性があります。しばらく時間をおいてから再度実行してください。
[ネットワーク接続エラー 07] [サーバーへの接続に失敗しました 時刻設定が正しくありません]	日付と時刻の設定が間違っています。	日付と時刻を正しく設定します。お使いのブラザー製品の電源コードが抜かれた場合、日付と時刻がお買い上げ時の設定にリセットされることがあります。

認証エラー

エラーメッセージ	原因	対処
[認証エラー 01] [PIN コードが正しくありません 正しいPINを入力してください]	入力した PIN コードが正しくありません。PIN コードは、お使いのブラザー製品にアカウントを登録する際に入力した 4 桁の数字です。	正しい PIN コードを入力してください。
[認証エラー 02] [仮登録 ID が間違っているか発行された仮登録 ID がすでに失効しています または一度使用した仮登録 ID は使用できません 正しい仮登録 ID を入力するか仮登録 ID の再発行を行ってください 仮登録 ID の有効期限は発行から 24 時間です]	<p>入力された仮登録 ID が正しくありません。</p> <p>入力された仮登録 ID の期限が切れています。仮登録 ID は、24 時間有効です。</p>	<p>正しい仮登録 ID を入力してください。</p> <p>再度クラウド接続機能の利用申請を行い、新たに仮登録 ID を取得します。次に、新しい仮登録 ID を使ってお使いのブラザー製品にアカウントを登録してください。</p>
[認証エラー 03] [表示名がすでに登録されています 異なる表示名を登録してください]	表示名として入力した名前がすでに別のユーザーに登録されています。	別の表示名を入力してください。

サーバーエラー

エラーメッセージ	原因	対処
[サーバーエラー 01] [サービスへの認証情報が無効です 下記ウェブページより 仮登録 ID を 取得する必要があります http:// bwc.brother.com 仮登録 ID を取 得後 OK を押してください]	ブラザー製品の認証情報（サービスに アクセスするために必要）の有効期限 が切れている、または無効です。	再度クラウド接続機能の利用申請を 行い、新たに仮登録 ID を取得します。 次に、新しい仮登録 ID を使ってお使 いのブラザー製品にアカウントを登 録してください。
[サーバーエラー 03] [サービスが対応していないファイル の、アップロードに失敗しました 未 対応のファイルもしくは画像が壊れ ています ファイル情報を確認してく ださい]	アップロードしようとしているファ イルに次のような問題があります。 • ファイルの画素数、サイズなどが サービスの制限を超えている。 • ファイル形式が非対応。 • ファイルが破損している。	このファイルは使えません。 • サービスが対応しているファイル サイズ、形式の上限を確認してく ださい。 • 別のファイル形式で保存してくだ さい。 • 可能であれば、新しく破損してな いファイルを取得してください。
[サーバーエラー 13] [サービスが一時的に利用できません 時間をおいて再試行してください]	Web サービスに問題があり、現在使用 できません。	少し待ってから再実行します。再度 メッセージが表示された場合は、ウェ ブサービスが利用可能かどうかを確 認するためにパソコンからウェブサ ービスにアクセスしてみてください。

ショートカットエラー

エラーメッセージ	原因	対処
[ショートカットエラー 02] [利用アカウントが使用できなくなっ ています 選択したショートカットを 削除後アカウントの再登録およびシ ョートカットの再登録を行なってく ださい]	ショートカットが登録された後にア カウントが削除されたため、ショール ットカットを使用することはできません。	ショートカットを削除し、再度アカウ ントとショートカットを登録します。

関連情報

- [トラブルシューティング](#)

ネットワークの問題

- [エラーメッセージ](#)
- [ネットワーク診断修復ツールを使用する \(Windows®\)](#)
- [本製品のネットワーク設定はどこを確認すればいいですか？](#)
- [無線ネットワーク設定を完了できません](#)
- [本製品で、ネットワーク経由の印刷、スキャン、または PC-FAX の受信ができません](#)
- [使用しているネットワーク機器が正しく動作していることを確認したい](#)

エラーメッセージ

エラーが発生すると、本製品にエラーメッセージが表示されます。最も一般的なエラーメッセージを表に記載します。

エラーメッセージ	原因	対応
[接続できません 他のデバイスと接続中です]	本製品がグループオーナー (G/O) のときに、2つの携帯端末がすでに Wi-Fi Direct 接続されています。	本製品と他の携帯端末との接続が切れてから、Wi-Fi Direct をもう一度設定します。接続状態は、ネットワーク設定リストを印刷して確認することができます。
[ユーザー認証に失敗しました 管理者に問い合わせてください]	印刷ログのネットワークへの保存機能用の認証設定が正しくありません。	<ul style="list-style-type: none"> • 認証設定のユーザー名および パスワードが正しいことを確認します。ユーザー名がドメインの一部である場合、ユーザー@ドメインまたは、ドメインユーザーのいずれかの形式でユーザー名を入力します。 • ログファイルサーバーの時間が、SNTP サーバーの時間または時計設定の設定値と一致することを確認します。 • SNTP タイムサーバーが正確に設定され、設定された時間が、認証のために Kerberos または NTLMv2 により使用される時間と一致することを確認します。SNTP サーバーが存在しない場合、時計設定およびタイムゾーンの設定値がウェブブラウザまたは操作パネルを使用して正しく設定され、認証を行うサーバーにより使用される時間が本製品の時間と一致するようにします。
[ユーザー ID とパスワードを 確認してください]	Kerberos 認証エラーです。	Kerberos サーバーのユーザー名とパスワードを正確に入力していることを確認します。Kerberos サーバーの設定値についての詳細は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
	本製品の日時およびタイムゾーンの設定値に誤りがあります。	本製品の日時とタイムゾーンの設定値を確認します。
	DNS サーバーの設定が正しくありません。	ネットワーク管理者に問い合わせ、DNS サーバーの設定値を確認します。
	本製品は Kerberos サーバーに接続できません。	ネットワーク管理者に問い合わせ、Kerberos サーバーの設定値を確認します。
[接続エラー]	他の機器が同時に、Wi-Fi Direct に接続しようとしています。	<ul style="list-style-type: none"> • 他に Wi-Fi Direct へ接続しようとしている機器がないことを確認してから、Wi-Fi Direct の設定をもう一度行います。
[接続に失敗しました]	Wi-Fi Direct 設定中に本製品とお使いの携帯端末が通信できません。	<ul style="list-style-type: none"> • 携帯端末を本製品に近づけます。 • 本製品と携帯端末を、障害物のない場所に移動します。 • WPS の PIN 方式を使用している場合、PIN コードを必ず正確に入力してください。
[ファイルへアクセス できません 管理者に問い合わせ てください]	印刷ログのネットワークへの保存機能用の保存フォルダに本製品を接続できません。	<ul style="list-style-type: none"> • 保存されたディレクトリー名が正しいことを確認します。 • 保存されたディレクトリーが書き込み可能であることを確認します。 • ファイルがロックされていないことを確認します。
	ウェブブラウザによる設定で、 印刷ログ機能設定の書き込みエラー時設定 にある 印刷中止オプション を選択していません。	このメッセージが画面から消えるまで、約 1 分間お待ちください。
[デバイスが見つかりません]	Wi-Fi Direct 設定時に、本製品がお使いの携帯端末を認識できません。	<ul style="list-style-type: none"> • 本製品とお使いの携帯端末が、Wi-Fi Direct モードであることを確認します。 • 携帯端末を本製品に近づけます。 • 本製品と携帯端末を、障害物のない場所に移動します。 • Wi-Fi Direct を手動で設定している場合、パスワードが正しく入力されたことを確認します。

エラーメッセージ	原因	対応
		<ul style="list-style-type: none"> IP アドレスを取得する方法について、お使いの携帯端末に設定ページがある場合、携帯端末の IP アドレスが DHCP を通して設定されたことを確認します。
[サーバーが見つかりません 管理者に問い合わせてください]	印刷ログのネットワークへの保存機能用のサーバーに本製品を接続できません。	<ul style="list-style-type: none"> サーバーのアドレスが正しいことを確認します。 サーバーがネットワークに接続していることを確認します。 本製品がネットワークに接続していることを確認します。
[サーバーが見つかりません]	LDAP サーバーに本製品を接続できません。	<ul style="list-style-type: none"> サーバーのアドレスが正しいことを確認します。 サーバーがネットワークに接続していることを確認します。 本製品がネットワークに接続していることを確認します。
	Active Directory®サーバーに本製品を接続できません。	<ul style="list-style-type: none"> サーバーのアドレスが正しいことを確認します。 サーバーがネットワークに接続していることを確認します。 本製品がネットワークに接続していることを確認します。
[時計が未設定です 管理者に問い合わせてください]	本製品が SNTP タイムサーバーから時間を取得していないか、本製品に日時が設定されていません。	<ul style="list-style-type: none"> SNTP タイムサーバーにアクセスするための設定値が、ウェブブラウザを使用して正しく設定されていることを確認します。 本製品の時計設定設定値が、ウェブブラウザを使用して正しく設定されていることを確認します。
[予期しないエラーが発生しました]	本製品の LDAP プロトコルが無効です。	認証方式を確認してから、必要なプロトコル設定をウェブブラウザによる設定画面で有効にしてください。
	本製品の CIFS プロトコルが無効です。	

✓ 関連情報



- ネットワークの問題

ネットワーク診断修復ツールを使用する (Windows®)

ネットワーク診断修復ツールを使用して、本製品のネットワーク設定を修正します。正しい IP アドレスとサブネットマスクが割り当てられます。

- Windows® 7/Windows® 8/Windows® 10
必ず管理者権限でログオンしてください。
- 本製品がオンの状態で、お使いのパソコンと同一のネットワークに接続されていることを確認します。

1. 次のいずれかを行ってください。

オプション	説明
Windows® 7	 (スタート) > すべてのプログラム > Brother > Brother Utilities をクリックします。 ドロップダウンリストをクリックして、お使いの機器のモデル名を選択します (未選択の場合)。左ナビゲーションバーの ツール をクリックし、 ネットワーク診断修復ツール をクリックします。
Windows® 8/ Windows® 10	 (Brother Utilities) を起動し、ドロップダウンリストをクリックして、お使いの機器のモデル名を選択します (未選択の場合)。左ナビゲーションバーの ツール をクリックし、 ネットワーク診断修復ツール をクリックします。



- **ユーザーアカウント制御** 画面が表示されたら、**はい**をクリックします。

2. 画面の指示に従います。
3. ネットワーク設定リストを印刷して、診断結果を確認します。



ステータスマニターで**接続状態を常に監視する**を選択した場合、ネットワーク診断修復ツールが自動的に起動します。ステータスマニター画面を右クリックして、**その他の設定** > **接続状態を常に監視する**をクリックします。この操作では IP アドレスが自動的に変更されるため、ネットワーク管理者が IP アドレスを Static に設定している場合は、本操作をお勧めしません。

ネットワークプリンター診断修復ツールを使用した後でも、正しい IP アドレスとサブネットマスクが割り当てられていない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

✓ 関連情報

- [ネットワークの問題](#)
- [ネットワーク設定レポートを印刷する](#)
- 本製品で、ネットワーク経由の印刷、スキャン、または PC-FAX の受信ができません
- 使用しているネットワーク機器が正しく動作していることを確認したい

▲ホーム > [トラブルシューティング](#) > [ネットワークの問題](#) > 本製品のネットワーク設定はどこを確認すればいいですか？

本製品のネットワーク設定はどこを確認すればいいですか？

- [ネットワーク設定レポートを印刷する](#)
- [パソコンを使用して製品の設定を変更する](#)

無線ネットワーク設定を完了できません

お使いの無線 LAN アクセスポイント/ルーターの電源を一度切ってから、再度、入れ直してください。その後、無線接続設定をもう一度、行ってください。それでも、問題が解決しない場合は、以下の指示に従ってください。無線 LAN レポートを使用して問題を調査します。

原因	対応	インターフェイス
セキュリティ設定 (SSID/ネットワークキー) に誤りがあります。	<ul style="list-style-type: none"> 無線 LAN 情報確認ツールを使用して、セキュリティー設定を確認します。詳細の確認やツールのダウンロードを行う場合は、サポートサイト (ブラウザソリューションセンター) (support.brother.co.jp) にアクセスし、お使いのモデルのソフトウェアダウンロードページを参照してください。 正しいセキュリティ設定値を選択していることを確認します。 <ul style="list-style-type: none"> セキュリティ設定の表示方法については、お使いの無線 LAN アクセスポイント/ルーターの取扱説明書を参照してください。 無線 LAN アクセスポイント/ルーターの製造者名またはモデル番号が、お買い上げ時のセキュリティ設定値として使用されている場合があります。 アクセスポイント/ルーターの製造元、インターネットプロバイダー、またはネットワーク管理者にお問い合わせください。 	無線
本製品の MAC アドレスが許可されていません。	本製品の MAC アドレスがフィルターで許可されていることを確認してください。MAC アドレスは、本製品の操作パネルで確認できます。	無線
無線 LAN アクセスポイント/ルーターがステルスモードです (SSID の隠ぺいが有効になっています)。	<ul style="list-style-type: none"> 正しい SSID 名またはネットワークキーを手動で入力します。 無線 LAN アクセスポイント/ルーターの説明書で SSID 名またはネットワークキーを確認し、無線ネットワークを再設定します。 	無線
セキュリティ設定 (SSID/パスワード) に誤りがあります。	<ul style="list-style-type: none"> SSID およびパスワードを確認します。 <ul style="list-style-type: none"> ネットワークを手動で設定する場合、SSID とパスワードは本製品に表示されます。お使いの携帯端末が手動設定をサポートしている場合、SSID とパスワードは携帯端末の画面に表示されます。 	Wi-Fi Direct
Android™ 4.0 を使用しています。	携帯端末の接続が切断された場合 (Wi-Fi Direct を使用してから約 6 分後)、WPS (推奨) を使ったワンプッシュ設定を試み、本製品を G/O (グループオーナー) として設定してください。	Wi-Fi Direct
本製品がお使いの携帯端末から離れ過ぎています。	本製品を携帯端末の約 1 メートル以内に近づけて、Wi-Fi Direct 接続の設定を行います。	Wi-Fi Direct
本製品と携帯端末との間に何らかの障害物 (壁や家具など) があります。	本製品を、障害物のない場所に移動します。	Wi-Fi Direct
本製品または携帯端末の近くに、無線パソコン、Bluetooth 対応機器、電子レンジ、またはデジタルコードレス電話があります。	他の機器を、本製品または携帯端末から離れた場所に移動します。	Wi-Fi Direct
上記の対策すべてを試しても Wi-Fi Direct の設定が完了できない場合は、右記の対応を行ってください。	<ul style="list-style-type: none"> 本製品の電源を一度切ってから、再度、入れ直します。Wi-Fi Direct 設定をもう一度行います。 本製品をクライアントとして使用している場合、現在の Wi-Fi Direct 接続で許可されている機器の数と、接続されている機器の数を確認します。 	Wi-Fi Direct

Windows®の場合



上記の対策をすべて行っても、無線 LAN 接続に問題がある場合は、ネットワークプリンター診断修復ツールをご使用になることをお勧めします。

✓ 関連情報

- ネットワークの問題
 - SSID が同報送信以外の場合の無線 LAN を本製品に設定する
 - Wi-Fi Direct®を使用する
-

本製品で、ネットワーク経由の印刷、スキャン、または PC-FAX の受信ができません

原因	対応	インターフェイス
<p>お使いのセキュリティソフトウェアにより、本製品のネットワークへのアクセスがブロックされています。(ネットワークスキャン機能が動作していません。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Windows® ネットワークスキャンを許可するよう、サードパーティのセキュリティ/ファイアウォールソフトウェアの設定を行ってください。ネットワークスキャンにポート 54925 を追加するには、以下の情報を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> - 名前： ブラザー NetScan などを入力します。 - ポート番号： 54925 を入力します。 - プロトコル： UDP が選択されます。 サードパーティのセキュリティ/ファイアウォールのソフトウェアに添付された説明書を参照するか、ソフトウェアの製造元に問い合わせてください。 • Mac ControlCenter2 を起動します。モデルのポップアップメニューをクリックし、その他を選択します。デバイスセレクター画面が表示されます。お使いのネットワーク製品を再度選択し、状態が待機中になっていることを確認してから、OK をクリックします。 	有線/無線
<p>お使いのセキュリティソフトウェアが、本製品のネットワークへのアクセスをブロックしています。(ネットワーク PC-Fax 受信機能が動作していません。) (Windows®)</p>	<p>PC-FAX 受信を許可するよう、サードパーティのセキュリティ/ファイアウォールソフトウェアの設定を行ってください。ネットワーク PC-FAX 受信にポート 54926 を追加するには、以下の情報を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 名前： ブラザー PC-FAX Rx などを入力します。 • ポート番号： 54926 を入力します。 • プロトコル： UDP が選択されます。 <p>サードパーティのセキュリティ/ファイアウォールのソフトウェアに添付された説明書を参照するか、ソフトウェアの製造元に問い合わせてください。</p>	有線/無線
<p>お使いのセキュリティソフトウェアが、本製品のネットワークへのアクセスをブロックしています。</p>	<p>インストールが正常に完了した場合でも、セキュリティソフトが警告を出さずにアクセスをブロックしている場合があります。 アクセスを許可するには、セキュリティソフトウェアの説明書を参照するか、ソフトウェアの製造元に問い合わせてください。</p>	有線/無線
<p>本製品に、有効な IP アドレスが割り当てられていません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • IP アドレスとサブネットマスクを確認します。 お使いのパソコンと本製品の、IP アドレスとサブネットマスクがいずれも正確で、同一のネットワーク上に存在することを確認します。 IP アドレスとサブネットマスクの確認方法に関する詳細については、ネットワーク管理者に問い合わせてください。 • Windows® ネットワークプリンター診断修復ツールを使用して、IP アドレスとサブネットマスクを確認します。 	有線/無線

原因	対応	インターフェイス
失敗した印刷ジョブが、パソコンの印刷キューに残っています。	<ul style="list-style-type: none"> • 失敗した印刷ジョブがパソコンの印刷キューに残っている場合は、そのジョブを削除します。 • または、以下のフォルダでプリンターアイコンをダブルクリックし、すべての文書をキャンセルします。 <ul style="list-style-type: none"> - Windows® 7  (スタート) > デバイスとプリンター > プリンターと FAX をクリックします。 - Windows® 8 マウスポインタをデスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、設定 > コントロール パネルをクリックします。ハードウェアとサウンドグループでデバイスとプリンターの表示 > プリンターをクリックします。 - Windows® 10 および Windows Server® 2016  > Windows システム ツール > コントロール パネルをクリックします。ハードウェアとサウンドグループで、デバイスとプリンターの表示 > プリンターをクリックします。 - Windows Server® 2008 スタート > コントロール パネル > プリンタをクリックします。 - Windows Server® 2012 マウスポインタをデスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、設定 > コントロール パネルをクリックします。ハードウェアグループでデバイスとプリンターの表示 > プリンターをクリックします。 - Windows Server® 2012 R2 コントロール パネル画面でスタートをクリックします。ハードウェアグループでデバイスとプリンターの表示をクリックします。 - macOS v10.10.5、v10.11.x、v10.12 システム環境設定 > プリンタとスキャナをクリックします。 	有線/無線
本製品は無線ネットワークに接続されていません。	WLAN レポート (無線 LAN レポート) を印刷して、エラーコードを確認します。	無線

上記の対策をすべて行っても、本製品で印刷やスキャンができない場合は、本製品のプリンタードライバーとソフトウェアをアンインストールしてから、再インストールすることをお勧めします。

✓ 関連情報

- ネットワークの問題
- 無線 LAN レポートを印刷する
- 無線 LAN レポートのエラーコード
- ネットワーク診断修復ツールを使用する (Windows®)
- 使用しているネットワーク機器が正しく動作していることを確認したい

使用しているネットワーク機器が正しく動作していることを確認したい

確認	対応	インターフェイス
本製品、アクセスポイント/ルーター、またはネットワークハブの電源が入っていることを確認します。	<p>以下を確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源コードが正しく接続され、本製品の電源が入っている。 アクセスポイント/ルーター、またはハブの電源が入った状態で、リンクボタンが点滅している。 保護包装は本製品からすべて取り除かれている。 トナーカートリッジとドラムユニットが正しくインストールされている。 前部と後部のカバーが完全に閉まっている。 用紙トレイに用紙が正しくセットされている。 (有線 LAN の場合) ネットワークケーブルが、本製品と、ルーターまたはハブに確実に接続されている。 	有線/無線
ネットワーク設定リストの Link Status を確認します。	ネットワーク設定リストを印刷して、 Ethernet Link Status または Wireless Link Status が Link OK であることを確認します。	有線/無線
Ping コマンドをつかってパソコンと本製品の接続を確認します。	<p>Windows®のコマンドプロンプトまたは Mac ターミナルアプリケーションで、IP アドレスまたはノード名を使用して、パソコンから本製品に Ping を実行します。</p> <p>ping [<ipaddress>] または [<nodename>]</p> <ul style="list-style-type: none"> 成功：本製品は正常に動作し、お使いのパソコンと同一のネットワークに接続されています。 失敗：本製品は、お使いのパソコンと同一のネットワークに接続されていません。 <p>(Windows®) ネットワーク管理者に問い合わせ、ネットワークプリンター診断修復ツールを使用して、IP アドレスとサブネットマスクを修復します。</p> <p>(Mac) IP アドレスとサブネットマスクが正しく設定されていることを確認します。</p>	有線/無線
本製品が無線 LAN に接続されていることを確認します。	無線 LAN レポートを印刷して、エラーコードを確認します。	無線

上記の対策をすべて試みても問題が解決しない場合は、お使いの無線 LAN アクセスポイント/ルーターの説明書で SSID とネットワークキーの情報を参照し、それらを正しく設定してください。

✓ 関連情報

- [ネットワークの問題](#)
- [ネットワーク設定レポートを印刷する](#)
- [無線 LAN レポートを印刷する](#)
- [無線 LAN レポートのエラーコード](#)
- [ネットワーク診断修復ツールを使用する \(Windows®\)](#)
- [本製品で、ネットワーク経由の印刷、スキャン、または PC-FAX の受信ができません](#)

Google クラウド プrint の問題

問題	対応
お使いのブラザー製品がプリンター一覧に表示されない。	製品の電源が入っていることを確認します。
	Google クラウド プrint が有効になっていることを確認します。
	お使いの製品が Google クラウド プrint に登録されていることを確認します。登録されていない場合は、もう一度登録してください。
印刷できない。	製品の電源が入っていることを確認します。
	ネットワーク設定を確認します。関連情報をご覧ください。
	ファイルによっては、印刷できない場合、または表示された通りに印刷できない場合があります。
ブラザー製品を Google クラウド プrint に登録できない。	お使いの製品が、インターネットにアクセスできるネットワークに接続されているか確認してください。
	お使いの製品で日付と時刻が正しく設定されていることを確認してください。
登録設定をやり直しても、Google クラウド プrint 登録時に、製品上に確認メッセージが表示されない。	Google クラウド プrint に登録している間は、お使いの製品が待ち受け状態になっていることを確認してください。

✓ 関連情報

- [トラブルシューティング](#)
- [Google クラウド プrint を使用するためのネットワーク設定](#)

AirPrint の問題

こんなときは	対処のしかた
本製品がプリンターリストに表示されません。	本製品の電源が入っていることを確認してください。
	ネットワーク設定を確認してください。関連情報をご覧ください。
	携帯端末を無線 LAN アクセスポイント、ルーターまたは本製品に近づけてください。
印刷できません。	本製品の電源が入っていることを確認してください。
	ネットワーク設定を確認してください。関連情報をご覧ください。
Apple 端末から複数のページを印刷しようとしても、最初のページしか印刷されません。	お使いの端末が、最新の iOS を搭載しているか確認してください。 AirPrint の詳細については下記の Apple のサポート記事を参照してください： support.apple.com/kb/HT4356

✓ 関連情報

- [トラブルシューティング](#)
- [AirPrint の概要](#)

セキュリティ

- 本製品の設定をロックする
- ネットワークセキュリティ機能

本製品の設定をロックする

本製品のアクセスロックをオンにする前に、パスワードを必ずお控えください。パスワードを忘れた場合、管理者またはブラザーコールセンターにお問い合わせ、本製品に保存されているパスワードをすべてリセットする必要があります。

- [設定ロックの概要](#)

設定ロックの概要

設定ロック機能を使用して、製品への不正アクセスを防ぎます。

設定ロックがオンに設定されているとき、本製品の設定にアクセスするにはパスワードの入力が必要になります。


- 設定ロックパスワードを設定する
- 設定ロックパスワードを変更する
- セキュリティ設定ロックをオンにする
- 本製品の特定の設定を制限する

設定ロックパスワードを設定する

>> [MFC-L8610CDW](#)


>> [MFC-L9570CDW](#)

MFC-L8610CDW

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [基本設定] > [セキュリティ設定ロック]を押します。



本製品のホーム画面に [全てのメニュー] が表示された場合は、 [メニュー] をスキップします。


2. パスワード用の4桁の数字を入力します。
3. [OK]を押します。
4. 画面に [パスワード確認] と表示されたら、パスワードを再入力します。
5. [OK]を押します。
6.  を押します。

MFC-L9570CDW

1. [管理者メニュー] > [ログインパスワード設定]を押します。



このパスワードは、他の [管理者メニュー] 機能やウェブブラウザへのログインでも有効です。

2. 使用するパスワード (8~32文字) を入力し、 [確定]を押します。
3. 画面に [パスワード確認] と表示されたら、パスワードを再入力し、 [確定]を押します。
4. メッセージが表示されたら、次の手順を選択します。
5.  を押します。

✓ 関連情報


- [設定ロックの概要](#)

設定ロックパスワードを変更する

>> [MFC-L8610CDW](#)


>> [MFC-L9570CDW](#)

MFC-L8610CDW


1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [基本設定] > [セキュリティ設定ロック] > [パスワード設定]を押します。



本製品のホーム画面に [全てのメニュー] が表示された場合は、 [メニュー] をスキップします。

2. 現在の4桁のパスワードを入力します。
3. [OK]を押します。
4. 新しい4桁のパスワードを入力します。
5. [OK]を押します。
6. 画面に [パスワード確認] と表示されたら、パスワードを再入力します。
7. [OK]を押します。
8.  を押します。

MFC-L9570CDW

1. [管理者メニュー]を押します。
2. 現在のパスワードを入力し、 [確定]を押します。
3. [ログインパスワード設定]を押します。
4. 現在のパスワードをもう一度入力し、 [確定]を押します。
5. 使用するパスワード (8~32文字) を入力し、 [確定]を押します。
6. 画面に [パスワード確認] と表示されたら、パスワードを再入力し、 [確定]を押します。
7.  を押します。

✓ 関連情報


- [設定ロックの概要](#)

セキュリティ設定ロックをオンにする

>> [MFC-L8610CDW](#)

>> [MFC-L9570CDW](#)

MFC-L8610CDW

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [基本設定] > [セキュリティ設定ロック] > [ロック オフ⇒オン]を押します。



本製品のホーム画面に [全てのメニュー] が表示された場合は、 [メニュー] をスキップします。

2. 現在の4桁のパスワードを入力します。
3. [OK]を押します。



セキュリティ設定ロックをオフにするには、画面の  を押し、現在の4桁のパスワードを入力して、[OK]を押します。

MFC-L9570CDW

1. [管理者メニュー]を押します。
2. 現在のパスワードを入力し、[OK]を押します。
3. [制限管理] > [セキュリティ設定ロック] > [オン]を押します。
4. メッセージが表示されたら、次の手順を選択します。




セキュリティ設定ロックをオフにするには、手順1と2を繰り返し、[制限管理] > [セキュリティ設定ロック] > [オフ]を押します。

✓ 関連情報

- [設定ロックの概要](#)

本製品の特定の設定を制限する

関連モデル: MFC-L9570CDW

1. [管理者メニュー]を押します。
2. 現在の管理者パスワードを入力し、[確定]を押します。
3. [制限管理] > [セキュリティ設定ロック 詳細]を押します。
4. 本製品が制限する設定を選択して、[確定]を押します。
5. を押します。

✓ 関連情報

- [設定ロックの概要](#)

ネットワークセキュリティ機能

- ネットワークセキュリティ機能を使用する前に
- セキュリティ機能ロック 3.0
- Active Directory®認証を使用する
- LDAP 認証方式を使用する
- SSL/TLS を使用したネットワーク製品の安全な管理について
- IPsec を使用したネットワーク製品の安全な管理について
- 安全な E-mail の送受信について
- 有線または無線 LAN への IEEE 802.1x 認証の使用について
- 印刷ログ機能

ネットワークセキュリティ機能を使用する前に

本製品には、最新のネットワークセキュリティの一部と、現在利用可能な暗号化プロトコルが使用されています。これらのネットワーク機能は、お使いの全体的なネットワークセキュリティプランの一部として、データを保護し、本製品への不正なアクセスを防ぐことができます。



Telnet、FTP サーバー、および TFTP プロトコルを無効にすることを推奨します。これらのプロトコルを使用した本製品へのアクセスは安全ではありません。



関連情報

- ネットワークセキュリティ機能

セキュリティ機能ロック 3.0

セキュリティ機能ロック 3.0 は、本製品で利用できる機能を制限し、安全性を高めます。

- セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する前に
- ウェブブラウザを使用してセキュリティ機能ロック 3.0 を設定する
- セキュリティ機能ロック 3.0 を使用するスキャンについて
- セキュリティ機能ロック 3.0 のパブリックモードを設定する
- セキュリティ機能ロック 3.0 のその他の機能について
- 本製品の操作パネルを使用して新しい IC カードを登録する

セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する前に

セキュリティ機能ロックを使用してパスワードを設定し、特定ユーザーにアクセス設定をして、ここに記載している機能の一部または全部へのアクセスを許可します。

ウェブブラウザまたは BRAdmin Professional (Windows®) を使用して、以下のセキュリティ機能ロック 3.0 設定値の設定や変更を行うことができます。

- **印刷**

印刷には、AirPrint、Google クラウド プリント™、および Brother iPrint&Scan を経由するプリントジョブの送信が含まれます。

ユーザーのログイン名を事前に登録すると、ユーザーはパスワードの入力なしで印刷機能を使用できます。

- **カラープリント**

- **コピー**

- **スキャン**

スキャンには Brother iPrint&Scan を経由するスキャンジョブの送信が含まれます。

- **送信** (サポート対象モデルのみ)

- **受信** (サポート対象モデルのみ)

- **USB ダイレクトプリント**

- **スキャン to USB** (サポート対象モデルのみ)

- **クラウド接続** (サポート対象モデルのみ)

- **お役立ちツール** (サポート対象モデルのみ)

- **枚数制限**

- **ページカウンター**


- **カード ID** (サポート対象モデルのみ)

ユーザーのカード ID を事前に登録すると、登録ユーザーは、登録済みカードを本製品の NFC タッチ部分にタッチして製品を有効化することができます。

✓ 関連情報

- [セキュリティ機能ロック 3.0](#)

ウェブブラウザを使用してセキュリティ機能ロック 3.0 を設定する

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「http://製品の IP アドレス」を入力します(「製品の IP アドレス」には本製品の IP アドレスを入力します)。例：
http://192.168.1.2
3. お買い上げ時はパスワードは必要ありません。パスワードを設定している場合はパスワードを入力し、をクリックします。
4. **管理者設定**タブをクリックします。
5. 左側にあるナビゲーションバーの**制限機能**メニューをクリックします。
6. **セキュリティ機能ロック**を選択します。
7. **OK** をクリックします。
8. 左側にあるナビゲーションバーの**機能制限**メニューをクリックします。
9. **ユーザーリスト/機能制限**欄に、グループ名またはユーザー名を入力します。
10. **印刷列**およびその他の列で、チェックボックスを選択して一覧表示されている機能を許可するか、チェックボックスの選択を解除してこれらの機能を制限します。
11. 最大ページ数を設定するには、**オン**列の**枚数制限**チェックボックスを選択し、**最大ページ数**欄で最大数を入力します。
12. **OK** をクリックします。
13. 左側にあるナビゲーションバーの**ユーザーリスト**メニューをクリックします。
14. **ユーザーリスト**欄で、ユーザー名を入力します。
15. **パスワード**欄で、4桁のパスワードを入力します。
16. **Eメールアドレス**欄で、ユーザーのEメールアドレスを入力します（特定モデルのみ対応）。
17. ユーザーのカード ID を登録するには、**カード ID** 欄でカード番号を入力します（特定モデルのみ対応）。
18. ユーザーごとに、ドロップダウンリストから、**ユーザーリスト/機能制限**を選択します。
19. **OK** をクリックします。

関連情報

- [セキュリティ機能ロック 3.0](#)

セキュリティ機能ロック 3.0 を使用するスキャンについて

スキャン制限を設定する（管理者用）

管理者はセキュリティ機能ロック 3.0 を使用して、スキャンを許可するユーザーを制限することができます。スキャン機能が一般ユーザーの設定に対してオフに設定されている場合、**スキャン**のチェックボックスが選択されているユーザーのみがスキャン操作を行えます。

スキャン機能を使用する（制限されたユーザー用）

- 操作パネルを使用してスキャンする場合：
制限されたユーザーは、操作パネルでパスワードを入力して、スキャンモードにアクセスします。
- パソコンからスキャンする場合：
制限されたユーザーは、各自のパソコンからスキャンする前に、操作パネルでパスワードを入力する必要があります。操作パネルでパスワードが入力されなかった場合、エラーメッセージがユーザーのパソコンに表示されます。

✓ 関連情報


- [セキュリティ機能ロック 3.0](#)

セキュリティ機能ロック 3.0 のパブリックモードを設定する

セキュリティ機能ロック画面を使用してパブリックモードを設定します。このモードにより、パブリックユーザーに利用可能な機能が制限されます。パブリックユーザーは、パブリックモード設定により利用可能となった機能に、パスワードの入力なしでアクセスできます。



パブリックモードの対象は、AirPrint、Google クラウド プリント、および Brother iPrint&Scan を介して送信される印刷ジョブなどです。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「http://製品の IP アドレス」を入力します(「製品の IP アドレス」には本製品の IP アドレスを入力します)。例：
http://192.168.1.2
3. お買い上げ時はパスワードは必要ありません。パスワードを設定している場合はパスワードを入力し、をクリックします。
4. **管理者設定**タブをクリックします。
5. 左側にあるナビゲーションバーの**制限機能**メニューをクリックします。
6. **セキュリティ機能ロック**を選択します。
7. **OK** をクリックします。
8. **機能制限**メニューをクリックします。
9. **一般モード**行で、チェックボックスを選択して一覧表示されている機能を許可するか、チェックボックスの選択を解除してこれらの機能を制限します。
10. **OK** をクリックします。



関連情報

- [セキュリティ機能ロック 3.0](#)
- [ウェブブラウザを使用して Google クラウド プリントに本製品を登録する](#)

セキュリティ機能ロック 3.0 のその他の機能について

セキュリティ機能ロック画面で以下の機能を設定できます。

カウンターリセット

ページカウンター列で**カウンターリセット**をクリックして、ページカウンターをリセットします。

CSV ファイルへ出力

CSV ファイルへ出力をクリックして、**ユーザーリスト/機能制限**情報を含む現在のページカウンターを、CSV ファイルとしてエクスポートします。

カード ID (サポート対象モデルのみ)

ユーザーリストメニューをクリックし、**カード ID** フィールドにユーザーのカード ID を入力します。ご自身のカード ID を認証に使用できます。

前回ログ

カウンターのリセット後でもページ数を本製品に保持する場合は、**前回ログ**をクリックします。

カウンター自動リセット

カウンター自動リセットをクリックして、ページカウンターのリセット間隔を設定します。毎日、毎週、毎月のいずれかを選択します。

✓ 関連情報

- [セキュリティ機能ロック 3.0](#)

本製品の操作パネルを使用して新しい IC カードを登録する

関連モデル: MFC-L9570CDW

1. 登録済みの IC カードで、製品の操作パネルの NFC タッチ部分にタッチします。
2. 製品の操作パネルに、ユーザー ID を入力します。
3. [カード情報を登録する] を押します。
4. 新しい IC カードで NFC タッチ部分にタッチします。
新しい IC カードの番号が本製品に登録されます。



使用できる IC カードタイプは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（support.brother.co.jp）で、よくあるご質問（Q&A）ページをご覧ください。

5. [OK] を押します。



関連情報

- [セキュリティ機能ロック 3.0](#)

Active Directory®認証を使用する

- Active Directory®認証について
- ウェブブラウザを使用して Active Directory®認証を設定する
- 本製品にログインし、操作パネルを使用して設定値を変更する（Active Directory®認証）

Active Directory®認証について

Active Directory®認証により、本製品の使用が制限されます。Active Directory®認証が有効の場合、本製品の操作パネルはロックされます。本製品の設定を変更するには、ユーザー ID とパスワードを入力する必要があります。

Active Directory®認証では、以下の機能が利用可能です。

- 受信印刷データを保存する
- 受信ファクスデータを保存する
- スキャンしたデータを E-mail サーバーに送信する場合、ユーザー ID に基づいて Active Directory® サーバーから E-mail アドレスが取得されます。

この機能を使用するには、**オン**認証方式を選択し、**メールアドレス取得設定**で **LDAP + kerberos** を選択します。本製品がスキャンデータを E-mail サーバーに送信する際に、ご使用の E-mail アドレスが送信者として設定されます。または、スキャンデータをご使用の E-mail アドレスに送信する場合には、受信者として設定されます。

Active Directory®認証が有効の場合、本製品にはすべての受信ファクスデータが保存されます。ログイン後、本製品は保存されたファクスデータを印刷します。

Active Directory®認証の設定は、ウェブブラウザまたは BRAdmin Professional (Windows®) を使用して変更できます。




関連情報

- [Active Directory®認証を使用する](#)

ウェブブラウザを使用して Active Directory®認証を設定する

Active Directory®認証は、Kerberos 認証および NTLMv2 認証をサポートしています。認証のための SNTP プロトコル（ネットワークタイムサーバー）と DNS サーバー構成を設定する必要があります。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「http://製品の IP アドレス」を入力します（「製品の IP アドレス」には本製品の IP アドレスを入力します）。
例：
http://192.168.1.2
3. お買い上げ時はパスワードは必要ありません。パスワードを設定している場合はパスワードを入力し、をクリックします。
4. **管理者設定**タブをクリックします。
5. 左側にあるナビゲーションバーの**制限機能**メニューをクリックします。
6. **Active Directory 認証**を選択します。
7. **OK** をクリックします。
8. 左側にあるナビゲーションバーの **Active Directory 認証**メニューをクリックします。
9. 以下の設定をします。

オプション	説明
プリントデータ蓄積	このオプションを選択して、受信プリントデータを保存します。本製品へログオンすると、ご使用パソコンの印刷ジョブは自動的に印刷されます。この機能は、ブラザーのプリンタードライバーにより作成されたプリントデータにのみ対応しています。
ファクス受信データ蓄積	このオプションを選択して、受信ファクスデータを保存します。本製品へのログオン後、すべての受信ファクスデータを印刷できます。
ユーザー ID を記憶	このオプションを選択して、ユーザー ID を保存します。
Active Directory サーバアドレス	Active Directory®サーバーの IP アドレスまたはサーバー名（例：ad.example.com）を入力します。
Active Directory ドメイン名	Active Directory®のドメイン名を入力します。
プロトコルと認証方式	プロトコルと認証方式を選択します。
メールアドレス取得	このオプションを使用して、Active Directory®サーバーからログオンユーザーの E メールアドレスを取得します。（LDAP + kerberos 認証方式の場合のみ可能）
ユーザーのホームディレクトリ取得	このオプションを選択して、Scan to Network の送信先のホームディレクトリを取得します。（LDAP + kerberos 認証方式の場合のみ可能）
LDAP ポート	ポート番号を入力して LDAP 経由で Active Directory®サーバー（LDAP + kerberos 認証方式のみ対応）に接続します。
LDAP 検索場所	LDAP 検索ルートを入力します（LDAP + kerberos 認証方式の場合のみ可能）。

10. **OK** をクリックします。



関連情報

- Active Directory®認証を使用する

■ ホーム > セキュリティ > ネットワークセキュリティ機能 > Active Directory®認証を使用する > 本製品にログインし、操作パネルを使用して設定値を変更する (Active Directory®認証)

本製品にログインし、操作パネルを使用して設定値を変更する (Active Directory®認証)

Active Directory®認証が有効の場合、本製品の操作パネルにユーザー ID とパスワードが入力されるまで、操作パネルはロックされた状態となります。

1. 操作パネルを使用して、製品の画面にユーザー ID とパスワードを入力します。
2. [OK]を押します。
3. 認証が成功すると、製品の操作パネルのロックが解除されます。

✓ 関連情報

- [Active Directory®認証を使用する](#)

LDAP 認証方式を使用する

- LDAP 認証について
- ウェブブラウザを使用して LDAP 認証を設定する
- 本製品にログインし、操作パネルを使用して設定値を変更する (LDAP 認証)

LDAP 認証について

LDAP 認証により、本製品の使用が制限されます。LDAP 認証が有効の場合、本製品の操作パネルはロックされます。本製品の設定を変更するには、ユーザー ID とパスワードを入力する必要があります。

LDAP 認証では以下の機能が提供されます。

- 受信印刷データを保存する
- 受信ファクスデータを保存する
- スキャンしたデータを E-mail サーバーに送信する場合、ユーザー ID に基づいて LDAP サーバーから E-mail アドレスが取得されます。

この機能を使用するには、**オン**設定に**メールアドレス取得**を選択します。本製品がスキャンデータを E-mail サーバーに送信する際に、ご使用の E-mail アドレスが送信者として設定されます。または、スキャンデータをご使用の E-mail アドレスに送信する場合には、受信者として設定されます。


LDAP 認証が有効の場合、本製品にはすべての受信ファクスデータが保存されます。ログイン後、製品は保存されたファクスデータを印刷します。

LDAP 認証の設定は、ウェブブラウザまたは BRAdmin Professional (Windows®) を使用して変更できます。

✓ 関連情報

- [LDAP 認証方式を使用する](#)

ウェブブラウザを使用して LDAP 認証を設定する

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「http://製品の IP アドレス」を入力します(「製品の IP アドレス」には本製品の IP アドレスを入力します)。例：
http://192.168.1.2
3. お買い上げ時はパスワードは必要ありません。パスワードを設定している場合はパスワードを入力し、 をクリックします。
4. **管理者設定**タブをクリックします。
5. 左側にあるナビゲーションバーの**制限機能**メニューをクリックします。
6. **LDAP 認証**を選択します。
7. **OK** をクリックします。
8. 左側にあるナビゲーションバーの**LDAP 認証**をクリックします。
9. 以下の設定をします。

オプション	説明
プリントデータ蓄積	このオプションを選択して、受信プリントデータを保存します。本製品へログオンすると、ご使用パソコンの印刷ジョブは自動的に印刷されます。この機能は、ブラウザのプリンタードライバーにより作成されたプリントデータにのみ対応しています。
ファクス受信データ蓄積	このオプションを選択して、受信ファクスデータを保存します。本製品へのログオン後、すべての受信ファクスデータを印刷できます。
ユーザー ID を記憶	このオプションを選択して、ユーザー ID を保存します。
LDAP アドレス	LDAP サーバーの IP アドレスまたはサーバー名 (例 : ldap.example.com) を入力します。
メールアドレス取得 ¹	このオプションを使用して、LDAP サーバーからログオンユーザーの E メールアドレスを取得します。
ユーザーのホームディレクトリ取得 ¹	このオプションを選択して、Scan to Network の送信先のホームディレクトリを取得します。
LDAP ポート	LDAP サーバーのポート番号を入力します。
LDAP 検索場所	LDAP 検索のルートディレクトリを入力します。
名前属性名 (検索する属性)	検索キーとして使用する属性を入力します。

¹ このオプションが利用できない場合は、本製品のファームウェアを更新してください。サポートサイト (ブラウザソリューションセンター) support.brother.co.jp にアクセスして、お使いのモデルの**ソフトウェアダウンロード**ページをご覧ください。

10. **OK** をクリックします。

関連情報

- [LDAP 認証方式を使用する](#)

▲ホーム > セキュリティ > ネットワークセキュリティ機能 > LDAP 認証方式を使用する > 本製品にログインし、操作パネルを使用して設定値を変更する (LDAP 認証)

本製品にログインし、操作パネルを使用して設定値を変更する (LDAP 認証)

LDAP 認証が有効の場合、本製品の操作パネルにユーザー ID とパスワードが入力されるまで、操作パネルはロックされた状態となります。

1. 操作パネルを使用して、製品の画面にユーザー ID とパスワードを入力します。
2. [OK] を押します。
3. 認証が成功すると、製品の操作パネルのロックが解除されます。

✓ 関連情報

- [LDAP 認証方式を使用する](#)

SSL/TLS を使用したネットワーク製品の安全な管理について

- [SSL/TLS について](#)
- [証明書とウェブブラウザ設定について](#)
- [ウェブブラウザを使用してネットワーク製品を安全に管理する](#)
- [BRAdmin Professional を使用したネットワーク製品の安全な管理について \(Windows®\)](#)
- [SSL/TLS を使用して文書を安全に印刷する](#)

SSL/TLS について

セキュアソケットレイヤー（SSL）またはトランスポート層セキュリティ（TLS）は、LAN または WAN 経由で送信されるデータを保護する効果的な方式です。ネットワーク経由の印刷ジョブなどのデータを暗号化して送信するため、第三者から内容を読み取られることはありません。

SSL/TLS は、有線と無線のネットワークのいずれにも設定可能であり、WPA キーやファイアウォールなど他のセキュリティ形式でも機能します。

✓ 関連情報

- [SSL/TLS を使用したネットワーク製品の安全な管理について](#)
- [SSL/TLS の略史](#)
- [SSL/TLS を使用するメリットについて](#)

SSL/TLS の略史

SSL/TLS は当初、ウェブ上のトラフィック情報、特にウェブブラウザとサーバー間で送信されるデータの安全性を確保するために作られました。Internet Explorer®を使用してインターネットバンキングを利用する場合に、ウェブブラウザ上に https:// や小さな鍵アイコンが表示されている場合は、SSL が使用されています。SSL はやがて、オンラインセキュリティに対する共通の解決策として、Telnet、プリンター、FTP など他のアプリケーションともあわせて使用されるようになりました。この当初の設計意図が、今日でも多くのオンライン小売業者や銀行によって採り入れられ、クレジットカード番号や顧客情報など極秘データの安全性を確保しています。

SSL/TLS では非常に高度なレベルの暗号化が用いられ、世界中の銀行から信頼されています。



関連情報

- [SSL/TLS について](#)

SSL/TLS を使用するメリットについて

ブラウザ製品で SSL/TLS を使用する主なメリットは、製品へ送信されたデータの読み込みを未承認のユーザーに対して制限することで、IP ネットワークを介した印刷の安全性を保証することです。SSL の主なメリットは、機密データを安全に印刷するために使用できることです。例えば、大企業の人事部門が定期的に給与明細を印刷しているとします。これら給与明細のデータが暗号化されていない場合、他のネットワークユーザーから読み取られる可能性があります。しかし、SSL/TLS を使用すると、これらのデータを読み取ろうとしても、実際の給与明細ではなく、複雑なコードのページが表示されるだけです。

✓ 関連情報

- [SSL/TLS について](#)

証明書とウェブブラウザ設定について

ネットワークに接続された本製品を SSL/TLS を使用して安全に管理するために、証明書を設定する必要があります。ウェブブラウザによる設定を使用して証明書を設定してください。

- サポート対象のセキュリティ証明書機能について
- 証明書の作成とインストールについて
- 複数の証明書を管理する

サポート対象のセキュリティ証明書機能について

本ブラウザ製品は複数のセキュリティ証明書の使用をサポートし、これら証明書により、安全な管理、認証、本製品との通信が可能になります。本製品では、以下に示すセキュリティ証明書機能が使用できます。

- SSL/TLS 通信
- SMTP/POP3/IMAP4 の SSL 通信（特定のモデルのみ可能）
- IEEE 802.1x 認証
- IPsec

本製品は、以下の証明書をサポートしています。

- プリインストールされた証明書

本製品には、自己署名証明書があらかじめインストールされています。この証明書により、別の証明書の作成やインストールなしで、SSL/TLS 通信が可能になります。



プリインストール自己署名証明書は、通信の危殆化を防ぐことはできません。安全性を高めるために、信頼のおける組織が発行する証明書を使用することを推奨します。

- 自己署名証明書

本プリントサーバーは、自己の証明書を発行します。この証明書を使用すると、CA から別の証明書を作成したりインストールしたりすることなく、SSL/TLS 通信を簡単に使用できます。

- 認証局（CA）からの証明書

すでに CA 発行の証明書を持っている場合、または外部の信頼された CA が発行した証明書を使用したい場合は、以下の 2 つのインストール方法があります。

- 本プリントサーバーから証明書署名要求（CSR : Certificate Signing Request）を送信する
- 証明書とプライベートキーをインポートする

- 認証局（CA）証明書

CA を特定し、固有のプライベートキーを有する CA 証明書を使用するには、ネットワークのセキュリティ機能を設定する前に、CA から取得した CA 証明書をインポートする必要があります。



- SSL/TLS 通信を使用する予定がある場合、まずシステム管理者に問い合わせることをお勧めします。
- 本プリントサーバーをお買い上げ時の設定にリセットする場合、インストールされている証明書とプライベートキーは削除されます。プリントサーバーのリセット後も同一の証明書とプライベートキーを保持する場合は、それらをリセットする前にエクスポートし、再インストールします。



関連情報

- [証明書とウェブブラウザ設定について](#)

証明書の作成とインストールについて

- 証明書の作成とインストールの手順
- 自己署名証明書の作成とインストールについて
- 認証局（CA）からの証明書の作成とインストールについて
- CA 証明書のインポートとエクスポートについて

証明書の作成とインストールの手順

セキュリティ証明書を使用する場合、自己署名証明書を使用するか、認証局（CA）発行の証明書を使用するかを選択できます。

選択内容により必要となる操作を簡単に以下に示します。

オプション 1

自己署名証明書

1. ウェブブラウザを使用して自己署名証明書を作成します。
2. パソコンへ自己署名証明書をインストールします。

オプション 2

CA からの証明書

1. ウェブブラウザを使用して、証明書署名要求（CSR）を作成します。
2. ウェブブラウザを使用して、CA が発行した証明書を、本ブラウザ製品にインストールします。
3. パソコンへ証明書をインストールします。

✓ 関連情報

- [証明書の作成とインストールについて](#)

自己署名証明書の作成とインストールについて

- 自己署名証明書を作成する
- 管理者権限を持つ Windows®ユーザー用の自己署名証明書をインストールする
- 自己署名証明書を本製品にインポート、または本製品からエクスポートする

自己署名証明書を作成する

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「http://製品の IP アドレス」を入力します(「製品の IP アドレス」には本製品の IP アドレスを入力します)。

例：

http://192.168.1.2



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

- 例：

http://SharedPrinter


NetBIOS 名を有効にしている場合、ノード名も使用できます。

- 例：

http://brnxxxxxxxxxxxx

NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

- Mac の場合、**ステータスマニター**画面に表示される本製品アイコンをクリックして、ウェブブラウザ経由でアクセスします。

3. お買い上げ時はパスワードは必要ありません。パスワードを設定している場合はパスワードを入力し、をクリックします。
4. **ネットワーク**タブをクリックします。
5. **セキュリティ**タブをクリックします。
6. **証明書**をクリックします。
7. **自己署名証明書の作成**をクリックします。
8. **コモンネーム**および**有効期限**を入力します。
 - **コモンネーム**の長さは 64 バイト以下です。SSL/TLS 通信を介して本製品にアクセスする場合に使用する、IP アドレス、ノード名、ドメイン名などの識別子を入力します。お買い上げ時の設定では、ノード名が表示されます。
 - IPPS または HTTPS プロトコルを使用し、自己署名証明書に使用された**コモンネーム**とは異なる名前が URL に入力された場合は、警告が表示されます。
9. **公開鍵アルゴリズム**ドロップダウンリストから選択します。お買い上げ時の設定は **RSA(2048bit)**です。
10. **メッセージダイジェストアルゴリズム**ドロップダウンリストから選択します。お買い上げ時の設定は **SHA256**です。
11. **OK** をクリックします。
12. **ネットワーク**をクリックします。
13. **プロトコル**をクリックします。
14. **HTTP サーバー設定**をクリックします。
15. **証明書の選択**ドロップダウンリストから、設定対象の証明書を選択します。
16. **OK** をクリックします。

以下の画面が表示されます。

HTTPサーバー設定

セキュリティの高い通信を行う設定が行われました。

設定を有効にするためには、デバイスを再起動する必要があります。

注意: この操作によって、現在実行中のジョブは中断されます。

再起動後に、その他のプロトコルにセキュアな設定を行う場合は、チェックをしてください。

その他のプロトコルにセキュアな設定を行う

再起動を行ってもよろしいですか？

17. **Yes** をクリックしてプリントサーバーを再起動します。

自己署名証明書が作成され、本製品のメモリーに保存されます。

SSL/TLS 通信を使用するには、お使いのパソコンに自己署名証明書も必ずインストールしてください。

関連情報

- 自己署名証明書の作成とインストールについて

▲ホーム > セキュリティ > ネットワークセキュリティ機能 > SSL/TLS を使用したネットワーク製品の安全な管理について > 証明書とウェブブラウザ設定について > 証明書の作成とインストールについて > 自己署名証明書の作成とインストールについて > 管理者権限を持つ Windows®ユーザー用の自己署名証明書をインストールする

管理者権限を持つ Windows®ユーザー用の自己署名証明書をインストールする

以下は、Microsoft® Internet Explorer®を使用する場合の手順です。その他のウェブブラウザを使用する場合、そのブラウザの説明書を参照して証明書をインストールしてください。

1. 次のいずれかを行ってください。

- (Windows® 7 および Windows Server® 2008)

 (スタート) > **すべてのプログラム** をクリックします。



- (Windows® 8)

タスクバーの  (Internet Explorer) アイコンを右クリックします。

- (Windows® 10 および Windows Server® 2016)

 **Windows アクセサリ** をクリックします。

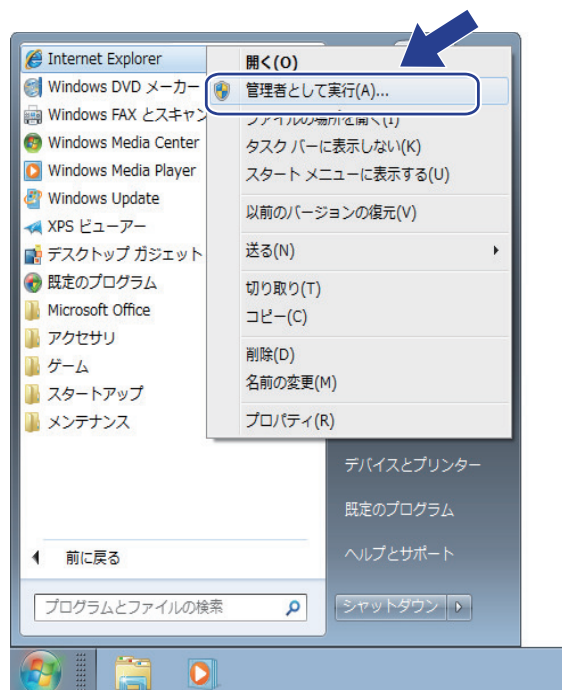
- (Windows Server® 2012 および Windows Server® 2012 R2)

 (Internet Explorer) をクリックし、タスクバーに表示された  (Internet Explorer) アイコンを右クリックします。

2. Internet Explorer を右クリックして、**管理者として実行** をクリックします。

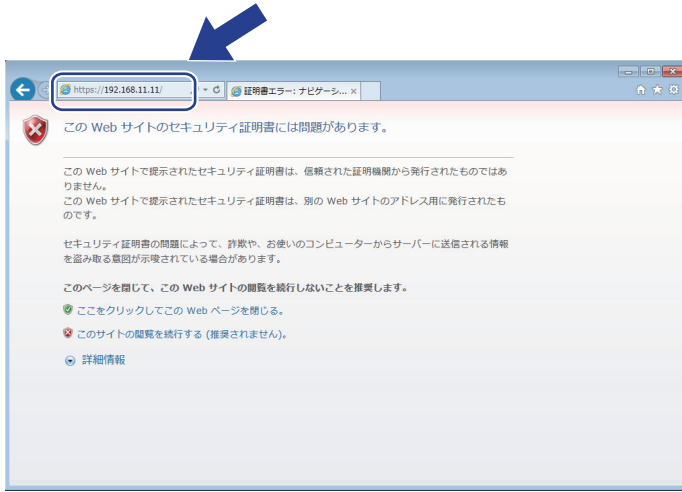


その他 オプションが表示されたら、**その他** をクリックします。

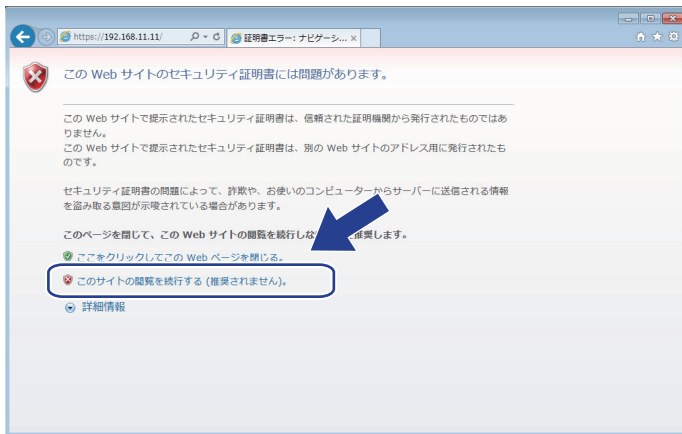


ユーザー アカウント制御 画面が表示されたら、**はい** をクリックします。

3. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」を入力して、本製品にアクセスします(「製品の IP アドレス」には本製品の IP アドレス、または証明書に割り当てたノード名を入力します)。



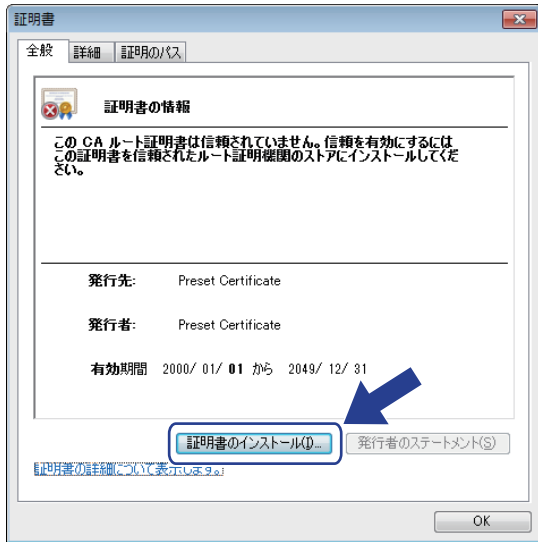
4. このサイトの閲覧を続ける (推奨されません)。をクリックします。



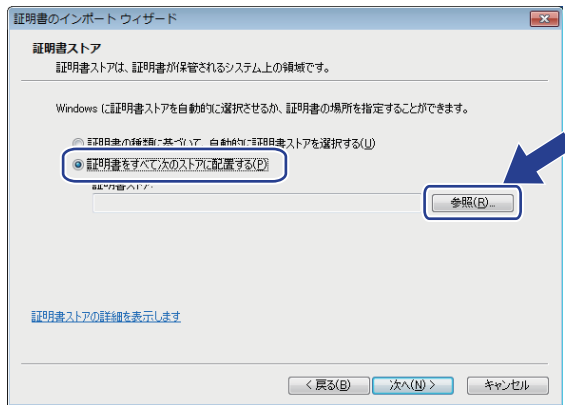
5. 証明書のエラーをクリックして、証明書の表示をクリックします。



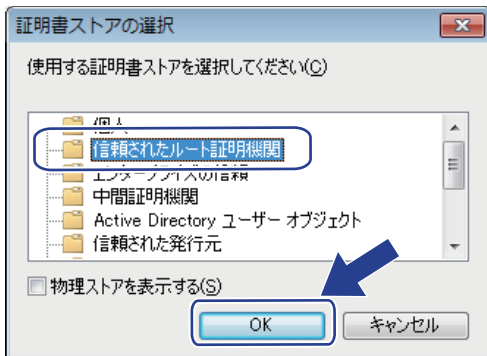
6. 証明書のインストール...をクリックします。



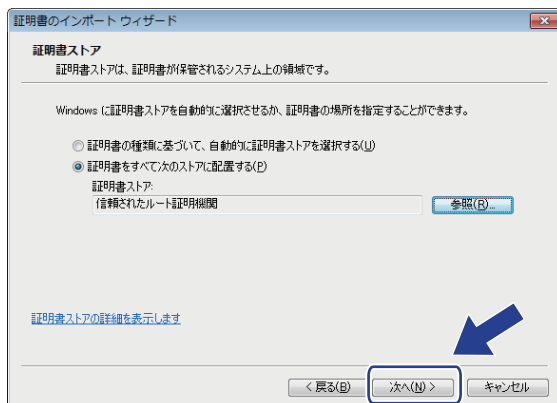
7. 証明書のインポート ウィザードが表示されたら、次へをクリックします。
8. 証明書をすべて次のストアに配置するを選択して、参照...をクリックします。



9. 信頼されたルート証明機関を選択して、OK をクリックします。



10. 次へをクリックします。



11. 完了をクリックします。
12. フィンガープリント（拇印）が正しければ、はいをクリックします。

▲ [ホーム](#) > [セキュリティ](#) > [ネットワークセキュリティ機能](#) > [SSL/TLS を使用したネットワーク製品の安全な管理について](#) > [証明書とウェブブラウザ設定について](#) > [証明書の作成とインストールについて](#) > [自己署名証明書の作成とインストールについて](#) > [自己署名証明書を本製品にインポート、または本製品からエクスポートする](#)

自己署名証明書を本製品にインポート、または本製品からエクスポートする

自己署名証明書を本製品に保存し、インポートまたはエクスポートすることで証明書を管理できます。

- [自己署名証明書をインポートする](#)
- [自己署名証明書をエクスポートする](#)

▲ホーム > セキュリティ > ネットワークセキュリティ機能 > SSL/TLS を使用したネットワーク製品の安全管理について > 証明書とウェブブラウザ設定について > 証明書の作成とインストールについて > 自己署名証明書の作成とインストールについて > 自己署名証明書を本製品にインポート、または本製品からエクスポートする > 自己署名証明書をインポートする

自己署名証明書をインポートする

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「http://製品の IP アドレス」を入力します(「製品の IP アドレス」には本製品の IP アドレスを入力します)。

例：

http://192.168.1.2



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

- 例：

http://SharedPrinter


NetBIOS 名を有効にしている場合、ノード名も使用できます。

- 例：

http://brnxxxxxxxxxxxxx

NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

- Mac の場合、**ステータスマニター**画面に表示される本製品アイコンをクリックして、ウェブブラウザ経由でアクセスします。

3. お買い上げ時はパスワードは必要ありません。パスワードを設定している場合はパスワードを入力し、をクリックします。
4. **ネットワーク**タブをクリックします。
5. **セキュリティ**タブをクリックします。
6. **証明書**をクリックします。
7. **証明書と秘密鍵のインポート**をクリックします。
8. インポートするファイルを指定します。
9. ファイルが暗号化されている場合はパスワードを入力し、**OK** をクリックします。

自己署名証明書がお使いの製品にインポートされます。

SSL/TLS 通信を使用するには、お使いのパソコンに自己署名証明書も必ずインストールしてください。インストールについてはネットワーク管理者にお問い合わせください。



関連情報

- 自己署名証明書を本製品にインポート、または本製品からエクスポートする

▲ホーム > セキュリティ > ネットワークセキュリティ機能 > SSL/TLS を使用したネットワーク製品の安全管理について > 証明書とウェブブラウザ設定について > 証明書の作成とインストールについて > 自己署名証明書の作成とインストールについて > 自己署名証明書を本製品にインポート、または本製品からエクスポートする > 自己署名証明書をエクスポートする

自己署名証明書をエクスポートする

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「http://製品の IP アドレス」を入力します(「製品の IP アドレス」には本製品の IP アドレスを入力します)。

例：

http://192.168.1.2



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

- 例：

http://SharedPrinter


NetBIOS 名を有効にしている場合、ノード名も使用できます。

- 例：

http://brnxxxxxxxxxxxx

NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

- Mac の場合、**ステータスマニター**画面に表示される本製品アイコンをクリックして、ウェブブラウザ経由でアクセスします。

3. お買い上げ時はパスワードは必要ありません。パスワードを設定している場合はパスワードを入力し、をクリックします。
4. **ネットワーク**タブをクリックします。
5. **セキュリティ**タブをクリックします。
6. **証明書**をクリックします。
7. **証明書一覧**に示される**エクスポート**をクリックします。
8. ファイルを暗号化する場合、**パスワード設定**欄にパスワードを入力します。
パスワード設定欄が空白の場合、出力ファイルは暗号化されません。
9. **パスワード確認**欄にパスワードを再度入力し、**OK** をクリックします。
10. **保存**をクリックします。
11. ファイルの保存先を指定します。

自己署名証明書がお使いのパソコンにエクスポートされます。

ご使用のパソコンに自己署名証明書をインポートすることもできます。



関連情報

- 自己署名証明書を本製品にインポート、または本製品からエクスポートする

認証局 (CA) からの証明書の作成とインストールについて

外部の信頼された CA からの証明書がすでに存在する場合、その証明書とプライベートキーを本製品に保存し、インポートやエクスポートを行うことによってそれらを管理することができます。外部の信頼された CA からの証明書が存在しない場合、証明書署名要求 (CSR) を作成し、CA に送信して認証を受けたあと、返却された証明書を本製品にインストールします。

- 証明書署名要求 (CSR : Certificate Signing Request) を作成する
- 証明書を本製品にインストールする
- 証明書とプライベートキーのインポートとエクスポートについて

▲ホーム > セキュリティ > ネットワークセキュリティ機能 > SSL/TLS を使用したネットワーク製品の安全管理について > 証明書とウェブブラウザ設定について > 証明書の作成とインストールについて > 認証局 (CA) からの証明書の作成とインストールについて > 証明書署名要求 (CSR : Certificate Signing Request) を作成する

証明書署名要求 (CSR : Certificate Signing Request) を作成する

証明書署名要求 (CSR) は、証明書に含まれる資格情報を認証するために、認証局 (CA) に送信される要求です。

CSR を作成する前に、お使いのパソコンに CA からのルート証明書をインストールしておくことを推奨します。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「http://製品の IP アドレス」を入力します(「製品の IP アドレス」には本製品の IP アドレスを入力します)。

例 :

http://192.168.1.2



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

- 例 :

http://SharedPrinter


NetBIOS 名を有効にしている場合、ノード名も使用できます。

- 例 :

http://brnxxxxxxxxxxxx

NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

- Mac の場合、**ステータスマニター**画面に表示される本製品アイコンをクリックして、ウェブブラウザ経由でアクセスします。

3. お買い上げ時はパスワードは必要ありません。パスワードを設定している場合はパスワードを入力し、をクリックします。
4. **ネットワーク**タブをクリックします。
5. **セキュリティ**タブをクリックします。
6. **証明書**をクリックします。
7. **CSR の作成**をクリックします。
8. **コモンネーム** (必須) を入力して、ご使用の**組織**に関するその他の情報 (任意) を追加します。



- CA がお客様の身元を確認し、外部に向けて証明するために、お客様の会社の情報が必要です。
- **コモンネーム**の長さは 64 バイト以下である必要があります。SSL/TLS 通信を介して本プリンターにアクセスする場合に使用する、IP アドレス、ノード名、ドメイン名などの識別子を入力します。お買い上げ時の設定では、ノード名が表示されます。**コモンネーム**は必須です。
- 証明書に使用された共通名とは異なる名前が URL に入力された場合は、警告が表示されます。
- **組織、部署、市、および県/州**の長さは 64 バイト以下の必要があります。
- **国**は、2 文字の ISO3166 国コードです。
- X.509v3 証明書拡張を設定する場合、**拡張領域設定**チェックボックスを選択後、**自動 (本機の IPv4 アドレスを登録します。)**または**手動**を選択します。

9. **公開鍵アルゴリズム**ドロップダウンリストから設定を選択します。お買い上げ時の設定は **RSA(2048bit)** です。
10. **メッセージダイジェストアルゴリズム**ドロップダウンリストから設定を選択します。お買い上げ時の設定は **SHA256** です。
11. **OK** をクリックします。

CSR が画面に表示されます。表示された CSR をファイルとして保存するか、認証局から提供されたオンラインの CSR フォームにコピー・ペーストします。

12. **保存**をクリックします。



- CSR をお客様の CA に送信する方法については、お客様の CA の方針に従ってください。
- Windows Server® 2008/2012/2012 R2/2016 のエンタープライズのルート CA を使用している場合、クライアント証明書の安全な作成のために、証明書用ウェブサーバーテンプレートを使用することを推奨します。EAP-TLS 認証を行う IEEE 802.1x 環境のためのクライアント証明書を作成する場合、証明書用ユーザーテンプレートを使用することを推奨します。詳細については、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（support.brother.co.jp）で、本モデルのページを参照してください。



関連情報

- [認証局（CA）からの証明書の作成とインストールについて](#)

証明書を本製品にインストールする

証明書を CA から受信した後、以下の手順でプリントサーバーにインストールします。

本製品には、本製品の CSR と一緒に発行された証明書のみをインストールできます。他の CSR を作成する場合は、CSR 作成前に、この証明書がインストールされていることを確認してください。この証明書を必ず先にインストールしてから、他の CSR を作成してください。この証明書が先にインストールされなかった場合、作成した CSR は無効になります。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「http://製品の IP アドレス」を入力します(「製品の IP アドレス」には本製品の IP アドレスを入力します)。

例：

http://192.168.1.2



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

- 例：

http://SharedPrinter


NetBIOS 名を有効にしている場合、ノード名も使用できます。

- 例：

http://brnxxxxxxxxxxxx

NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

- Mac の場合、**ステータスマニター**画面に表示される本製品アイコンをクリックして、ウェブブラウザ経由でアクセスします。

3. お買い上げ時はパスワードは必要ありません。パスワードを設定している場合はパスワードを入力し、をクリックします。
4. **ネットワーク**タブをクリックします。
5. **セキュリティ**タブをクリックします。
6. **証明書**をクリックします。
7. **証明書のインストール**をクリックします。
8. CA に発行された証明書を含むファイルを表示して、**OK** をクリックします。
証明書が作成され、本製品のメモリーに正常に保存されます。

SSL/TLS 通信を使用する場合は、お使いのパソコンに、CA から取得したルート証明書を必ずインストールしてください。インストールについてはネットワーク管理者にお問い合わせください。



関連情報

- [認証局 \(CA\) からの証明書の作成とインストールについて](#)

▲ホーム > セキュリティ > ネットワークセキュリティ機能 > SSL/TLS を使用したネットワーク製品の安全管理について > 証明書とウェブブラウザ設定について > 証明書の作成とインストールについて > 認証局 (CA) からの証明書の作成とインストールについて > 証明書とプライベートキーのインポートとエクスポートについて

証明書とプライベートキーのインポートとエクスポートについて

証明書とプライベートキーを本製品に保存して、インポートまたはエクスポートすることにより、これらを管理します。

- 証明書とプライベートキーをインポートする
- 証明書とプライベートキーをエクスポートする

▲ホーム > セキュリティ > ネットワークセキュリティ機能 > SSL/TLS を使用したネットワーク製品の安全管理について > 証明書とウェブブラウザ設定について > 証明書の作成とインストールについて > 認証局 (CA) からの証明書の作成とインストールについて > 証明書とプライベートキーのインポートとエクスポートについて > 証明書とプライベートキーをインポートする

証明書とプライベートキーをインポートする

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「http://製品の IP アドレス」を入力します(「製品の IP アドレス」には本製品の IP アドレスを入力します)。

例：

http://192.168.1.2



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

- 例：

http://SharedPrinter


NetBIOS 名を有効にしている場合、ノード名も使用できます。

- 例：

http://brnxxxxxxxxxxxxx

NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

- Mac の場合、**ステータスマニター**画面に表示される本製品アイコンをクリックして、ウェブブラウザ経由でアクセスします。

3. お買い上げ時はパスワードは必要ありません。パスワードを設定している場合はパスワードを入力し、をクリックします。
4. **ネットワーク**タブをクリックします。
5. **セキュリティ**タブをクリックします。
6. **証明書**をクリックします。
7. **証明書と秘密鍵のインポート**をクリックします。
8. インポートするファイルを表示します。
9. ファイルが暗号化されている場合はパスワードを入力し、**OK** をクリックします。

証明書とプライベートキーが本製品にインポートされます。

SSL/TLS 通信を使用する場合は、お使いのパソコンに、CA から取得したルート証明書も必ずインストールしてください。インストールについてはネットワーク管理者にお問い合わせください。



関連情報

- [証明書とプライベートキーのインポートとエクスポートについて](#)

▲ホーム > セキュリティ > ネットワークセキュリティ機能 > SSL/TLS を使用したネットワーク製品の安全管理について > 証明書とウェブブラウザ設定について > 証明書の作成とインストールについて > 認証局 (CA) からの証明書の作成とインストールについて > 証明書とプライベートキーのインポートとエクスポートについて > 証明書とプライベートキーをエクスポートする

証明書とプライベートキーをエクスポートする

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「http://製品の IP アドレス」を入力します(「製品の IP アドレス」には本製品の IP アドレスを入力します)。

例：

http://192.168.1.2



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

- 例：

http://SharedPrinter


NetBIOS 名を有効にしている場合、ノード名も使用できます。

- 例：

http://brnxxxxxxxxxxxxx

NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

- Mac の場合、**ステータスマニター**画面に表示される本製品アイコンをクリックして、ウェブブラウザ経由でアクセスします。

3. お買い上げ時はパスワードは必要ありません。パスワードを設定している場合はパスワードを入力し、をクリックします。
4. **ネットワーク**タブをクリックします。
5. **セキュリティ**タブをクリックします。
6. **証明書**をクリックします。
7. **証明書一覧**に表示される**エクスポート**をクリックします。
8. ファイルを暗号化する場合は、パスワードを入力します。
パスワードを空白のままにすると、出力内容は暗号化されません。
9. 確認用にパスワードを再入力し、**OK** をクリックします。
10. **保存**をクリックします。
11. ファイルの保存先を指定します。

証明書とプライベートキーがお使いのパソコンにエクスポートされます。

ご使用のパソコンに証明書をインポートすることもできます。



関連情報

- [証明書とプライベートキーのインポートとエクスポートについて](#)

CA 証明書のインポートとエクスポートについて

本製品では、CA 証明書のインポートやエクスポート、または保存ができます。

- CA 証明書をインポートする
- CA 証明書をエクスポートする

CA 証明書をインポートする

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「http://製品の IP アドレス」を入力します(「製品の IP アドレス」には本製品の IP アドレスを入力します)。

例：

http://192.168.1.2



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

- 例：

http://SharedPrinter


NetBIOS 名を有効にしている場合、ノード名も使用できます。

- 例：

http://brnxxxxxxxxxxxx

NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

- Mac の場合、**ステータスマニター**画面に表示される本製品アイコンをクリックして、ウェブブラウザ経由でアクセスします。

3. お買い上げ時はパスワードは必要ありません。パスワードを設定している場合はパスワードを入力し、をクリックします。
4. **ネットワーク**タブをクリックします。
5. **セキュリティ**タブをクリックします。
6. **CA 証明書**をクリックします。
7. **CA 証明書のインポート**をクリックします。
8. インポートするファイルを表示します。
9. **OK** をクリックします。



関連情報

- [CA 証明書のインポートとエクスポートについて](#)

CA 証明書をエクスポートする

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「http://製品の IP アドレス」を入力します(「製品の IP アドレス」には本製品の IP アドレスを入力します)。

例：

http://192.168.1.2



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

- 例：

http://SharedPrinter


NetBIOS 名を有効にしている場合、ノード名も使用できます。

- 例：

http://brnxxxxxxxxxxxx

NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

- Mac の場合、**ステータスマニター**画面に表示される本製品アイコンをクリックして、ウェブブラウザ経由でアクセスします。

3. お買い上げ時はパスワードは必要ありません。パスワードを設定している場合はパスワードを入力し、をクリックします。
4. **ネットワーク**タブをクリックします。
5. **セキュリティ**タブをクリックします。
6. **CA 証明書**をクリックします。
7. エクスポートする証明書を選択し、**エクスポート**をクリックします。
8. **OK** をクリックします。
9. **保存**をクリックします。
10. エクスポートしたファイルの保存先をご使用のパソコンに指定し、保存します。



関連情報

- CA 証明書のインポートとエクスポートについて

複数の証明書を管理する

本製品にインストールされた複数の証明書は、ウェブブラウザによる設定を使用して管理することができます。ウェブブラウザによる設定で、**証明書**または**CA 証明書**画面に移動し、証明書の表示、削除、またはエクスポートを行います。

	本製品に保存できる証明書の最大数
自己署名証明書または、CA 発行の証明書	6
CA 証明書	10

保存する証明書は最大数から 1 個少ない数にし、証明書の期限切れに備えて 1 個分の空きを確保しておくことをお勧めします。証明書の期限が切れた場合、新しい証明書を確保した場所にインポートして、期限切れの証明書を削除します。こうすることで、設定エラーを回避できます。



- HTTPS/IPPS、IEEE 802.1x、または署名済み PDF を使用する場合、使用する証明書を選択する必要があります。
- SMTP/POP3/IMAP4 通信に SSL を使用する場合（特定モデルにのみ対応）、証明書を選択する必要はありません。必要な証明書は自動的に選択されます。

✓ 関連情報

- [証明書とウェブブラウザ設定について](#)


ウェブブラウザを使用してネットワーク製品を安全に管理する

お使いのネットワーク製品を安全に管理するには、セキュリティプロトコルを使用している管理ユーティリティーを使用する必要があります。

安全な管理のために HTTPS プロトコルをご使用になることをお勧めします。このプロトコルを使用するには、本製品で HTTPS が有効になっている必要があります。



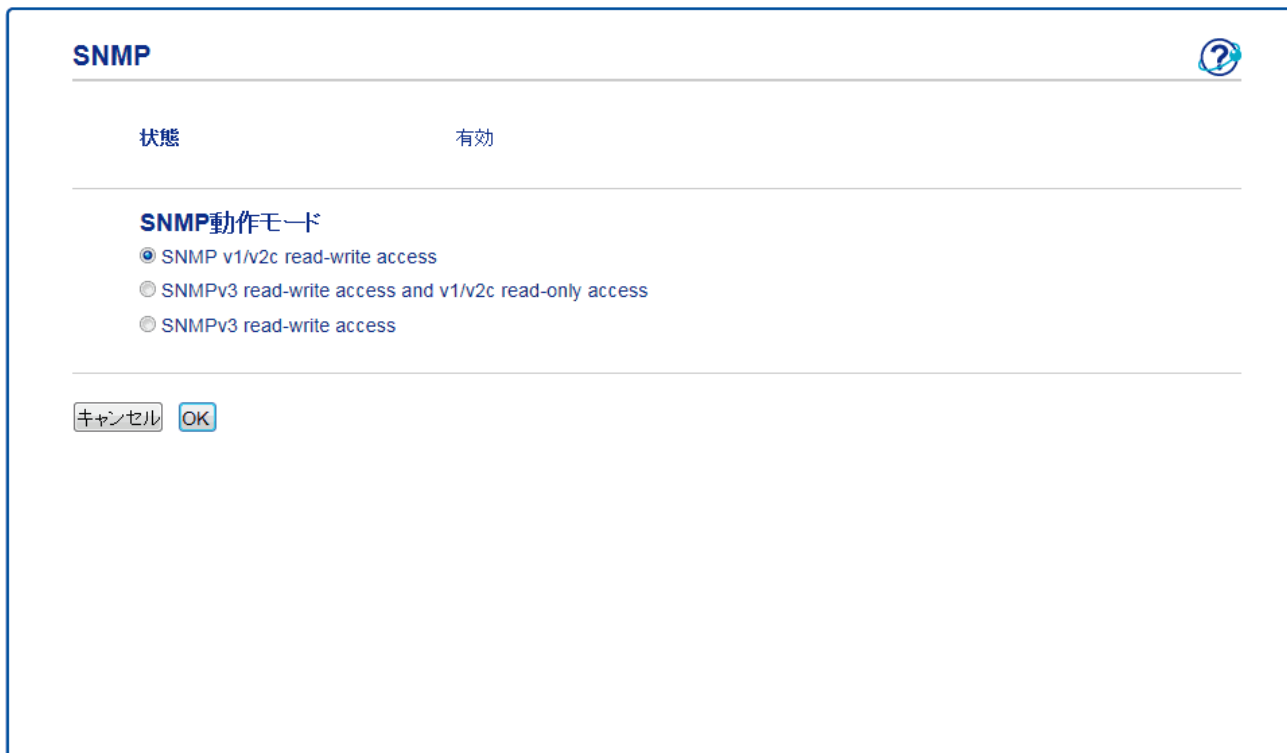
- お買い上げ時の設定では、HTTPS プロトコルは有効です。
- ウェブブラウザ画面で HTTPS プロトコルの設定を変更できます。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://共通名」と入力します（ただし「共通名」は、証明書に割り当てた共通名（IP アドレス、ノード名、ドメイン名など））。
3. お買い上げ時はパスワードは必要ありません。パスワードを設定している場合はパスワードを入力し、 をクリックします。
4. 以上で HTTPS を使用して製品へアクセスする準備が整いました。



- SNMPv3 プロトコルを使用する場合は、以下の手順に従います。
- BRAdmin Professional を使用して SNMP 設定の変更も行えます。

5. **ネットワーク** タブをクリックします。
6. **プロトコル** をクリックします。
7. **SNMP** 設定が有効であることを確認して、**詳細設定** をクリックします。
8. SNMP の設定を行います。



SNMP 動作モードには 3 つのオプションがあります。

- **SNMP v1/v2c read-write access**

このモードでは、プリントサーバーは SNMP プロトコルの Ver. 1 および Ver. 2c を使用します。このモードで、すべてのブラザーアプリケーションが使用できます。ただし、ユーザーの認証は行われず、データは暗号化されないため、安全ではありません。

- **SNMPv3 read-write access and v1/v2c read-only access**

このモードでは、プリントサーバーは SNMP プロトコルの、Ver. 3（読み書きアクセス）、および Ver. 1 と Ver. 2c（リードオンリーアクセス）を使用します。



SNMPv3 read-write access and v1/v2c read-only access モードを使用する場合、Ver. 1 と Ver. 2c のリードオンリーが認証されるため、プリントサーバーにアクセスするブラザーアプリケーション（BRAdmin Light など）の一部が正常に機能しない場合があります。すべてのアプリケーションを使用する場合、**SNMP v1/v2c read-write access** モードをご使用になることをお勧めします。

- **SNMPv3 read-write access**

このモードでは、プリントサーバーは SNMP プロトコルの Ver. 3 を使用します。プリントサーバーを安全に管理するには、このモードを使用します。



SNMPv3 read-write access モードを使用する場合、以下に注意してください。

- プリントサーバーを管理するには BRAdmin Professional またはウェブブラウザによる設定画面のみ使用できます。
- BRAdmin Professional 以外の、SNMPv1/v2c を使用するすべてのアプリケーションの使用が制限されます。SNMPv1/v2c アプリケーションの使用を許可するには、**SNMPv3 read-write access and v1/v2c read-only access** または **SNMP v1/v2c read-write access** モードを使用します。

9. **OK** をクリックします。



関連情報

- [SSL/TLS を使用したネットワーク製品の安全な管理について](#)

BRAdmin Professional を使用したネットワーク製品の安全な管理について (Windows®)

BRAdmin Professional ユーティリティーを使用するには、

- 最新版の BRAdmin Professional を使用する必要があります。 support.brother.co.jp にアクセスし、サポートサイト (ブラザーソリューションセンター) でご使用モデルの **ソフトウェアダウンロード** ページをご覧ください。
- BRAdmin Professional およびウェブブラウザを併せて使用する場合は、HTTPS プロトコルに対応しているウェブブラウザを使用します。
- BRAdmin Professional で新旧のサーバーが混合したグループを管理する場合は、グループごとに異なるパスワードを使用します。こうすることで、新しいプリントサーバーの安全性を確保できます。



- 「以前のバージョンの BRAdmin」は、Ver. 2.80 よりも前のバージョンの BRAdmin Professional および、Ver. 1.10 よりも前のバージョンの BRAdmin Light for Mac を指します。
- 「以前のバージョンのプリントサーバー」は、NC-2000 シリーズ、NC-2100p、NC-3100h、NC-3100s、NC-4100h、NC-5100h、NC-5200h、NC-6100h、NC-6200h、NC-6300h、NC-6400h、NC-8000、NC-100h、NC-110h、NC-120w、NC-130h、NC-140w、NC-8100h、NC-9100h、NC-7100w、NC-7200w および NC-2200w を指します。



関連情報

- [SSL/TLS を使用したネットワーク製品の安全な管理について](#)

SSL/TLS を使用して文書を安全に印刷する

IPP プロトコルを使用して文書を安全に印刷するには、IPPS プロトコルを使用します。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「http://製品の IP アドレス」を入力します(「製品の IP アドレス」には本製品の IP アドレスを入力します)。

例：

http://192.168.1.2



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

- 例：

http://SharedPrinter


NetBIOS 名を有効にしている場合、ノード名も使用できます。

- 例：

http://brnxxxxxxxxxxxxx

NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

- Mac の場合、**ステータスマニター**画面に表示される本製品アイコンをクリックして、ウェブブラウザ経由でアクセスします。

3. お買い上げ時はパスワードは必要ありません。パスワードを設定している場合はパスワードを入力し、をクリックします。
4. **ネットワーク**タブをクリックします。
5. **プロトコル**をクリックします。IPP チェックボックスが選択されていることを確認します。



- IPP チェックボックスが選択されていない場合、IPP チェックボックスを選択して、**OK** をクリックします。製品を再起動して、設定を有効にします。製品の起動後、製品のウェブページに戻り、**ネットワーク**タブ、**プロトコル**の順にクリックします。

6. **HTTP サーバー設定**をクリックします。
7. IPP で **HTTPS(ポート 443)**チェックボックスを選択し、**OK** をクリックします。
8. 製品を再起動して、設定を有効にします。

IPPS を使用した通信では、プリントサーバーへの非認証のアクセスを防ぐことはできません。



関連情報

- [SSL/TLS を使用したネットワーク製品の安全な管理について](#)

IPsec を使用したネットワーク製品の安全な管理について

- IPsec について
- ウェブブラウザを使用して IPsec を設定する
- ウェブブラウザを使用して IPsec アドレステンプレートを設定する
- ウェブブラウザを使用して IPsec テンプレートを設定する

IPsec について

IPsec (Internet Protocol Security) は、任意のインターネットプロトコル機能を使用してデータの改ざんを防止し、IP パケットとして送信されるデータの信頼性を確保するセキュリティプロトコルです。IPsec は、パソコンからプリンターへ送信される印刷データなど、ネットワーク経由で転送されるデータを暗号化します。データはネットワーク層で暗号化されるため、高レベルのプロトコルを使用するアプリケーションには、ユーザーが認識していなくても、IPsec が使用されています。

IPsec では、以下の機能をサポートしています。

- IPsec 送信

IPsec 設定条件に従い、ネットワークに接続されたパソコンは、IPsec に対応している指定機器との間でデータの送受信を行います。機器が IPsec を使用して通信を開始すると、インターネットキー交換 (IKE : Internet Key Exchange) を使用してキーが交換されたあと、それらのキーを使用して暗号化されたデータが送信されます。

また、IPsec には、トランスポートモードおよびトンネルモードの、2 種類の操作モードがあります。トランスポートモードは、主に機器間の通信に使用され、トンネルモードは仮想プライベートネットワーク (VPN : Virtual Private Network) などの環境で使用されます。



IPsec 送信には、以下の条件が必要です。

- IPsec を使用して通信できるパソコンが、ネットワークに接続されている。
- 本ブラザー製品が IPsec 通信用に設定されている。
- 本ブラザー製品に接続されているパソコンが、IPsec 接続用に設定されている。

- IPsec 設定

IPsec を使用する接続に必要な設定。これらの設定は、ウェブブラウザを使用して行うことができます。



IPsec を設定するには、該当ネットワークに接続されているパソコンのブラウザを使用する必要があります。




関連情報

- [IPsec を使用したネットワーク製品の安全な管理について](#)

ウェブブラウザを使用して IPsec を設定する

IPsec の接続条件は、**アドレス**および **IPsec** の 2 種類のテンプレートで構成されます。最大 10 種類の条件が設定可能です。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「http://製品の IP アドレス」を入力します(「製品の IP アドレス」には本製品の IP アドレスを入力します)。例：
http://192.168.1.2
3. お買い上げ時はパスワードは必要ありません。パスワードを設定している場合はパスワードを入力し、をクリックします。
4. **ネットワーク**タブをクリックします。
5. **セキュリティ**タブをクリックします。
6. 左側にあるナビゲーションバーの **IPsec** メニューをクリックします。

IPsec

状態 有効 無効

接続モード メイン アグレッシブ

IPsec以外のトラフィックルール 通過 遮断

Broadcast/Multicast Bypass 有効 無効

Protocol Bypass DNS DHCP

ルール

No.	有効	テンプレート	
		アドレス	IPsec
1	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
2	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
3	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
4	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
5	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
6	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
7	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
8	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
9	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
10	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

[テンプレートの追加>>](#) [テンプレートの追加>>](#)


7. **状態**で、IPsec を有効化または無効化できます。
8. IKE フェーズ 1 の**接続モード**を選択します。
IKE はプロトコルであり、IPsec を使用して暗号化通信を行うための、暗号キーの交換に使用されます。
メインモードでは、処理速度は遅くなりますが、安全性は高くなります。**アグレッシブ**モードでは、処理速度は**メイン**モードの場合より速くなりますが、安全性は低くなります。


-
9. **IPsec 以外のトラフィックルール**で、非 IPsec パケットへの対処を選択します。
Web サービスを使用する場合、**IPsec 以外のトラフィックルール**に対して**通過**を選択する必要があります。**遮断**を選択すると、Web サービスは使用できません。
 10. **Broadcast/Multicast Bypass** で、**有効**または**無効**を選択します。
 11. **Protocol Bypass** で、使用するオプションにチェックを入れます。
 12. **ルール**で、**有効**チェックボックスを選択してテンプレートを有効にします。
複数のチェックボックスを選択し、それらの設定が競合する場合は、番号が小さい方のチェックボックスの設定が優先されます。
 13. 対応するドロップダウンリストをクリックして、IPsec の接続条件に使用される**アドレステンプレート**を選択します。
アドレステンプレートを追加するには、**テンプレートの追加**をクリックします。
 14. 対応するドロップダウンリストをクリックして、IPsec の接続条件に使用される **IPsec テンプレート**を選択します。
IPsec テンプレートを追加するには、**テンプレートの追加**をクリックします。
 15. **OK** をクリックします。
新しい設定を登録するために本製品を再起動する必要がある場合は、再起動の確認画面が表示されます。
ルールで有効化したテンプレートに空白の項目が含まれる場合、エラーメッセージが表示されます。選択した項目を確認し、もう一度 **OK** をクリックします。

関連情報

- [IPsec を使用したネットワーク製品の安全な管理について](#)
-

ウェブブラウザを使用して IPsec アドレステンプレートを設定する

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「http://製品の IP アドレス」を入力します（「製品の IP アドレス」には本製品の IP アドレスを入力します）。
例：
http://192.168.1.2
3. お買い上げ時はパスワードは必要ありません。パスワードを設定している場合はパスワードを入力し、をクリックします。
4. **ネットワーク**タブをクリックします。
5. **セキュリティ**タブをクリックします。
6. 左側にあるナビゲーションバーの **IPsec アドレステンプレート**メニューをクリックします。
10 個のアドレステンプレートが、テンプレートリストに表示されます。
削除ボタンをクリックして**アドレステンプレート**を削除します。**アドレステンプレート**が使用中の場合は、削除できません。
7. 作成したい**アドレステンプレート**をクリックします。**IPsec アドレステンプレート**が表示されます。



IPsec アドレステンプレート 1

テンプレート名

ローカル IP アドレス

- IP アドレス
- IP アドレス範囲
- IP アドレスグレフィックス

すべての IPv4 アドレス

リモート IP アドレス

- すべて
- IP アドレス
- IP アドレス範囲
- IP アドレスグレフィックス

8. **テンプレート名**に、テンプレートの名前を入力します（最大 16 文字）。
9. **ローカル IP アドレス**を選択して、送信者の IP アドレス条件を指定します。
 - **IP アドレス**
IP アドレスを指定します。ドロップダウンリストから、**すべての IPv4 アドレス**、**すべての IPv6 アドレス**、**すべてのリンクローカル IPv6 アドレス**、または**カスタム**を選択します。
ドロップダウンリストから**カスタム**を選択した場合、テキストボックスに IP アドレス（IPv4 または IPv6）を入力します。
 - **IP アドレス範囲**
IP アドレス範囲の開始および終了アドレスを、各テキストボックスに入力します。開始および終了の IP アドレスが IPv4 または IPv6 に合わせて標準化されていない場合、または終了 IP アドレスが開始アドレスより小さい場合、エラーが発生します。

- **IP アドレスプレフィックス**

CIDR 表記法で IP アドレスを指定します。

例：192.168.1.1/24

192.168.1.1 のプレフィックスは 24 ビットのサブネットマスクの形式に指定されるため (255.255.255.0)、192.168.1.xxx のアドレスが有効となります。

10. **リモート IP アドレス**を選択して、受信者の IP アドレス条件を指定します。

- **すべて**

すべてを選択すると、すべての IP アドレスが有効になります。

- **IP アドレス**

指定した IP アドレス (IPv4 または IPv6) をテキストボックスに入力します。

- **IP アドレス範囲**

IP アドレス範囲の開始および終了アドレスを入力します。開始および終了の IP アドレスが IPv4 または IPv6 に合わせて標準化されていない場合、または終了 IP アドレスが開始アドレスより小さい場合、エラーが発生します。

- **IP アドレスプレフィックス**

CIDR 表記法で IP アドレスを指定します。

例：192.168.1.1/24

192.168.1.1 のプレフィックスは 24 ビットのサブネットマスクの形式に指定されるため (255.255.255.0)、192.168.1.xxx のアドレスが有効となります。

11. **OK** をクリックします。




使用中のテンプレートの設定を変更する場合は、本製品を再起動して設定を有効にします。



関連情報

- [IPsec を使用したネットワーク製品の安全な管理について](#)

ウェブブラウザを使用して IPsec テンプレートを設定する

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「http://製品の IP アドレス」を入力します(「製品の IP アドレス」には本製品の IP アドレスを入力します)。例：
http://192.168.1.2
3. お買い上げ時はパスワードは必要ありません。パスワードを設定している場合はパスワードを入力し、をクリックします。
4. **ネットワーク**タブをクリックします。
5. **セキュリティ**タブをクリックします。
6. 左側にあるナビゲーションバーの **IPsec テンプレート** をクリックします。
10 個の IPsec テンプレートがテンプレートリストに表示されます。
削除 ボタンをクリックして **IPsec テンプレート** を削除します。 **IPsec テンプレート** が使用中の場合は、削除できません。
7. 作成したい **IPsec テンプレート** をクリックします。 **IPsec テンプレート** 画面が表示されます。設定欄は、選択される **テンプレートを使用する** および **IKE** により異なります。
8. **テンプレート名** 欄に、テンプレートの名前を入力します (最大 16 文字)。
9. **テンプレートを使用する** ドロップダウンリストで **カスタム** を選択した場合、 **IKE** を選択してから、必要に応じて設定値を変更します。
10. **OK** をクリックします。

IPsecテンプレート 1



テンプレート名
テンプレートを使用する

IKE IKEv1

認証タイプ

DHグループ グループ5
グループ14
暗号化方式 AES-CBC 128
AES-CBC 256
ハッシュ SHA1
SHA256
SHA512
SAライフタイム 28800 秒
(240 - 63072000)
32768 KB
(10 - 2097152)

動作セキュリティ

プロトコル ESP
暗号化方式 AES-CBC 128
AES-CBC 256
ハッシュ SHA1
SHA256
SHA512
SAライフタイム 3600 秒
(240 - 63072000)
65536 KB
(10 - 2097152)
動作モード トランスポート トンネル
リモートルーターIPアドレス

PFS 有効 無効

認証方式 事前共有キー
 証明書

事前共有キー

ローカル

IDタイプ
ID

リモート

IDタイプ
ID

[証明書>>](#)



関連情報

- [IPsec を使用したネットワーク製品の安全な管理について](#)
- [IPsec テンプレートの IKEv1 設定](#)
- [IPsec テンプレートの IKEv2 設定](#)
- [IPsec テンプレートの手動設定](#)

▲ホーム > セキュリティ > ネットワークセキュリティ機能 > IPsec を使用したネットワーク製品の安全な管理について > ウェブブラウザを使用して IPsec テンプレートを設定する > IPsec テンプレートの IKEv1 設定

IPsec テンプレートの IKEv1 設定

IPsecテンプレート 1



テンプレート名
テンプレートを使用する

IKE IKEv1 IKEv2 手動

認証タイプ

DHグループ
暗号化方式
ハッシュ
SAライフタイム 秒
(240 – 63072000)
 KB
(10 – 2097152)

動作セキュリティ

プロトコル ESP AH AH+ESP
暗号化方式
ハッシュ
SAライフタイム 秒
(120 – 4233600)
 KB
(10 – 4194304)
動作モード トランスポート トンネル
リモートルーターIPアドレス

PFS 有効 無効

認証方式 事前共有キー
 証明書

事前共有キー

ローカル

IDタイプ
ID

リモート

IDタイプ
ID

[証明書>>](#)

テンプレート名

テンプレートの名前を入力します(最大 16 文字)。

テンプレートを使用する

カスタム、**IKEv1 高セキュリティ**または**IKEv1 中セキュリティ**を選択します。設定項目は、選択したテンプレートにより異なります。



初期値のテンプレートは、**メイン**設定画面の**アグレッシブ**で**接続モード**または**IPsec**のいずれを選択したかにより異なります。

IKE

IKE は通信プロトコルであり、IPsec を使用して暗号化通信を行うための暗号キーの交換に使用されます。1 回限りの暗号化通信を実行するために、IPsec に必要な暗号化アルゴリズムが決定され、暗号化キーは共有されます。IKE の場合、暗号化キーは Diffie-Hellman キー交換方式を使用して交換され、IKE に制限された暗号化通信が実行されます。

カスタムでテンプレートを使用するを選択した場合、**IKEv1** を選択します。

認証タイプ

IKE 認証および暗号化を設定します。

• DH グループ

このキー交換方式により、保護されていないネットワーク上で、秘密キーを安全に交換することができます。Diffie-Hellman キー交換方式は、秘密キーではなく、離散対数問題を使用して、乱数および秘密キーを使用して生成された公開情報の送受信を行います。

グループ 1、**グループ 2**、**グループ 5**、または**グループ 14** を選択します。

• 暗号化方式

DES、**3DES**、**AES-CBC 128**、または**AES-CBC 256** を選択します。

• ハッシュ

MD5、**SHA1**、**SHA256**、**SHA384** または **SHA512** を選択します。

• SA ライフタイム

IKE SA のライフタイムを指定します。

時間 (秒) とキロバイト数 (KByte) を入力します。

動作セキュリティ

• プロトコル

ESP、**AH** または **AH+ESP** を選択します。



- ESP は、IPsec を使用して暗号化通信を実行するためのプロトコルです。ESP はペイロード (通信内容) を暗号化して、情報を追加します。IP パケットは、ヘッダーとヘッダーに続く、暗号化されたペイロードにより構成されます。暗号化されたデータに加え、IP パケットには、暗号化方式、暗号化キー、認証データなどに関する情報も含まれます。

- AH は、送信者を認証する IPsec プロトコルの一部であり、データの改ざんを防止します (完全性を保証します)。IP パケットでは、データはヘッダーの直後に挿入されます。また、送信者のなりすましやデータの改ざんを防止するために、パケットには、通信内容に含まれる等式を使用して計算されたハッシュ値や秘密キーなどが含まれます。ESP と異なり、通信内容は暗号化されず、データはプレーンテキストとして送受信されます。

• 暗号化方式

DES、**3DES**、**AES-CBC 128**、または**AES-CBC 256** を選択します。

• ハッシュ

なし、**MD5**、**SHA1**、**SHA256**、**SHA384** または **SHA512** を選択します。

AH+ESP で**プロトコル**が選択されている場合、**ハッシュ (ESP)** と**ハッシュ(AH)**のそれぞれに対して**プロトコル**を選択します。

• SA ライフタイム

IPsec SA のライフタイムを指定します。

IPsec SA の期限が切れる前に、時間（秒）とキロバイト数（KByte）を入力します。

- **動作モード**

トランスポートまたはトンネルを選択します。

- **リモートルーター IP アドレス**

リモートルーターの IP アドレス（IPv4 または IPv6）を入力します。この情報は、**トンネルモード**が選択されている場合にのみ入力します。



SA（セキュリティアソシエーション）は、通信の開始前に安全な通信チャネルを確立するために、暗号化方式や暗号化キーなどの情報の交換や共有を行う IPsec または IPv6 を使用する暗号化通信方式です。SA は、確立済みの仮想暗号化通信チャネルを指すこともあります。IPsec に使用される SA は、IKE（インターネットキー交換）標準手順に従って、暗号化方式の確立、キーの交換、および相互認証の実行を行います。また、SA は定期的に更新されます。

PFS

PFS は、メッセージの暗号化に使用されたキーからは、キーを生成しません。また、メッセージの暗号化に使用するキーが親キーから生成されたものである場合、その親キーは他のキーの生成には使用されません。そのため、キーの情報が洩れた場合でも、損害はそのキーを使用して暗号化されたメッセージのみに制限されます。

有効または**無効**を選択します。

認証方式

認証方式を選択します。**事前共有キー**または**証明書**を選択します。

事前共有キー

通信を暗号化する場合、他のチャネルを使用し、暗号化キーは事前に交換または共有されます。

事前共有キーに**認証方式**を選択した場合、**事前共有キー**を入力します(最大 32 文字)。

- **ローカルID タイプ/ID**

送信者の ID を選択し、その ID を入力します。

種別には、**IPv4 アドレス**、**IPv6 アドレス**、**FQDN**、**E-mail アドレス**、または**証明書**を選択します。

証明書を選択した場合、**ID** 欄に証明書の共通名を入力します。

- **リモートID タイプ/ID**

受信者の ID を選択し、その ID を入力します。

種別には、**IPv4 アドレス**、**IPv6 アドレス**、**FQDN**、**E-mail アドレス**、または**証明書**を選択します。

証明書を選択した場合、**ID** 欄に証明書の共通名を入力します。

証明書

認証方式で**証明書**を選択した場合、**証明書**を選択します。



選択できる証明書は、ウェブブラウザによる設定画面のセキュリティ設定の**証明書**ページを使用して作成された証明書のみです。



関連情報

- [ウェブブラウザを使用して IPsec テンプレートを設定する](#)

▲ホーム > セキュリティ > ネットワークセキュリティ機能 > IPsec を使用したネットワーク製品の安全な管理について > ウェブブラウザを使用して IPsec テンプレートを設定する > IPsec テンプレートの IKEv2 設定

IPsec テンプレートの IKEv2 設定

IPsecテンプレート 1



テンプレート名
テンプレートを使用する

IKE IKEv1 IKEv2 手動

認証タイプ

DHグループ グループ1 グループ2 グループ5
 グループ14

暗号化方式 DES 3DES AES-CBC 128
 AES-CBC 256

ハッシュ MD5 SHA1 SHA256 SHA384
 SHA512

SAライフタイム 秒
(240 - 63072000)

KB
(10 - 2097152)

動作セキュリティ

プロトコル ESP

暗号化方式 DES 3DES AES-CBC 128
 AES-CBC 256

ハッシュ MD5 SHA1 SHA256 SHA384
 SHA512

SAライフタイム 秒
(120 - 4233600)

KB
(10 - 4194304)

動作モード トランスポート トンネル

リモートルーターIPアドレス

PFS 有効 無効

認証方式 事前共有キー
 証明書
 EAP - MD5
 EAP - MS-CHAPv2

事前共有キー

ローカル

IDタイプ
ID

リモート

IDタイプ
ID

[証明書>>](#)

テンプレート名

テンプレートの名前を入力します(最大 16 文字)。

テンプレートを使用する

カスタム、**IKEv2 高セキュリティ**または**IKEv2 中セキュリティ**を選択します。設定項目は、選択したテンプレートにより異なります。

IKE

IKE は通信プロトコルであり、IPsec を使用して暗号化通信を行うための暗号キーの交換に使用されます。1 回限りの暗号化通信を実行するために、IPsec に必要な暗号化アルゴリズムが決定され、暗号化キーは共有されます。IKE の場合、暗号化キーは Diffie-Hellman キー交換方式を使用して交換され、IKE に制限された暗号化通信が実行されます。

カスタムでテンプレートを使用するを選択した場合、**IKEv2** を選択します。

認証タイプ

IKE 認証および暗号化を設定します。

- **DH グループ**

このキー交換方式により、保護されていないネットワーク上で、秘密キーを安全に交換することができます。Diffie-Hellman キー交換方式は、秘密キーではなく、離散対数問題を使用して、乱数および秘密キーを使用して生成された公開情報の送受信を行います。

グループ 1、**グループ 2**、**グループ 5**、または**グループ 14** を選択します。

- **暗号化方式**

DES、**3DES**、**AES-CBC 128**、または**AES-CBC 256** を選択します。

- **ハッシュ**

MD5、**SHA1**、**SHA256**、**SHA384** または **SHA512** を選択します。

- **SA ライフタイム**

IKE SA のライフタイムを指定します。

時間 (秒) とキロバイト数 (KByte) を入力します。

動作セキュリティ

- **プロトコル**

ESP を選択します。



ESP は、IPsec を使用して暗号化通信を実行するためのプロトコルです。ESP はペイロード (通信内容) を暗号化して、情報を追加します。IP パケットは、ヘッダーとヘッダーに続く、暗号化されたペイロードにより構成されます。暗号化されたデータに加え、IP パケットには、暗号化方式、暗号化キー、認証データなどに関する情報も含まれます。

- **暗号化方式**

DES、**3DES**、**AES-CBC 128**、または**AES-CBC 256** を選択します。

- **ハッシュ**

MD5、**SHA1**、**SHA256**、**SHA384**、または**SHA512** を選択します。

- **SA ライフタイム**

IPsec SA のライフタイムを指定します。

IPsec SA の期限が切れる前に、時間 (秒) とキロバイト数 (KByte) を入力します。

- **動作モード**

トランスポートまたは**トンネル**を選択します。

- **リモートルーター IP アドレス**

リモートルーターの IP アドレス (IPv4 または IPv6) を入力します。この情報は、**トンネルモード**が選択されている場合にのみ入力します。



SA (セキュリティアソシエーション) は、通信の開始前に安全な通信チャネルを確立するために、暗号化方式や暗号化キーなどの情報の交換や共有を行う IPsec または IPv6 を使用する暗号化通信方式です。SA は、確立済みの仮想暗号化通信チャネルを指すこともあります。IPsec に使用される SA は、IKE (インターネットキー交換) 標準手順に従って、暗号化方式の確立、キーの交換、および相互認証の実行を行います。また、SA は定期的に更新されます。

PFS

PFS は、メッセージの暗号化に使用されたキーからは、キーを生成しません。また、メッセージの暗号化に使用するキーが親キーから生成されたものである場合、その親キーは他のキーの生成には使用されません。そのため、キーの情報が洩れた場合でも、損害はそのキーを使用して暗号化されたメッセージのみに制限されます。

有効または**無効**を選択します。

認証方式

認証方式を選択します。**事前共有キー**、**証明書**、**EAP - MD5**、または**EAP - MS-CHAPv2**を選択します。

事前共有キー

通信を暗号化する場合、他のチャネルを使用し、暗号化キーは事前に交換または共有されます。

事前共有キーに**認証方式**を選択した場合、**事前共有キー**を入力します(最大 32 文字)。

- **ローカルID タイプ/ID**

送信者の ID を選択し、その ID を入力します。

種別には、**IPv4 アドレス**、**IPv6 アドレス**、**FQDN**、**E-mail アドレス**、または**証明書**を選択します。

証明書を選択した場合、**ID** 欄に証明書の共通名を入力します。

- **リモートID タイプ/ID**

受信者の ID を選択し、その ID を入力します。

種別には、**IPv4 アドレス**、**IPv6 アドレス**、**FQDN**、**E-mail アドレス**、または**証明書**を選択します。

証明書を選択した場合、**ID** 欄に証明書の共通名を入力します。

証明書

認証方式で**証明書**を選択した場合、**証明書**を選択します。



選択できる証明書は、ウェブブラウザによる設定画面のセキュリティ設定の**証明書**ページを使用して作成された証明書のみです。

EAP

EAP は、PPP の拡張認証プロトコルです。IEEE802.1x で EAP を使用することにより、セッションごとに異なるキーがユーザー認証に使用されます。

以下の設定は、**認証方式**で**EAP - MD5**または**EAP - MS-CHAPv2**が選択された場合にのみ必要となります。

- **モード**

サーバーモードまたは**クライアントモード**を選択します。

- **証明書**

証明書を選択します。

- **ユーザー名**

ユーザー名を入力します (最大 32 文字)。

- **パスワード**

パスワードを入力します (最大 32 文字)。パスワードは確認のために 2 回入力する必要があります。



関連情報

- [ウェブブラウザを使用して IPsec テンプレートを設定する](#)

IPsec テンプレートの手動設定

IPsecテンプレート 1 ?

テンプレート名

テンプレートを使用する

IKE IKEv1 IKEv2 手動

認証キー(ESP, AH)

In

Out

コードキー(ESP)

In

Out

SPI

In

Out

動作セキュリティ

プロトコル ESP AH

暗号化方式

ハッシュ

SAライフタイム 秒
(120 - 4233600)

KB
(10 - 4194304)

動作モード トランスポート トンネル

リモートルーターIPアドレス

[証明書>>](#)

テンプレート名

テンプレートの名前を入力します(最大 16 文字)。

テンプレートを使用する

カスタムを選択します。

IKE

IKE は通信プロトコルであり、IPsec を使用して暗号化通信を行うための暗号キーの交換に使用されます。1 回限りの暗号化通信を実行するために、IPsec に必要な暗号化アルゴリズムが決定され、暗号化キーは共有されます。IKE の場合、暗号化キーは Diffie-Hellman キー交換方式を使用して交換され、IKE に制限された暗号化通信が実行されます。

手動を選択します。

認証キー (ESP, AH)

認証に使用するキーを指定します。In/Out の値を入力します。

これらの設定が必要になるのは、**動作セキュリティ**に対して、**テンプレートを使用するにカスタム**が、**IKE に手動**が、**ハッシュ**になし以外の設定値が選択された場合です。



設定可能な文字数は、**動作セキュリティ**で**ハッシュ**のために選択した設定により異なります。

指定した認証キーの長さが選択したハッシュアルゴリズムと異なる場合は、エラーが発生します。

- **MD5** : 128 ビット (16 バイト)
- **SHA1** : 160 ビット (20 バイト)
- **SHA256** : 256 ビット (32 バイト)
- **SHA384** : 384 ビット (48 バイト)
- **SHA512** : 512 ビット (64 バイト)

ASCII コードでキーを指定する場合、文字列を二重引用符 (") で囲みます。

コードキー (ESP)

暗号化に使用するキーを指定します。In/Out の値を入力します。

これらの設定が必要になるのは、**動作セキュリティ**において、**テンプレートを使用するにカスタム**が、**IKE に手動**が、**プロトコル**に**ESP** がで選択された場合です。



設定可能な文字数は、**動作セキュリティ**で**暗号化方式**のために選択した設定により異なります。

指定したコードキーの長さが選択した暗号化アルゴリズムと異なる場合は、エラーが発生します。

- **DES** : 64 ビット (8 バイト)
- **3DES** : 192 ビット (24 バイト)
- **AES-CBC 128** : 128 ビット (16 バイト)
- **AES-CBC 256** : 256 ビット (32 バイト)

ASCII コードでキーを指定する場合、文字列を二重引用符 (") で囲みます。

SPI

これらのパラメーターは、セキュリティ情報の特定に使用されます。通常、数種類の IPsec 通信に対応するために、ホストでは複数のセキュリティアソシエーション (SA) を用意しています。そのため、IPsec パケットの受信時に、適用可能な SA を特定する必要があります。SPI パラメーターは、SA を特定するものであり、認証ヘッダー (AH : Authentication Header) とカプセル化セキュリティペイロード (ESP : Encapsulating Security Payload) ヘッダーが含まれます。

これらの設定が必要になるのは、**テンプレートを使用するにカスタム**が、**IKE に手動**が選択された場合です。

In/Out の値を入力します。(3~10 文字)

動作セキュリティ

- **プロトコル**

ESP または **AH** を選択します。



- ESP は、IPsec を使用して暗号化通信を実行するためのプロトコルです。ESP はペイロード（通信内容）を暗号化して、情報を追加します。IP パケットは、ヘッダーとヘッダーに続く、暗号化されたペイロードにより構成されます。暗号化されたデータに加え、IP パケットには、暗号化方式、暗号化キー、認証データなどに関する情報も含まれます。
- AH は、送信者を認証する IPsec プロトコルの一部であり、データの改ざんを防止します（データの完全性を保証します）。IP パケットでは、データはヘッダーの直後に挿入されます。また、送信者のなりすましやデータの改ざんを防止するために、パケットには、通信内容に含まれる等式を使用して計算されたハッシュ値や秘密キーなどが含まれます。ESP と異なり、通信内容は暗号化されず、データはプレーンテキストとして送受信されます。

- **暗号化方式**

DES、3DES、AES-CBC 128、または AES-CBC 256 を選択します。

- **ハッシュ**

なし、MD5、SHA1、SHA256、SHA384、または SHA512 を選択します。なしは、ESP でプロトコルが選択された場合にのみ選択できます。

- **SA ライフタイム**

IKE SA のライフタイムを指定します。

IPsec SA の期限が切れる前に、時間（秒）とキロバイト数（KByte）を入力します。

- **動作モード**

トランスポートまたはトンネルを選択します。

- **リモートルーター IP アドレス**

接続先の IP アドレス（IPv4 または IPv6）を指定します。この情報は、トンネルモードが選択されている場合にのみ入力します。



SA（セキュリティアソシエーション）は、通信の開始前に安全な通信チャネルを確立するために、暗号化方式や暗号化キーなどの情報の交換や共有を行う IPsec または IPv6 を使用する暗号化通信方式です。SA は、確立済みの仮想暗号化通信チャネルを指すこともあります。IPsec に使用される SA は、IKE（インターネットキー交換）標準手順に従って、暗号化方式の確立、キーの交換、および相互認証の実行を行います。また、SA は定期的に更新されます。



関連情報


- [ウェブブラウザを使用して IPsec テンプレートを設定する](#)

安全な E-mail の送受信について

- ウェブブラウザ設定を使用して E-mail の送受信を設定する
- ユーザー認証を使って E メールを送信する
- SSL/TLS を使用して安全な E-mail 送受信を行う

ウェブブラウザ設定を使用して E-mail の送受信を設定する

ユーザー認証済みの安全な E-mail 送信や、SSL/TLS を使用した E-mail 送信を、ウェブブラウザ設定を使用して設定することを推奨します。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「http://製品の IP アドレス」を入力します(「製品の IP アドレス」には本製品の IP アドレスを入力します)。例：
http://192.168.1.2
3. お買い上げ時はパスワードは必要ありません。パスワードを設定している場合はパスワードを入力し、をクリックします。
4. **ネットワーク**タブをクリックします。
5. 左ナビゲーションバーの**プロトコルメニュー**をクリックします。
6. **POP3/IMAP4/SMTP** 欄で、**詳細設定**をクリックして、**POP3/IMAP4/SMTP** の状態が**有効**であることを確認します。
7. **POP3/IMAP4/SMTP** の設定値を設定します。
 - テストメールを送信して、E-mail の設定値が正しいことを確認します。
 - POP3/IMAP4/SMTP サーバーの設定値が不明の場合は、ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダー (ISP) にお問い合わせください。
8. 設定の完了後、**OK** をクリックします。
Eメール送信/受信設定のテストのダイアログボックスが表示されます。
9. ダイアログボックスに表示される指示に従って、設定のテストを行ってください。

関連情報

- [安全な E-mail の送受信について](#)

ユーザー認証を使って E メールを送信する

本製品は、ユーザー認証が必要な E-mail サーバーを経由して E-mail を送信するための SMTP-AUTH 方式をサポートしています。この方式により、非認証のユーザーによる E-mail サーバーへのアクセスが防止されます。

SMTP-AUTH を使用して、E メール通知、E メールレポート、および I-Fax を送信することができます。



ウェブブラウザを使用して SMTP 認証を設定することをお勧めします。

E-mail サーバー設定

本製品の SMTP 認証方式を、お使いの E-mail サーバーが使用する方式と一致するように設定する必要があります。お使いの E-mail サーバーの設定については、ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダー (ISP) にお問い合わせください。



SMTP サーバー認証を有効にするには、ウェブブラウザ設定の **POP3/IMAP4/SMTP** 画面の**送信メールサーバー認証方式**で、**SMTP-AUTH** を選択する必要があります。



関連情報

- [安全な E-mail の送受信について](#)

SSL/TLS を使用して安全な E-mail 送受信を行う

本製品は、SSL/TLS 方式をサポートし、安全な SSL/TLS 通信を必要とする E-mail サーバーを経由して E-mail の送受信を行います。SSL/TLS 通信を使用している E-mail サーバーを経由して E-mail を送受信するには、SSL/TLS 経由の SMTP、SSL/TLS 経由の POP3、または SSL/TLS 経由の IMAP4 を設定する必要があります。



ウェブブラウザ設定を使用して SSL/TLS を設定することを推奨します。

サーバー証明書を検証する

SSL/TLS で、SSL または TLS を選択した場合、**サーバー証明書を検証**チェックボックスが自動的に選択されます。



キャンセル OK

状態 有効

Eメール送信設定(SMTP)

メールサーバー	<input type="text" value="0.0.0.0"/>
ポート	<input type="text" value="25"/>
送信メールサーバー認証方式	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> SMTP-AUTH
SMTP-AUTHアカウント名	<input type="text"/>
SMTP-AUTHアカウントパスワード	
パスワード設定	<input type="text"/>
パスワード確認	<input type="text"/>
SSL/TLS	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> SSL <input type="radio"/> TLS <input type="checkbox"/> サーバー証明書を検証
デバイスのEメールアドレス	<input type="text" value="bmxxxxxxxxxxx@example.com"/>

Eメール受信設定(POP3/IMAP4)

プロトコル	<input checked="" type="radio"/> POP3 <input type="radio"/> IMAP4
メールサーバー	<input type="text" value="0.0.0.0"/>
ポート	<input type="text" value="110"/>
アカウント名(ユーザー名)	<input type="text"/>
パスワード	
パスワード設定	<input type="text"/>
パスワード確認	<input type="text"/>
	<input type="checkbox"/> APOPを使用(POP3のみ)
Eメールフォルダ名(IMAP4のみ)	<input checked="" type="radio"/> デフォルト (Inbox) <input type="radio"/> 指定 : <input type="text"/>
SSL/TLS	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> SSL <input type="radio"/> TLS <input type="checkbox"/> サーバー証明書を検証
分割メッセージタイムアウト	<input type="text" value="120"/> 分

[インターネットファクス>>](#)

[CA証明書>>](#)

[Eメール通達\(メンテナンス情報\)>>](#)

[エラー通達>>](#)

キャンセル OK



- サーバー証明書を検証する前に、該当のサーバー証明書に署名した CA により発行された CA 証明書をインポートする必要があります。ネットワーク管理者または契約しているインターネットサービスプロバイダー (ISP) にお問い合わせください。
- サーバー証明書を検証する必要がない場合、**サーバー証明書を検証**チェックボックスの選択を解除します。

ポート番号：

SMTP、POP3、または IMAP4 に **SSL** または **TLS** を選択した場合、**ポート**の値がプロトコルに一致するよう変更されます。ポート番号を手動で変更する場合、**SSL** の設定値に **TLS** または **SSL/TLS** を選択後、ポート番号を入力します。

本製品の POP3/IMAP4/SMTP 通信方式を、お使いの E-mail サーバーが使用する方式と一致するように設定する必要があります。お使いの E-mail サーバーの設定については、ネットワーク管理者または ISP にお問い合わせください。

多くの場合、安全なウェブメールサービスには、以下の設定が必要です。

SMTP	ポート	25
	送信メールサーバー認証方式	SMTP-AUTH
	SSL/TLS	TLS
POP3	ポート	995
	SSL/TLS	SSL
IMAP4	ポート	993
	SSL/TLS	SSL



関連情報

- [安全な E-mail の送受信について](#)

有線または無線 LAN への IEEE 802.1x 認証の使用について

- IEEE 802.1x 認証について
- ウェブブラウザを使用して有線または無線 LAN の IEEE 802.1x 認証を設定する
- IEEE 802.1x 認証方式

IEEE 802.1x 認証について


IEEE 802.1x は、有線および無線 LAN の IEEE 標準であり、非認証のネットワーク機器からのアクセスを制限します。本ブザー製品（サブリカント）は、アクセスポイントまたはハブを通して、RADIUS サーバー（認証サーバー）に認証要求を送信します。要求が RADIUS サーバーに確認されると、本製品はネットワークにアクセスすることができます。

✓ 関連情報

- [有線または無線 LAN への IEEE 802.1x 認証の使用について](#)

ウェブブラウザを使用して有線または無線 LAN の IEEE 802.1x 認証を設定する

- EAP-TLS 認証を使用して本製品を設定する場合、設定の開始前に、CA により発行されたクライアント証明書を必ずインストールしてください。クライアント証明書については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。複数の証明書をインストールした場合、使用する証明書の名前を書き留めておくことをお勧めします。
- サーバー証明書を検証する前に、該当のサーバー証明書に署名した CA 発行の、CA 証明書をインポートする必要があります。ネットワーク管理者または契約しているインターネットサービスプロバイダー (ISP) にお問い合わせください。


 また、以下を使用して IEEE 802.1x 認証を設定することもできます。

- BRAdmin Professional (有線または無線ネットワーク)
- 操作パネルからの無線セットアップウィザード (無線ネットワーク)
- インストールディスクのセットアップウィザード (無線ネットワーク)

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「http://製品の IP アドレス」を入力します(「製品の IP アドレス」には本製品の IP アドレスを入力します)。

例：

http://192.168.1.2

 ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

- 例：

http://SharedPrinter


NetBIOS 名を有効にしている場合、ノード名も使用できます。

- 例：

http://brnxxxxxxxxxxxx

NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

- Mac の場合、**ステータスマニター**画面に表示される本製品アイコンをクリックして、ウェブブラウザ経由でアクセスします。

3. お買い上げ時はパスワードは必要ありません。パスワードを設定している場合はパスワードを入力し、 をクリックします。
4. **ネットワーク**タブをクリックします。
5. 次のいずれかを行ってください。

オプション	説明
有線 LAN	有線タブをクリックし、左側のナビゲーションバーで 有線 802.1x 認証 を選択します。
無線 LAN	無線タブをクリックし、左側のナビゲーションバーで 無線 (エンタープライズ) を選択します。

6. IEEE 802.1x 認証を設定します。



- 有線 LAN の IEEE 802.1x 認証を有効にするには、**有線 802.1x 認証**ページの**有線 802.1x**で**有効**を選択します。
- **EAP-TLS** 認証を使用している場合、検証のためにインストールされているクライアント証明書（証明書の名前付きで表示）、**クライアント証明書**ドロップダウンリストから選択する必要があります。
- **EAP-FAST**、**PEAP**、**EAP-TTLS**、または **EAP-TLS** 認証を選択する場合は、**サーバー証明書の検証**ドロップダウンリストから検証方式を選択します。該当のサーバー証明書に署名した CA が発行した、あらかじめ製品にインポートされた CA 証明書を使用して、サーバー証明書を検証します。

サーバー証明書の検証ドロップダウンリストから、以下の検証方式のいずれかを選択します。

オプション	説明
検証しない	このサーバー証明書は常に信頼できます。検証は実施されません。
CA 証明書	該当のサーバー証明書に署名した CA により発行された CA 証明書を使用して、サーバー証明書の CA 信頼性を確認する検証方法。
CA 証明書+サーバー ID	サーバー証明書の CA 信頼性に加え、サーバー証明書の共通名を確認する検証方法。 ¹

7. 設定が終了したら、**OK** をクリックします。

有線 LAN の場合：設定後、IEEE 802.1x がサポートされたネットワークに、使用製品を接続します。数分後、ネットワーク設定リストを印刷して、<**Wired IEEE 802.1x**>の状態を確認します。

オプション	説明
Success	有線の IEEE 802.1x 機能は有効で、認証は成功しました。
Failed	有線の IEEE 802.1x 機能は有効ですが、認証は失敗しました。
オフ	有線の IEEE 802.1x 機能は利用不可です。



関連情報

- [有線または無線 LAN への IEEE 802.1x 認証の使用について](#)

¹ 共通名検証では、**サーバー ID** に設定された文字列と、サーバー証明書の共通名を照合します。この方法を使用する前に、サーバー証明書の共通名についてシステム管理者に問い合わせ、**サーバー ID** を設定してください。

IEEE 802.1x 認証方式

LEAP（無線ネットワーク）

軽量拡張可能認証プロトコル（LEAP : Lightweight Extensible Authentication Protocol）は、Cisco Systems 社が開発した独自の EAP 方式で、ユーザー ID とパスワードを使用して認証を行います。

EAP-FAST

EAP-FAST（Extensible Authentication Protocol-Flexible Authentication via Secured Tunneling）は、Cisco Systems 社が開発したプロトコルで、認証のためのユーザー ID とパスワード、および対称キーアルゴリズムを使用してトンネル認証プロセスを実現します。

本ブラザー製品は、以下の内部認証方式をサポートしています。

- EAP-FAST/NONE
- EAP-FAST/MS-CHAPv2
- EAP-FAST/GTC

EAP-MD5（有線 LAN）

拡張可能認証プロトコルメッセージダイジェストアルゴリズム 5（EAP-MD5 : Extensible Authentication Protocol-Message Digest Algorithm 5）はユーザー ID とパスワードを使用して、チャレンジ/レスポンス認証を行います。

PEAP

保護された拡張可能認証プロトコル（PEAP : Protected Extensible Authentication Protocol）は、Cisco Systems 社、Microsoft®社、および RSA セキュリティ社が開発した EAP 方式です。PEAP はユーザー ID とパスワードを送信するために、クライアントと認証サーバー間に、暗号化した Secure Sockets Layer (SSL)/Transport Layer Security (TLS)トンネルを作成します。PEAP により、サーバーとクライアント間の相互認証が行えます。

本ブラザー製品は、以下の内部認証をサポートしています。

- PEAP/MS-CHAPv2
- PEAP/GTC

EAP-TTLS

拡張可能認証プロトコルトンネル方式トランスポートレイヤーセキュリティ（EAP-TTLS : Extensible Authentication Protocol-Tunneled Transport Layer Security）は、ファンク・ソフトウェア社と Certicom 社によって開発されました。EAP-TTLS は、クライアントと認証サーバー間に、ユーザー ID およびパスワードを送信するための、PEAP 同様の暗号化 SSL トンネルを作成します。EAP-TTLS により、サーバーとクライアント間の相互認証が行えます。

本ブラザー製品は、以下の内部認証をサポートしています。

- EAP-TTLS/CHAP
- EAP-TTLS/MS-CHAP
- EAP-TTLS/MS-CHAPv2
- EAP-TTLS/PAP

EAP-TLS

拡張可能認証プロトコルトランスポートレイヤーセキュリティ（EAP-TLS : Extensible Authentication Protocol-Transport Layer Security）では、クライアントと認証サーバーのいずれにも、デジタル証明書認証が必要です。



関連情報

- [有線または無線 LAN への IEEE 802.1x 認証の使用について](#)

印刷ログ機能

- 印刷ログ機能の概要について
- ウェブブラウザを使用して印刷ログ機能の設定値を設定する
- 印刷ログ機能のエラー検出設定を使用する
- セキュリティ制限機能がアクティブな場合の印刷ログ機能の使用について

印刷ログ機能の概要について

印刷ログ機能を使用すると、共通インターネットファイルシステム（CIFS : Common Internet File System）プロトコルを使用して、本ブラザー製品からネットワークサーバーへ印刷ログを保存できます。すべての印刷ジョブの、ID、印刷ジョブのタイプ、ジョブ名、ユーザー名、日付、時間、および印刷ページ数を記録できます。CIFSは、TCP/IPで動作するプロトコルであり、ネットワーク上のパソコンはインターネットまたはイントラネット経由でファイルを共有することができます。

以下の印刷機能が印刷ログに記録されます。

- お使いのパソコンからの印刷ジョブ
- USBダイレクト印刷
- コピー
- 受信ファクス（サポート対象モデルのみ）
- ウェブ接続印刷（サポート対象モデルのみ）




- 印刷ログ機能は、Kerberos 認証および NTLMv2 認証をサポートしています。SNTP プロトコル(ネットワークタイムサーバー)を設定するか、認証のために操作パネルで日時とタイムゾーンを正確に設定する必要があります。
- ファイルをサーバーに保存する際に、ファイルタイプを TXT または CSV に設定できます。





関連情報

- [印刷ログ機能](#)

ウェブブラウザを使用して印刷ログ機能の設定値を設定する

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「http://製品の IP アドレス」を入力します(「製品の IP アドレス」には本製品の IP アドレスを入力します)。例：
http://192.168.1.2
3. お買い上げ時はパスワードは必要ありません。パスワードを設定している場合はパスワードを入力し、をクリックします。
4. **管理者設定**タブをクリックします。
5. **印刷ログ機能設定**メニューをクリックします。
6. **印刷ログ**欄で、**オン**をクリックします。
7. 以下の設定を行います。

オプション	説明
ネットワークフォルダパス	CIFS サーバー上の、ログの保存先フォルダを入力します (\\コンピューター名\共有フォルダ)。
ファイル名	印刷ログに使用するファイル名を入力します (最大 32 文字)。
ファイル形式	印刷ログのファイルタイプに、 テキスト形式 または CSV 形式 を選択します。
認証方法	<p>CIFS サーバーにアクセスするために必要な認証方式として、自動、Kerberos、または NTLMv2 を選択します。Kerberos は認証プロトコルです。このプロトコルにより、機器または個人がそれぞれのアイデンティティを、シングルサインオンを使用するネットワークサーバーに対して安全に示すことができます。NTLMv2 はサーバーにログインするための認証方式であり、Windows®により使用されます。</p> <ul style="list-style-type: none">• 自動 : 自動 を選択した場合、認証方式には NTLMv2 が使用されます。• Kerberos : Kerberos を選択して、Kerberos 認証のみを使用します。• NTLMv2 : NTLMv2 を選択して、NTLMv2 認証のみを使用します。 <p> Kerberos および NTLMv2 認証の場合、時計設定設定または、SNTP プロトコル (ネットワークタイムサーバー) と DNS サーバーも設定する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none">• 操作パネルから、[時計セット] も設定する必要があります。
ユーザー名	<p>認証のためのユーザー名を入力します (最大 96 文字)。</p> <p> ユーザー名がドメインの一部である場合、ユーザー@ドメインまたは、ドメインユーザーのいずれかの形式でユーザー名を入力します。</p>
パスワード	認証のためのパスワードを入力します (最大 32 文字)。
Kerberos サーバーアドレス (必要に応じて)	KDC ホストのアドレス (例 : kerberos.example.com、最大 64 文字) または、IP アドレス (例 : 192.168.56.189) を入力します。
書き込みエラー時設定	ネットワークエラーのために印刷ログをサーバーに保存できない場合の対処方法を選択します。

8. **接続状態**欄で、最新のログステータスを確認します。



また、本製品の画面でエラー状態を確認することもできます。

9. **OK** をクリックして、**印刷ログ機能テスト**ページを表示します。
設定をテストするには、**Yes** をクリックして、次の手順に進みます。
テストを行わずに次へ進むには、**いいえ** をクリックします。設定値は自動的にサブミットされます。
10. 製品が設定値をテストします。
11. 設定が承認されると、**テスト成功**がページに表示されます。
テストエラーが表示された場合は、すべての設定値を確認し、**OK** をクリックして、もう一度テストページを表示します。




関連情報

- [印刷ログ機能](#)

印刷ログ機能のエラー検出設定を使用する

エラー検出設定を使用して、ネットワークエラーのために印刷ログをサーバーに保存できない場合の対処方法を決定します。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「http://製品の IP アドレス」を入力します(「製品の IP アドレス」には本製品の IP アドレスを入力します)。例：
http://192.168.1.2
3. お買い上げ時はパスワードは必要ありません。パスワードを設定している場合はパスワードを入力し、をクリックします。
4. 管理者設定タブをクリックします。
5. 左側にあるナビゲーションバーの印刷ログ機能設定メニューをクリックします。
6. 書き込みエラー時設定セクションで、印刷中止またはログを書き込まずに印刷を選択します。

オプション

説明

印刷中止 印刷中止オプションを選択すると、印刷ログがサーバーに保存できない場合、印刷ジョブはキャンセルされます。



印刷中止を選択した場合でも、本製品は受信ファクスを印刷します。

ログを書き込まずに印刷

ログを書き込まずに印刷を選択すると、印刷ログがサーバーに保存できない場合でも、本製品は文書を印刷します。

印刷ログ機能が回復すると、印刷ログは以下のように記録されます。

```
Id, Type, Job Name, User Name, Date, Time, Print Pages, Color Pages
1, Print (xxxxxxx), "Document01.doc", "user01", 03/03/20xx, 14:01:32, 52, 21
2, Print (xxxxxxx), "Document02.doc", "user01", 03/03/20xx, 14:45:30, ?, ?
3, <Error>, ?, ?, ?, ?, ?
4, Print (xxxxxxx), "Report01.xls", "user02", 03/03/20xx, 19:30:40, 4, 4
```

- a. 印刷の最後でログが保存できない場合、印刷ページ数以外の印刷ログが記録されます。
- b. 印刷の最初と最後に印刷ログが保存できない場合、このジョブの印刷ログは記録されません。この機能が回復すると、該当のエラーがログに反映されます。

7. **OK** をクリックして、印刷ログ機能テストページを表示します。
設定をテストするには、**Yes** をクリックして、次の手順に進みます。
テストを行わずに次へ進むには、**いいえ** をクリックします。設定値は自動的にサブミットされます。
8. 製品が設定値をテストします。
9. 設定が承認されると、**テスト成功**がページに表示されます。
テストエラーが表示された場合は、すべての設定値を確認し、**OK** をクリックして、もう一度テストページを表示します。

✓ 関連情報

- 印刷ログ機能

セキュリティ制限機能がアクティブな場合の印刷ログ機能の使用について

セキュリティー機能ロック 3.0 がアクティブな場合、コピー、ファクス受信、クラウド接続印刷、および USB ダイレクト印刷（利用可能な場合）のための登録ユーザーの名前が、印刷ログ機能レポートに記録されます。Active Directory®認証が有効の場合、ログオンユーザーの名前が、ネットワークへの印刷ログの保存レポートに記録されます。

```
Id, Type, Job Name, User Name, Date, Time, Print Pages, Color Pages
1, Copy, -, -, 04/04/20xx, 09:05:12, 3, 3
2, Fax, -, -, 04/04/20xx, 09:45:30, 5, 0
3, Copy, -, "BOB", 04/04/20xx, 10:20:30, 4, 0
4, Fax, -, "BOB", 04/04/20xx, 10:35:12, 3, 0
5, USB Direct, -, "JOHN", 04/04/20xx, 11:15:43, 6, 6
```

✓ 関連情報

- 印刷ログ機能

モバイル/ウェブ接続

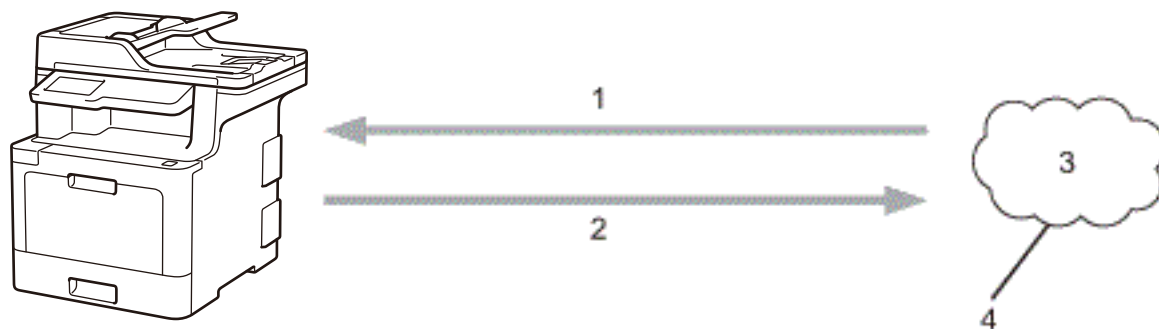
- クラウド接続機能
- Google クラウド プリント
- AirPrint
- Windows®用モバイルプリント
- Mopria® Print Service
- Brother iPrint&Scan
- 近距離無線通信 (NFC)

クラウド接続機能

- クラウド接続の概要
- クラウド接続機能を使用してアクセスできるオンラインサービス
- クラウド接続機能の使用条件について
- クラウド接続機能の設定
- 写真や原稿をスキャンしてアップロードする
- 写真や文書をダウンロードして印刷する
- ファクスクラウド/Eメール転送
- クラウド接続機能を使って、囲んだ部分をスキャン、コピー、削除する
- 折りメモ印刷、折りメモスキャン

クラウド接続の概要

ユーザーが画像やファイルをアップロードしたり、ウェブサイト上でそれらを閲覧するサービスを提供しているウェブサイトがあります。本製品では、画像をスキャンしてこのようなサービスにアップロードしたり、アップロードされている画像をダウンロードして印刷することができます。



1. 印刷
2. スキャン
3. 写真、画像、文書などのファイル
4. Web サービス

クラウド接続機能を使用するには、有線接続または無線接続で、本製品をインターネットへアクセスできるネットワークに接続する必要があります。

プロキシサーバーを使用するネットワークのセットアップを行うには、本製品がプロキシサーバーを使用できるように設定する必要があります。ネットワーク設定方法について不明な場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。



プロキシサーバーは、直接インターネットに接続していない複数のパソコンと、インターネットとの接続を仲介するコンピュータのことです。

✓ 関連情報

- [クラウド接続機能](#)

クラウド接続機能を使用してアクセスできるオンラインサービス

クラウド接続機能を使用して、お使いのブラザー製品からサービスにアクセスします。

Brother Web Connect 機能を使用するには、利用対象のオンラインサービスで使用するアカウントが必要です。アカウントをお持ちでない場合は、パソコンを使用してサービスのウェブサイトアクセスし、アカウントを作成します。

アカウントがある場合は、さらにアカウントを作成する必要はありません。

Google Drive™

オンラインの文書保存、編集、共有、およびファイルの同期サービスです。

URL: drive.google.com

Flickr®

オンラインの写真共有サービスです。画像をアップロードしてアルバムで整理したり、他のユーザーと共有することができます。

URL: www.flickr.com

Facebook

画像のアップロードや他のユーザーとの共有もできるソーシャルネットワーキングサービスです。

URL: www.facebook.com

Evernote®

オンラインのファイルストレージおよび管理サービスです。

URL: www.evernote.com

Dropbox

オンラインのファイルストレージ、共有、および同期サービスです。

URL: www.dropbox.com

OneDrive®

オンラインのファイルストレージ、共有、および管理サービスです。

URL: onedrive.live.com

Box

オンラインの文書編集・共有サービスです。

URL: www.box.com

OneNote®

オンラインの文書編集・共有サービスです。

URL: www.onenote.com

これらのサービスについて、詳しくは各サービスのウェブサイトを参照してください。

次の表は、クラウド接続機能で使用できるファイルの種類について説明しています。

アクセス可能なサービス	Flickr® Facebook	Google Drive™ Evernote® Dropbox OneDrive® Box OneNote®
画像のダウンロードと印刷	JPEG	JPEG PDF

アクセス可能なサービス	Flickr® Facebook	Google Drive™ Evernote® Dropbox OneDrive® Box OneNote®
		DOCX XLSX PPTX ¹
スキャン画像のアップロード	JPEG	JPEG PDF ² DOCX XLSX PPTX TIFF XPS
オンラインサービスへの FaxForward (特定モデルのみ対応)	JPEG	JPEG PDF TIFF

1 画像は DOC/XLS/PPT 形式でもダウンロードまたは印刷できます。

2 アップロードスキャン画像の場合、PDF には、検索可能な PDF、署名済み PDF、セキュア PDF、PDF/A および高圧縮 PDF が含まれません。



関連情報

- [クラウド接続機能](#)

クラウド接続機能の使用条件について

- クラウド接続機能を使用するためにブラザーのソフトウェアをインストールする
- お使いのブラザー製品の操作パネルを使用してプロキシサーバーを設定する
- ウェブブラウザによる設定を使用してプロキシサーバーを設定する

クラウド接続機能を使用するためにブラザーのソフトウェアをインストールする

クラウド接続機能の最初のインストール時は、インターネットへのアクセスが可能なパソコンに、本製品のソフトウェアがインストールされている必要があります。

Windows®の場合：

ソフトウェアをインストールして、有線または無線ネットワーク経由で印刷できるように設定する手順は、付属のかんたん設置ガイドをご覧ください。

Mac の場合：

ブラザーのソフトウェアをインストールするには、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（support.brother.co.jp）にアクセスし、お使いのモデルの**ソフトウェアダウンロードページ**を参照します。


✓ 関連情報

- [クラウド接続機能の使用条件について](#)

お使いのブラウザ製品の操作パネルを使用してプロキシサーバーを設定する


ネットワークでプロキシサーバーを使用している場合、次のプロキシサーバーの情報を、お使いのブラウザ製品で設定する必要があります。

- プロキシサーバーのアドレス
- ポート番号
- ユーザー名
- パスワード

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク] > [Web 接続設定] > [プロキシ設定] > [プロキシ経由接続] > [オン]を押します。



本製品のホーム画面に [全てのメニュー] が表示された場合は、 [メニュー] をスキップします。

2. 設定したいオプションを押して、プロキシサーバーの情報を入力します。
3.  を押します。



関連情報

- [クラウド接続機能の使用条件について](#)


ウェブブラウザによる設定を使用してプロキシサーバーを設定する

ネットワークでプロキシサーバーを使用している場合、次のプロキシサーバーの情報を、ウェブブラウザ上で設定する必要があります。

- プロキシサーバーのアドレス
- ポート番号
- ユーザー名
- パスワード



Windows®の場合は、Microsoft®Internet Explorer® 11 を、Mac の場合は、Safari 9 のブラウザのご使用をお勧めします。どのウェブブラウザの場合も、JavaScript および CSS を有効にして使用してください。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「http://製品の IP アドレス」を入力します(「製品の IP アドレス」には本製品の IP アドレスを入力します)。例：
http://192.168.1.2
3. お買い上げ時はパスワードは必要ありません。パスワードを設定している場合はパスワードを入力し、をクリックします。
4. **ネットワーク**タブをクリックします。
5. 左ナビゲーションバーの**プロトコル**メニューをクリックします。
6. **プロキシ**のチェックボックスを選択し、**OK** をクリックします。
7. **プロキシ**欄で、**詳細設定**をクリックします。
8. プロキシサーバーの情報を入力します。
9. **OK** をクリックします。



関連情報

- [クラウド接続機能の使用条件について](#)

クラウド接続機能の設定

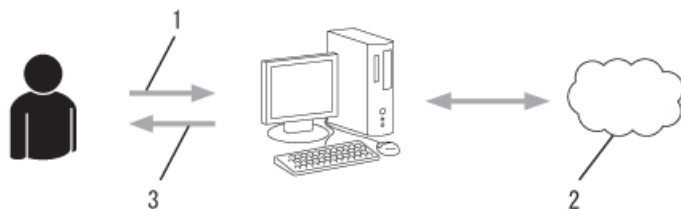
- クラウド接続機能設定の概要について
- クラウド接続機能を使用する前に、各オンラインサービスのアカウントを作成する
- クラウド接続機能の利用申請を行う
- お使いのブラザー製品に、クラウド接続機能を使用するためのアカウントを登録する

クラウド接続機能設定の概要について

下記の手順に従ってクラウド接続機能を設定します：

手順 1：利用するサービスのアカウントを作成する。

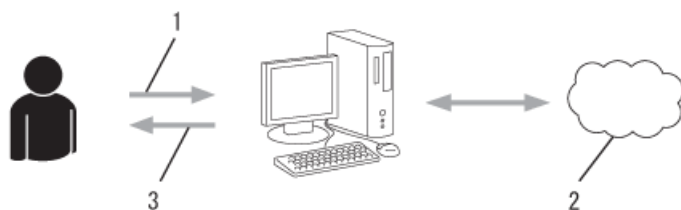
パソコンを使用してサービスのウェブサイトへアクセスし、アカウントを作成します。（既にアカウントをお持ちの場合は、追加のアカウントを作成する必要はありません。）



1. ユーザー登録
2. Web サービス
3. アカウント取得

手順 2：クラウド接続機能の利用申請を行う

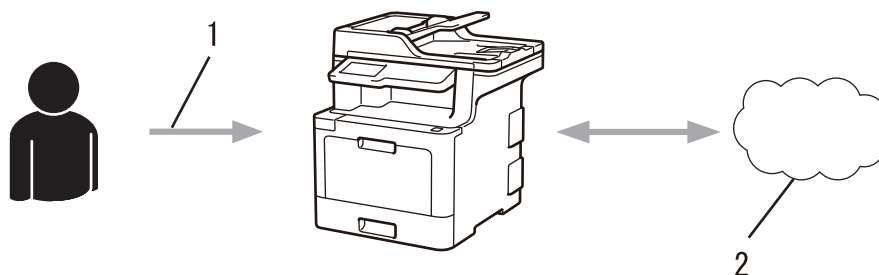
パソコンを使用してクラウド接続機能へアクセスし、仮登録 ID を取得します。



1. アカウント情報の入力
2. クラウド接続機能申請ページ
3. 仮登録 ID の取得

手順 3：利用対象のサービスにアクセスできるように、本製品にアカウント情報を登録します。

本製品でサービスを利用できるように仮登録 ID を入力します。本製品で表示したいアカウント名を指定し、必要に応じて PIN コードを入力します。



1. 仮登録 ID の入力
2. Web サービス

お使いのブラザー製品で Web サービスを利用できます。

✓ 関連情報

- [クラウド接続機能の設定](#)

クラウド接続機能を使用する前に、各オンラインサービスのアカウントを作成する

クラウド接続機能を使用して Web サービスにアクセスするためには、利用するサービスのアカウントが必要です。アカウントをお持ちでない場合は、パソコンで利用したいサービスのウェブサイトにアクセスし、アカウントを作成してください。アカウントの作成後、パソコンを使用してそのアカウントでログインしてからクラウド接続機能を使用します。作成したアカウントでログインしない場合、クラウド接続機能を使用してサービスにアクセスできないことがあります。

すでにアカウントをお持ちの場合、追加のアカウントを作成する必要はありません。

利用するオンラインサービスでアカウントを作成したら、クラウド接続機能へのアクセスを申請します。



ゲストユーザーとしてサービスを利用する場合は、アカウントを作成する必要はありません。ゲストユーザーとして利用できるサービスは限られています。利用するサービスにゲストオプションがない場合は、アカウントを作成する必要があります。





✓ 関連情報

- [クラウド接続機能の設定](#)

クラウド接続機能の利用申請を行う

クラウド接続機能を使用してオンラインサービスが利用できるように、ソフトウェアがインストールされているパソコンを使用して、クラウド接続ページにアクセスし、クラウド接続機能の利用申請を行います。

1. クラウド接続機能のウェブページにアクセスします：

オプション	説明
Windows® 7	 (スタート) > すべてのプログラム > Brother > Brother Utilities をクリックし、選択されていない場合は、ドロップダウンリストからお使いのモデル名を選択します。ナビゲーションバーの もっと活用する をクリックし、 Brother Web Connect をクリックします。
Windows® 8 Windows® 10	 (Brother Utilities) を起動し、ドロップダウンリストをクリックして、お使いの機器のモデル名を選択します (未選択の場合)。左ナビゲーションバーの もっと活用する をクリックし、 Brother Web Connect をクリックします。
Windows® 8.1	スタート画面の左下角にマウスを移動し、  をクリックします (タッチ操作のパソコンをお使いの場合は、スタート画面の下から上に向けてフリックし、 アプリ 画面を表示させます)。  (Brother Utilities) をクリックし、選択されていない場合は、ドロップダウンリストからお使いのモデル名を選択します。ナビゲーションバーの もっと活用する をクリックし、 Brother Web Connect をクリックします。
Mac	Finder メニューから 移動 を選び、 アプリケーション > Brother > Utilities > Brother Web Connect をクリックします。



ウェブサイトに直接アクセスすることもできます。

お使いのウェブブラウザのアドレスバーに、bwc.brother.com と入力します。

クラウド接続機能のページが起動します。



初めてクラウド接続機能のウェブページを起動したときには、国、言語およびモデル名を選択してから、サービス画面へ移動するために、**Next** をクリックしてください。

2. 利用するサービスを選択します。

クラウド接続機能

ご使用になりたいサービスを選択して、仮登録IDを取得してください。ビジネス向けサービス (OneDrive for Business, Box Business/Enterprise, Dropbox Business, Google Apps for Work, Evernote Business等) もご利用頂けます。



OneNote



OneDrive



Box



Connect to Google Drive™



EVERNOTE



Dropbox



Facebook



FLICKR®

お客様の製品の種類やソフトウェアのバージョンによっては、使用できるサービスが異なる場合があります。現在表示されているサービスの種類が製品の液晶画面上に表示されているものと異なる場合や、その他の問題が発生した際は、ソフトウェアのバージョンが最新かをご確認ください。

詳細につきましてはサポートサイトをご参照ください。

[ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークをダウンロードするページへ](#)



[利用規約](#)

実際に表示される画面は、上記と異なることがあります。

3. 画面の指示に従って、利用申請を行います。

申請が終了すると、仮登録 ID が表示されます。

クラウド接続機能

登録が完了しました

下記の仮登録IDを、本体の液晶画面で入力してアカウント登録を行ってください

仮登録ID (11桁)

XXX XXXX XXXX

注意:この仮登録IDは24時間で失効します

[TOP](#)

4. 仮登録 ID をメモしておきます。この ID は、お使いのブラザー製品にアカウントを登録する際に必要となります。仮登録 ID は、24 時間有効です。
5. ウェブブラウザを閉じます。

次に、お使いのブラザー製品にアカウントを登録します。

✓ 関連情報

- クラウド接続機能の設定
- お使いのブラザー製品に、クラウド接続機能を使用するためのアカウントを登録する

お使いのブラザー製品に、クラウド接続機能を使用するためのアカウントを登録する

クラウド接続機能を使用するために、お使いのブラザー製品にアカウント情報を入力し設定します。

- 利用するサービスのウェブサイトアクセスし、アカウントを作成してください。
- アカウントを登録する前に、本製品の日時が正しく設定されていることを確認します。

1. 上または下にフリックし、[クラウド]を表示します。
2. [クラウド]を押します。



- 本製品の画面にインターネット接続に関する情報が表示された場合、その情報を読んでいただき、[OK]を押します。この情報を再表示する場合は、[はい]を押します。
- クラウド接続機能についての更新やお知らせが、画面に表示されることがあります。表示された情報を読んでいただき、[OK]を押します。

3. ライセンス契約に関する情報が表示された場合は、同意の可否を選択して、画面の指示に従ってください。
4. 登録するサービスを選択します。
5. サービス名を押します。
6. クラウド接続機能に関する情報が表示された場合、[OK]を押します。
7. [アカウントの登録/削除]を押します。
8. [アカウント登録]を押します。


クラウド接続機能の利用申請を行い、仮登録 ID を取得するように求めるメッセージが表示されます。

9. [OK]を押します。
10. タッチパネルを使用して仮登録 ID を入力する
11. [OK]を押します。



入力した情報が申請時に受け取った仮登録 ID と一致しない場合、または仮登録 ID の有効期限が切れている場合はエラーメッセージが画面に表示されます。正しい仮登録 ID を入力するか、再度申請を行って新しい仮登録 ID を取得します。

タッチパネルに表示させるアカウント名の入力を求めるメッセージが表示されます。

12. [OK]を押します。
13. タッチパネルを使用して名前を入力します。
14. [OK]を押します。
15. 次のいずれかを行ってください。
 - アカウントの PIN コードを設定する場合は、[はい]を押します。(PIN コードは、アカウントへの不正アクセスを防ぎます。) 4桁の数字を入力し、[OK]を押します。
 - PIN コードを設定しない場合は、[いいえ]を押します。
16. 入力したアカウント情報が表示されたら、正しく入力されていることを確認します。
17. [はい]を押して、入力した内容を登録します。
18. [OK]を押します。
19. を押します。

登録が完了し、お使いの製品はサービスを利用できるようになりました。



関連情報

- クラウド接続機能の設定
- クラウド接続機能の利用申請を行う

写真や原稿をスキャンしてアップロードする

スキャンした写真やドキュメントを、パソコンを使用せずに、直接 Web サービスにアップロードします。

- JPEG ファイルのスキャンまたはアップロードには、モノクロスキャンは対応していません。
- 検索可能 PDF ファイルや Microsoft® Office ファイルのスキャンまたはアップロードには、モノクロおよびグレースキャンは対応していません。
- JPEG ファイルは、1 ページごとに別のファイルでアップロードされます。
- アップロードされたファイルは、「**From_BrotherDevice**」というアルバムに保存されます。

アップロードできるファイルサイズや数などの制限については、各サービスのウェブサイトを参照してください。

セキュリティ機能ロック（特定のモデルのみ可能）により利用する Web サービスが制限されている場合、スキャンしたデータのアップロードはできません。

1. 原稿をセットします。
2. 上または下にフリックし、[クラウド]を表示します。
3. [クラウド]を押します。



- [スキャン] > [クラウド]を押すこともできます。
- 本製品の画面にインターネット接続に関する情報が表示された場合、その情報を読んでいただき、[OK]を押します。この情報を再表示する場合は、[はい]を押します。
- クラウド接続機能についての更新やお知らせが、画面に表示されることがあります。表示された情報を読んでいただき、[OK]を押します。

4. アップロード先のアカウントを保持しているサービスを選択します。
5. アカウント名を選択します。
6. 画面の指示に従って、この操作を完了します。

✓ 関連情報

- [クラウド接続機能](#)

写真や文書をダウンロードして印刷する

Web サービスにアップロードされている写真や文書を、本製品に直接ダウンロードして印刷することができます。他のユーザーがアップロードした共有画像は、閲覧権限を持っていれば本製品にダウンロードして印刷することができます。ゲストユーザーでも公開されている画像を見ることができるサービスもあります。ゲストユーザーとしてアクセスすると、所有者が一般公開している閲覧制限が無い画像などを見ることができます。

他のユーザーの文書をダウンロードするには、該当のアルバムや文書を閲覧するためのアクセス権限が必要となります。

セキュリティ機能ロック（特定のモデルのみ可能）によりクラウド接続機能をご利用できないユーザーの場合は、データをダウンロードできません。

セキュリティ機能ロック（特定のモデルのみ可能）で印刷枚数を制限している場合、Web サービス上の文書の印刷も制限対象になります。

✓ 関連情報

- [クラウド接続機能](#)
- [Web サービスを使用してダウンロードや印刷を行う](#)

Web サービスを使用してダウンロードや印刷を行う

1. 上または下にフリックし、[クラウド]を表示します。
2. [クラウド]を押します。



- 本製品の画面にインターネット接続に関する情報が表示された場合、その情報を読んでいただき、[OK]を押します。この情報を再表示する場合は、[はい]を押します。
- クラウド接続機能についての更新やお知らせが、画面に表示されることがあります。表示された情報を読んでいただき、[OK]を押します。

3. ダウンロードして印刷する文書のホストサービスを選択します。
4. アカウント名を選択します。PIN 入力画面が表示された場合は、4桁のPINを入力して、[OK]を押します。



- サービスにゲストユーザーとしてアクセスするには、[ゲストユーザーとして利用]を選択します。ゲストユーザーとしてのアクセスに関する情報が表示されたら、[OK]を押します。ダウンロードする文書のユーザーのアカウント名を入力し、[OK]を押します。
- サービスによっては、アカウント名をリストから選択する必要があります。

5. [ダウンロードして印刷]を押します。
6. 使用するアルバムを選択します。アルバムに文書を保存する必要のないサービスもあります。アルバムに保存されていない文書の場合、[未分類の写真を表示]または[未分類のファイルを表示]を選択し、文書を選択します。他のユーザー文書の場合は、アルバムに保存されていなければダウンロードできません。



- Flickr® および Facebook からダウンロードするには、ダウンロードするアルバムを選択します。
- アルバムは画像の集まりです。実際の用語は、利用するサービスにより異なる場合があります。Evernote®を使用する場合、ノートを選択する前にノートブックを選択する必要があります。

7. 印刷する文書のサムネイルを選択します。液晶ディスプレイに表示される文書を確認して、[OK]を押します。さらに印刷する文書を選択します（最大 10 個の文書が選択可能です）。
8. 終了したら、[OK]を押します。
9. 画面の指示に従って、この操作を完了します。

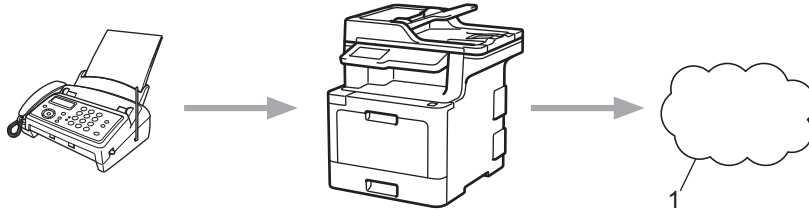


関連情報

- [写真や文書をダウンロードして印刷する](#)

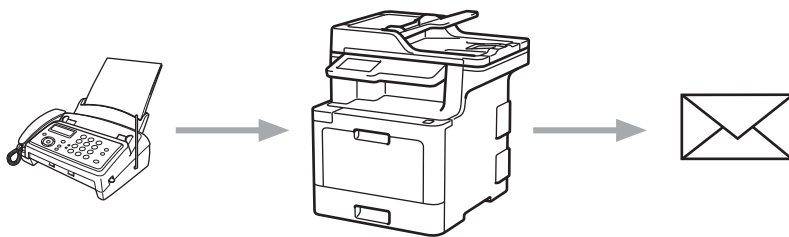
ファクスクラウド/Eメール転送

- FaxForward to Cloud 機能を使用して、受信ファクスを、利用可能なオンラインサービスのアカウントへ自動的に転送します。



1. Web サービス

- FaxForward to Email 機能を使用して、受信ファクスを Eメールの添付ファイルとして、受信ボックスへ自動的に転送します。



✓ 関連情報

- [クラウド接続機能](#)
- [FaxForward to Cloud](#) または [FaxForward to Email](#) 機能をオンにする
- [FaxForward to Cloud](#) または [FaxForward to Email](#) 機能をオフにする

FaxForward to Cloud または FaxForward to Email 機能をオンにする

受信ファクスを Eメールの添付ファイルとして、オンラインサービスまたは受信ボックスへ自動的に転送するには、FaxForward 機能をオンにします。

- セキュリティ機能ロック（特定モデルのみ対応）により制限されたユーザーの場合、受信ファクスのアップロードはできません。
- この機能は、モノクロファクスにのみ有効です。
- ファクスクラウド転送機能をオンにする場合、以下の機能は使用できません。
 - [ファクス転送]
 - [電話呼び出し]
 - [メモリ受信]
 - [PC ファクス受信]

1. 上または下にフリックし、[お役立ちツール]を表示します。
2. [お役立ちツール]を押します。



- 本製品の画面にインターネット接続に関する情報が表示された場合、その情報を読んでいただき、[OK]を押します。この情報を再表示する場合は、[はい]を押します。
- クラウド接続機能についての更新やお知らせが、画面に表示されることがあります。表示された情報を読んでいただき、[OK]を押します。

3. [ファクス クラウド転送]を選択します。



[ファクス クラウド転送]に関する情報が表示された場合、その情報をお読みにになり、[OK]を押します。

4. [On]を押します。
5. [クラウドサービスへ転送]または[メールで転送]を押します。
 - [クラウドサービスへ転送]を選択した場合、ファクスを受信するオンラインサービスを選択し、アカウント名を指定します。
 - [メールで転送]を選択した場合、ファクスを受信する Eメールアドレスを入力します。
6. 画面の指示に従って、この操作を完了します。



関連情報

- [ファクスクラウド/Eメール転送](#)

FaxForward to Cloud または FaxForward to Email 機能をオフにする

受信ファクスをEメールの添付ファイルとして、オンラインサービスまたは受信ボックスへ自動的に転送しないようにするには、FaxForward 機能をオフにします。

本製品のメモリーに受信したファクスが残っている場合、FaxForward to Cloud 機能をオフにできません。

1. 上または下にフリックし、[お役立ちツール]を表示します。
2. [お役立ちツール]を押します。



- 本製品の画面にインターネット接続に関する情報が表示された場合、その情報を読んでいただき、[OK]を押します。この情報を再表示する場合は、[はい]を押します。
- クラウド接続機能についての更新やお知らせが、画面に表示されることがあります。表示された情報を読んでいただき、[OK]を押します。

3. [ファクス クラウド転送]を選択します。



[ファクス クラウド転送]に関する情報が表示された場合、その情報をお読みになり、[OK]を押します。

4. [Off]を押します。
5. [OK]を押します。



関連情報

- [ファクスクラウド/Eメール転送](#)

クラウド接続機能を使って、囲んだ部分をスキャン、コピー、削除する

赤色のペンを使って原稿を囲んでスキャンすると、囲まれた部分を抜き出して様々な画像処理を行うことができます。

囲んだ部分をスキャンする

原稿の中で抜き出したい部分を赤色のペンで囲んでスキャンすると、囲まれた部分が抽出され、それぞれ別々の JPEG ファイルとして Web サービスに保存されます。



1. Web サービス

囲んだ部分をコピーする（一部のモデルでのみ利用可能）

原稿の中でコピーしたい部分を赤色のペンで囲んでスキャンすると、囲まれた部分を印刷します。



囲んだ部分を消してコピーする（一部のモデルでのみ利用可能）

原稿の中で消したい部分を赤色のペンで囲んでスキャンすると、囲まれた部分を削除して印刷します。



囲み方

良い例	悪い例

- ペン先の幅が 1.0 mm～10.0 mm（極細～極太）の赤ペンを使用します。
- 太い赤線で囲むと、範囲は認識されやすくなります。ただし、上記で示した幅よりも太いペンやマーカは使用しないでください。
- 赤色の枠線が、離れたり交差したりしないようにしてください。
- 領域内が縦横それぞれ 1 cm 以上あるように囲んでください。

-
- 用紙の背景色が暗い場合は、囲んだ領域が認識されないことがあります。

関連情報

- [クラウド接続機能](#)
 - [囲んだ部分をスキャンしてアップロードする](#)
 - [クラウド接続機能を使って、囲んだ部分をコピーする](#)
 - [クラウド接続機能を使って、囲んだ部分を消してコピーする](#)
-

囲んだ部分をスキャンしてアップロードする

原稿の中で抜き出したい部分を赤色のペンで囲んでスキャンすると、囲まれた部分をそれぞれ別々の JPEG ファイルにしてウェブサービスに保存します。

1. 太い赤ペンなどを使用して、スキャンする原稿に抽出範囲の輪郭を描きます。
2. 原稿をセットします。
3. 上または下にフリックし、[お役立ちツール]を表示します。
4. [お役立ちツール]を押します。




- 本製品の画面にインターネット接続に関する情報が表示された場合、その情報を読んでいただき、[OK]を押します。この情報を再表示する場合は、[はい]を押します。
- クラウド接続機能についての更新やお知らせが、画面に表示されることがあります。表示された情報を読んでいただき、[OK]を押します。

5. [手書きトリミングスキャン]を選択します。



- [手書きトリミングスキャン]に関する情報が表示されたら、その情報をお読みにになり、[OK]を押します。この情報を再表示する場合は、[はい]を押します。

6. 使用するサービスを選択します。
7. アカウント名を選択します。
 - PIN 入力画面が表示された場合は、4桁の PIN を入力して、[OK]を押します。
 - 画面にスキャンサイズの指定項目が表示されたら、スキャン原稿のサイズを選択します。
8. [OK]を押します。

お使いの製品は原稿をスキャンして、アップロードを開始します。お使いの製品の原稿台ガラスを使用している場合は、画面に表示される指示に従ってスキャンジョブを完了します。
9. 画像のアップロードが終了したら、[OK]を押します。
10. を押します。



関連情報

- クラウド接続機能を使って、囲んだ部分をスキャン、コピー、削除する


クラウド接続機能を使って、囲んだ部分をコピーする

ドキュメント上の任意の範囲の輪郭を赤い線で描き、輪郭とコピー機能を使用して、これらの範囲のみをスキャン出力するドキュメントに表示します。

1. 太い赤ペンなどを使用して、コピーする原稿に抽出範囲の輪郭を描きます。
2. 原稿をセットします。
3. 上または下にフリックし、[お役立ちツール]を表示します。
4. [お役立ちツール]を押します。



- 本製品の画面にインターネット接続に関する情報が表示された場合、その情報を読んでいただき、[OK]を押します。この情報を再表示する場合は、[はい]を押します。
- クラウド接続機能についての更新やお知らせが、画面に表示されることがあります。表示された情報を読んでいただき、[OK]を押します。

5. [手書きトリミングコピー]を選択します。
6. [囲ったところだけをコピー]を押します。
7. [囲ったところだけをコピー]に関する情報が表示されたら、その情報をお読みになり、[OK]を押します。この情報を再表示する場合は、[はい]を押します。
8. コピー設定画面が表示されます。必要に応じて、設定を変更します。[OK]を押します。
9. [OK]を押します。
本製品はスキャンを開始します。本製品のスキャナーガラスを使用する場合、画面に表示される指示に従って印刷ジョブを完了します。
10. 印刷が完了したら、[OK]を押します。
11. を押します。

✓ 関連情報

- クラウド接続機能を使って、囲んだ部分をスキャン、コピー、削除する


クラウド接続機能を使って、囲んだ部分を消してコピーする

ドキュメント上の任意の範囲の輪郭を赤い線で描き、輪郭と切り取り機能を使用して、スキャン出力するドキュメントからこれらの範囲を削除します。

1. 太い赤ペンなどを使用して、原稿上の切り取る範囲の輪郭を描きます。
2. 原稿をセットします。
3. 上または下にフリックし、[お役立ちツール]を表示します。
4. [お役立ちツール]を押します。



- 本製品の画面にインターネット接続に関する情報が表示された場合、その情報を読んでいただき、[OK]を押します。この情報を再表示する場合は、[はい]を押します。
- クラウド接続機能についての更新やお知らせが、画面に表示されることがあります。表示された情報を読んでいただき、[OK]を押します。

5. [手書きトリミングコピー]を選択します。
6. [囲ったところを消してコピー]を押します。
7. [囲ったところを消してコピー]に関する情報が表示されたら、その情報をお読みになり、[OK]を押します。この情報を再表示する場合は、[はい]を押します。
8. コピー設定画面が表示されます。必要に応じて、設定を変更します。[OK]を押します。
9. [OK]を押します。
本製品はスキャンを開始します。本製品のスキャナーガラスを使用する場合、画面に表示される指示に従って印刷ジョブを完了します。
10. 印刷が完了したら、[OK]を押します。
11. を押します。

✓ 関連情報

- クラウド接続機能を使って、囲んだ部分をスキャン、コピー、削除する

折りメモ印刷、折りメモスキャン

- 折りメモ印刷、折りメモスキャンとは
- 折りメモ、折りメモケースを印刷する
- 折りメモをスキャンしてアップロードする

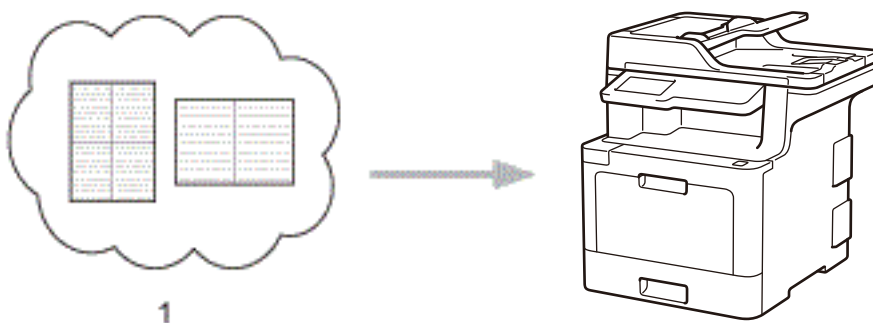
折りメモ印刷、折りメモスキャンとは

折りメモ用紙や折りメモを入れるケースを印刷したり、折りメモをスキャンして1ページごとのJPEGファイルとして保存します。

印刷されたメモ用紙は2つ折りや4つ折りなどにして使ったり、折りメモ用のケースに入れて保管することができます。罫線またはグリッドが印刷されたノートシートに書き込みを行ったあと、シートをスキャンして、ノートをクラウドサービスに保存します。

折りメモ印刷

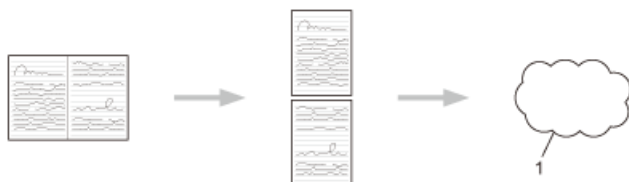
指定した折りメモ用紙や折りメモケースを印刷します。



1. Brother クラウド

折りメモスキャン

折りメモ用紙に手書きでメモを記入した後、スキャンしてJPEGファイルとして保存します。2in1、4in1、8in1タイプの折りメモは1ページごとに別のJPEGファイルで保存されます。



1. Web サービス



折りメモスキャン機能を使う場合は、ブラウザの折りメモ用紙テンプレートを使用してください。

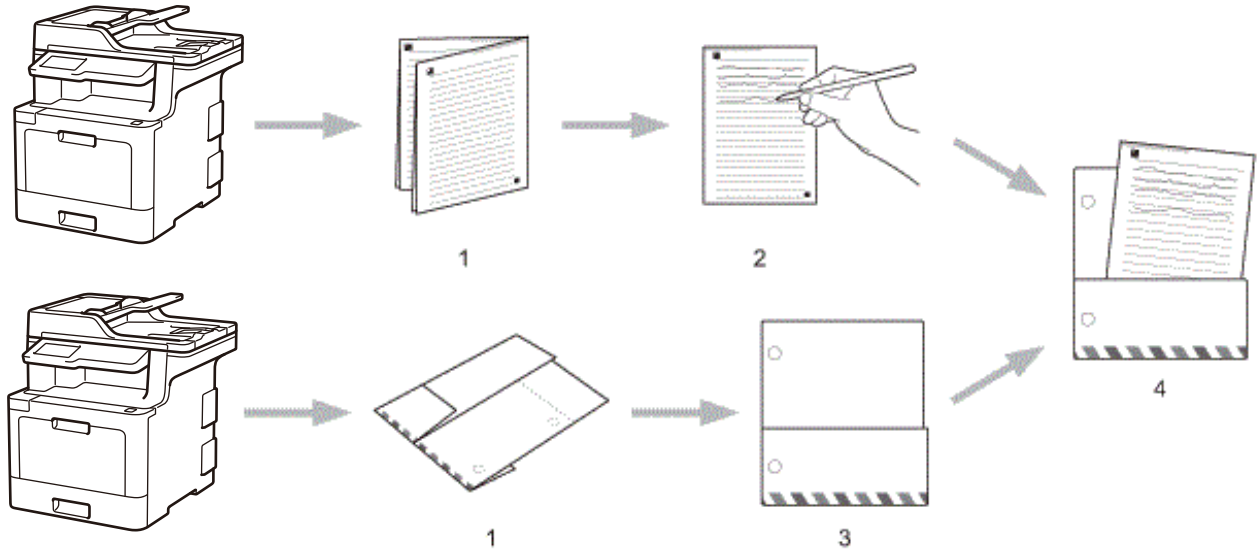
折りメモ用紙テンプレート例

分割なし、罫線	2 in1、ドット方眼紙	4 in1、罫線	8 in1、方眼紙

折りメモケースプレート例



折りメモ用紙と折りメモケースの使いかた



1. テンプレートを印刷して、点線で折ります。
2. 折りメモに書き込みます。
3. 必要に応じて、両端をテープで貼り、折りメモケースにバインダー用の穴を開けます。
4. 後で使用するために、折りメモ用紙を折りメモケースに保存します。

✓ 関連情報

- [折りメモ印刷、折りメモスキャン](#)

折りメモ、折りメモケースを印刷する

1. 上または下にフリックし、[お役立ちツール]を表示します。
2. [お役立ちツール]を押します。



- 本製品の画面にインターネット接続に関する情報が表示された場合、その情報を読んでいただき、[OK]を押します。この情報を再表示する場合は、[はい]を押します。
- クラウド接続機能についての更新やお知らせが、画面に表示されることがあります。表示された情報を読んでいただき、[OK]を押します。

3. [折りメモ]を選択します。
4. [折りメモ & ケースプリント]を押します。




- [折りメモ & ケースプリント]に関する情報が表示されたら、その情報をお読みになり、[OK]を押します。この情報を再表示する場合は、[はい]を押します。

5. [折りメモ印刷]または[折りメモケース印刷]を押します。
6. 使用するカテゴリおよびファイルを選択します。
7. コピー枚数を入力して、[OK]を押します。



- フォルダの印刷後、印刷された用紙を点線に沿って折り、テープなどの接着剤で折った部分を補強します。3穴パンチを使用して、バインダーに合わせたフォルダにすることができます。

8. [OK]を押します。
9. [OK]を押します。
印刷が開始されます。
10. 印刷が終了したら、[OK]を押します。
11. を押します。



関連情報

- [折りメモ印刷、折りメモスキャン](#)

折りメモをスキャンしてアップロードする

折りメモをスキャンして分割し、それぞれ別々の JPEG ファイルにして保存します。

1. 原稿をセットします。
2. 上または下にフリックし、[お役立ちツール]を表示します。
3. [お役立ちツール]を押します。



- 本製品の画面にインターネット接続に関する情報が表示された場合、その情報を読んでいただき、[OK]を押します。この情報を再表示する場合は、[はい]を押します。
- クラウド接続機能についての更新やお知らせが、画面に表示されることがあります。表示された情報を読んでいただき、[OK]を押します。

4. [折りメモ]を選択します。
5. [折りメモスキャン]を押します。
6. [折りメモスキャン]に関する情報が表示されたら、その情報を読んでいただき、[OK]を押します。この情報を再表示する場合は、[はい]を押します。
7. 使用するサービスを選択します。
8. アカウント名を選択します。
9. 画面の指示に従って、この操作を完了します。



関連情報

- [折りメモ印刷、折りメモスキャン](#)

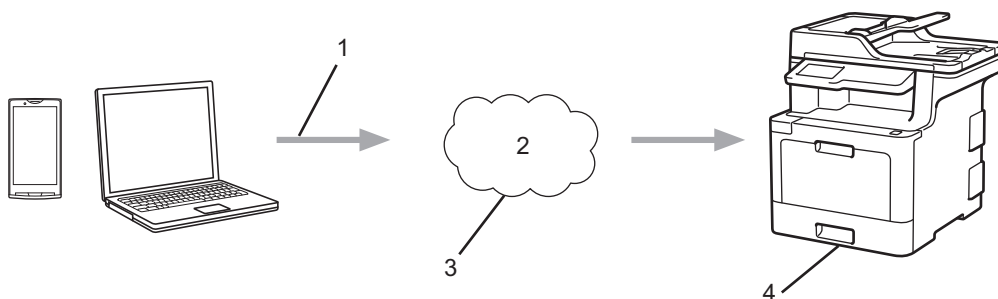
Google クラウドプリント

- Google クラウドプリントの概要
- Google クラウドプリントを使用する前に
- Google Chrome™、または Chrome OS™から印刷する
- モバイル向けの Google Drive™から印刷する
- モバイル向けの Gmail™ウェブメールサービスから印刷する

Google クラウド プリントの概要

Google クラウド プリント™ は、機器にプリンタードライバーをインストールすることなく、ネットワーク端末（携帯電話やパソコンなど）を使用して、Google アカウントに登録されたプリンターで印刷できる Google サービスです。

Android™アプリケーションを使って印刷するためには、Google Play™ストアから Google クラウド プリントアプリケーションをインストールする必要があります。



1. 印刷リクエスト
2. インターネット
3. Google クラウド プリント
4. 印刷

✓ 関連情報

- [Google クラウド プリント](#)

Google クラウド プリントを使用する前に

- Google クラウド プリントを使用するためのネットワーク設定
- Google Chrome™を使用して Google クラウド プリントに本製品を登録する
- ウェブブラウザを使用して Google クラウド プリントに本製品を登録する

▲ [ホーム](#) > [モバイル/ウェブ接続](#) > [Google クラウド プリント](#) > [Google クラウド プリントを使用する前に](#) > [Google クラウド プリントを使用するためのネットワーク設定](#)

Google クラウド プリントを使用するためのネットワーク設定

Google クラウド プリントを使うには、お使いのブラザー製品が、有線または無線接続でインターネットにアクセスしている必要があります。お使いのブラザー製品を正しく接続し、設定するには、[かんたん設置ガイド](#)をご覧ください。または本ガイドの関連するトピックをご覧ください。

✓ 関連情報

- [Google クラウド プリントを使用する前に](#)
 - [Google クラウド プリントの問題](#)
-

Google Chrome™を使用して Google クラウド プリントに本製品を登録する

Google アカウントをすでに作成していることを確認します。アカウントをお持ちでない場合は、パソコンまたは携帯端末を使用して Google のウェブサイト (<https://accounts.google.com/signup>) にアクセスし、アカウントを作成します。

登録作業を始める前に、本ブラザー製品が待ち受け状態になっていることを確認してください。



ここで説明している手順は、Windows ユーザー向けの参考例です。
お使いの OS や環境によって、実際の画面と異なることがあります。

1. パソコンで Google Chrome™を開きます。
2. Google アカウントにサインインします。
3. Google Chrome™のメニューアイコンをクリックし、**設定 > 詳細設定を表示**をクリックします。
4. **Google クラウド プリント**の項目で、**管理**をクリックします。
5. 画面の指示に従ってお使いの製品を登録します。
6. お使いの製品で確認メッセージが表示されたら、OK ボタンを押します。



お使いの製品の画面に確認メッセージが表示されない場合は、これらの手順を繰り返してください。

7. 製品が正常に登録されると、**マイ デバイス**の項目にお使いの製品が表示されます。



関連情報


- [Google クラウド プリントを使用する前に](#)


ウェブブラウザを使用して Google クラウド プリントに本製品を登録する

Google™ アカウントを作成済みであることを確認してください。アカウントをお持ちでない場合は、パソコンまたは携帯端末を使用して Google™ のウェブサイト (<https://accounts.google.com/signup>) にアクセスし、アカウントを作成します。


登録作業を始める前に、本ブラウザ製品が待ち受け画面になっていることを確認してください。

本製品の登録を開始する前に、本製品の日時が正しく設定されていることを確認します。

1. 本ブラウザ製品が、お使いのパソコンまたは携帯端末と同一のネットワークに接続していることを確認してください。
2. ウェブブラウザを起動します。
3. ブラウザーのアドレスバーに「http://製品の IP アドレス」を入力します(「製品の IP アドレス」には本製品の IP アドレスを入力します)。例：
http://192.168.1.2
4. お買い上げ時はパスワードは必要ありません。パスワードを設定している場合はパスワードを入力し、 をクリックします。
5. **ネットワーク**タブをクリックします。
6. 左ナビゲーションバーの**プロトコル**メニューをクリックします。
7. **Google クラウド プリント**が選択されていることを確認し、**詳細設定**をクリックします。
8. **状態が有効**に設定されていることを確認します。**登録**をクリックします。
9. 画面の指示に従って本製品を登録します。
10. 本製品に確認メッセージが表示されたら、OK ボタンを押します。

 本製品の画面に確認メッセージが表示されない場合は、これらの手順を繰り返してください。

11. **Google** をクリックします。
12. Google クラウド プリントのサインイン画面が表示されます。Google™ アカウントでサインインし、画面の指示に従って本製品を登録します。
13. 本製品の登録が完了したら、ウェブブラウザによる設定画面に戻り、**登録状態が登録済み**に設定されていることを確認します。

 お使いの製品が、セキュリティ機能ロックを使用して各ユーザーの PC プリントを制限している場合でも、Google クラウド プリントを利用して印刷することができます。Google クラウド プリントでの印刷を無効にしたい場合は、ウェブブラウザを使用して Google クラウド プリントを無効にするか、セキュリティ機能ロックを一般モードに設定して、一般モードユーザーの PC プリントを制限するかしてください。関連情報をご覧ください。

✓ 関連情報

- [Google クラウド プリントを使用する前に](#)
- [セキュリティ機能ロック 3.0 のパブリックモードを設定する](#)


Google Chrome™、または Chrome OS™ から印刷する

1. 本ブラザー製品の電源が入っていることを確認します。
2. 印刷したいウェブページを開きます。
3. Google Chrome™ のメニューアイコンをクリックします。
4. **印刷**をクリックします。
5. プリンター一覧からお使いの製品を選択します。
6. 必要に応じて印刷オプションを変更します。
7. **印刷**をクリックします。

✓ 関連情報

- [Google クラウド プrint](#)

モバイル向けの Google Drive™ から印刷する

1. 本ブラザー製品の電源が入っていることを確認します。
2. お使いの Android™ 機器、または Apple 機器のウェブブラウザから Google Drive™ にアクセスします。
3. 印刷したい文書を開きます。
4. メニューアイコンをタップします。
5. **印刷**をタップします。
6. プリンター一覧からお使いの製品を選択します。
7. 必要に応じて印刷オプションを変更します。
8.  または **印刷**をタップします。

関連情報


- [Google クラウド プリント](#)

モバイル向けの Gmail™ウェブメールサービスから印刷する

1. 本ブラザー製品の電源が入っていることを確認します。
2. お使いの Android™機器、または Apple 機器のウェブブラウザから Gmail™ウェブメールサービスにアクセスします。
3. 印刷したい E メールを開きます。
4. メニューアイコンをタップします。



添付ファイル名のそばに**印刷**と表示されている場合は、添付ファイルを印刷することができます。**印刷**をタップし、お使いの携帯端末の指示に従います。

5. **印刷**をタップします。
6. プリンター一覧からお使いの製品を選択します。
7. 必要に応じて印刷オプションを変更します。
8.  または **印刷**をタップします。



関連情報

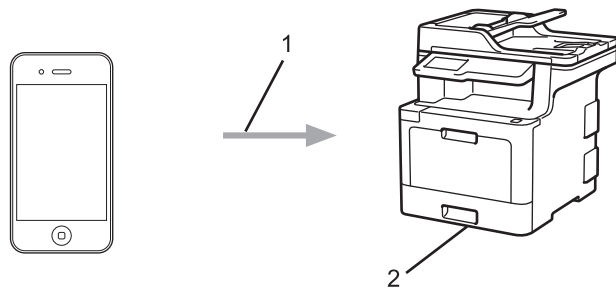
- [Google クラウド プリント](#)

AirPrint

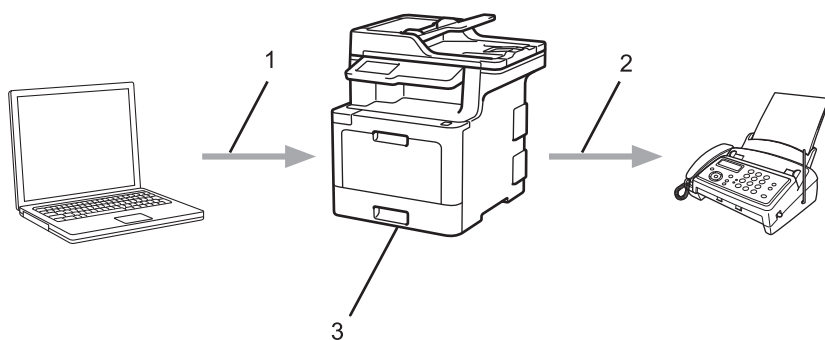
- [AirPrint の概要](#)
- [はじめに](#)
- [AirPrint を使用して印刷する](#)
- [AirPrint を使ってスキャンする](#)
- [AirPrint を使ってファクスを送信する \(MFC モデルのみ\)](#)

AirPrint の概要

Brother AirPrint を使用して、写真、Eメール、ウェブページ、および文書を、プリンタードライバーをインストールせずに、iPad、iPhone、iPod touch から無線で印刷します。



1. 印刷要求
 2. 印刷された写真、Eメール、ウェブページ、および文書
- AirPrint を使用すると、Mac コンピューターから直接、原稿を印刷せずにファクス送信することもできます。



1. 有線 LAN または無線ネットワーク
 2. 電話回線
 3. 本製品
- AirPrint では、ドライバーをインストールせずに、スキャンした文書を Mac コンピューターへ送信することもできます。

✓ 関連情報

- [AirPrint](#)
- [AirPrint の問題](#)


はじめに

- AirPrint を使用するためのネットワーク設定
- ウェブブラウザによる設定で無効または有効にする

AirPrint を使用するためのネットワーク設定

AirPrint を使用するためには、お使いの携帯端末をブラザー製品が接続されている無線ネットワークに接続する必要があります。AirPrint は、インフラストラクチャモードまたは Wi-Fi Direct[®] を用いた無線接続に対応しています。

携帯端末の無線ネットワーク設定については、お使いの携帯端末のユーザーズガイドを参照してください。

Safari 内の  をタップすることで、Apple 社のウェブサイトでお使いの携帯端末のユーザーズガイドにアクセスすることができます。

お使いのブラザー製品の無線ネットワーク設定については、かんたん設置ガイドをご覧ください。または本ガイドの関連するトピックをご覧ください。お使いの製品が有線 LAN に対応している場合は、ネットワークケーブルを無線 LAN アクセスポイントまたはルーターに接続して使用することもできます。


お使いのブラザー製品が Wi-Fi Direct[®] に対応していて、Wi-Fi Direct[®] ネットワーク用に設定をしたい場合は、本ガイドの関連するトピックをご覧ください。

✓ 関連情報

- [はじめに](#)

ウェブブラウザによる設定で無効または有効にする

本製品が、お使いのパソコンと同一のネットワークに接続されていることを確認します。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「http://製品の IP アドレス」を入力します(「製品の IP アドレス」には本製品の IP アドレスを入力します)。例：
http://192.168.1.2
3. お買い上げ時はパスワードは必要ありません。パスワードを設定している場合はパスワードを入力し、をクリックします。
4. **ネットワーク**タブをクリックします。
5. 左ナビゲーションバーの**プロトコル**メニューをクリックします。
6. AirPrint を無効にするには、**AirPrint** チェックボックスの選択を外します。AirPrint を有効にするには、**AirPrint** チェックボックスを選択します。



お買い上げ時の設定では、AirPrint は有効です。

7. **OK** をクリックします。
8. 製品を再起動して、設定を有効にします。

関連情報



- [はじめに](#)

AirPrint を使用して印刷する

- iPad、iPhone、または iPod Touch から印刷する
- AirPrint を使用して印刷を行う前に (macOS)
- AirPrint を使用して印刷を行う (macOS)

iPad、iPhone、または iPod Touch から印刷する

印刷の手順は、アプリケーションによって異なります。ここでは、Safari で閲覧しているウェブページの印刷手順を例にして説明します。

1. 本製品の電源が入っていることを確認します。
2. Safari で印刷したいウェブページを開きます。
3.  または  をタップします。
4. **プリント** をタップします。
5. 本製品が選択されていることを確認します。
6. 別の製品が選択されている場合や、プリンターが選択されていない場合は、**プリンタ** をタップします。利用可能な製品の一覧が表示されます。
7. 一覧から本製品をタップします。
8. 印刷枚数や両面印刷（本製品が対応している場合）などを必要に応じて設定します。
9. **プリント** をタップします。

関連情報

- [AirPrint を使用して印刷する](#)

AirPrint を使用して印刷を行う前に (macOS)

macOS を使用して印刷を行う前に、本製品を Mac のプリンターリストへ追加してください。

1. アップルメニューから**システム環境設定**を選びます。
2. **プリンタとスキャナ**をクリックします。
3. 画面左側のプリンターリストの下にある **+ アイコン**をクリックします。
4. **プリンタまたはスキャナを追加…**をクリックします。**追加画面**が表示されます。
5. 本製品を選び、**AirPrint** のポップアップメニューから**ドライバ**を選びます。
6. **追加**をクリックします。

✓ 関連情報

- [AirPrint を使用して印刷する](#)

AirPrint を使用して印刷を行う (macOS)

印刷の手順は、アプリケーションによって異なります。ここでは、Safari で閲覧しているウェブページの印刷手順を例にして説明します。印刷する前に、Mac のプリンターリストに本製品が追加されていることを確認してください。

1. 本製品の電源が入っていることを確認します。
2. Mac の Safari で印刷したいウェブページを開きます。
3. **ファイル** をクリックして、**プリント** を選択します。
4. 本製品が選択されていることを確認します。別の製品が選択されている場合や、プリンターが選択されていない場合は、**プリンタ** のポップアップメニューをクリックし、本製品を選択します。
5. 印刷枚数や両面印刷（本製品が対応している場合）などを必要に応じて設定します。
6. **プリント** をクリックします。

✓ 関連情報

- [AirPrint を使用して印刷する](#)

AirPrint を使ってスキャンする

- AirPrint を使用してスキャンを行う前に (macOS)
- AirPrint を使用してスキャンを行う (macOS)

AirPrint を使用してスキャンを行う前に (macOS)

macOS を使用してスキャンを行う前に、本製品を Mac コンピューターのスキャナーリストへ追加してください。

1. アップルメニューから**システム環境設定**を選びます。
2. **プリンタとスキャナ**をクリックします。
3. 画面左側のスキャナーリストの下にある + アイコンをクリックします。
4. **プリンタまたはスキャナを追加…**をクリックします。
追加画面が表示されます。
5. 本製品を選び、**ドライバ**のポップアップメニューから **AirPrint** を選びます。
6. **追加**をクリックします。

✓ 関連情報

- [AirPrint を使ってスキャンする](#)

AirPrint を使用してスキャンを行う (macOS)

スキャンする前に、Mac のプリンターリストに本製品が追加されていることを確認してください。

1. 原稿をセットします。
2. アップルメニューから**システム環境設定**を選びます。
3. **プリンタとスキャナ**をクリックします。
4. スキャナーリストから本製品を選択します。
5. **スキャンタブ**をクリックし、**スキャナを開く…**ボタンをクリックします。
スキャナー画面が表示されます
6. ADF (自動原稿送り装置) に原稿をセットした場合は、**書類フィーダを使用**チェックボックスを選択し、ポップアップメニューからスキャンサイズを選択します。
7. ポップアップメニューから保存先フォルダーまたはアプリケーションを選択します。
8. 必要に応じて、**詳細情報を表示**をクリックし、スキャン設定を変更します。
原稿台ガラスからスキャンした場合は、スキャンしたい部分にマウスポインタをドラッグして、画像をトリミングすることができます。
9. **スキャン**をクリックします。

✓ 関連情報

- [AirPrint を使ってスキャンする](#)

AirPrint を使ってファクスを送信する (MFC モデルのみ)

- AirPrint を使用してファクス送信を行う前に (macOS)
- AirPrint を使用してファクス送信を行う (macOS)

AirPrint を使用してファクス送信を行う前に (macOS)

ファクスを送る前に、本製品を Mac プリンターリストに追加しておきます。本製品に電話回線が接続され、正常に使用できることを確認してください。

1. アップルメニューから**システム環境設定**を選びます。
2. **プリンタとスキャナ**をクリックします。
3. 画面左側のプリンターリストの下にある **+** アイコンをクリックします。
4. **プリンタまたはスキャナを追加...**をクリックします。追加画面が表示されます。
5. 本製品を選び、**AirPrint** のポップアップメニューから**ドライバ**を選びます。
6. **追加**をクリックします。

✓ 関連情報

- [AirPrint を使ってファクスを送信する \(MFC モデルのみ\)](#)

AirPrint を使用してファクス送信を行う (macOS)

お使いの製品が Mac のプリンター一覧に含まれていることを確認してください。以下の手順は、テキストエディットを例にして説明しています。



- AirPrint はモノクロのファクス原稿にのみ対応しています。

1. 本製品の電源が入っていることを確認します。
2. Mac 上で、ファクスとして送信したいファイルを開きます。
3. **ファイル**をクリックして、**プリント**を選択します。
4. **プリンタ**のポップアップメニューをクリックし、**Brother MFC-XXXX - Fax** (XXXX は、お使いの製品のモデル名)を選択します。
5. 宛先などのファクス情報を入力します。
6. **ファクス**をクリックします。

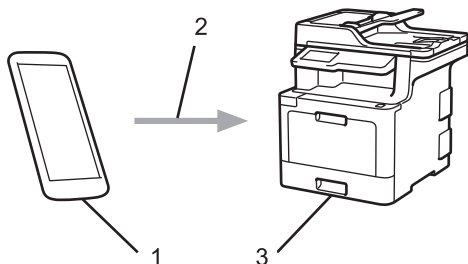


関連情報

- [AirPrint を使ってファクスを送信する \(MFC モデルのみ\)](#)

Windows®用モバイルプリント

Windows®用モバイルプリントは、お持ちの Windows®の携帯端末からワイヤレスで印刷することができる機能です。ブラザー製品が接続されているネットワークに接続し、携帯端末にプリンタードライバーをインストールすることなく印刷することができます。この機能は多くの Windows®アプリでサポートされています。



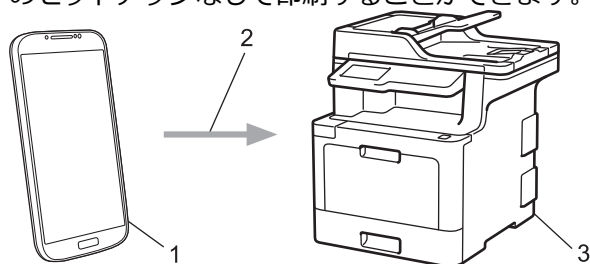
1. Windows®の携帯端末（Windows® 10 Mobile 以降）
2. Wi-Fi®接続
3. 本ブラザー製品

✓ 関連情報

- [モバイル/ウェブ接続](#)

Mopria® Print Service

Mopria® Print Service は、Android™ 携帯端末 (Android™ バージョン 4.4 以降) の印刷サービスであり、Mopria® Alliance 社により開発されました。このサービスを使用すると、本製品と同一のネットワークに接続して、追加のセットアップなしで印刷することができます。多くのネイティブ Android™ アプリが、印刷に対応しています。



1. Android™ 4.4 以降
2. Wi-Fi®接続
3. 本製品

Google Play™ストアから Mopria® Print Service をダウンロードし、お使いの Android™機器にインストールする必要があります。本サービスをお使いになる前にアプリを起動してください。

✓ 関連情報

- [モバイル/ウェブ接続](#)

Brother iPrint&Scan

Brother iPrint&Scan を使用して、さまざまな携帯端末から印刷とスキャンを行います。

- Android™ 機器の場合

Brother iPrint&Scan を使用すると、お使いの Android™ 機器から本製品の機能を直接使用することができます。パソコンは必要ありません。

Google Play™ ストアアプリから、Brother iPrint&Scan をダウンロードして、インストールします。

- Apple 機器の場合

Brother iPrint&Scan を使用すると、お使いの Apple 機器から本製品の機能を直接使用することができます。

App Store から、Brother iPrint&Scan をダウンロードして、インストールします。

- Windows® 機器の場合

Brother iPrint&Scan を使用すると、お使いの Windows® 機器から本製品の機能を直接使用することができます。パソコンは必要ありません。

Microsoft® Store から、Brother iPrint&Scan をダウンロードして、インストールします。

詳しい説明はモバイルプリント&スキャンガイド *Brother iPrint&Scan* 用をご覧ください。サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（support.brother.co.jp）にアクセスし、お使いのモデルの**製品マニュアル**ページを参照します。

✓ 関連情報

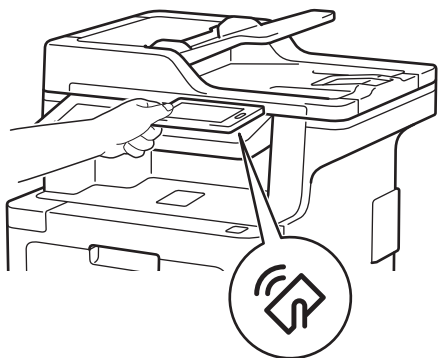
- [モバイル/ウェブ接続](#)

近距離無線通信 (NFC)

関連モデル: MFC-L9570CDW

近距離無線通信 (NFC) を使用すると、至近距離にある 2 つの機器間で、簡単な処理、データ交換、および無線通信を行うことができます。

お使いの Android™ 機器が NFC に対応している場合、本製品の操作パネルの NFC タッチ部分に機器をタッチすると、データ (写真、PDF ファイル、テキストファイル、ウェブページ、E メールメッセージ) の印刷や、スキャンした写真や文書の機器への送信を行うことができます。




この機能を使用するには、お使いの Android™ 機器に Brother iPrint&Scan をダウンロードしてインストールする必要があります。詳しい説明はモバイルプリント&スキャンガイド *Brother iPrint&Scan* 用をご覧ください。サポートサイト (ブラザーソリューションセンター) (support.brother.co.jp) にアクセスし、お使いのモデルの製品マニュアルページを参照します。

✓ 関連情報

- [モバイル/ウェブ接続](#)
- [外付け IC カードリーダーに登録する](#)

外付け IC カードリーダーに登録する

外付け IC カードリーダーを接続する場合、ウェブブラウザでカードリーダーに登録してください。本製品は外付け IC カードリーダーに対応する HID クラスのドライバーをサポートしています。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「http://製品の IP アドレス」を入力します(「製品の IP アドレス」には本製品の IP アドレスを入力します)。例：
http://192.168.1.2
3. お買い上げ時はパスワードは必要ありません。パスワードを設定している場合はパスワードを入力し、をクリックします。
4. **管理者設定**タブをクリックします。
5. **外付けカードリーダー**メニューをクリックして、必要な情報を入力します。
6. **OK** をクリックします。
7. 本ブラウザ製品を再起動して、設定を有効にします。

関連情報

- [近距離無線通信 \(NFC\)](#)

ControlCenter

本製品の ControlCenter ソフトウェアを使用して、頻繁に使用するアプリケーションに簡単にアクセスできます。ControlCenter を使えば、特定のアプリケーションを直接起動することが可能です。

- [ControlCenter4 \(Windows®\)](#)
- [ControlCenter2 \(Mac\)](#)

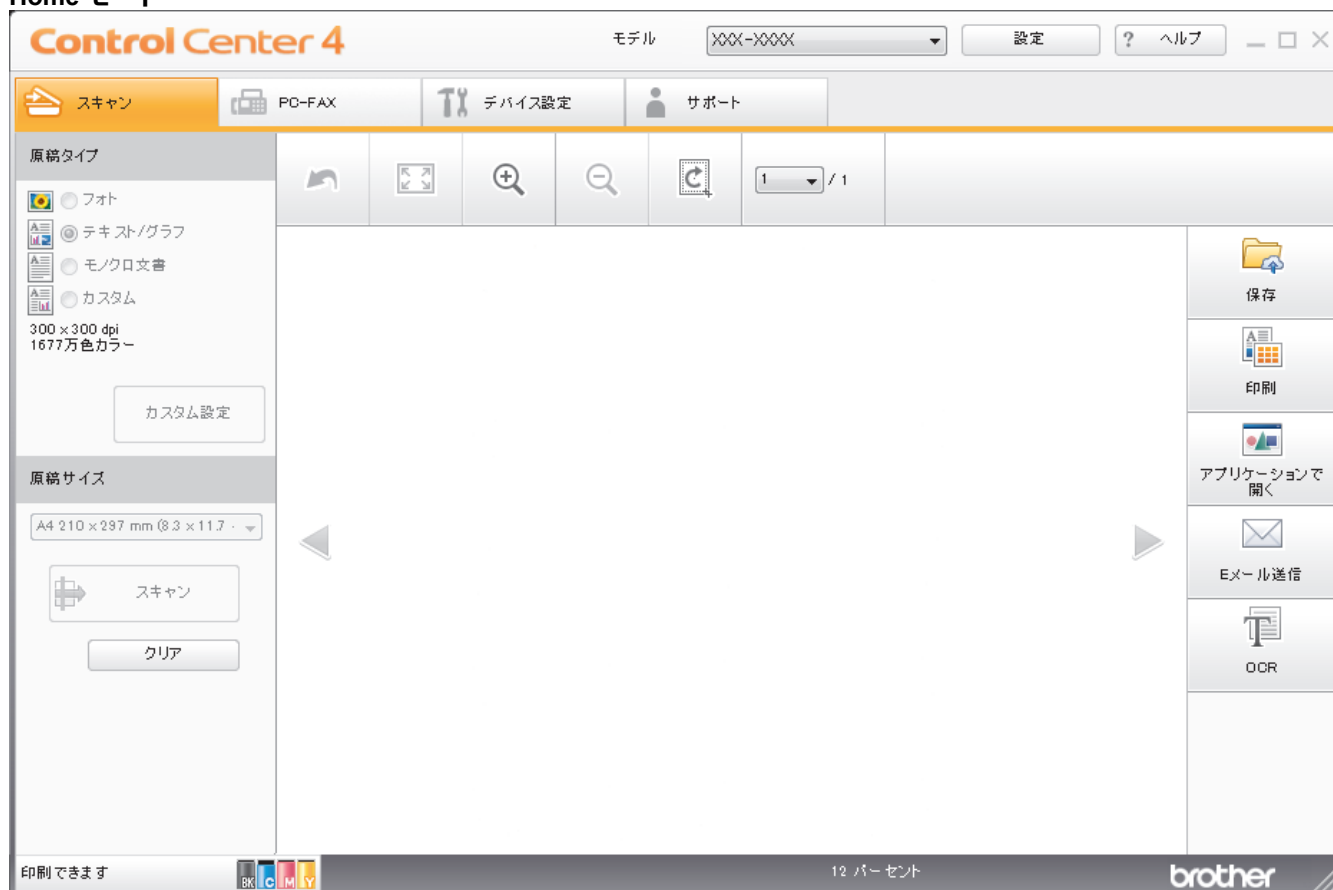
ControlCenter4 (Windows®)

- ControlCenter4 の操作モードを変更する(Windows®)
- ControlCenter4 Home モードを使ってスキャンする (Windows®)
- ControlCenter4 Advanced モードを使ってスキャンする (Windows®)
- ControlCenter4 を使って本製品のセットアップを行う (Windows®)
- ControlCenter4 Advanced モードを使用してカスタムタブを作成する (Windows®)

ControlCenter4 の操作モードを変更する(Windows®)

ControlCenter4 には、Home モードおよび Advanced モードの、2つの操作モードがあります。モードはいつでも変更可能です。

Home モード



Advanced モード




- Home モード

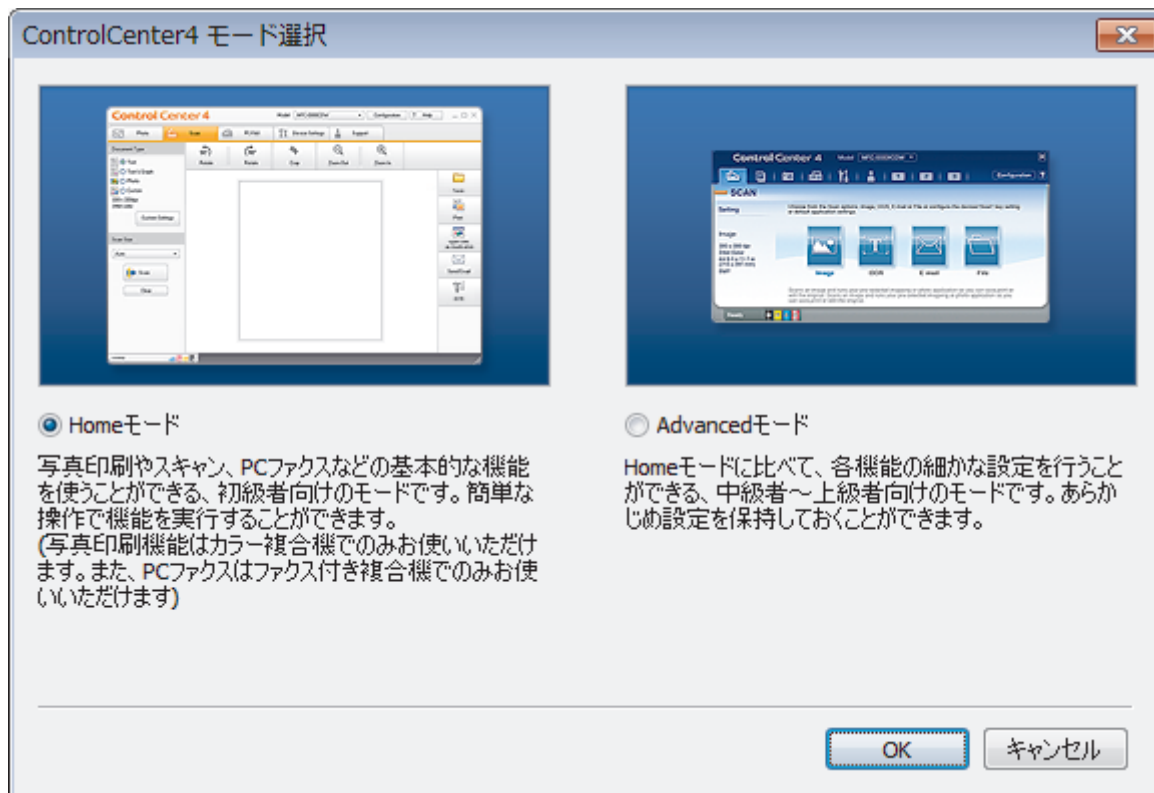
ControlCenter4 Home モードから、本製品の主要な機能を操作することが可能です。

- **Advanced モード**

ControlCenter4 Advanced モードでは、本製品のより詳細な機能进行操作して、ワンタッチのスキャン操作に変更することができます。

操作モードを変更するには：

1. タスクトレイの  (**ControlCenter4**) アイコンをクリックし、**開く**を選択します。
2. **設定**ボタンをクリックし、**モード選択**を選択します。
3. モード選択ダイアログボックスが表示されます。**Home モード**または **Advanced モード**のどちらかを選択します。



4. **OK** をクリックします。

✓ 関連情報

- [ControlCenter4 \(Windows®\)](#)

ControlCenter4 Home モードを使ってスキャンする (Windows®)

ControlCenter4 Home モードから、本製品の主要な機能を実行できます。

- ControlCenter4 Home モードのスキャン (Windows®)
- ControlCenter4 Home モードを使ってスキャンしたデータを PDF ファイルとして保存する(Windows®)
- ControlCenter4 Home モードを使って、両面原稿をスキャンする(Windows®)
- ControlCenter4 Home モードのスキャン設定 (Windows®)

ControlCenter4 Advanced モードを使ってスキャンする (Windows®)


ControlCenter4 Advanced モードでは、本製品のより詳細な機能を操作して、ワンタッチのスキャン操作に変更することができます。

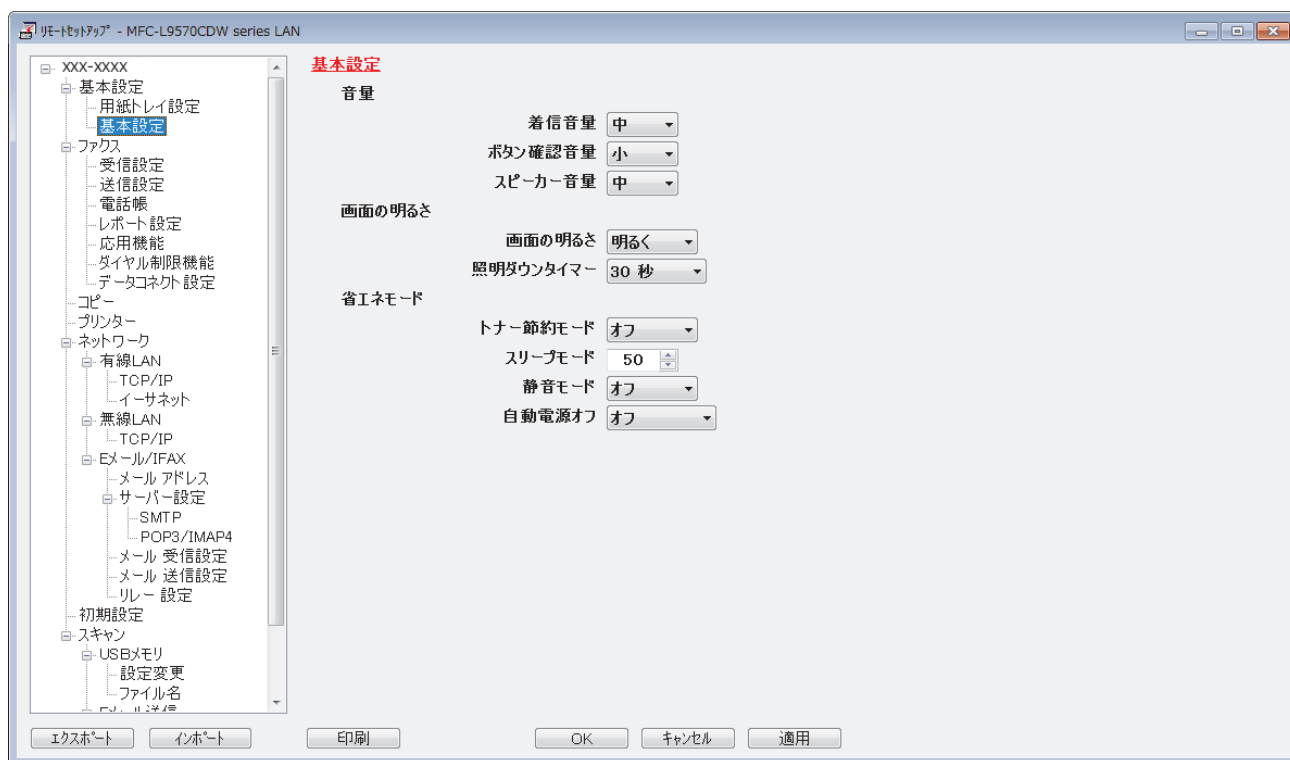
- ControlCenter4 Advanced モードを使って、写真やグラフィックをスキャンする (Windows®)
- ControlCenter4 Advanced モード (Windows®) を使用して、スキャンデータを PDF ファイルとしてフォルダーに保存する
- ControlCenter4 Advanced モードを使って、両面原稿をスキャンする (Windows®)
- ControlCenter4 Advanced モードを使って、ID カードの両面をスキャンする (Windows®)
- ControlCenter4 Advanced モードを使用したスキャン to E メール添付 (Windows®)
- ControlCenter4 詳細モード (Windows®) を使用したスキャン to 編集可能テキストファイル (OCR)
- ControlCenter4 Advanced モードのスキャン設定 (Windows®)

ControlCenter4 を使って本製品のセットアップを行う (Windows®)



セキュリティ機能ロックがオンに設定されている場合、リモートセットアップは使用できません。

1. タスクトレイの  (ControlCenter4)アイコンをクリックし、**開く**をクリックします。
2. **デバイス設定**タブをクリックします。
3. **リモートセットアップ**ボタンをクリックします。
4. 必要に応じて設定を行います。



エクスポート

クリックすると、現在の設定をファイルに保存します。



エクスポートをクリックすると、本製品のアドレス帳または本製品のすべての設定値の保存ができます。

インポート

クリックしてファイルをインポートし、設定値を読み込みます。

印刷

クリックすると、選択した項目の設定を印刷します。ただし、データが本製品に送信されるまでは、印刷できません。**適用**をクリックして、新しいデータを本製品に送信してから、**印刷**をクリックしてください。

OK

クリックすると、本製品へデータを送信し、リモートセットアップを終了します。エラーメッセージが表示された場合は、正しいデータを再度入力し、**OK**をクリックします。

キャンセル

クリックすると、設定内容を本製品へ送信せずに、リモートセットアップを終了します。

適用

クリックすると、設定内容を本製品へ送信します。

5. **OK** をクリックします。

-
- お使いのパソコンがファイアウォールにより保護されているためリモートセットアップが使用できない場合は、ファイアウォールの設定をポート番号 137 および 161 経由の通信を許可するよう変更してください。
 - Windows® ファイアウォールを使用し、ブラザーソフトウェアおよびドライバーをインストールディスクからインストールした場合は、必要なファイアウォールはすでに設定されています。


関連情報

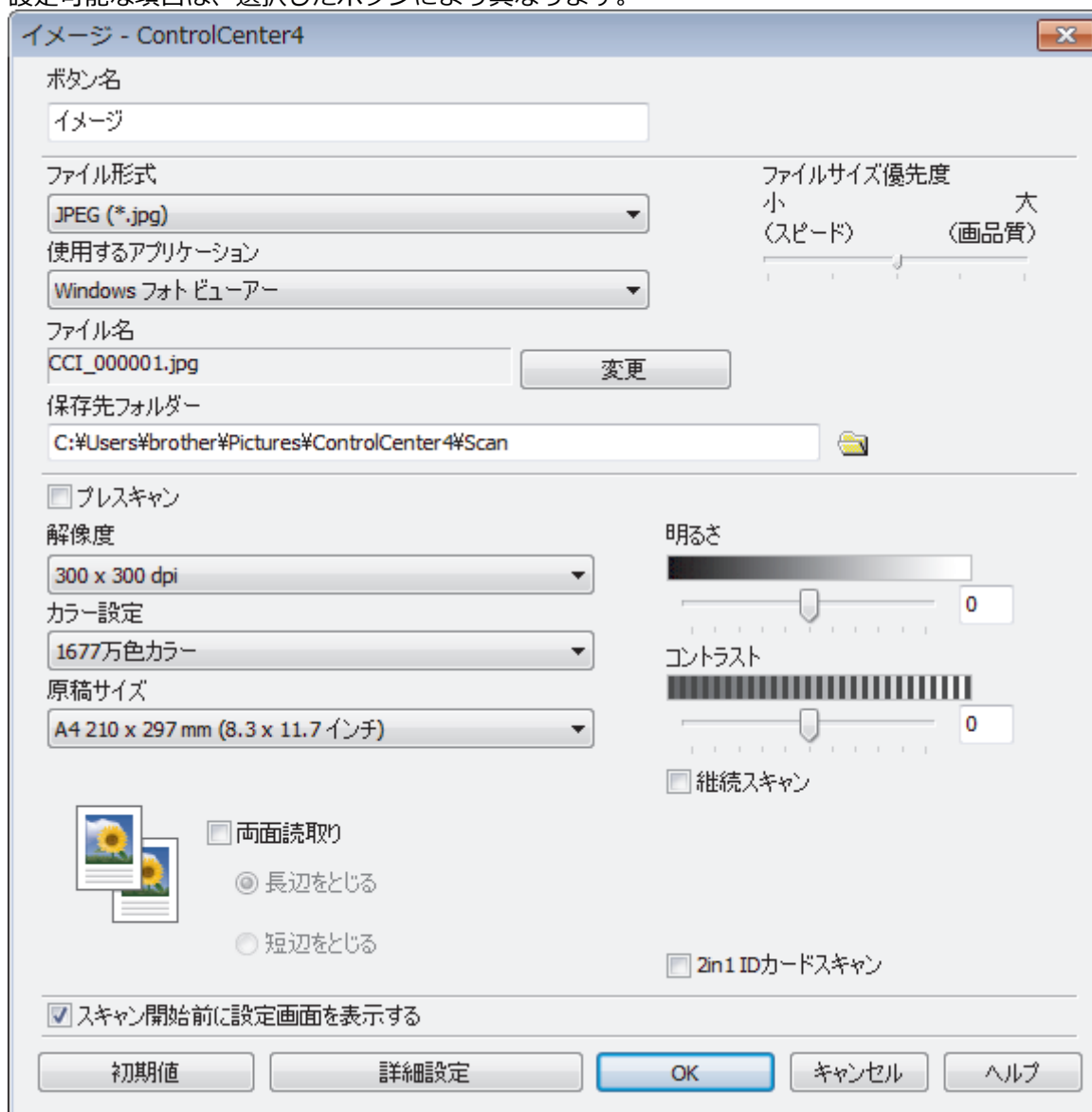
- [ControlCenter4 \(Windows®\)](#)
 - [リモートセットアップ\(Windows®\)](#)
-


ControlCenter4 Advanced モードを使用してカスタムタブを作成する (Windows®)

最大 3 個のタブをカスタマイズでき、各タブには、最大 5 個のカスタマイズしたボタンと設定を表示できます。

ControlCenter4 のモード設定で **Advanced モード** を選択します。

1. タスクトレイの  (ControlCenter4) アイコンをクリックし、**開く** をクリックします。
2. **設定** ボタンをクリックして、**カスタムタブの作成** を選択します。
カスタムタブが作成されます。
3. カスタムタブの名称を変更するには、カスタムタブを右クリックし、**カスタムタブの名前変更** を選択します。
4. **設定** をクリックして、**カスタムボタンの作成** を選択し、作成するボタンを選択します。
設定値のダイアログボックスが表示されます。
5. 必要に応じて、ボタン名を入力して設定を変更します。**OK** をクリックします。
設定可能な項目は、選択したボタンにより異なります。



 作成したタブ、ボタン、設定を変更または削除できます。**設定** ボタンをクリックして、操作してください。



関連情報

- [ControlCenter4 \(Windows®\)](#)

ControlCenter2 (Mac)


- [ControlCenter2 を使ってスキャンする\(Mac\)](#)
- [ControlCenter2 を使って本製品のセットアップを行う \(Mac\)](#)


ControlCenter2 を使ってスキャンする(Mac)

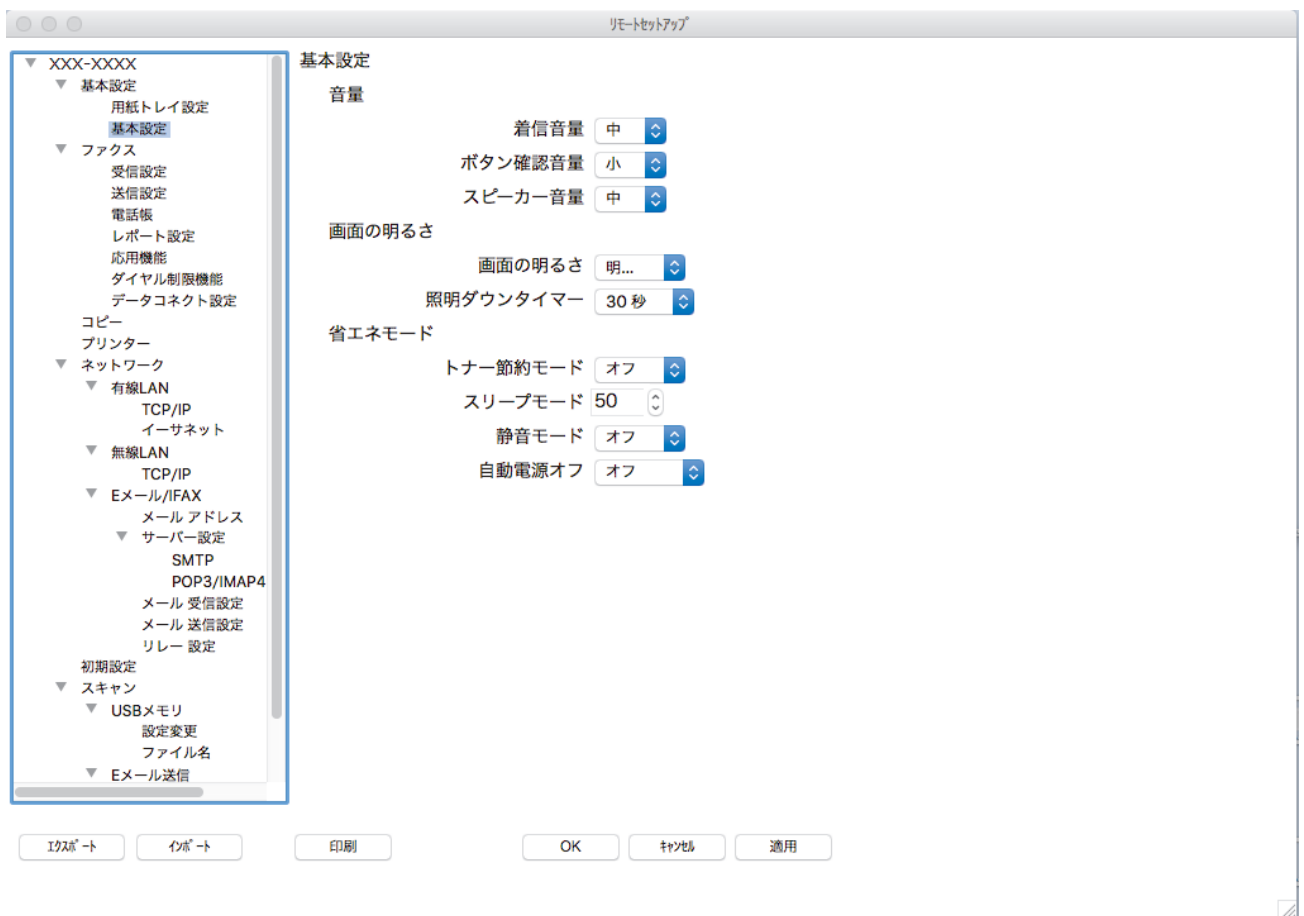
本製品の ControlCenter ソフトウェアを使って写真や原稿をスキャンし、JPEG、PDF、その他のファイル形式で保存します。

- [ControlCenter2 を使ってスキャンする\(Mac\)](#)
- [ControlCenter2 を使って、スキャンしたデータを PDF ファイルとして保存する\(Mac\)](#)
- [ControlCenter2 を使って、両面原稿をスキャンする\(Mac\)](#)
- [ControlCenter2 を使って、ID カードの両面をスキャンする \(Mac\)](#)
- [ControlCenter2 \(Mac\) を使用したスキャン to E メール添付](#)
- [ControlCenter2 を使用したスキャン to 編集可能テキストファイル \(OCR\) \(Mac\)](#)
- [ControlCenter2 のスキャン設定 \(Mac\)](#)

ControlCenter2 を使って本製品のセットアップを行う (Mac)

 セキュリティ機能ロックがオンに設定されている場合、リモートセットアップは使用できません。


1. Finder メニューバーで **移動 > アプリケーション > Brother** をクリックし、 (ControlCenter) アイコンをダブルクリックします。
ControlCenter2 画面が表示されます。
2. **デバイス設定** タブをクリックします。
3. **リモートセットアップ** ボタンをクリックします。
リモートセットアップの画面が表示されます。



4. 必要に応じて設定を行います。

エクスポート

クリックすると、現在の設定をファイルに保存します。

 **エクスポート** をクリックすると、本製品の電話帳または本製品のすべての設定値の保存ができます。

インポート

クリックしてファイルをインポートし、設定値を読み込みます。

印刷

クリックすると、選択した項目の設定を印刷します。ただし、データが本製品に送信されるまでは、印刷できません。**適用** をクリックして、新しいデータを本製品に送信してから、**印刷** をクリックします。

OK

クリックすると、本製品へデータを送信し、リモートセットアップを終了します。エラーメッセージが表示された場合は、正しいデータを再度入力し、**OK** をクリックします。

キャンセル

クリックすると、設定内容を本製品へ送信せずに、リモートセットアップを終了します。

適用

クリックすると、設定内容を本製品へ送信します。

5. 設定が完了したら、**OK** をクリックします。



関連情報

- [ControlCenter2 \(Mac\)](#)
 - [リモートセットアップ\(Mac\)](#)
-

パソコンを使用して製品の設定を変更する

- ウェブブラウザを使用して製品の設定を変更する
- リモートセットアップ
- 本製品のネットワーク設定はどこを確認すればいいですか？
- ネットワーク管理ソフトウェアおよびユーティリティ

ウェブブラウザを使用して製品の設定を変更する

ウェブブラウザによる設定は、ハイパーテキスト転送プロトコル（HTTP）またはセキュアソケットレイヤー上のハイパーテキスト転送プロトコル（HTTPS）を使用して本製品を管理するために標準的なウェブブラウザを使用します。

- ウェブブラウザによる設定とは
- ウェブブラウザによる設定画面にアクセスする
- ウェブブラウザによる設定画面のログインパスワードを設定する
- ネットワーク管理ソフトウェアおよびユーティリティ

▲ ホーム > パソコンを使用して製品の設定を変更する > ウェブブラウザを使用して製品の設定を変更する > ウェブブラウザによる設定とは

ウェブブラウザによる設定とは

ウェブブラウザによる設定は、ハイパーテキスト転送プロトコル（HTTP）またはセキュアソケットレイヤー上のハイパーテキスト転送プロトコル（HTTPS）を使用して本製品を管理するために標準的なウェブブラウザを使用します。ご使用のウェブブラウザに本製品の IP アドレスを入力して、プリントサーバーの設定値の表示や変更を行います。



- Windows®の場合は、Microsoft®Internet Explorer® 11 を、Mac の場合は、Safari 9 のブラウザのご使用をお勧めします。どのウェブブラウザの場合も、JavaScript および CSS を有効にして使用してください。
- ネットワーク上で TCP/IP プロトコルを使用する必要があり、プリントサーバーとパソコンに有効な IP アドレスがプログラムされている必要があります。

- 実際の画面は、上記に示した画面とは異なる場合があります。

✓ 関連情報

- ウェブブラウザを使用して製品の設定を変更する

ウェブブラウザによる設定画面にアクセスする

- ウェブブラウザを使用して設定する場合、HTTPS のセキュリティプロトコルをご使用になることをお勧めします。
- ウェブブラウザによる設定で HTTPS を使用する場合、お使いのブラウザには警告のダイアログボックスが表示されます。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「http://製品の IP アドレス」を入力します(「製品の IP アドレス」には本製品の IP アドレスを入力します)。

例：

http://192.168.1.2



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

- 例：

http://SharedPrinter


NetBIOS 名を有効にしている場合、ノード名も使用できます。

- 例：

http://brnxxxxxxxxxxxxx

NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

- Mac の場合、**ステータスマニター**画面に表示される本製品アイコンをクリックして、ウェブブラウザ経由でアクセスします。

3. お買い上げ時はパスワードは必要ありません。パスワードを設定している場合はパスワードを入力し、をクリックします。

以上でプリントサーバーの設定を変更する準備が整いました。

プロトコル設定を変更する場合、**OK** をクリックして設定を有効化した後、本製品を再起動する必要があります。



関連情報

- [ウェブブラウザを使用して製品の設定を変更する](#)
- [ネットワーク設定レポートを印刷する](#)

ウェブブラウザによる設定画面のログインパスワードを設定する

認証されていないユーザーがウェブブラウザを使用した設定画面にアクセスするのを防ぐために、ログインパスワードを設定することをお勧めします。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「http://製品の IP アドレス」を入力します(「製品の IP アドレス」には本製品の IP アドレスを入力します)。

例：

http://192.168.1.2



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

- 例：

http://SharedPrinter


NetBIOS 名を有効にしている場合、ノード名も使用できます。


- 例：


http://brnxxxxxxxxxxxx

NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

- Mac の場合、**ステータスマニター**画面に表示される本製品アイコンをクリックして、ウェブブラウザ経由でアクセスします。

3. お買い上げ時はパスワードは必要ありません。パスワードを設定している場合はパスワードを入力し、をクリックします。
4. **管理者設定**をクリックします。
5. **新しいパスワードの入力欄**に、使用するパスワードを入力します (8~32 文字)。
6. **新しいパスワードの確認欄**に、パスワードをもう一度入力します。
7. **OK** をクリックします。

今後、ウェブブラウザによる設定画面へアクセスするたびに、**ログイン欄**にこのパスワードを入力して、をクリックします。

設定後、をクリックしてログオフします。



事前にパスワードを設定していない場合、本製品のウェブページの**パスワードを設定してください**ボタンをクリックしてパスワードを設定することもできます。

✓ 関連情報

- [ウェブブラウザを使用して製品の設定を変更する](#)

リモートセットアップ

リモートセットアッププログラムを使用すると、本製品の設定の多くをお使いのパソコンから行うことができます。このリモートセットアップを起動すると、本製品の設定値がお使いのパソコンにダウンロードされ、画面に表示されます。パソコンで設定を変更した場合、設定を本製品に直接アップロードすることが出来ます。

- [リモートセットアップ\(Windows®\)](#)
- [リモートセットアップ\(Mac\)](#)

リモートセットアップ(Windows®)

- パソコンから本製品を設定する(Windows®)
- ControlCenter4 を使って本製品のセットアップを行う (Windows®)
- ControlCenter4 (Windows®) を使用して本製品のアドレス帳を設定する

パソコンから本製品を設定する(Windows®)

セキュリティ機能ロックがオンに設定されている場合、リモートセットアップは使用できません。


1. 次のいずれかを行ってください。

- Windows® 7

 (スタート) > すべてのプログラム > Brother > Brother Utilities をクリックします。

モデル名が選択されていない場合は、ドロップダウンリストをクリックして、お使いの製品のモデル名を選択します。左ナビゲーションバーの**ツール**をクリックし、さらに**リモートセットアップ**をクリックします。

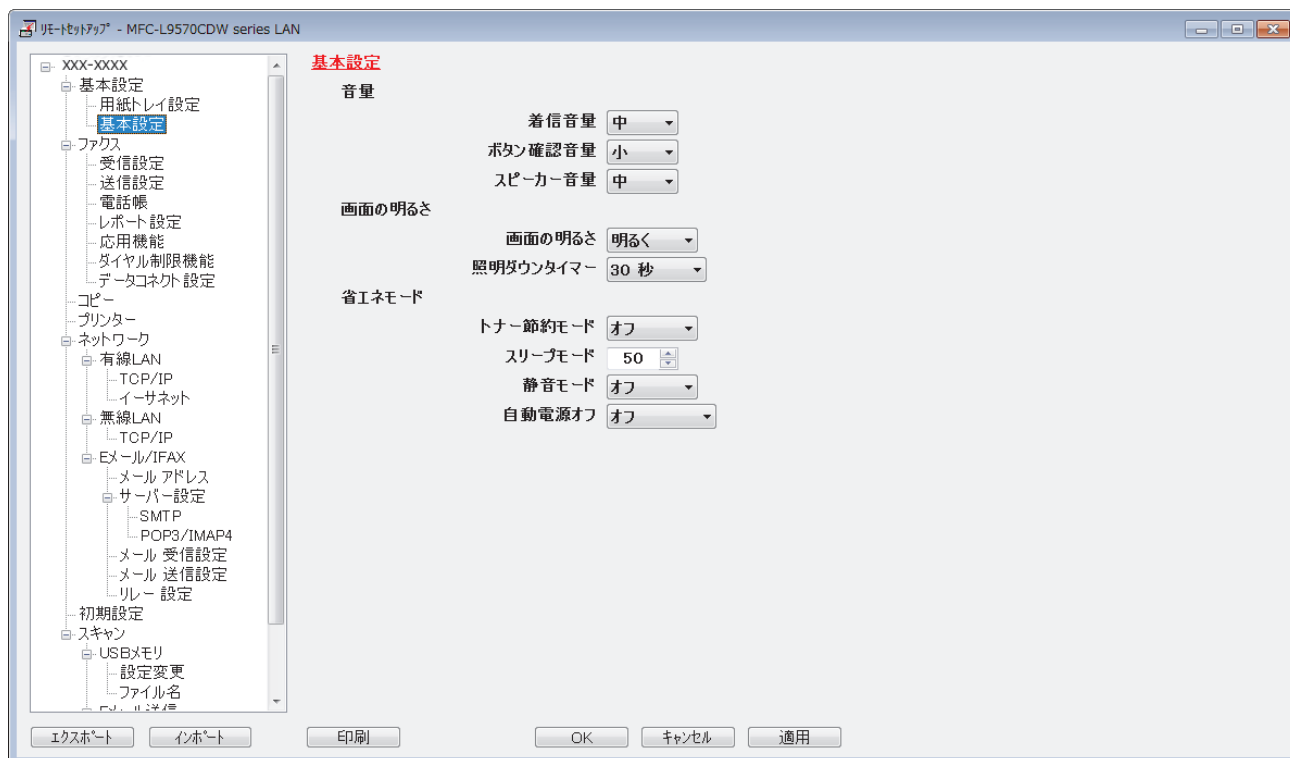
- Windows® 8 および Windows® 10

 (Brother Utilities) を起動し、ドロップダウンリストをクリックして、お使いの機器のモデル名を選択します (未選択の場合)。左ナビゲーションバーの**ツール**をクリックし、**リモートセットアップ**をクリックします。

リモートセットアップ画面が表示されます。

本製品がネットワークを介して接続されている場合、必要に応じてパスワードを入力します。

2. 必要に応じて設定を行います。



エクスポート

クリックすると、現在の設定をファイルに保存します。

エクスポートをクリックすると、本製品のアドレス帳または本製品のすべての設定値の保存ができます。

インポート

クリックしてファイルをインポートし、設定値を読み込みます。

印刷

クリックすると、選択した項目の設定を印刷します。ただし、データが本製品に送信されるまでは、印刷できません。**適用**をクリックして、新しいデータを本製品に送信してから、**印刷**をクリックしてください。

OK

クリックすると、本製品へデータを送信し、リモートセットアップを終了します。エラーメッセージが表示された場合は、正しいデータを再度入力し、**OK** をクリックします。

キャンセル

クリックすると、設定内容を本製品へ送信せずに、リモートセットアップを終了します。

適用

クリックすると、設定内容を本製品へ送信します。

3. **OK** をクリックします。

- お使いのパソコンがファイアウォールにより保護されているためリモートセットアップが使用できない場合は、ファイアウォールの設定をポート番号 137 および 161 経由の通信を許可するよう変更してください。
- Windows® ファイアウォールを使用し、ブラザーソフトウェアおよびドライバーをインストールディスクからインストールした場合は、必要なファイアウォールはすでに設定されています。





関連情報

- [リモートセットアップ\(Windows®\)](#)

▲ ホーム > パソコンを使用して製品の設定を変更する > リモートセットアップ > リモートセットアップ (Windows®) > ControlCenter4 を使って本製品のセットアップを行う (Windows®)

ControlCenter4 を使って本製品のセットアップを行う (Windows®)

 セキュリティ機能ロックがオンに設定されている場合、リモートセットアップは使用できません。

1. タスクトレイの  (ControlCenter4) アイコンをクリックし、**開く** をクリックします。
2. **デバイス設定** タブをクリックします。
3. **リモートセットアップ** ボタンをクリックします。
4. 必要に応じて設定を行います。



エクスポート

クリックすると、現在の設定をファイルに保存します。

 **エクスポート** をクリックすると、本製品のアドレス帳または本製品のすべての設定値の保存ができます。

インポート

クリックしてファイルをインポートし、設定値を読み込みます。

印刷

クリックすると、選択した項目の設定を印刷します。ただし、データが本製品に送信されるまでは、印刷できません。**適用** をクリックして、新しいデータを本製品に送信してから、**印刷** をクリックしてください。

OK

クリックすると、本製品へデータを送信し、リモートセットアップを終了します。エラーメッセージが表示された場合は、正しいデータを再度入力し、**OK** をクリックします。

キャンセル

クリックすると、設定内容を本製品へ送信せずに、リモートセットアップを終了します。

適用

クリックすると、設定内容を本製品へ送信します。

5. **OK** をクリックします。

-
- お使いのパソコンがファイアウォールにより保護されているためリモートセットアップが使用できない場合は、ファイアウォールの設定をポート番号 137 および 161 経由の通信を許可するよう変更してください。
 - Windows® ファイアウォールを使用し、ブラザーソフトウェアおよびドライバーをインストールディスクからインストールした場合は、必要なファイアウォールはすでに設定されています。

関連情報

- [ControlCenter4 \(Windows®\)](#)
 - [リモートセットアップ\(Windows®\)](#)
-


▲ホーム > パソコンを使用して製品の設定を変更する > リモートセットアップ > リモートセットアップ (Windows®) > ControlCenter4 (Windows®) を使用して本製品のアドレス帳を設定する

ControlCenter4 (Windows®) を使用して本製品のアドレス帳を設定する

ControlCenter4 経由でリモートセットアップを使用して、お使いのパソコンから電話帳の番号を追加または変更します。



セキュリティ機能ロックがオンに設定されている場合、リモートセットアップは使用できません。

1. タスクトレイの  (ControlCenter4) アイコンをクリックし、**開く** をクリックします。
2. **デバイス設定** タブをクリックします。
3. **電話帳 / アドレス帳** ボタンをクリックします。
リモートセットアップ画面の、**電話帳** が開きます。
4. 必要に応じて、電話帳の情報を追加または更新します。
5. **OK** をクリックします。



関連情報


- リモートセットアップ(Windows®)


▲ホーム > パソコンを使用して製品の設定を変更する > リモートセットアップ > リモートセットアップ (Mac)

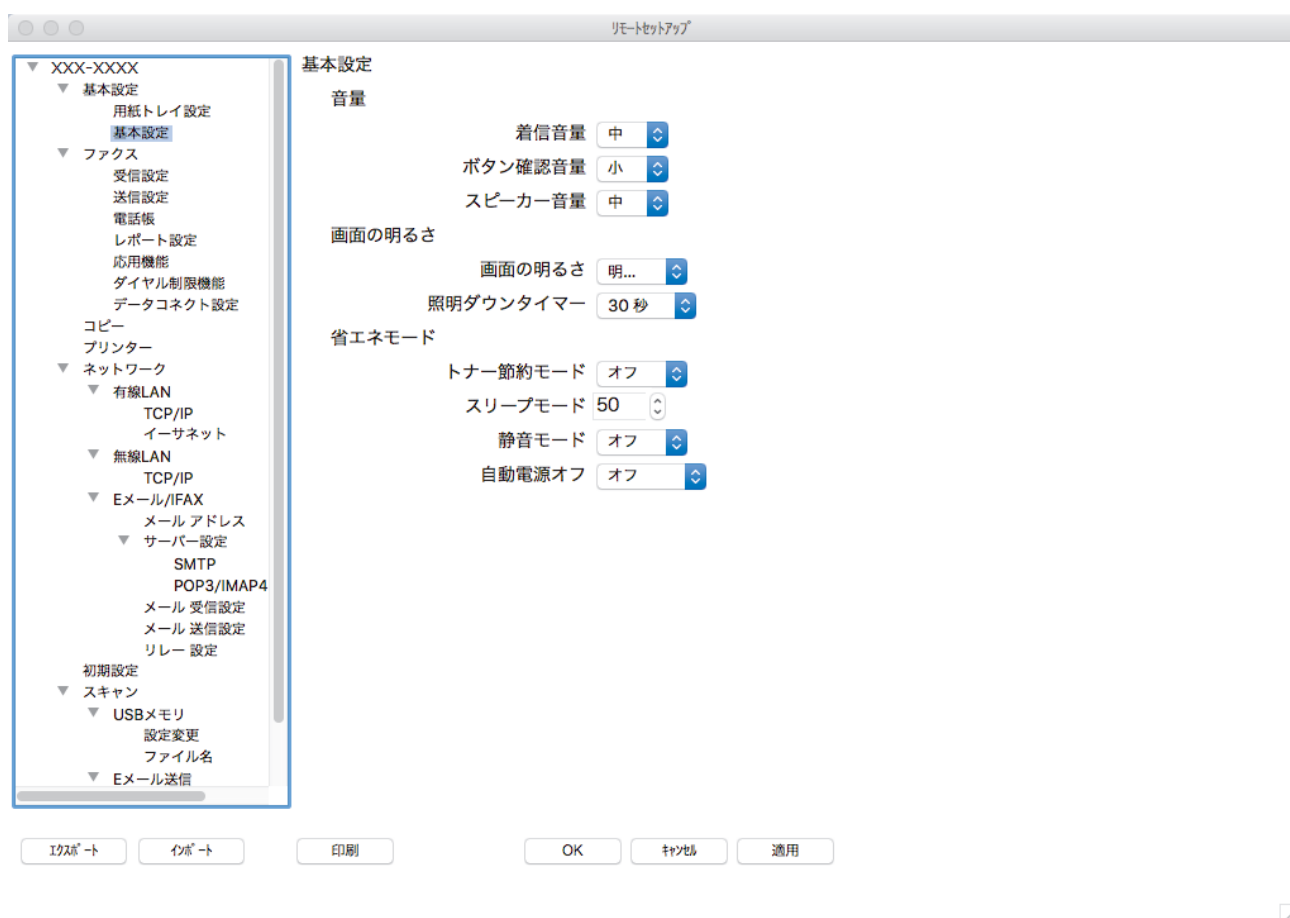
リモートセットアップ(Mac)

- ControlCenter2 を使って本製品のセットアップを行う (Mac)
- ControlCenter2 (Mac) を使用して本製品のアドレス帳を設定する

ControlCenter2 を使って本製品のセットアップを行う (Mac)

 セキュリティ機能ロックがオンに設定されている場合、リモートセットアップは使用できません。


1. Finder メニューバーで **移動 > アプリケーション > Brother** をクリックし、 (ControlCenter) アイコンをダブルクリックします。
ControlCenter2 画面が表示されます。
2. **デバイス設定** タブをクリックします。
3. **リモートセットアップ** ボタンをクリックします。
リモートセットアップの画面が表示されます。



4. 必要に応じて設定を行います。

エクスポート

クリックすると、現在の設定をファイルに保存します。

 **エクスポート** をクリックすると、本製品の電話帳または本製品のすべての設定値の保存ができます。

インポート

クリックしてファイルをインポートし、設定値を読み込みます。

印刷

クリックすると、選択した項目の設定を印刷します。ただし、データが本製品に送信されるまでは、印刷できません。**適用** をクリックして、新しいデータを本製品に送信してから、**印刷** をクリックします。

OK

クリックすると、本製品へデータを送信し、リモートセットアップを終了します。エラーメッセージが表示された場合は、正しいデータを再度入力し、**OK** をクリックします。

キャンセル

クリックすると、設定内容を本製品へ送信せずに、リモートセットアップを終了します。

適用

クリックすると、設定内容を本製品へ送信します。

5. 設定が完了したら、**OK** をクリックします。



関連情報


- [ControlCenter2 \(Mac\)](#)
 - [リモートセットアップ\(Mac\)](#)
-

ControlCenter2 (Mac) を使用して本製品のアドレス帳を設定する

ControlCenter2 経由でリモートセットアップを使用して、お使いのパソコンから電話帳の番号を追加または変更します。



セキュリティ機能ロックがオンに設定されている場合、リモートセットアップは使用できません。

1. **Finder** メニューバーで **移動 > アプリケーション > Brother** をクリックし、 (**ControlCenter**) アイコンをダブルクリックします。
ControlCenter2 画面が表示されます。
2. **デバイス設定** タブをクリックします。
3. **電話帳 / アドレス帳** ボタンをクリックします。
リモートセットアップ画面の、**電話帳** が開きます。
4. 必要に応じて、電話帳の情報を追加または更新します。
5. 設定が完了したら、**OK** をクリックします。



関連情報

- リモートセットアップ(Mac)

brother

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はおやめください。海外での各国の通信規格に反する場合や、海外で使用されている電源が本製品に適切ではない恐れがあります。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

These machines are made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas because it may violate the Telecommunications Regulations of that country and the power requirements of your machine may not be compatible with the power available in foreign countries. Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.



www.brotherearth.com

JPN
Version 0